

acdseeTM 写真館 2026
ホーム



目次

章 1: はじめに	15
ACDSee 写真館 2026 ホームへようこそ	15
ACDSeeの利点	15
ユーザーガイドの使用	15
ACDSee のユーザーインターフェイスについて	16
管理 モード	16
メディアモード	16
表示 モード	16
編集 モード	17
人物 モード	17
365 モード	17
ダッシュボードモード	17
設定を自動的にインポートする	17
ACDSee でモードを切り替える	18
管理 モードを使用する	19
管理 モードペインについて	19
管理 モード ドロップダウン メニュー	21
ユーザーの好みに合わせて管理 モードペインを開いたり閉じたりすることができます。	21
ペインを移動する	21
ペインを固定する	22
ペインを重ねてタブとして表示する	22
ペインのサイズを変更する	22
レイアウトを既定設定に戻す	22
メディアモードの使用	23
ヘッダーボタンバー	23
マイフォルダー	24
表示 エリア	24
グリッドとフルスクリーン表示を切り替える	24
フィルター	24
並べ替えとグループ	25
グループ・バイとプロパティーズ・ペイン	25
メディア モード内のナビゲーション ボタン	25
メディア モード内での画像の削除	25
表示 モードを使用する	25
フル スクリーンで画像を表示する	26
表示 モードペインを使用する	26
画面下のツールバーを使用する	27
表示 モードで Windows Touch Gestures™ を使用する	30
管理 モードに切り替える	30

編集モードを使用する	30
365 モードを使用する	30
画像をアップロードする	31
ダッシュボードモードを使用する	31
ファイルのカタログ化	31
ダッシュボードモードのタブ	31
章 2: ヘルプを表示する	33
クイックスタートガイドを使用する	33
その他のリソースとサポートを見る	33
ヘルプメニューの使用	33
オンラインヘルプと私たちのコミュニティ	33
章 3: 管理モード	34
ACDSee ホームページ	34
クイック検索バー	35
検索ボタン	35
アクションボタン	35
ACDSee ホームでファイルをインポートする	36
Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする	36
特定デバイスの種類からファイルをインポートする	36
RAW + JPEGオプション	37
リムーバブル デバイスについて	37
デバイスから写真をインポートする	37
スキャナから写真をインポートする	41
CDまたはDVDから写真をインポートする	41
ディスクから写真をインポートする	42
名前の変更テンプレートを作成する	42
Lightroom® データベースをインポートする	44
モバイルによる画像の操作	45
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する	46
はじめに	47
画像とビデオを送信する	47
モバイル同期のトラブルシューティング	48
[ファイル一覧]ペインでファイルを参照する	48
ファイル一覧ペインを使用する	48
オーバーレイアイコンの表示を変更する	51
ファイル一覧ペインを最大化する	52
フォルダペインで参照する	52
複数のフォルダを選択する	52
フォルダの作成と管理	53

ACDSee タブを使ったブラウジング	53
起動時の動作	53
ACDSee タブの管理	53
タブを閉じる	54
タブの移動 (ナビゲーション)	54
タブ間のファイル転送	54
ACDSee タブでのペインとオプションの管理	54
ACDSee タブを使用した検索の実行	55
Microsoft OneDrive™ の使用	55
日時またはイベントごとにファイルを参照する	56
イベントモードに説明やサムネイルを追加する	58
お気に入りファイルを参照する	58
ショートカットペインを開く	58
ショートカットを作成する	58
新規フォルダを作成する	59
ショートカットまたはフォルダを削除する	59
管理モードで顔を検出する	59
顔データの埋め込み、取得、インポート	60
表示を変更する	61
詳細表示をカスタマイズする	61
ファイルにフィルタを適用する	62
ファイルをグループ化する	62
ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには	63
ファイル一覧からグループを削除するには	63
1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには	64
ファイルを並べ替える	64
列のヘッダーでファイルを並べ替える	64
ファイルのカスタム並び替え	65
ファイルを選択する	65
画像をプレビュー表示する	65
情報パレット	66
画像を回転する	67
画像を比較する	67
画像バスケットに画像を集める	70
ACDSee アクティビティマネージャーを使用する	71
アクティビティマネージャーを開く	71
キュー内のアクティビティ	71
通知	72
アイドルアクティビティ	73
履歴	73

履歴のクリア	74
アクティビティマネージャーオプション:	75
でのファイルのカatalog化・管理ACDSee ホーム	76
カatalogペインで整理する	76
カテゴリ	76
人物	76
キーワード	76
重要度	77
カラーラベル	77
自動 カテゴリ	77
保存済み検索	77
スペシャルアイテム	77
データベースとACDSee ホーム 埋め込まれたデータ	78
イーजीセレクトバー	78
完全一致/部分一致	79
カテゴリを作成する	79
カテゴリを管理する	80
アクセスのしやすいカテゴリーセットを作成する	80
カテゴリと重要度の割り当てと検索	81
サムネイルビューで重要度をすばやく割り当てる	81
[カatalog] ペインでカテゴリと重要度を設定する	82
[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する	83
ファイルからカテゴリや重要度を削除する	83
カラーラベルを割り当てる	84
カラーラベル セットを作成する	84
カラーラベルを割り当てる	84
ラベルに割り当てられたファイルを検索する	86
カラーラベルとカラーラベルセットを削除する	87
コレクションを作成する	87
コレクションセット	89
スマートコレクション	89
[プロパティ]ペインを使用する	90
[プロパティ]ペインの構成	91
メタデータ タブ	91
[整理] タブ	91
[ファイル] タブ	92
ACDSeeメタデータをファイルに埋め込む	92
画像の自動表示による参照とカatalog化	92
管理 モード	92
キーワードとカテゴリ	93

キーワード	93
カテゴリ	93
表示モード	94
マップ ペインを使用する	94
マップ ペインを使用したワークフロー	95
ACDSee メタデータを複数のファイルに追加する	96
ACDSee と IPTC 間の カテゴリとキーワードの埋め込みとインポート	97
メタデータ表示の管理	97
階層 キーワードの作成と割り当て	99
キーワードを作成する	99
キーワードを管理する	100
クイックキーワードを作成する	101
キーワードのインポートとエクスポート	102
ファイルのコピーと移動	102
画像をクリップボードにコピーする	103
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	103
ファイルを置き換える / 上書きする	104
ファイル名やフォルダ名を変更する	104
プライベートフォルダにファイルを入れる	105
画像またはファイルにタグを付ける	106
自動 カテゴリから IPTC キーワードを削除する	107
画像プロパティの日時を変更する	108
ファイルを別のコンピュータにバックアップする	109
同期を更新または削除する	110
保存されている同期を起動する	110
で検索 ACDSee ホーム	110
クイック検索 バーを使用する	111
高度な検索 パネルを使用する	115
高度な検索 パネルエリア	115
検索プリセット	115
ソース	115
基準	116
履歴	116
オプション	116
高度な検索 パネルでの選択基準	116
ブラウズ検索を使用する	118
ブラウズ検索 ペインで検索範囲を設定する	118
ブラウズ検索を使用する際のヒント	119
ブラウズ検索 パネルを非表示にする	119
自動 カテゴリで検索する	119

よく使うカテゴリを識別する	120
自動 カテゴリ検索を絞り込む	120
重複ファイルを検索する	120
ファイルの削除と名前変更	121
画像をすばやく検索する	122
ACDSee ホームとファイルを共有する	122
スクリーン キャプチャを実行する	122
電子メールで画像を送信する	124
ACDSee 365 で共有 / メール送信する	125
スライドショーを表示、設定する	126
スライドショーとスクリーン セーバーを共有する	129
デスクトップ スライドショーを作成する	129
ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方	130
PDF を作成する	130
PowerPoint プレゼンテーションを作成する	131
HTMLアルバムを作成する	132
ウェブサイト写真アップロードする	133
Flickr アップローダ プラグインへようこそ	133
承認する	133
ACDSee を Flickr で承認する	133
Flickr アカウントを作成する	134
画像をアップロードする	134
画像にタグを付ける	136
既定設定を編集する	136
Flickr アップローダの設定	137
画像に情報を追加する/調整する	139
一括情報とサイズ変更	139
コンタクトシートを作成する	140
ファイルのアーカイブを作成する	141
アーカイブを展開する	142
画像とドキュメントを	143
プリンタ オプションを設定する	143
カスタム印刷レイアウトを作成する	144
画像サイズと位置を設定する	145
印刷調整の設定をする	145
ページにテキストを追加する	145
コンタクトシート オプションを設定する	146
一括編集について	147
AI超解像の使用	147
複数の画像を別のファイル形式に変換する	150

変換 ステータス	150
複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:	150
複数の画像を回転/反転する	151
回転/反転済みファイルのオプションを設定する	153
複数画像のサイズを変更する	153
リサイズ ステータス	154
複数画像のサイズを変更するには:	154
ファイルのオプションを設定する	157
複数の画像の露出を調整する	158
一括露出処理オプションを調整する	159
複数のファイル名を変更する	160
データベース ACDSee ホーム について	164
データベースからフォルダを除外する	164
ファイルをデータベースにカタログ化する	165
ACDSeeインデクサーについて	168
カタログとデータベース。	168
複数のデータベースの作成と切り替え	168
旧バージョンのデータベースを変換する	169
データベース情報をインポートする	169
他のソースからファイル情報をインポートする	170
フォトディスクをインポートする	170
アルバムをインポートする	170
Description ファイルの使い方	170
データベース情報をエクスポートする	171
ファイル一覧を作成する	171
データベースをバックアップする	172
データベース バックアップのヒントと手順	173
バックアップスケジュール	173
バックアップの保存先	173
バックアップサイズ	173
バックアップからデータベース情報を復元する	173
データベースのメンテナンス	173
データベースを最適化する	174
取り込むデータベース用にドライブをマップする	175
サムネイルとメタデータの再構築	175
ファイルを隔離する	175
プラグインを使用する	175
プラグインの種類	176
プラグインを管理する	176
プラグインを無効にする	176

プラグインの優先順序を変更する	176
プラグインのプロパティとヘルプを表示する	177
ACDSee SeeDrive™	177
ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する	178
アップロードする	178
ダウンロードする	178
フォルダを公開 / 非公開にする	179
ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする	179
ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する	179
ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けしてフォルダを共有する	181
章 4: メディアモード	182
メディアモードの使用	182
ヘッダーボタンバー	182
マイフォルダー	183
表示エリア	183
グリッドとフルスクリーン表示を切り替える	183
フィルター	183
並べ替えとグループ	184
グループ・パイとプロパティーズ・ペイン	184
メディアモード内のナビゲーションボタン	184
メディアモード内での画像の削除	184
章 5: 表示モード	185
自動レンズで画像をプレビューする	185
Light EQ™	186
画像を回転する	186
ヒストグラムを使用する	186
表示モードで顔検出と顔認識を使用する	186
候補	188
画像送りで画像を表示する	188
表示モードで画像にテキストを表示する	189
画像テキストを隠す	190
画像の一部を選択する	190
表示モードでファイルプロパティを表示する	190
ブラシファイルを表示する/使用する	191
ビデオとオーディオファイルを再生する	191
オーディオおよびビデオファイルを自動再生する	191
メディアツールバー	192
動画のフレームを画像として保存する	192
画像に音声を追加/編集する	192

画像にオーディオを録音する	193
画像を表示モードで印刷する	194
画像をデスクトップの壁紙に設定する	195
表示モードとフォルダを同期する	195
オフライン画像を表示する	196
フォトディスクを再結合する	196
別のアプリケーションでファイルを表示する	197
オリジナルの表示	197
変更の確定	197
画像の色深度を変更する	197
拡大/縮小	198
ズーム レベルを設定する	199
画像を自動で拡大/縮小する	199
ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する	200
拡大された画像のパンニング	200
パンを固定する	201
画像の特定領域を拡大表示する	201
章 6: 編集モード	202
編集モードを使用する	202
画像を編集する	202
オリジナルの設定に戻す	203
ヒストグラムと画像の表示コントロールについて	203
編集モードでのカラーピッカーの使用	205
編集モードでプリセットを使用する	205
元に戻す/やり直しボタンを使用する	205
編集ブラシを使う	206
編集ブラシ	206
グラデーションツールを使用する	208
グラデーション ツール	208
放射状グラデーションツールを使用する	209
放射状グラデーション ツール	209
ブレンドモードと透明度について	210
透明度	210
ブレンドモード	210
編集モードで画像を保存する	212
画像を保存する	212
選択範囲を使用する	213
選択範囲 ツール	213
選択範囲 ツールを使う	214
ツールを組み合わせて使用する	216

編集またはエフェクトを選択範囲に適用する	217
赤目を補正する	217
画像を修整する	218
画像に描画を追加する	219
画像にテキストを追加する	222
画像に透かしを追加する	225
枠線を追加する	226
ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する	229
テクスチャ	229
エッジ	230
ピネットを追加する	230
チルトシフト効果を追加する	232
特殊効果フィルタについて	233
特殊効果: 曇りガラス	233
特殊効果: ブラインド	234
特殊効果: ブルースチール	234
特殊効果: Bob Ross	235
特殊効果: 膨張	236
特殊効果: マンガ	237
特殊効果: ノスタルジア	238
コラージュ エフェクトを適用する	239
特殊効果: カラーエッジ	239
特殊効果: 等高線	240
特殊効果: クレヨン画	241
クロスハッチ エフェクトを適用する	242
特殊効果: ペンキ画	242
特殊効果: ドラマチック	243
エッジ検出エフェクトを適用する	244
特殊効果: エンボス	244
特殊効果: 柔毛エッジ	245
特殊効果: ネオン効果	246
特殊効果: グラナイト	247
ロモ エフェクトを適用する	248
特殊効果: ミラー	248
ネガ エフェクトを適用する	249
特殊効果: オイルペイント	250
古い効果を適用する	250
オートン エフェクトを適用する	251
特殊効果: 輪郭	252
鉛筆画 エフェクトを適用する	252

特殊効果:ピクセル爆発	253
特殊効果:モザイク	254
特殊効果:ボスタライズ	255
特殊効果:霞み	255
特殊効果:光線ぼかし	256
特殊効果:雨	257
特殊効果:波紋	258
特殊効果:飛散タイル	259
セピア エフェクトを適用する	260
特殊効果:70年代	261
特殊効果:金属シート	261
特殊効果:シフト	262
特殊効果:アングル	263
ソーベル エフェクトを適用する	264
特殊効果:ソラリゼーション	264
特殊効果:くすみ	265
特殊効果:ステンドグラス	265
特殊効果:太陽スポット	266
特殊効果:渦巻き	267
しきい値エフェクトを適用する	268
特殊効果:地形図	268
特殊効果:ウォーター	269
特殊効果:ウォータードロップ	270
特殊効果:波	271
特殊効果:織り	272
特殊効果:風	273
特殊効果:カスタムフィルタ(畳み込み効果)	274
画像を回転する	275
画像を反転する	276
画像をトリミングする	277
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	277
画像のサイズを変更する	278
ピクセルのサイズ変更 オプションと効果	279
画像の露出を調整する	281
画像のレベルを調整する	282
レベルを自動調整する	284
編集モードでトーンカーブの調整	284
ライティングを調整する	285
[1-ステップ] タブを使用する	286
[ベーシック] タブを使用する	286

震みを除去する	287
ホワイトバランスを調整する	287
カラーEQで色を調整する	288
グレースケール画像を作成する	291
LUT を使用してカラー グレーディング	293
ヒストグラムを使用する	293
色の設定 ダイアログボックスを使用する	294
標準 タブ	294
カスタム タブ	295
カラーを選択する/調整する	295
画像をシャープにする	295
画像をぼかす	296
ノイズとノイズ除去について	298
ノイズを除去する	299
ノイズを追加する	301
明瞭度を調整する	302
人物モードを使う	303
名前付きビュー	303
名前のないビュー	303
人物ビュー	304
フォルダ ペイン	304
章 7: 365 モード	305
365 モードを使用する	306
ACDSee 365 アカウントの作成	306
ACDSee 365 への画像のアップロード	306
フォルダを自動的にWebに同期するように設定する	307
公開または非公開のフォルダを作成する	308
重要度設定システムを変更する	309
画像をダウンロードする	309
転送 マネージャを使用する	310
章 8: ダッシュボード モード	311
ダッシュボードモードを使用する	311
ファイルのカタログ化	311
ダッシュボードモードのタブ	311
章 9: PICAVIEW	313
ACDSee PicaView について	313
ACDSee クイックビュー を使う	313
クイックビュー でWindows Touch Gestures™ を使用する	315

章 9: オプションと設定	316
全般オプションを設定する	316
画像の自動表示オプションの設定	316
【モード設定オプション】を設定する	317
バッチ操作オプションの設定	317
一括AI超解像オプションの設定	318
ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する	321
管理モード オプションを設定する	321
ACDSeeホームページオプションの設定	322
クイックサーチオプションの設定	323
【顔の検出と認識】オプションを設定する	324
ファイル一覧ペイン オプションを設定する	326
サムネイル情報オプションを設定する	328
サムネイルのスタイル オプションを設定する	330
詳細表示オプションを設定する	330
プレビュー ペイン オプションを設定する	331
フォルダペインオプションを設定する	332
カタログ ペイン オプションを設定する	332
カレンダー ペイン オプションを設定する	333
CD/DVD管理オプションを設定する	334
プロパティ ペイン オプションを設定する	335
ファイル管理オプションを設定する	335
データベースオプションを設定する	336
メディアモードのオプションを設定する	338
表示モードのオプションを設定する	338
人物モードオプションを設定する	340
表示オプションを設定する	341
編集モード オプションを設定する	342
ACDSee 365オプションを設定する	343
ACDSee Showroomオプションを設定する	344
ACDSee クイックビュー オプションを設定する	345
メディア オプションを設定する	346
ACDSeeインデクサー オプションを設定する	346
ACDSee PicaViewオプションを設定する	347
ACDSee Mobile Syncオプションを設定する	348
インポートオプション	348
ペインとパネルを自動非表示にする	349
タスクペインを使用する	349
ツールバーをカスタマイズする	350
ツールバーを表示/非表示にする	350

ツールバーの内容をカスタマイズする	350
管理モード:	350
表示モード:	351
ツールバーをリセットする	351
ツールバーとペインの位置をカスタマイズする	351
ペインを非表示にする	352
表示、編集モードでペインやツールバーを固定する	352
表示、編集モードでペインやツールバーを固定する	352
カスタムメニューを作成する	353
外部エディタを設定する	353
キーボードショートカットをカスタマイズする	355
表示テーマを変更する	356
JPEGオプションを設定する	356
章 10: ショートカット	357
管理モードのキーボードショートカット	357
管理モードのマウスショートカット	365
レンダーペインのショートカット	366
メディアモードのキーボードショートカット	366
表示モードのキーボードショートカット	367
表示モードのマウスショートカット	379
編集モードのキーボードショートカット	379
編集モードのマウスショートカット	385
365 モードのキーボードショートカット	385
365 モードのマウスショートカット	388
ACDSee PicaView のキーボードショートカット	388
章 11: ファイルフォーマット	389
サポートされるファイルフォーマットACDSee ホーム	389
RAW ファイルについて	393
ファイルの関連付け	393
用語集	395

章 1: はじめに



ACDSee 写真館 2026 ホームへようこそ

業界をリードするデジタル写真およびドキュメント管理ソフトウェア、ACDSeeへようこそ。

ACDSeeの利点

- **トータルワークフローコントロール。** ACDSeeを中心に写真のワークフローを構築すれば、違いに気がつくでしょう。柔軟なカタログ機能、比類のない表示速度、強力なフォトエディタを備えたACDSeeは、世界中の忙しいプロおよび上級アマチュア写真家に選ばれています。大幅に改善されたRAW処理、メタデータツールのフルセット、比類のない表示速度が追加されて、完全に統合された写真編集および管理ソリューションが得られます。
- **Light EQ™を含む特許取得済みの画像処理技術を搭載。** ACDSeeのLight EQ™ツールを支える特許取得済みのLight EQ™ ツールは、シングル露出でHDR画像を作り出すアルゴリズムによって、写真のダイナミックレンジを正確かつ合理的に拡大し、信じられないほどリアルでその場の雰囲気を醸し出すような画像を作り出します。
- **広範に渡る画像編集ツール** デジタル イメージの作成、編集、修整が可能です。赤目修整、トリミング、シャープネス、ぼかしなどのツールや写真の修復、修整ツールを是非お試しください。画像編集 ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。
- **カスタマイズ可能なUI** 完全にカスタマイズ可能なユーザーインターフェースで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウトや画像の順番、ツールバーの表示その他数多くのオプションをお好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。
- **優れた構造化機能** ACDSeeなら、カメラからコンピュータに画像をインポートしたり、ファイルの分類や評価だけでなく、あらゆるサイズの数百から数十万もの画像からなる画像コレクションを管理することができます。サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えるなどの作業も瞬時に実行可能です。探している画像が見つからない？問題ありません。ACDSeeにはさまざまな検索 ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。
- **コンテキスト依存のヘルプ。** ACDSee には、アプリケーション内を移動する際に役立つ、豊富なコンテキスト依存のヘルプ素材が用意されています。機能を使用する時に **F1** を押すと、関連するオンラインヘルプページが開きます。

ユーザーガイドの使用

このユーザーガイドは、ACDSeeソフトウェアを最大限に活用するのに役立ちます。モードと機能によって分類されており、ガイド全体を通して、ACDSeeを最大限に活用するのに役立つアイコンが示されています。



メモは、アクションを実行するときに考慮すべき事項です。



ヒントは、作業を最適化する方法です。



警告は、アクションを実行するときに考慮すべき事項です。

さらにガイダンスが必要な場合は、[クイックスタートガイド](#)または [その他のリソースとサポートを見つける](#)を確認してください。

プロの写真家のための総合写真管理ソリューションであるACDSeeをお選びいただきありがとうございます。

ACDSee のユーザーインターフェイスについて

ACDSee ホームのユーザーインターフェイスは、写真やメディアファイルを閲覧、表示、編集、管理するために使用できるさまざまなツールや機能への簡単なアクセスを提供します。ACDSee ホームでは、管理、メディア、表示、編集、人物、365、ダッシュボードの7つのモードをすばやく切り替えることができます。

管理モード

1

管理モードは、画像の参照や管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカットアイコンをクリックしてACDSee ホームを起動する際、常に表示されます。ほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズできます。

管理モードは15のペインで構成されますが、使っていない場合ほとんどペインは閉じています。[ファイル一覧ペイン](#)は常に表示されており、現在のフォルダの内容、最後の検索結果、フィルタ適用の条件に一致するデータベース内のファイルなどが表示されます。**管理**モードの一番下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、またはカテゴリの情報が表示されます。

表示モードでは、メディアファイルの再生を再生したり、フル解像度の画像を1枚ずつ表示したりすることができます。また、画像プロパティペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示したりすることも可能です。

管理モードには、ツールバーと一連のドロップダウンメニューもあります。ツールバーには、ホームフォルダ、およびフォルダ内を前後に移動するためのボタンがあります。ドロップダウンメニューを使用すると、最も一般的なタスクにすばやくアクセスできます。

メディアモード

2

メディアモードは、管理モードで参照した、もしくはACDSeeデータベースにカタログ化したフォルダを表示・アクセスするACDSeeのデータベース駆動型の強力な機能です。ACDSeeによって**管理**されるメディア資産のこの合理化された整頓されたビューでは、任意の組み合わせでの並べ替え、グループ化、およびフィルタリングが行えます。

表示モード

3

表示モードでは、メディアファイルを再生し、画像やドキュメントを1つずつ最高の解像度で表示します。ペインを開いて、画像のプロパティを表示したり、さまざまな倍率で画像の領域を表示したり、詳細な色情報を調べたりすることもできます。

表示モードを開くには、画像またはドキュメントを選択し、[表示モード]タブをクリックします。**表示**モードのフィルムストリップを使用すると、フォルダ内の全ファイルをすばやく切り替えて**表示**することができます。**表示**モードには、一般的に使用されているコマンドのショートカットが表示されているツールバーがあり、ウィンドウの下部には、現在のイメージやメディアファイルに関する情報が表示されるステータスバーがあります。

編集モード

4

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。編集はその順番通りに変換されたRGBデータに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なものの編集モードの特徴です。

人物モード

5

人物モードは、業界をリードするACDSeeの顔検出および認識機能と最先端の機械学習アプリケーションの融合から生まれました。あらゆる分野の写真家は、クライアント、家族、などの人物を区別するための専用スペースを利用できます。顔を統合、名前変更、削除したり、AIアシスタントからラベル付けの提案を受けて、類似したものをグループ化することで、名前をつけていない人物を管理できます。

365 モード

6

365モードでは、365.acdsee.com に簡単に画像をアップロードして、自分の連絡先と共有・公開することができます。**365**モードでは、コンピューター内の画像を選択し、365.acdsee.comに直接ドラッグアンドドロップできます。

ダッシュボードモード

7

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、ACDSeeデータベースとEXIF情報に基づいたデータベース統計情報にすばやくアクセス・閲覧できます。**ダッシュボード**モードはお使いのデータベース情報に依存しているため、このモードを最大限に活用するにはカタログの作成が重要になります。

設定を自動的にインポートする

以前のバージョンの ACDSee ホーム がインストールされている場合、新しいバージョンを初めて起動するときに一部の設定が自動的にインポートされます。

ACDSee 写真館 2026 ホーム は、最近インストールされたバージョンから次の設定をインポートします:

- **オプションのインポート:** 保存されたオプション設定を自動的にインポートします。詳細については、[オプションのインポート](#)を参照してください。
- **メタデータ表示:** メタデータ表示を使用して、頻繁に使用するメタデータフィールドを保存し、最も関連性の高い情報を表示したままにします。詳細については、[メタデータ表示](#)を参照してください。
- **ラベルプリセット:** ラベルセットを作成すると、指定したラベルをすばやく選択して割り当てることができます。詳細については、[カラーラベルの割り当て](#)を参照してください。
- **クイックカテゴリセット:** クイックカテゴリを使用すると、さまざまなイベントや関心のある分野のカテゴリを作成して整理できます。詳細については、[カテゴリの作成](#)を参照してください。
- **クイックキーワードセット:** クイックキーワードを使用すると、関連するキーワードのグループを作成して整理し、ワークフローを合理化できます。詳細については、[階層キーワードの作成と割り当て](#)を参照してください。

- **ファイル形式の一括変換プリセット:** 頻繁に使用されるファイル形式設定をプリセットとして保存すると、複数の画像を特定のファイル形式にすばやく変換できます。詳細については、[複数の画像を別のファイル形式に変換する](#)を参照してください。
- **名前の一括変更プリセット:** 頻繁に使用する名前変更設定をプリセットとして保存します。名前の一括変更プリセットを使用して、特定の書式が適用された複数のファイルの名前を変更します。詳細については、[複数のファイルの名前変更](#)を参照してください。
- **サイズの一括変更プリセット:** 頻繁に使用されるサイズ変更パラメータを保存して、特定の書式設定を適用して複数の画像を一度にサイズ変更します。詳細については、[複数の画像のサイズ変更](#)を参照してください。
- **高度な検索ペインの検索プリセット:** 検索結果を保存し、ワンクリックで再実行できます。詳細については、[高度な検索ペインの使用](#)を参照してください。
- **高度な検索ペインの検索履歴:** ファイル名、テキスト、またはファイル名 > パターン一致で検索するときに検索履歴を表示します。詳細については、[高度な検索ペインでの条件の選択](#)を参照してください。
- **カスタマイズされたキーボードショートカット:** キーボードショートカットをカスタマイズすると、デフォルトのキーの組み合わせをワークフローに合わせて変更でき、効率性と使いやすさが向上します。詳細は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)を参照してください。
- **外部エディタの設定:** ACDSee内から外部編集アプリケーションで画像を開いたり、さまざまな画像エディタと連動するようにACDSee ホームを設定したり、デフォルトで使用するエディタを指定したりできます。詳細は、[外部エディタの設定](#)を参照してください。



一部の設定は、ACDSee ホームの古いバージョンすべてからインポートできない場合があります。(例: オプションは 2022 以降からのみインポートされます。)



インポートツールは、同じ製品モデル内の古いバージョンからのみインポートします。(例: ACDSee 写真館 2026 ホームは、古いバージョンの ACDSee Photo Studio ホームからのみオプションをインポートできます。)



インポートツールは常に、見つかった最新の以前のバージョンからインポートします。(例: ACDSee Photo Studio ホーム 2022 と ACDSee Photo Studio ホーム 2023 が両方インストールされている場合、2023 の設定のみがインポートされます。)

ACDSee でモードを切り替える

ACDSee ホームでは、管理、メディア、表示、編集、人物、365、ダッシュボードの7つのモードをすばやく切り替えることができます。

ACDSee ホームでは、管理、メディア、表示、編集、ダッシュボードの5つのモードをすばやく切り替えることができます。

モードボタンは ACDSee ホームのウィンドウの右上にあります:



モードからモードへの切り替えをするには:

次のいずれかのモードボタンをクリックします:

- **管理:** 写真のインポート、閲覧、整理、比較、検索、印刷などを行うためのモードです。
- **メディア:** 画像のコレクション全体が日付別に表示されます。
- **表示:** 写真を表示したり、拡大表示して細かい部分を確認するためのモードです。
- **編集:** ピクセルベースの編集ツールを使用して、写真の修整や画質の向上を行います。
- **人物:** ACDSeeの顔認識によって識別された顔を表示します。
- **365:** 365.acdsee.com に画像をアップロードして、友人や世界中のユーザーと画像共有するためのモードです。
- **ダッシュボード:** ファイル、カメラ、データベース統計情報へのアクセスや閲覧を簡単に行うことができます。

管理モードを使用する

管理モードでは、ファイルや画像の参照、並べ替え、カタログ作成、操作、共有を行うことができます。異なるツールやペインを組み合わせ、高度な検索やフィルタオプションを設定したり、画像やメディアファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

スクリーン右上部にあるボタンをクリックして、他のモードに素早く切り替えることも可能です。

管理モード内のペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

表示したいペインが表示されない場合は、左上のメインツールバーの[ペイン]をクリックして、ペインを選択してください。

管理モードペインについて

管理モードは次のペインで構成されています。

ファイル一覧	このペインには現在選択されているフォルダの 内容 、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーのような、コンピュータの フォルダ構成が表示 されます。フォルダペイン からフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイージー セレクトボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできる カレンダーが表示 されます。
ショートカット	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダを ショートカットペイン にドラッグすると、オリジナルの画像に全く影響も与えることなく、オリジナルのショートカットが作成されます。
詳細検索	このペインでは、強力な高度な検索ユーティリティへのアクセスを提供します。検索したいタイプを指定し、高度検索ペインのフィールドに検索条件を入力することができます。 また、検索を保存して名前を付けることもできます。検索プリセットは、高度検索ペインとカタログペインの両方にリストされています。高度検索ペインでは、ドロップダウンリストから「検索プリセット」を選択して再度実行することができます。カタログペインでは、検索プリセットはオートカテゴリーの下にリストされ、検索プリセット名をクリックするだけで再度実行することができます。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディアファイルの サムネイルプレビュー が表示されます。また、プレビューペインでメディアファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。
ブラウズ検索	このパネルは、フォルダー、カタログ、およびカレンダーペインからの入力を組み合わせて、 ファイルリストペイン内のファイルのリスト を特定の条件セットに一致するものに制限します。[ブラウズ検索ペイン]の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。[ブラウズ検索] パネルには [表示] メニューからアクセスできます。
カタログ	この ペイン には、カテゴリ、自動カテゴリ、人物評価、色ラベル、キーワード、および保存済み検索をリストアップし、ファイルの並べ替えと管理を簡略化します。また、カタログペインの「スペシャル アイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未カテゴリファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、 頻繁に使われているボタンやコマンドのメニュー が表示されます。このメニューは、ACDSee内での現在の記憶装置内のロケーションや選択によって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダの プロパティとメタデータ が表示されます。プロパティペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータのデータベース 情報を表示および編集することができます。
マップ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルの マップ上にマークされた場所 が表示されます。マップを使用して場所を表示したり、ファイルの地図上の場所をマークしたりすることができます。
画像バスケット	ファイルやフォルダを参照する際、バスケット内に気に入った画像を 一時保存する 。これらの画像をすべて1つのフォルダに移動させなくても、これらの画像の編集、印刷、共有を実行できます。
アクティビティ マネージャー	アクティビティ マネージャーには、「待機中のアクティビティ」、「アイドル状態のアクティビティ」、「アクティビティ履歴」の3つのセクションがあります。 待機中のアクティビティ: ACDSee に画像をインポートすると、[待機中のアクティビティ] セクションにその進行状況が表示されます。これらはいつでも一時停止またはキャンセルできます。 アイドル状態のアクティビティ: 顔検出の実行を行うと、スキャンが必要なファイル数を示すカウンターが表

示されます。

履歴: 前回 ACDSee を起動してから完了した [待機中のアクティビティ] の履歴を表示します。

管理モード ドロップダウン メニュー

管理モードのドロップダウン メニューから、頻繁に使用するタスクにアクセスすることができます。ドロップダウン メニューは次の 6 つにグループ分けされています:

- **インポート:** カメラやその他のデバイスから画像をインポートすることができます。
- **一括:** 一括編集に必要な処理を実行することができます。
- **作成:** ここでスライドショーファイル、PDF、PowerPoint プレゼンテーション、CD/DVD、オンラインアルバム、アーカイブを作成することができます。
- **スライドショー:** スライドショーを実行したり、スライドショーの設定を行うことができます。
- **送信:** オンラインのフォトサイトや FTP、またはメールで写真を共有します。
- **編集:** 簡単にアクセスできるように外部エディターをリストアップすることができます。

ユーザーの好みに合わせて管理モードペインを開いたり閉じたりすることができます。

また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、管理モードウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることも可能です。

管理モード内で、ペインを開いたり閉じたりするには:

[ペイン] をクリックし、表示/非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティングペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティングペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。



デュアル モニタをご利用の場合、ペインをセカンドモニタに移動して、メインモニタのスペースを有効に使うことができます。

ペインを固定する

管理モード内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

管理モード内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
3. ファイラー一覧ペイン、また他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインを重ねてタブとして表示する

ワークフローに合わせて、カスタムの順序に重ねて表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンを放します。
 - ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの中心でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、管理モード内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。
2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

レイアウトを既定設定に戻す

すべてのペインは、[管理]、[メディア]、[]、[編集]、および[人物]モードでいつでもデフォルトの位置に復元できます。

レイアウトをリセットするには:

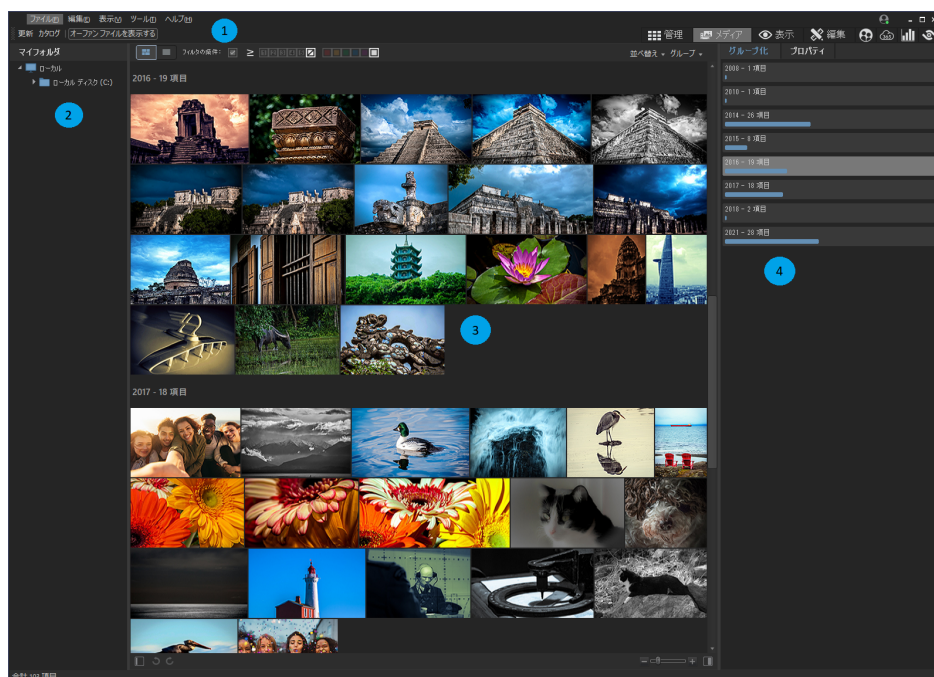
[表示]>[レイアウトをリセット]をクリックします。

メディアモードの使用

メディアモードは、デジタル資産管理のための簡素化されたデータベース駆動アプローチを提供します。**管理**モードで閲覧されたフォルダと、ACDSeeデータベースにカタログ化されたフォルダだけが、ACDSeeによって管理された写真とビデオのクラッタフリーなビューを提供するように、**メディアモード**で表示されます。

メディアモードのインターフェイスは、4つの独立した機能領域に分かれています：

1. [ヘッダーボタンバー](#)
2. [マイフォルダー](#)
3. [表示領域](#)
4. [グループ化とプロパティ](#)



ヘッダーボタンバー

メインメニューのすぐ下にあるヘッダーボタンバーには、以下の3つのボタンが含まれています：

- リフレッシュ
- カタログ
- オープン・ファイルを表示

ヘッダーボタンバーオプション

リフレッシュ	マイフォルダー ペインのフォルダー・ツリーとディスプレイエリア ペインをリフレッシュします。
カタログ	ファイルのカタログについての詳細は、 データベース内のファイルのカタログ を参照してください。
オープン・ファイルを表示	見つからないファイルをオープンとしてマークされたファイルを表示します。オープンではセピア色で表示されます。

マイフォルダー

画面の左側にある**マイフォルダー** ペインは、**管理** モードで閲覧したすべてのフォルダーで構成されたシンプルなフォルダー・ツリーです。**メディア** モードから**マイフォルダー** ペインに追加のフォルダーを追加するには、上記の[カタログファイル\(ファイルをカタログ化\)](#) ツールを使用します。

マイフォルダー ペインはデフォルトでは非表示になっています。**マイフォルダー** ペインを表示するには、表示エリアの左下にある隠す/表示するアイコン  をクリックしてください。

マイフォルダー ペイン内のメディアを含むフォルダーをクリックすると、表示エリアのコンテンツを選択されたフォルダーのメディアにフィルタリングすることができます。

表示エリア

表示エリアのペインが画面の大きな中央部分を占め、主にフィルター、ソート、またはグループ化できる画像や動画を表示するために使われます。

画像や動画をダブルクリックすると、それらをフルスクリーンで表示します。フルスクリーンで表示された動画は**メディア**モードを離れずに再生できます。フルスクリーンの画像や動画をダブルクリックすると、グリッド表示に戻ります。

個々のメディア・アセットを右クリックすると、以下のオプションを含むコンテキストセンシティブ・ヘルプ・メニューが表示されます：

- **表示:表示** モードでメディアアセットを開きます。
- **編集:編集** モードでメディアアセットを開きます。
- **左回転**:左回転するには**Ctrl + L**を押します。
- **右回転**:右回転するには**Ctrl + R**を押します。
- **ファイルエクスプローラーで表示**:メディアアセットのファイルの場所をファイルエクスプローラーで開きます。

グリッドとフルスクリーン表示を切り替える

表示エリアのペインのフィルターオプションの左隣の上部左端にあるトグルボタンを選択することで、**グリッドとフルスクリーン**表示を切り替えることができます。

フィルター

有効にした場合、**フィルター**ツールバーは、特定のメタデータに基づいて表示エリアのペインに表示される結果を調整するために非常に強力です。

表示エリアのペインのメディアアセットをフィルターするには、次のいずれかの組み合わせから選択します：

- タグ付けチェックボックスを有効にして、タグ付きの画像のみを表示します。
- レーティングから選択して、特定のレーティングを持つメディアのみを表示します。レーティングの左側のボタンを選択することで、結果が選択したレーティング以下、以上、または一致するメディアを含むかどうかを選択できます。
- カラーラベルから選択して、特定のラベルが付けられたメディアのみを表示します。



フィルター・パイ ツールの変更は、「グループ・パイ」ペインで表示される結果に影響します。

並べ替えとグループ

メディア・アセットの直上に位置し、「表示エリア」ペインの右側にある「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンは、「表示エリア」ペインの内容を変更するために使用されます。「フィルター・バイ」フィールドにより表示されるメディア・アセットの数を絞り込むのとは異なり、「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、表示されるメディア・アセットの数を変更しません。「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、前方または後方に並べ替えることができます。



「グループ」フィールドでの選択は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

グループ・バイとプロパティーズ・ペイン

画面の右側に位置する「グループ・バイ」ペインは、「フィルター・バイ」ドロップダウンと「グループ」ドロップダウンで選択されたグループのメディア・アセットのリストを表示します。「プロパティーズ」ペインは、IPTC、EXIF、および重要なACDSeeメタデータなどの主要な詳細を表示します。「グループ・バイ」および「プロパティーズ」ペインを表示するには、表示エリアの右下にある非表示/表示アイコン  をクリックします。

「グループ・バイ」ペインの結果は、前方または後方にグループ分けすることができます。

各グループタブ内の青いバーは、グループに含まれるメディア・アセットの数を表しています。

「グループ・バイ」ペインのタブをクリックすると、「表示エリア」ペインに選択したグループが表示されるようになります。

メディアモード内のナビゲーションボタン

画像をフルスクリーン表示している場合、クライアントはウィンドウの左側または右側にカーソルを合わせて、表示されたナビゲーション矢印をクリックすることで、画像を間を移動できます。

メディアモード内での画像の削除

メディアモード内で画像を削除する方法は3つあります：

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから「削除」を選択します
- 画面の上部の「編集」ドロップダウンをクリックして、「削除」を選択します
- 画像を1回クリックして、「Delete」キーを押します

表示モードを使用する

表示モードでは、画像やドキュメント、メディアファイルを実寸サイズで、または [拡大または縮小して](#) 表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

表示モードは、次の4つのメイン領域で構成されています。

- **表示領域:** 表示モードのメイン領域で、現在選択されている画像、ドキュメント、またはメディアファイルが表示されます。拡大、縮小表示など、表示方法をカスタマイズすることができます。
- **画面下のツールバー:** メイン表示領域の下にあるツールバーは、ズームやスクロールツールといった頻繁に使用されるツールやコマンドへのショートカットボタンを提供します。大きいまたは小さいアイコンをツールバーに使用するか、またはツールバーを表示しないかなどカスタマイズが可能です。
- **フィルムストリップ:** メインの表示領域の下に位置して、現在選択されているフォルダ内、または管理モードで選択された画像ファイルグループのサムネイルが表示されます。最下部のスクロールバーを使って画像ファイル間を素早く移動したり、「次へ」または「戻る」ボタンを使って前後の画像に移動したりします。

- **ステータス バー:** ウィンドウの最も下に位置するステータス バーには、現在選択されている画像またはメディア ファイルの情報とプロパティが表示されます。編集が可能な、重要度やカラーラベル、タグのアイコンも表示されます。

画像またはファイルの [EXIF](#)、[IPTC](#) および [ACDSee メタデータ情報](#) を表示モードのプロパティペインに表示することもできます。また、[ナビゲータ](#)、[虫めがね](#)、[ヒストグラム](#) ペインを表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

表示モードで画像、ドキュメント、またはメディアファイルを開くには:

管理 モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
- ファイルを選択して、**[表示]**モードボタンをクリックします。
- ファイルをダブルクリックします。
- 画像、ドキュメント、またはメディアファイルを右クリックし、**[表示]**を選択します。

表示モードで複数の画像を開くには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインから複数の画像を選択します。
2. **Enter**キーを押します。
3. 画像をいろいろと移動するには、次の操作を行います:
 - 連続した画像ファイルの次の画像を表示するには、**[次へ]**をクリックします。
 - 連続した画像ファイルの前の画像を表示するには、**[戻る]**をクリックします。

フル スクリーンで画像を表示する

モニタの画面全体に画像ファイルを表示することができます。フルスクリーン モードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像のみ表示されます。画像を常にフルスクリーン モードで表示したい場合は、このオプションを表示モードの既定値として設定することができます。

フルスクリーンモードで画像ファイルを表示するには:

1. 表示モードで画像または複数の画像を開きます。
2. **[表示]>[全画面表示]**をクリックします。
3. 画像ファイルを右クリックして、表示モードのツールおよびオプションのコンテキストメニューを表示します。

フルスクリーン モードを終了するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **F** キーを押します。
- 画像ファイルを右クリックして、**[表示] > [フルスクリーン]**を選択します。



表示モードで、ショートカットキーの **F** キーを使用すると、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モードペインを使用する

表示モードペインを開くには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ペイン] > [ヒストグラム] をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
 - [ペイン] > [虫めがね] をクリックして、マウスカーソルの場所を拡大表示します。
 - [ペイン] > [ナビゲータ] をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
 - [ペイン] > [ページビュー] をクリックして、複数ページの画像の[ページビュー]パネルを開きます。
 - [ペイン] > [プロパティ] をクリックして、画像の IPTC、EXIF、ACDSee メタデータを表示します。
 - [ペイン] > [顔検出] をクリックして、[検出された顔](#)を表示して、名前を付けます。

画面下のツールバーを使用する

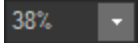
画面下のツールバーを使用すれば、よく使うツールにすばやくアクセスできます。



これらのツールは、画像ファイルを表示している時しか使用できません。

画面下のツールバー

	画像バスケットに追加	画像をアクティブな画像バスケットに追加する。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	顔ツール	ACDSee顔検出を使用して、画像内の人物を検出します。識別された顔に名前を付けることができます。
	スクロール	表示モードウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。
	選択	画像の一部を四角形で選択します。
	ズーム	画像をズーム表示します。クリックすると拡大表示に、右クリックすると縮小表示に切り替わります。
	フルスクリーン	画像をフルスクリーンで表示します。 F キーを押して、フルスクリーン表示に切り替えます。
	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	アクションブラウザペイン	[アクションブラウザ]ペインを開くと、編集モードのすべての調整の記録し、編集を「再生」して他の画像へ 編集 を適用できます。アクションブラウザで編集モードで利用可能な調整を使って複数の写真を一括 編集 できます。さらに、調整レイヤーを使用して記録を適用した後、 編集モード で画像を開き、 レイヤードエディター でレイヤーの調整を続けて、非破壊的な画像編集ができます。
	自動ライトEQ	画像のLightEQ™調整を自動的にプレビューします。
	自動レンズ	実際にファイルにフィルターを適用せずに、画像のいくつかのフィルターをプレビューします。

	スナップショット	画像に加えられた調整を保存します。編集プロセスのスナップショット保存ポイントは、いつでも元に戻すことができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されるため、スナップショットの保存を切り替えることができます。
	自動切り替え	自動表示を使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。
	顔の輪郭を表示するには:	画像内の顔の周りにボックスを配置します。
	ツールバー オプション	[ボタンの追加または削除]メニュー項目を含むメニューを作成します。
	下側のパネルを非表示	下部のフィルムストリップを非表示にします。
	ナビゲータ	拡大表示された画像の上にクイックナビゲータペインが表示されます。(このボタンは、スクリーンサイズより大きい画像が拡大表示された場合にのみ有効になります。)
	ズーム スライダー	表示モードで表示される画像のサイズをコントロールします。スライダーをドラッグして調整します。
	ズーム ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。
	ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用します。ズーム レベルを変更すると、変更したズームレベルが表示するすべての画像に適用されます。
	原寸サイズ	画像の実寸サイズで表示します。
	ウィンドウに合わせて表示する	表示モードのサイズに合わせて画像を表示します。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、表示モードから Windows Touch Gestures™ を使用して画像を素早く表示することができます。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用するには：

表示モードで画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を 1 枚ずつスクロールします。この方法は、表示モードの左下にあるフィルムストリップファイル一覧からも使用することができます。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップして、ACDSeeの管理モードに戻ります。
- 画面に指を 2 本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2 本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を 100 % 以上縮小したあとは、画像を指でパンすることができます。

管理モードに切り替える

表示モードから、いつでも管理モードに戻ることができます。

表示モードから管理モードに戻るには：

以下のいずれかの操作を行います。

- 画像をダブルクリックします。
- [管理] モードボタンをクリックします。

編集モードを使用する

編集モードでは画像にさまざまな変更を適用することが可能です。明るさや色合いを変更して画像全体の見た目を変更したり、画像のトリミング、反転、サイズ変更、回転などを適用することができます。また選択範囲を作成して、変更を一部だけに適用することも可能です。赤目補正、枠線の追加や各種特殊効果機能も用意されています。

[編集] モードでは次の作業が可能です：

- [選択範囲ツール](#)または[編集ブラシ](#)を使用して、選択範囲を作成し、画像の一部に編集を適用します。
- [欠陥](#)や[赤目](#)を除去します。
- [テキスト](#)、[透かし](#)、[枠](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[特殊効果](#)、または [描画](#)の追加。
- 画像の[トリミング](#)、[反転](#)、[サイズ変更](#)、または[回転](#)。
- [露出](#)、[レベル](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、および[ライティング](#)フィルターを使用したライティングの調整。
- [ホワイトバランス](#)、[カラーEQ](#)、[カラーLUT](#)、[スプリットトーン](#)、または[モノクロへの変換](#)フィルターを使用した色の調整。
- [シャープネス](#)、[明瞭度](#)、[ノイズ除去](#)、[ノイズ追加](#)、または[ぼかし](#)のフィルターを使用したディテールの追加。

365 モードを使用する

365 モードを使用して、seedrive.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。seedrive.acdsee.com は、ACDSee ホームユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。365 モードとseedrive.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。

365 モードには次の 2 つがあります: seedrive.acdsee.com と転送です。「seedrive.acdsee.com」では、ユーザーの seedrive.acdsee.com アカウントで画像を参照したり、アカウントの設定を変更したりすることができます。[転送] のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の seedrive.acdsee.com アカウントが表示されます。画面の下部に表示されているコンピューター内の画像をクリックし、画面の上部にドラッグするだけで、画像を seedrive.acdsee.com アカウントにアップロードできます。



365 モードの画像を、「編集」モードで開いて編集処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「編集」モードで画像を開きます。

画像をアップロードする

seedrive.acdsee.com アカウントに画像をアップロードするには:

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. アカウントにログインします。
3. **転送**をクリックします。
上下に分割されたスクリーンが表示されます。下半分の領域にはコンピュータに保存されている画像が表示されます。
4. アップロードする画像を選択します。複数の写真を選択するには、キーボードの **Shift** キーまたは**Ctrl**キーを押します。
5. スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、seedrive.acdsee.com アカウントにアップロードします。



seedrive.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。

ダッシュボードモードを使用する

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、データベースの統計情報を1か所で簡単に監視できます。カメラデータは画像のメタデータから収集され、ファイル情報はACDSeeデータベースから分析されます。最も正確な情報を表示するために、ファイルが[カタログ化](#)されていることを確認してください。

ファイルのカタログ化

ファイルをカタログ化するには、次のいずれかの操作を行います:

- ツール|データベース| **カタログ**に移動します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボードモードのタブ

ダッシュボードモードは4つのタブで構成されており、それぞれ異なる視点でデータを確認できます:

- **概要タブ:** 写真のアクティビティとデータベースステータスのハイレベルな概要を表示します。
 - 上部のグラフには、月別または年別の写真数が表示されます。ドロップダウンメニューを使用して年別表示と月別表示を切り替え、「前へ」および「次へ」ボタンを使用して期間を移動できます。
 - グラフの下には以下の情報が表示されます:
 - **データベースの概要:** データベースの総サイズ、ファイルとフォルダの総数、最終バックアップ日。
 - **カメラの概要:** 最も使用されたカメラ、カメラの総数、お気に入りのISO設定。

- **ファイルの概要:**画像およびビデオファイルの数、お気に入りのファイル形式、お気に入りの画像解像度。



このタブは、写真コレクションとデータベースの健全性をすばやくチェックするのに役立ちます。

- **データベースタブ:**データベースに関する詳細情報を表示し、サイズ、構造、バックアップステータスを追跡できます。

- **データベースの総サイズ:**データベースのファイルパスが含まれます。
- **ファイル情報:**画像ファイル、ビデオファイル、その他のファイルの内訳。
- **フォルダ情報:**参照したフォルダ、参照したリモートフォルダ、参照したリムーバブルフォルダの数。
- **孤立したアセット:**孤立したファイルとフォルダの数を表示します。
- **ACDSeeデータベースのバックアップ:**最終バックアップ日を表示し、データが安全であることを確認できます。
- **サムネイル情報:**サムネイルキャッシュのサイズと、サムネイルを持つ画像の数が含まれます。



このタブを使用して、データベースのパフォーマンスを監視し、バックアップとサムネイルが最新であることを確認してください。

- **カメラタブ:**カメラとレンズの使用状況を表示します。

- **カメラの概要** パネル(左側)には、最も使用されたカメラ、レンズ、焦点距離、絞り、シャッタースピード、ISOがハイライト表示されます。
- メイン画面には以下が含まれます:
 - カメラ、レンズ、焦点距離別の写真数を、パーセンテージの内訳とともに示す円グラフ。
 - 絞り、シャッタースピード、ISO別の写真数を示す棒グラフ。
- これらのグラフは、**表示 | グラフ**からオン/オフを切り替えることができます。



このタブは、最も頻繁に使用するレンズや設定など、撮影の習慣を理解するのに役立ちます。

- **ファイルタブ:**画像およびビデオファイルに関する情報を表示します。

- **ファイルの概要** セクション(左上)には、ファイルの総数、お気に入りのファイル形式、最も一般的な画像解像度が表示されます。
- 2つの円グラフでファイル形式とビット深度の内訳を表示し、凡例にパーセンテージが表示されます。
- 棒グラフには、コレクション内の上位20個の画像解像度が表示されます。



このタブでは、最も頻繁に扱うファイルの種類についての洞察が得られます。

章 2: ヘルプを表示する

クイックスタートガイドを使用する

このクイックスタートガイドにより、ACDSee のもっとも重要な機能に関する簡単な説明を参照することができます。出だしの2ページには、ユーザーのワークフローを簡略化するためのいくつかの設定に関する説明が記載されています。これらのページの後のクイックスタートガイドの左側には、一連のリンクが含まれており、これらのリンクをクリックしてACDSeeの主な機能のツアーを見ることができます。または、[次へ]ボタンを使用することもできます。

クイックスタートを閉じるには:

ダイアログボックスの左下コーナーにある[起動時に常に表示する]オプションからチェックマークを解除して、[閉じる]をクリックします。

クイックスタートガイドを再表示するには:

メニューバーの[ヘルプ] > [クイックスタートガイド]をクリックします。

クイックスタートガイドを使って、その他の情報にアクセスするには:

クイックスタートガイドの左手にある各リンクをクリックするか、[次へ]ボタンをクリックして、ツアーをご覧ください。

オプションを設定するには:

最初のページで、[参照]ボタンをクリックして、ACDSeeが今後開くフォルダーを選択します。

2番目のページで、[選択]ボタンをクリックして、ACDSeeデータベースに記録するフォルダーを選択します。

また、2番目のページでは、右側のドロップダウンメニューから間隔を選択して、ACDSeeがデータベースのバックアップを通知する頻度を指定できます。

その他のリソースとサポートを見る

ヘルプメニューの使用

ACDSeeメニューバーの[ヘルプ]メニューには、プラグインのヘルプファイルを開くためのリンクと、更新、ニュースレターやシステム要件を見つけることができるACDSee Webサイトにリンクするオプションが含まれています。他のリンクをクリックすると、登録ページ、またはコミュニティに参加してACDSeeフォーラムに参加できるコミュニティホームページに移動します。[ヘルプ]メニューでは、ライセンスコードを入力して、ACDSeeの試用版をフルバージョンに変換することもできます。

[ヘルプ]をクリックすると、オンラインヘルプファイルを含むオンラインとオフラインのヘルプ資料へのリンクメニューが表示されます。このメニューは、[ヘルプの内容]をクリックしてオンラインでいつでも開くことができます。ヘルプメニューから、ビルド内プラグインヘルプ、ソフトウェアとそのモードのナビゲートに役立つクイックスタートガイド、ソフトウェア、ライセンスとお使いのバージョンに関する情報を提供することの製品についてにアクセスすることもできます。

F1キーを押して、関連するヘルプファイルページをアプリケーション内で開きます。

[カスタマーサポート](#)へのリンクもあります。

オンラインヘルプと私たちのコミュニティ

アプリ内ヘルプメニューにあるオンラインヘルプへのリンクに加えて、YouTubeチャンネルに関する総合的なチュートリアルがあり、他のACDSeeユーザーとソフトウェアについて話し合うことのできるオンラインフォーラムが用意されています。[ACDSeeコミュニティ](#)にアクセスすると、ブログ、チュートリアルビデオ、フォーラム、オンラインレッスンを見ることができます。

章 3: 管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。管理モードは、デスクトップのショートカットアイコンをクリックして ACDSee ホームを起動する際、常に表示されます。

管理モードでは、以下の操作が可能です：

- [ACDSee ホームページ](#)では、検索や主要な機能に素早く簡単にアクセスできます。
- デバイス、CD、DVD、またはディスクから[写真をインポート](#)します。
- [ファイルとフォルダーを参照](#)します。
- ファイルにタグを付け、カテゴリ、カラーラベル、重要度、キーワード、その他のメタデータを追加して、[ファイルのカタログを作成](#)します。
- [ファイルを検索](#)し、保存済み検索を作成します。
- ファイルの電子メール送信、スライドショーの作成、お気に入りの写真 Web サイトへの画像のアップロードなど、[ファイルを公開および共有](#)します。
- [ファイルを公開および共有](#)します、ファイルの電子メール送信、スライドショーの作成、お気に入りの写真 Web サイトへの画像のアップロードなどが含まれます。
- [画像を印刷](#)します。
- [ACDSee アクティビティマネージャー](#)でキュー内のアクティビティとアイドル アクティビティを管理できます。
- [複数のファイルの編集](#)を行います。
- [ACDSee ホーム データベース](#)の管理とメンテナンスを行います。
- メタデータを適用すると、フォルダーの次の画像に自動的に[進み](#)ます。
- 画像内の顔[を検出](#)します。

ACDSee ホームページ

プログラムを起動すると、デフォルトで **ACDSee ホームページ**が表示されます。この動作は [起動オプション](#)で変更できます。ホームページでは検索や主要な機能に素早く簡単にアクセスできるため、プロジェクトの作業をスムーズに開始できます。



フォルダーの閲覧や検索の実行は、新しいタブで開きます。詳細については、[ACDSee タブによるブラウズ](#)を参照してください。

ACDSee ホームページには 3 つのエリアがあります。

1. [クイック検索バー](#)
2. [検索ボタン](#)
3. [アクションボタン](#)



クイック検索 バー

ホームページ上部のクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダーを素早く特定します。クイック検索オプションを使用して検索を絞り込んだり拡張したりでき、結果をファイルリストペインで確認できます。

クイック検索バーを制御するには 3 つの方法があります。

- **テキストの消去:** クイック検索では、検索条件を入力できます。**X** をクリックすると、現在クイック検索バーにあるテキストが削除されます。
- **検索の開始:** 虫眼鏡をクリックするか、**Enter** キーを押します。
- **検索パラメーターの調整:** オプションメニューを使用して、検索パラメーターを設定します。

詳細については、[クイック検索バーの使用](#)を参照してください。

検索ボタン

ホームページには、素早くアクセスできるように定義済みの検索が 5 つ用意されています。

- **最近変更されたファイル:** デフォルトで、過去 1 週間以内に更新されたファイルを表示します。この検索では、Windows の「更新日時」フィールドを使用します。
- **最近追加されたファイル:** デフォルトで、過去 1 週間以内に追加されたファイルを表示します。この検索ではデフォルトで「撮影日」を使用しますが、ホームページオプションで「データベースへの追加日」に変更することもできます。
- **最近変更されたファイルおよび最近追加されたファイルの対象期間は、ボタンの右上隅にあるオプションメニュー、または [ACDSee ホームページ オプション](#)で調整できます。**
- **タグ付き:** タグ付けされているファイルを表示します。詳細については、[画像にタグを付ける](#)を参照してください。
- **埋め込み保留中:** ACDSee メタデータが適用されているが、まだ埋め込まれていないファイルを表示します。詳細については、[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)を参照してください。
- **名前のない名前:** 名前が割り当てられていない、検出された顔が含まれるファイルを表示します。詳細については、「[管理モードで顔を検出する](#)」を参照してください。

アクションボタン

検索ボタンの下に、ホームページには 5 つのアクションボタンがあります。

- **ショートカットのカスタマイズ:** [ショートカットのカスタマイズ] ダイアログを開き、プログラム全体のキーボードショートカットをカスタマイズできます。詳細については、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)を参照してください。
- **インポート:** 画像を追加するための**インポート ウィンドウ**を開きます。オプションメニュー を使用して、デバイス、スキャナー、ディスク、CD/DVD などのインポート元を選択します。詳細については、[ACDSee でファイルをインポートする](#)を参照してください。

 インポートは、選択した**インポート元**に基づいてのみ実行されます。

- **データベース:** デフォルトで [データベースのバックアップ] ダイアログを開きます。オプションメニュー で設定を変更することにより、[ACDSee データベース最適化 ウィザード] または [データベースのメンテナンス] ウィンドウを開くように変更できます。詳細については、[データベースのバックアップ](#)、[データベースの最適化](#)、および [データベースのメンテナンス](#)を参照してください。
- **重複の検索:** [重複探査機] ダイアログを開き、データベース内の重複 ファイルを特定できます。詳細については、[重複ファイルの検索](#)を参照してください。
- **ファイルのカタログ化:** 新しいファイルをカタログ化するための [ファイルのカタログ化] ダイアログを開きます。詳細については、[データベースでのファイルのカタログ化](#)を参照してください。

ACDSee ホームでファイルをインポートする

ACDSee ホームを使って、デジタルカメラ、フラッシュデバイス、CDやDVDなどのリムーバブルデバイスから画像をダウンロードできます。[管理] モードで、[ファイル]>[インポート]>[ディスクから]のオプションを使用すると、ネットワークおよびマッピング可能なあらゆる種類のディスクやドライブから、元のフォルダやサブフォルダ構造を保持したままファイルをインポートすることもできます。

Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると、Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示され、以下から1つを選択するようにメッセージが表示されます。

- **ACDSeeを使用して画像をインポートする:** このオプションを選択して、[インポート]ダイアログボックスを開きます。ここでファイルの名前を変更したり、バックアップ、保存先を指定します。インポートの設定に名前を付けて保存し、後でそれを再度使用することも可能です。RAW とJPEGの両方のフォーマットで撮影可能なカメラを使っている場合には、取り込み日とRAW + JPEG オプションの詳細設定を作成することができます。また、特定のファイルやプロジェクト用に、名前の変更テンプレートを作成することも可能です。
- **ACDSeeを使用して写真を管理する:** ACDSee内のファイルを参照するには、このオプションを選択します。ファイルをインポートするか、デバイスから直接ファイルをコピー/貼り付けすることができます。
- **Windowsを使用して写真とビデオをインポートする:** Windowsを使用してファイルをインポートしたい場合は、このオプションを選択します。

ご利用になっているコンピュータにインストールされているアプリケーションによって、上記以外のオプションから選択することが可能な場合があります。

 コンピュータがデバイスをドライブとして認識しない場合は、デバイスの取扱説明書を参照してドライブとして搭載する方法を確認します。あるいは、カードリーダーを使用してメモリーカードにアクセスします。

特定デバイスの種類からファイルをインポートする

詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください。

- [デバイスから写真をインポートする](#)
- [CDまたはDVDから写真をインポートする](#)
- [ディスクから写真をインポートする](#)

RAW + JPEG オプション

写真のインポートに使われるデバイスのタイプに関係なく、元のカメラがRAW ファイル形式とJPEG ファイル形式の両方を対応する場合は、画像のインポートを目的のワークフローに合わせて調整できます。

RAW + JPEG インポートオプションを設定するには:

1. [ACDSeeインポート]ダイアログで、左下の[詳細...] ボタンをクリックします。
2. [高度なインポートオプション]ダイアログで、[RAW + JPEG] フィールドセットに移動します。
3. 次のいずれかを有効にします:
 - インポート先として選択したフォルダに両方を配置: RAW ファイルとJPEG ファイルの両方を、ACDSeeインポートダイアログの[場所] フィールドセットで決定されたフォルダにインポートします。
 - サブフォルダにJPEGを配置: [サブフォルダ名] フィールドで設定したサブフォルダにJPEG ファイルのみを配置します。
 - RAWをサブフォルダーに配置: [サブフォルダー名] フィールドで識別されたサブフォルダーにRAW ファイルのみを配置します。
4. [JPEGをサブフォルダーに配置] または [RAWをサブフォルダーに配置] ラジオボタンが有効になっている場合は、[サブフォルダー名] フィールドに名前を入力してください。
5. [高度なインポートオプション]ダイアログで[OK]をクリックします。
6. [ACDSeeインポート]ダイアログで[インポート]をクリックします。



[サブフォルダーにJPEGを配置]が有効になっている場合、一致するRAWがあるかどうかに関係なく、すべてのJPEGがサブフォルダーに配置されます。[サブフォルダにRAWを配置]を有効にする場合にも同じことが当てはまります。一致するJPEGがあるかどうかに関係なく、すべてのRAW画像がサブフォルダに配置されます。

リムーバブル デバイスについて

デジタルカメラ、スキャナ、メモリーカードからACDSeeで画像を取り込む方法は何通りかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです。

- **USBリムーバブル デバイス:** リムーバブル デバイスには、USBカードリーダーを使ってコンピュータと接続できるメモリーカード、コンピュータのスロットに直接挿入できるカメラのメモリーカード、フラッシュドライブなどがあります。USBリムーバブル デバイスはご利用になっているコンピュータによって検出され、リムーバブル ドライブとして表示されます。
- **Windows Image Acquisition(WIA):** Windows Image Acquisition(WIA) ドライバーを使用してコンピュータと通信するカメラとスキャナー。Canon製カメラなど、一部のカメラはWIAを使用します。ACDSee ホームではWIAプロトコルを自動的に検出します。



オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、DirectX 9.0cおよびQuickTimeが必要です。

デバイスから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスには、カメラ、カードリーダー、フラッシュドライブ、その他の大容量記憶装置からのインポートに関するオプションが多数用意されています。数回のクリックでファイルを手軽にインポートすることができます。あるいは、いくつかのオプションから選択してワークフローを効率化したり、インポートごとに複数のタスクを実行したりすることもできます。

[インポート] ダイアログボックスでは、日付またはファイルの種類別に、デバイス上に存在するファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルのサイズを変更して、希望するファイルとデバイスに残しておくファイルを区別し、選択したものだけを表示します。

ファイルのインポート先フォルダやサブフォルダを選択したり、インポート中にファイルのバックアップを作成したり、名前を変更したり、カメラにオプションがある場合には自動回転させたりすることができます。[詳細設定] では、使用する日付を変更したり、RAWとJPEGファイルの両方のフォーマットを扱うカメラを使用している場合、これらのファイルの保存先を指定したりすることが可能です。

インポート中に、カテゴリ、IPTC、ACDSee メタデータを追加してファイルを整理することもできます。

また、これらの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。



カメラがリムーバブル ドライブとしてコンピューターに接続されている場合は、ファイル一覧やフォルダーペインから写真をコピーするだけの操作を実行することもできます。ACDSee ホームはリムーバブルデバイスを検出し、フォルダーペインに表示するためです。使用するカメラがコンピューターにどう接続されるのかよくわからない場合は、[\[ACDSeeを使用してファイルをインポートする\]](#)の[リムーバブルデバイスについて]を参照してください。



一部のキャノン製カメラなど、ご利用になっているカメラの機種によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピューターとコミュニケーションするものがあります。ご利用のデバイスがこれらのプロトコルを使用している場合、[ファイル]>[インポート]メニューを選択し、[デバイスから]をクリックしてインポートしてください。ACDSee ホームはこれらのプロトコルを自動検出します。

【インポート元】ダイアログボックスを使って写真をダウンロードするには以下の手順を実行します：

1. カメラまたはデバイスをコンピューターに接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピューターと適切に接続されているかを確認します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、**[ACDSeeを使って画像をインポート]**を選択します。
 - コンピューターに複数のデバイスが接続されている場合は、インポート元のデバイスを一覧から選択し、**[OK]**をクリックします。
 - [管理]モードで、**[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]**をクリックします。
 - キーボードの **Alt + G** を押します。
3. 以下で解説されているように、インポートダイアログボックスのオプションを設定します。
4. **[インポート]**をクリックします。
5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、**[はい]**をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。



カメラからオーディオやビデオファイルをダウンロードする際、DirectX 9.0c およびQuickTimeが必要です。

インポート元 オプション

インポートする項目を選択

インポートする項目を選択

次のいずれかを選択してインポートする項目をコントロールします。

- **新規ファイル:** 過去にインポートしていないファイルのみをインポートします。
- **すべてのファイル:** すべてのファイルをインポートします。
- **カスタム:** 選択したファイルをインポートします。ファイルのチェックボックスをオン/オフにすることでインポートするファイルをコントロールします。

表示方法

日付

作成されたすべての日付け別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。日付の横にあるチェックボックスをオンにすると、その日の選択を解除することができます。日付すべての選択を解除するには、[**すべての日付**] チェックボックスをオフにします。

ファイルの種類

ファイルの種類別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。ファイルの種類のあるチェックボックスをオフにすると、そのファイルの種類の選択を解除することができます。ファイルの種類すべての選択を解除するには、[**すべてのファイルの種類**] チェックボックスをオフにします。

すべて表示

デバイス上に含まれる、すべてのファイルのサムネイルが表示されます。

選択されたものを表示

インポート用に選択されたファイルのサムネイルのみが表示されます。

インポートプリセットを選択

【インポート設定】ドロップダウンメニュー

最近使用されたインポート設定の名前が表示されます。次から1つ選択します。

- **現在の設定:** 現在の設定をインポートに使用します。
- **最近使用した設定:** 前回のインポート時に適用した設定を使用します。
- **なし:** 現在のインポート設定をすべてクリアします。

インポート設定の保存



現在選択されているインポート設定に名前を付けて保存しますので、後で同じ設定を使用することができます。インポート設定を保存(編集)するには、[**保存**] アイコンをクリックして新規の名称を入力(または既存の設定を再保存)します。

インポート設定の新しい名前が、ドロップダウンメニューに表示されるようになります。

インポート設定の削除



【インポート設定】ドロップダウンメニューで現在選択されているインポート設定を削除します。

場所

【保存先を選択】ドロップダウンメニュー

最近使用された保存先の名前が表示されます。次から1つ選択します。

1. **前回の保存先:** 前回のインポート時と同じ保存先を使用します。
2. **なし:** 現在の保存先設定をすべてクリアします。

【サブフォルダに格納する】ドロップダウンメニュー

次の定義済みサブフォルダオプションを表示します。

- **名前による単一フォルダ:** [名前]フィールドに入力した名前を付けたサブフォルダを作成します。[名前]フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。新規に入力された名前のフォルダ内に、すべてのファイルが格納されます。
- **今日の日付による単一フォルダ:** 今日の日付をフォルダ名にしたフォルダを作成し、ファイルすべてをそのフォルダ内に格納します。
- **今日の日付でネストされたフォルダ:** 上下にネストされた一連のフォルダを、今日の日付および[形式]フィールドで選択した形式に基づいて作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、すべてのファイルは一番下のフォルダに格納されます。

	・ ファイルの日付でネストされたフォルダ: ファイルの日付 および[形式]フィールドで選択した形式に基づいて、一連のネストフォルダを複数作成します。[形式]フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。例で示されているようにフォルダが作成され、ファイルは各日付の付いた一番下のフォルダに格納されます。 ・ ファイルの日付でフォルダを分ける: [形式] ドロップダウンオプションで選択した形式に沿った個々のファイルの日付に合わせて、個別のフォルダを作成します。 ・ サブフォルダ名を保持する: インポート時に [ディスクから] オプションを使用する場合、既存のフォルダ名を保持します。例えば、フラッシュドライブやCDに複雑に構成されたサブフォルダが含まれている場合、フォルダツリーを変更せずにそのままインポートされます。
フォーマット	入れ子になったフォルダ オプション用のフォーマットが表示されます (上記を参照ください)。
例	現在選択されている設定でフォルダを作成した場合の、入れ子フォルダの例が表示されます (上記を参照ください)。
【バックアップ先】 ドロップダウンメニュー	[格納先] で選択したサブフォルダと全く同じ複製フォルダを使用して、バックアップ ファイルのセットを作成します。 次のいずれかの操作を行います。 ・ [参照] をクリックしてから、バックアップ先として使用する既存フォルダを指定します。 ・ [参照] に続き [フォルダの新規作成] をクリックして、バックアップ先となる新規フォルダを作成します。  既存のACDSee メタデータはバックアップ コピーに含まれますが、インポート時に追加されたカタログ設定 (IPTCまたはACDSeeメタデータ) は一切含まれません。
ファイル	
【ファイル名を変更する】 ドロップダウンメニュー	定義済みの名前の変更テンプレートを使用して、インポート時に名前が変更されます。 ・ 日付 / 時刻 - ファイル名: ファイルを作成した日付 と時刻に元のファイル名をつなげて、各ファイルの名前を作成します。 ・ 日付 / 時間: ファイルを作成した日付 と時刻を使用して、各ファイルの名前を作成します。 ・ カメラ - 連番: カメラの名前 と1から始まる連番を併せて、各ファイルの名前を作成します。 ・ 日付 / 時間 - 連番: ファイルを作成した日付 と時刻に1から始まる連番を併せて、各ファイル名を作成します。 ・ カメラ - ファイル名: カメラの名前 と元のファイル名を併せて、各ファイルの名前を作成します。 カスタム の名前の変更テンプレートを作成し保存した場合も、このリストに表示されます。
編集	[名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開き、 名前の変更用テンプレートを自由に作成して保存 することができます。
【メタデータを適用】 ドロップダウンメニュー	保存されたメタデータのプリセット名を選択するか、管理のプリセットを選択して [メタデータプリセットの管理] ダイアログを開きます。
カスタマイズ	プロパティ ペイン メタデータ タブ: ACDSeeとIPTCメタデータをフィールドに入力して、インポートするファイルに追加します。 プロパティ ペイン カテゴリ タブ: インポートしたファイルを、このタブで選択したカテゴリに振り分けます。カテゴリは複数選択することができます。
画像を自動回転する	ご利用になっているカメラが、このオプションに必要な情報を作成する機種の場合、インポート時に画像が自動回転されます。

インポート後にソースから項目を削除する

インポート後に、インポートした項目を元の場所から削除します。

アドバンス

ACDSeeデータベースの日付

ファイルの日付やRAWとJPEGファイルの格納先などを指定することができる [アドバンス インポート オプション] ダイアログ ボックスが開かれます。

ACDSee ホームデータベースを設定するには次のうちの1つをファイルの日付として使用する必要があります：

- **EXIFの日付**：カメラが画像に埋め込んだEXIFの日付を使用します。
- **ファイルの更新日時**：ファイルが前回更新された日付を使用します。
- **特定の日付**：カレンダーのドロップダウン矢印をクリックして、指定した日付を使用します。

RAW+JPEG

RAWとJPEGファイルの格納先を、次から1つ選択します。

- **両方のファイルを指定先フォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWとJPEGファイルを格納します。
- **JPEGファイルをサブフォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になるサブフォルダ名 フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのJPEGファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。
- **JPEGファイルをサブフォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になるサブフォルダ名 フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのJPEGファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。



IPTCフィールドに設定した値は、対応するEXIFフィールドに反映されます。

スキャナから写真をインポートする

ACDSeeを使って画像をスキャンし、それをアクセス可能な特定の場所にインポートします。

スキャンした画像の保存先フォルダを指定するには：

1. [ツール]>[オプション]>[管理モード]をクリックします。
2. [管理モード]ページの [スキャン保存先] セクションで、[フォルダの参照] ボタンをクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログで、スキャンした画像の保存先フォルダを選択します。
4. [OK]を押します。

画像をスキャンするには：

1. [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[スキャナー取り込み]をクリックします。
2. スキャン設定を自由に構成します。スキャンダイアログが Windowsによりコントロールされているため、これらの設定はお使いのOSとACDSeeのバージョンにより異なります。
3. フォルダペインを使ってスキャン済み画像の保存先として設定した場所に進みます。

CDまたはDVDから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスまたは [フォルダペイン](#)を使用して、CDまたはDVDから写真をダウンロードできます。インポートする前に、他のフォルダを参照するようにCDを参照して、どの写真をインポートするか確認してから、新しい場所にコピー&貼り付けすることができま

す。

[インポート] ダイアログを使用すると、サブフォルダオプションを設定して、フォルダ名を含む複雑なフォルダ構造をそのままインポートすることが可能です。インポートしながら画像を整理したり、バックアップフォルダを作成したりすることもできます。

CDまたはDVDから写真をインポートするには:

1. ドライブにCDまたはDVDを挿入します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、[ACDSeeを使って画像をインポート]を選択します。
 - 複数のCDまたはDVDがお使いのコンピュータに接続されている場合、使用したいデバイスを選択し、[OK]をクリックします。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[CD/DVDからインポート]の順にクリックします。
3. [インポート元]ダイアログボックスで、適用したい[インポート元]オプションを選択し、[インポート]をクリックします。
4. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、[はい]をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。

ディスクから写真をインポートする

ACDSee ホームを使用すると、他のストレージデバイス、コンピュータ、ネットワークなどから、簡単に写真をインポートできます。コンピュータがマップできるあらゆるデバイスに対応しています。リムーバブルドライブやネットワーク、ディスクやその他のコンピュータと接続すると、ACDSee ホームの[フォルダ]ペインにリムーバブルドライブとして表示され、そこから参照・確認できます。ファイルをACDSeeにコピー&ペーストするだけです。

複雑なフォルダ構造のディスクやドライブから写真をインポートしようとしている、あるいはインポートしながら名前変更やバックアップファイルを作成して整理したい場合には、[インポート]ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスには、インポート中に行うことができるタスクの設定が備えられています。

ディスクから写真をインポートするには:

1. ディスクとコンピュータを接続します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、[ACDSeeを使って画像をインポート]を選択します。
 - コンピュータにディスクやドライブを複数接続している場合は、使用したいデバイスを選択し、[OK]をクリックします。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]をクリックします。
3. [フォルダの参照]ダイアログボックスから、リムーバブルドライブまたはデバイスを指定し、[OK]をクリックします。
4. [インポート元]ダイアログボックスで、使用したいオプションを選択し、[インポート]をクリックします。
5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、[はい]をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。

名前の変更テンプレートを作成する

[インポート]ダイアログを使って、ハードドライブに画像がコピーされている間、各ファイルに固有の名前を付けるテンプレートを作成したり、それに名前を付けて保存したりすることができます。画像をインポートする度に、テンプレートを再利用することも可能です。名前の変更テンプレートは、連番、カスタムの名前、各ファイル特定の情報を含むことができます。異なる種類のファイルに、異なる名前変更テンプレートを作成・保存できます。例えば、異なるカメラや異なるタイプのファイルに、異なる名前変更テンプレートを設定できます。

ファイル名変更のテンプレートを作成するには:

1. [インポート] ダイアログボックスから、[次に名前を変更する] を選択します。
2. ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します：
 - **日付/時間 - ファイル名**: 画像 ファイルの撮影日 と時間にオリジナルのファイル名を付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **日付/時間**: ファイルの撮影日 と時間を使った形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **カメラ - 連番**: カメラ名 と連番を使った形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **日付/時間 - 連番**: ファイルの撮影日 と時間に連番が付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **カメラ - ファイル名**: カメラ名 と各 ファイルのオリジナル名 が付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
3. カスタムのテンプレートを作成 する、あるいはシステムのテンプレートに追加 するには、[編集] をクリックします。
4. [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスで、以下の表で解説 されているオプションから選択 します。
5. [OK] をクリック します。



[ビデオとオーディオ ファイルはスキップ] チェックボックスをオンにすると、インポート中にビデオまたはオーディオ ファイルの名前は変更 されません。

名前の変更テンプレートオプション

システム テンプレートのドロップダウン リスト	ドロップダウン リストをクリックして、定義済みのシステム テンプレートを選択します。
新規の名前の変更テンプレート 	[新規の名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。カスタムのテンプレートに使用する名前を入力します。テンプレートの使用目的、または含んでいる情報がすぐにわかるようなテンプレートの名前を付けるように注意します。例えば、カメラ名_撮影者のような名前を付けます。 [保存] をクリックすると、システム テンプレートのドロップダウン リストにその名前が追加されます。
削除します 	現在選択されているテンプレートをドロップダウン リストから削除します。定義済みのシステム テンプレートは削除できませんのでご注意ください。
名前の変更テンプレート	このフィールドを使用して、名前の変更テンプレートを作成します。撮影者の名前を入力した後、アンダースコアを入れて、その次に続くエレメントから区別しやすいように、また読みやすいように気をつけます。 次のプレースホルダを使って、各ファイルが固有名を持つようにします： • * を挿入します。ファイルの名前が変更される際、* (アスタリスク) がオリジナルのファイル名になります。 • # を挿入します。ファイルの名前が変更される際、# (シャープ記号) が連番になります。多数のファイルがある場合は、いくつかの#を挿入します。例えば、### と入力すると、名前が変更された最初のファイルには001、次のファイルには002という風に番号が振られます。1000 以上のファイルをインポートする場合は、# を最低 4 つ (####) 挿入するようにします。 • メタデータのプレースホルダである <> を挿入します。これらの括弧内に指定されたデータが、名前の変更時に置き換えられます。例えば、<カメラ: モデル名> を選択すると、カメラのモデル名が各ファイル名に挿入されます。
メタデータの挿入	クリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開かれます。メタデータの一覧からテンプレートに使用するデータを選択します。
例	[名前の変更テンプレート] フィールドに入力する、あるいはプレースホルダを追加するにつれ、[例] に表示されるテンプレートが変わります。
ビデオとオーディオ ファイルはスキップ	名前の変更中、ビデオとオーディオ ファイルの名前は変更されません。

Lightroom® データベースをインポートする

Adobe® Lightroom® Database インポーターを使用すると、コレクション、キーワード、重要度、カラーラベルを Lightroom® から ACDSeeへインポートできます。キーワード階層は、インポートに選択された画像に埋め込まれているかどうかに関わらず、インポートを行います。



スマートコレクションまたはLightroom CCカタログはインポートできず、Lightroom Classicカタログのみをインポートできます。



Lightroom® を開いたままインポートを開始することはできません。



Lightroom®にある階層とACDSee ホームにあるコレクションの階層が同じ場合、これらのコレクションは統合されます。

Lightroom® データベースをインポートするには：

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]>[Lightroomデータベース]の順に選択します。
2. Adobe Lightroom Database インポーターで [次へ] を押します。
3. 重要度、ラベル、コレクション、キーワードなど、ACDSeeにインポートしたいデータベース情報のチェックボックスをチェックします。
4. [場所] フィールドの隣にある [参照] ボタンを使用して、Lightroom® データベースファイルの場所に移動します。



既定の設定で、フィールドには Lightroom® のデータベース保存場所が表示されるようになっているため、データベースを移動した場合のみ参照が必要になります。

5. [次へ]を押します。
6. 概要をチェックして、表示されている情報が正しいことを確認します。間違っている場合は、[戻る] ボタンを使用して前のページに戻り、訂正します。
7. [次へ]を押します。正常に完了した項目の隣には緑のチェックマークが表示され、失敗した項目の隣には赤いチェックマークが表示されます。
8. [完了]を押します。

LightroomはAdobe Inc.の登録商標です。

モバイルによる画像の操作

ACDSeeを使えば、お使いの携帯電話上で、画像へのアクセス、画像の閲覧、表示、削除、コピー、貼り付けを実行できます。モバイルデバイス上で画像を編集するには、画像をローカルフォルダにコピーする必要があります。

ACDSee を使って携帯電話上で画像にアクセスするには:



モバイル デバイスでファイル共有が有効になっていることを確認します。

1. 携帯電話のプラグインを使って、ACDSeeを開きます。
2. 管理モードで、フォルダペインを使用して、[この PC/ コンピュータ] のお使いの電話に進みます。
3. フォルダペインまたはファイル一覧ペインを使用して、対象の画像に進みます。画像は通常、DCIM というフォルダに保存されています。



ACDSee により、プロパティペインに、お使いのデバイスから提供されたファイル情報が表示されます。

携帯電話に保存されている画像を表示するには:

ファイル一覧ペインで画像をダブルクリックします。



フィルムストリップを使うと、フォルダ内のその画像に進むことができます。

ACDSeeで、携帯電話に保存されている画像を他のフォルダにコピーするには:

[ファイルリスト]ペインで、画像を選択し、次のいずれかを実行します。

- 右クリックして、[コピー]を選択します。別のフォルダを参照し、右クリックして [貼り付け] を選択します。
- 右クリックして [フォルダにコピー] を選択... [フォルダにコピー] ダイアログで、保存先フォルダを選択して、[OK] をクリックします。
- [編集] メニューから、[コピーする] を k、Ctrl + Cを押します。次に、宛先フォルダーで、[編集] メニュー、[貼り付け] をクリックするか、Ctrl + Vを押します。

ACDSee を使って携帯電話から画像を削除するには:



お使いのモバイル デバイスの設定を、PC を使ってファイルを削除できるように変更する必要があります。

[ファイルリスト]ペインで、画像を選択し、次のいずれかを実行します。

- 右クリックして[削除]を選択します。
- **DEL**を押します。
- [編集]メニューから、削除をクリックします。

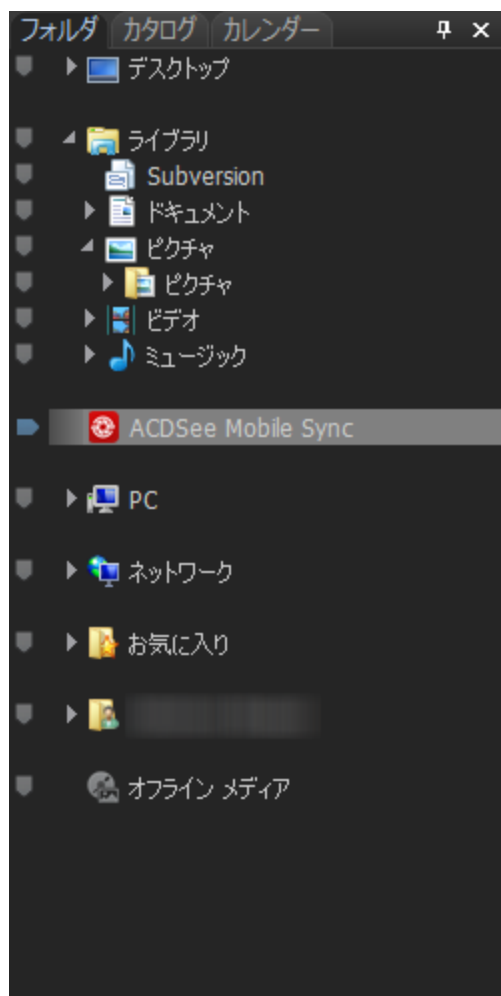
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する

ACDSee Mobile Sync アプリを使って、モバイル デバイスから PC の ACDSee 写真館 に写真やビデオを直接送信できます。この無料アプリは、iOS の場合は Apple App Store で、Android の場合は Google Play ストアで入手できます。



ACDSee Mobile Sync は、ACDSee ホームに送信する写真を追跡し、カラーボーダーにより、新規アイテムと未送信アイテムを区別します。

管理 モードでフォルダペインの ACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、ACDSee ホーム に送信した画像にアクセスできます。



はじめに

アプリをダウンロードするには、次のことができます。

- iOS の場合は、[Apple App Store](#) でダウンロードできます。App Store の検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。
- Android の場合は [Google Play ストア](#) でダウンロードできます。Play ストアの検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。

お使いのデバイスで ACDSee Mobile Sync アプリのインストールが完了したら、アプリを開きます。表示される指示に従って、アプリに写真へのアクセスを許可し、ターゲット(PC上のACDSee)を割り当てます。アプリがターゲットを見つけられない場合は、PCにあるクイックレスポンス(QR)コードをスキャンできます。

QRコードを開くには、次のいずれかを実行します。

- [ツール]、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示...**]を開きます
- 通知領域で、ACDSeeアプリアイコンを右クリックし、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示**]を選択します

次に、モバイルデバイスのカメラを使用してQRコードをスキャンし、ACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加します。

QRコードをスキャンできない場合は、ホスト名またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加することもできます。

ホスト名またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加するには:

1. PCと同じWiFiネットワーク上にいることを確認してください。
2. Mobile SyncアプリのQRスキャナーページで、[**QRコードなしで追加**]を選択します。



イントロをスキップした場合、または他のターゲットを追加したい場合は、[設定]に移動して[**ターゲットの追加**]を選択すると、スキャナーページを再度開くことができます。

3. ホスト名またはIPアドレスを入力し、ポートを入力します。この情報は、PCで[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示**]を選択すると、QRコードの上に表示されます。
4. ターゲットの名前が表示されます。そして、[**このターゲットを追加**]を選択します。
5. これにより、ACDSeeソフトウェアがターゲットとして追加され、写真やビデオを送信できるようになります。



ACDSee Mobile Sync を使って写真やビデオを送信するには、ACDSee ホームを実行しているPCと同じWiFiネットワークに接続する必要があります。

画像とビデオを送信する

ACDSee Mobile Sync アプリからACDSeeに画像や動画を送信することができます。ACDSee Mobile Sync は、送信済みアイテムを追跡し、ACDSee ホームに送信したアイテムが受領された時点で、右下に表示されるポップアップがアイテムが受領されたことを通知します。管理モードでフォルダペインのACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、受信済みファイルを確認できます。

すべての新しいアイテムを送信するには、[**送信**]ボタンを押します。[**送信**]ボタンを押し続けると、選択した写真とビデオがデフォルトのターゲットに送信されます。

特定のアイテムを送信するには、そのアイテムを選択して [**送信**] ボタンを押します。



アプリ内のコンテキストメニューでさらに特殊な選択オプションを使用できます。



ハードドライブ上の ACDSee Mobile Sync フォルダの位置をカスタマイズできます。[「ACDSee Mobile Sync オプションを設定する」](#)を参照してください。

モバイル同期のトラブルシューティング

Mobile Syncを使用するためのデバイスの接続に問題がある場合は、[ACDSee Mobile Sync Web](#)ページのトラブルシューティングガイドを確認してください。

[ファイル一覧]ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧]ペインは、管理モードの中央に位置する大きなペインです。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

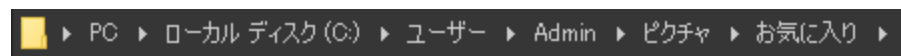
既定設定では、ファイルはサムネイルでファイル一覧ペインに表示されます。しかし、ファイル一覧ペインの表示は、サムネイルから詳細、一覧、アイコン、タイル、フィルムストリップに変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧ペインを使用する

ファイル一覧ペインは、コンテンツバー、ファイル一覧ドロップダウンリスト、ファイル一覧ツールバーの3つのセクションで構成されています。サムネイル上に表示されるオーバーレイアイコンは、その画像またはドキュメントに関する追加情報（処理済、ジオタグ済みなど）を示し、また重要度、タグ、ラベルなどを設定することも可能です。

コンテンツバー

コンテンツバーはファイル一覧ペインの最上部に位置し、現在参照しているフォルダのパスが表示されます。[フォルダペイン]を使用している場合、コンテンツバーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カタログペイン]を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。



カレンダーペインで参照している場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、検索ペインを使用している場合、検索条件の概要が表示されます。

ファイル一覧ドロップダウンリスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。[高度なフィルタ]を選択してカスタムフィルタを作成することも可能です。
グループ	ファイル一覧ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
並べ替え	[ファイル一覧]ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	[ファイル一覧]ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧ツールバー

	バスケットに追加	選択された画像を画像バスケットに追加します。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	自動先送り	自動先送りを使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。
	ズーム スライダー	[ファイル一覧]ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダーをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。
	写真	選択したフォルダの内容をサムネイルで表示します。
	一覧表示	選択したフォルダの内容をファイル一覧として表示します。

オーバーレイアイコン

アイコン	名前	説明	説明
	サウンド / サウンドの再生	埋め込みオーディオまたは関連付けられたオーディオがある場合に表示されます。サウンドアイコンをクリックして、埋め込まれたサウンドの再生が開始されると2番目のアイコンが表示されます。	左クリックして埋め込みオーディオを再生します。
	重要度	ACDSee ホームデータベース内のファイルに重要度が設定されている場合に表示されます。	
	カラーラベル	カラーラベルが設定されている場合に表示されます。	
	埋め込み保留中	ファイルに未書き込みのデータベース内のファイルにACDSeeメタデータが設定されている場合に表示されます。	右クリックして次のどちらかの操作を選択してください： • ACDSee メタデータを埋め込む：メタデータをファイルに書き込みます。 • 埋め込み保留中のアイコンの消去：オーバーレイアイコンは消えますが、メタデータはファイルに書き込まれません。
	ファイル フォーマット	ファイル フォーマットが表示されます。	クリックすると、[プロパティ]ペインのファイルタブにあるファイル情報、画像属性、および EXIF メタデータ (概要)が表示されます。
	カテゴリ	カテゴリが適用されている場合に表示されます。	[プロパティ]ペインの整理タブにあるカテゴリセクションを左クリックして開きます。

アイコン	名前	説明	説明
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合に 표시됩니다。	
	ショートカット	別のファイルへのショートカットが適用されている場合に 표시됩니다。	
	オフライン	ファイルがオフラインデバイスに格納されている場合に 표시됩니다。	
	除外された項目	ファイルが ACDSee ホーム データベースから除外されている場合に 표시됩니다。	
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に 표시됩니다。	
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に 표시됩니다。	
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に 表示されます。	クリックして[マップ]ペインを開きます。
	自動回転	ファイルが自動回転されている場合に 表示されます。	左クリックしてオリジナル画像自体を回転し、EXIF 情報を更新します。
	編集済み	ファイルが編集されている場合に 表示されます。	

オーバーレイ アイコンの表示を変更する

オーバーレイ アイコンを表示 するかどうか、色 で表示 するかどうか、どのアイコンを色 で表示 するかを変更 できます。

オーバーレイ アイコンの表示を変更するには：

管理 モードの[ファイル一覧]ペインの一番上で、次のいずれかを実行 します：

- [表示] > [オーバーレイ モードの切替] を選択して、オーバーレイ アイコンの表示、グレースケールで表示、カラーで表示 を切り替えます。(J)キーをクリックして、利用可能なモードを切り替えます。

- **[表示]>[オーバーレイのハイライト]** をクリックして、どのアイコンをカラーで表示するかを選択します。**(I)** キーをクリックして、利用可能なオプションを選択します。



すべてのオーバーレイアイコンには適用されませんのでご注意ください。どのアイコンを表示するかについての詳細は [サムネイル情報オプション](#) を選択する をご確認ください。

ファイル一覧ペインを最大化する

スクリーンのスペースを最大限に使用するために、管理モードの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化することができます。管理モードで表示される領域は、ファイル一覧ペインと現在使用中のツールバーのみになります。

ファイル一覧ペインを最大化するには:

1. **[表示]>[ファイル一覧の最大化]** をクリックします。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示するには、**[表示]>[フル スクリーン]** を選択します。
3. 管理モードに戻るには、右上隅の **[フル スクリーンを閉じる]** ボタンをクリックします。

ファイルを管理するには:

以下のいずれかの操作を行います。

ファイルを削除するには、ファイル一覧ペインでファイルを右クリックし、コンテキストメニューから **[削除]** を選択するか、**[Delete]** を押します。

ファイルの名前を変更するには、ファイルを右クリックして、コンテキストメニューから **[名前の変更]** を選択するか、**F2** を押します。新規ファイル名を入力し、**Enter** キーを押すこともできます。

フォルダペインで参照する

フォルダペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーと同じスタイルでコンピュータのフォルダ構成が表示されます。フォルダペインで 1 つまたは複数のフォルダを選択し、そのフォルダの内容を [ファイル一覧ペイン](#) に表示することができます。フォルダペインでは、クラウド上で同期しているドライブがノードとして表示され、他のフォルダと同様に参照することができます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。そうすると、特定のファイルを検索することなく、[ショートカットペイン](#) ですばやくアクセスすることができます。

フォルダペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee ホームのデータベースはそのフォルダ内の画像、ドキュメント、メディアファイルをカタログ化します。

フォルダペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、**[ペイン]>[フォルダ]** をクリックします。

大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダペイン内をクリックするだけで、デバイスとそのコンテンツにアクセスすることができます。

複数のフォルダを選択する

イーजीセレクトバーは、フォルダペインおよびカタログペインの左側にある次のような縦列のバーです: 。イーजीセレクトバーを使用して複数のフォルダ、カテゴリ、重要度を選択し、ファイル一覧ペインに該当するファイルを表示することができます。

イーजीセレクトバーを適用するには:

フォルダペインで、表示したい各フォルダの左にあるインジケータを選択します。

また、イーजीセレクトバーを [ブラウズ検索](#) ペインで使用することも可能です。

フォルダの作成と管理

フォルダペインおよびファイル一覧ペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - フォルダを作成するには、[ファイル]>[新規]をクリックし、[フォルダ]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**Enter**キーを押します。
 - フォルダを削除するには、フォルダを選択して**Delete**キーを押します。
 - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、[名前の変更]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**Enter**キーを押します。



CD-ROM などの読み取り専用のファイルシステム上のドライブやフォルダの名前を変更することはできません。

ACDSee タブを使ったブラウジング

管理モードの ACDSee タブを使用すると、複数のフォルダや検索結果などを一つのウィンドウ内で開いて管理することができます。新規タブで簡単にフォルダを開いたり、検索結果を後で参照できるように保持したり、必要に応じて複数の検索を切り替えて実行したりすることが可能です。

管理モードでアセットを扱う場合、最大 **25** 個のタブを開くことができます。

起動時の動作

起動時の動作を設定するには、ツール | オプションを選択し、管理モードを選択します。

ACDSee 起動時の動作を以下の 4 つから設定できます:

- **ACDSee ホームページを開く** 起動時に ACDSee ホームページを表示します。
- **開始フォルダを開く** 指定した開始フォルダを新しいタブで表示します。また、新しいタブを開く際の初期フォルダも決定します。
- **最後のアクティブなタブを再度開く** ACDSee を終了する前に使用していた最後のアクティブなタブを再開します。
- **以前のすべてのタブを再度開く** アプリケーションを終了する前に開いていたすべてのタブを復元します。

ACDSee タブの管理

新規タブで開始フォルダを開く

開始フォルダを新規タブで開くには、以下のいずれかの操作を行います:

- 現在表示されているタブの右側にある **+** をクリックします。
- タブバー上で右クリックし、**新規タブ**を選択するか、**Ctrl + T**を押します。
- 任意のフォルダを右クリックし、**新規タブで開く**を選択します。



開始フォルダ(ホームフォルダ)は管理モードのオプションで変更できます。[管理モードのオプションを設定する](#)を参照してください。

新規タブで特定のフォルダを開く

特定のフォルダを新規タブで開くには、以下のいずれかの操作を行います:

- フォルダを右クリックし、**新規タブで開く**を選択します。ファイル一覧ペインやフォルダペインからこの操作が可能です。
- フォルダを中クリックします。
- タブバーを右クリックし、**重複**を選択するか、**Alt + D**を押します。現在選択されているタブが複製されます。

タブを閉じる

一つのタブを閉じる

複数のタブを開いている場合、以下のいずれかの方法で個々のタブを閉じることができます：

タブの X をクリックする。	2 つ以上のタブが開いている場合に表示されます。
タブを中クリックする。	クリックしたタブを閉じます。
タブを右クリックして タブを閉じる を選択するか、 Ctrl + W を押します。	現在選択しているタブを閉じます。

複数のタブを閉じる

複数のタブを開いている場合、以下のいずれかの操作で複数のタブを閉じることができます：

タブを右クリックし、 他のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブ以外のすべてのタブを閉じます。
タブを右クリックし、 左側のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブより左側にあるすべてのタブを閉じます。
タブを右クリックし、 右側のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブより右側にあるすべてのタブを閉じます。



管理モードでは、常に最低 1 つのタブが開いた状態になります。

タブの移動(ナビゲーション)

キーボードショートカットを使用して、タブ間を素早く移動できます：

次のタブへ移動	Ctrl + Page Down または Ctrl + Tab を押します。
前のタブへ移動	Ctrl + Page Up または Ctrl + Shift + Tab を押します。

タブ間のファイル転送

移動したいアセットを選択して、タブ間でファイルをドラッグ&ドロップすることができます。ファイルを目的のタブまでドラッグし、タブの上で少し待つとそのタブに切り替わります。その後、ファイルリスト内にドロップしてください。

ACDSee タブでのペインとオプションの管理

管理モードでは、多くのオプションとペインをタブごとに個別にカスタマイズできます。これには、**フィルタ**、**グループ**、**表示**オプションの設定や、**フォルダ**、**カタログ**、**カレンダー**、**詳細検索**ペインが含まれます。新規タブを開くと、その設定は直前に選択されていたタブから複製されます。**ACDSee**を終了するとすべてのタブが閉じますが、再起動時には最後にアクティブだったタブのオプションが復元されます。

ACDSee タブを使用した検索の実行

検索は各タブ内で行われるため、新規タブを開いて作業を続けることで検索結果を保持でき、いつでも元の検索タブに戻ることができます。**詳細検索**、**カタログ**、**カレンダー**ペインでの検索や選択内容は各タブに固有であるため、複数のタブで異なる検索結果を比較することが可能です。

Microsoft OneDrive™ の使用

フォトスタジオから直接 Microsoft OneDrive™ を使用することで、データの移行なしですべての写真にアクセスできます。

ローカルとクラウドへのアクセス:

OneDrive™ 内でのブラウジング時に、ファイルが PC に自動的にダウンロードされるか、またはクラウド上に保管されるかを選択するオプションがあります。

ファイルのコンテキストメニュー:

フォルダーズペイン内の OneDrive™ フォルダー、または個々のファイルを右クリックすると、次のコンテキストメニューオプションが表示されます:

- **常にこのデバイスに保持:** このオプションを選択すると、選択したファイルやフォルダーの一時的なダウンロードと、PC 上のローカルコピーを保持するように OneDrive™ に指示します。
- **スペースを解放する:** このオプションを選択すると、OneDrive™ に選択したファイルやフォルダーのダウンロードを拒否するように指示し、すべてのローカルコピーを削除します。これにより表示されるデータが制限されますが、PC 上のスペースを空けることができます。

OneDrive™ は、次の 3 つの方法でファイルを保存して表示します:

- **ローカル:**  空のグリーンチェックマークサークルを持つファイルは、OneDrive™ から一時的に PC にダウンロードされていることを示しています。OneDrive™ は将来、サーバーと同期する際に自動的にファイルをオフロードする可能性があります。
- **常にローカル:**  塗りつぶされたグリーンチェックマークサークルを持つファイルは、常にこのデバイスに保持するように設定されていることを示しています。OneDrive™ はサーバーとの同期時にファイルのローカルコピーを保持するようにして、PC 上でいつでもファイルを利用できるようにします。
- **クラウド:**  クラウドアイコンを持つファイルは、現在クラウド内にのみ存在し、ダウンロード/閲覧可能であることを示しています。



クラウドファイルは、表示、開発、編集モードに移動すると自動的にダウンロードされます。大きなファイルをアクセスする場合は、モードを切り替えたり、ファイルを切り替えたりするまで、通常よりも時間がかかる可能性があります。

OneDrive™ ステータス列:

次のいくつかの方法で OneDrive™ のファイルのステータスを確認できます:

管理するモードでは、フィルムストリップ、サムネイル、タイルビューで自動的にファイルのステータスを確認できます。サムネイル & 詳細、詳細ビューに OneDrive ステータスを追加できます。

サムネイル & 詳細、詳細に OneDrive ステータスを追加するには:

1. 画像ファイルの上部にある「表示」をクリックし、サムネイル & 詳細、または詳細を選択します。
2. 詳細ヘッダーバーを右クリックし、「詳細を選択...」を選択します。
3. 「ファイルのプロパティ」をクリックし、「OneDrive の状態」をクリックし、「追加 ->」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。



リストとアイコンビューでは、OneDrive の状態が表示されません。

OneDrive™ 上のファイルにメタデータを表示および埋め込む

EXIF および IPTC メタデータは、ファイルを PC にダウンロードするまで表示されません。

ファイルがクラウド上にのみある場合でも、新しい ACDSee メタデータを追加できます。

ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みたい場合は、[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)をご覧ください。

OneDrive™ へのファイルの移動:

OneDrive™ の外側から 1 つ以上のファイルを選択して、右クリックしてコンテキストメニューを開き、**OneDrive** への移動を選択します。ファイルは、ルート OneDrive™ フォルダーに移動されます。



個人用とビジネス用の OneDrive™ の両方を接続している場合は、どちらかからも選択できます。

日時またはイベントごとにファイルを参照する

カレンダー ペインでは、ファイルに関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダー ペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォトカレンダーが用意されています。フォトカレンダーは、各月で撮影された日付けに基づいてサムネイルを表示します。カレンダー ペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダー ペインを開くには:

管理 モードで、[ペイン] > [カレンダー] をクリックします。

カレンダー ペインが中央のファイルリストペインに開かれます。



カレンダー ペインに画像を表示するには、画像の含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイルウィザードを使用してカタログ化を行っており、ACDSee ホームデータベースにその情報が含まれている必要があります。



[フォトカレンダー] を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にものみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日はブランクで表示されます。

カレンダー ペインの表示 オプション

	イベントモード	カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像または メディアファイルが表示 されます。月の横には、画像、または メディアファイルが含まれている日数が表示 されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示 されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別 することも可能です。
	年モード	カレンダー ペインを年 モードに切り替えます。年 モードでは、年 ごとに分割されたテーブルが表示 されます。各 テーブルの上部 には、そのテーブルの年度が表示 されます。年の横には、該当年に含まれている画像または メディアファイルの数が表示 されます。画像または メディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示 で区別 されます。
	月モード	カレンダー ペインを月 モードに切り替えます。月 ードでは、月 ごとに分割されたテーブルが表示 されます。各 テーブルの上部 には、そのテーブルの月が表示 されます。月の横には、該当月に含まれている画像または メディアファイルの数が表示 されます。画像または メディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示 で区別 されます。
	日モード	カレンダー ペインを日 モードに切り替えます。日 モードでは、日 ごとに分割されたテーブルが表示 されます。各 テーブルの上部 には、そのテーブルの日が表示 されます。日の横には、該当日に含まれている画像または メディアファイルの数が表示 されます。画像または メディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示 で区別 されます。
	フォトカレンダー	カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダー は、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示 します。サムネイル上にマウスを移動 すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示 されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示 されます。カレンダーの右上隅に、該当月に含まれる画像の合計数が表示 されます。タイトルバーをドラッグ別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更 をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更 することができます。
	オプション	カレンダー ペイン オプション を使って、ファイルの管理に使用 する日を指定 します。例えば以下のように日付を設定 し、表示を素早く切り替えることができます： • ACDSee ホームデータベースがファイルをカタログ化した日付 • 画像の撮影日時 • ファイルの更新日時 • ファイルの作成日時 (コンピュータにロードされた日) [ACDSee オプション] を選択して [カレンダー] ダイアログを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定 します。
	目次	イベント日の一覧を表示 します。  イベントモードでのみ利用 できます。



イベントビュー以外のすべてのビューで、**Shift +左矢印**または **Shift +右矢印** を使用して、画像付きの日付間を移動 できます。たとえば、月表示では、8月、9月、11月に写真を撮った場合、**Shift +右矢印**を使用して、10月の空の月をスキップ します。

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。



カレンダー タイトル バーを右クリックして、[フロート]を選択してペインを新しい場所に移動できます。

イベントモードの特定日に説明を追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. [イベントの説明をここに入力します] をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規入力された説明に置き換えます。
3. **Enter** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーにある特定のサムネイルを選択するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。
3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック & ドラッグします。

マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、[既定サムネイルの復元] を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある **+/-** をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、[全グループの展開] または [全グループの折りたたみ] を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、[ファイル一覧] スクロールバーの下にある [次のグループ] または [前のグループ] ボタンをクリックします。
4. [カレンダー] ペインのスクロールバーの下にある [目次] ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

お気に入りファイルを参照する

お気に入りのファイルへすぐにアクセスできるショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインを開く

[ペイン] から [ショートカット] をクリックする。

ショートカットを作成する

ショートカット ペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動したりすることができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee内から別のアプリケーションを起動することもできます。[ファイル] 一覧ペインからファイル、フォルダ、実行ファイルをショートカットペインに直接ドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインにファイルを追加するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 選択したアイテムを右クリックし、[ショートカットに追加]を選択します。
 - [ファイル]から[ショートカットに追加]をクリックします。
3. 新規ショートカット名を入力し、[OK]をクリックします。

新規フォルダを作成する

ショートカットを管理しやすいように、ショートカットペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することが可能です。

新規フォルダを作成するには：

1. ショートカットペイン内で、ショートカット、または既に作成されているフォルダを右クリックし、[新規作成]、[フォルダ]を選択します。
2. 新規フォルダの名前を入力し、**Enter** キーを押します。

 ショートカットとして適用されているファイルまたはフォルダを移動するとリンクが壊れるため、それ以降ショートカット機能が適切に起動しないことになります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

ショートカットペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには：

ショートカットペインで、ショートカットまたはフォルダを右クリックし、[削除]をクリックしてから、[はい]をクリックして、ショートカットまたはフォルダの削除を確認します。

管理モードで顔を検出する

ACDSee は、ファイル情報とサムネイルを、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。閲覧しているフォルダがカタログ化されると、ACDSee は画像内の顔を検出する処理を開始します。他のフォルダを開くと、ACDSee は最初のフォルダで顔のスキャンを続行し、後続のフォルダはキューに入れられます。管理モードの右下隅でスキャンの進行状況を確認できます。ACDSee は、閲覧したフォルダで顔検出が完了するまでスキャンを続けます。スキャンの進行状況は、**アクティビティマネージャーのアイドルアクティビティセクション**で表示できます。デフォルトでは、アプリケーションの右側に**アクティビティマネージャー**ペインがあります。**Ctrl + シフト + 6**を押すか、ペイン | **アクティビティマネージャー**に進みます。ACDSeeは、顔検出が完了するまで、または手動で一時停止またはオフにするまでスキャンを続けます。

顔のスキャン：

アクティビティマネージャーのアイドルアクティビティセクションには、スキャン中キュー内の画像数が表示されます。

キューが大きくなりすぎてリセットしたい場合は、**アイドルアクティビティセクション**の右上にあるオプションギアを使ってクリアできます。また、顔検出セクションの右側にあるトグルを反転させて、いつでもオフにすることができます。



表示モードで、画像ごとに画像上の顔を検出することもできます。画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

閲覧したフォルダで顔検出を実行した後、表示モードで画像を開くことができ、表示モードでは顔の輪郭が表示されます。表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。

顔検出を有効または無効にするには：

[ツール]から[オプション]、[顔検出]をクリックし、[顔検出を有効にする]チェックボックスをオンまたはオフにします。

表示モードで検出された顔に名前を割り当てると、[カタログペイン](#)の[人物]グループを使用して、画像内の人物に基づいて写真を検索できます。[クイック検索バー](#)と[検索ペイン](#)で名前を検索することもできます。[人物](#)マネージャを使用して、顔検出で顔に割り当てられた名前を管理できます。

選択した画像の顔検出と顔認識を削除するには:

管理モードで選択した画像の顔検出および顔認識データを削除できます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔を削除]**を選択します、または画像を右クリックし、**AI機能 | AI顔検出 | [選択したものを削除]**を選択します。

これらの画像は、**顔検出を有効にする**コマンド、または**顔検出を有効にする**オプションによってトリガーされない限り、顔がスキャンされたものとしてマークされ、**顔検出**は再スキャンしません。

選択した画像で顔検出を再実行するには:

管理モードで、選択した画像を顔検出で強制的に再スキャンできます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔の再検出]**を選択します、または画像を右クリックして、**AI機能 | AI顔検出 | 顔の再検出**を選択します。

選択した画像で顔認識を再実行するには:

選択された画像の中で手動で名前を付けていない顔で顔認識を再試行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔認識を再実行]**を選択します、または画像を右クリックして、**AI機能 | AI顔検出 | 顔認識を再実行**を選択します。



自動ネーミング機能は、[自動ネーミング](#)オプションが有効になっている場合のみ使用できます。

顔データの埋め込み、取得、インポート

顔検出機能を操作すると、「顔データ」が作成され、データベースに追加されるため、[埋め込み保留中アイコン](#)がトリガーされます。顔データは、ACDSee メタデータと同様に、画像のXMPファイルに埋め込まれます。顔データもファイルに埋め込むことで、共有したり、復元したり、新しいデータベースで使用したりできるようになります。

顔データを埋め込むには:

[ACDSee メタデータの埋め込み]ダイアログを使用して、顔データを埋め込むことができます。[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)を参照してください。

ファイルに埋め込まれた顔データを取得するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[ACDSee 顔データのインポート]**を選択します。
- **[ツール]**から**[データベース]**、**[カタログ ファイル]**を選択します。**[カタログファイル]**ダイアログの**[カタログファイルからインポート]**セクションで、**[ACDSee 顔データ]**チェックボックスをオンにします。**スタート**を押します。

LightroomまたはPicasaから埋め込み顔データをインポートするには:

1. 管理モードで、別のアプリケーションに顔データを埋め込んだ画像を選択します。
2. **[AI]**、**[AI顔検出]**の順に選択します。**Lightroom**または**Picasa**の顔データをインポートします。

3. 既存の顔データを上書きして、別のプログラムの顔データをファイルに追加するかどうかを尋ねる警告ダイアログがポップアップ表示されます。それでよければ[OK]を選択します。
4. 顔データがインポートされ、顔データがデータベースに追加されます。

表示を変更する

ファイル一覧ペインでは、サムネイルプレビュー、ファイルの詳細など、ファイルのさまざまな表示を選択することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、[詳細]の表示で表示する情報を指定したりすることができます。

ファイル一覧ペインを変更するには:

管理モードで、ファイル一覧ペインの[表示]から次のいずれかを選択します。

表示

サムネイル+詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、[ファイル名]列にサムネイルプレビューが追加されます。
フィルムストリップ	ファイル一覧ペインの下部に、ファイルのサムネイルプレビューを横一列に表示します。拡大されたプレビューペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディアファイル（そして一部のドキュメント形式）のサムネイルプレビューを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイルプレビューとファイル情報が含まれる「タイル」に、ファイル一覧ペインの各ファイルを表示します。ズームスライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。
アイコン	一覧にあるファイルを、各ファイル形式に適用されている既定の大きなシステムアイコンで表示します。
一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名と、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細を含むリストが表示されます。下記に説明されているように、[詳細]表示モードの外観をカスタマイズしたり、表示される情報を指定することができます。
オーバーレイモードの切替	オーバーレイアイコンの非表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。「[J]」キーで選択します。
オーバーレイのハイライト	カラー表示するオーバーレイアイコンを選択します。「[J]」キーで切り替えます。

詳細表示をカスタマイズする

[詳細]表示モードを設定して、列を自動的にサイズ変更するようにしたり、グリッドラインを表示または非表示にしたり、行の入力項目を選択するとその行全体が選択されるようにしたりすることができます。また、[詳細]表示モードの外観を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列の選択や列の順序の変更をするには:

1. 管理モードでファイル一覧のドロップダウンから[表示] > [詳細の選択]をクリックします。
2. [詳細の選択]ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います。
 - 列を追加するには、[利用可能な詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[追加]をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細の名前が追加されます。

- 列を削除するには、[現在表示されている詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[削除]をクリックします。
- 列をファイル一覧ペインの左側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[上に移動]をクリックします。
- 列をファイル一覧ペインの右側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[下に移動]をクリックします。

3. [OK]をクリックします。



既定の列の名前のみを[現在表示されている詳細]ペインに表示するには、[リセット]をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをドラッグして移動させることも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件オプションを使用して、[ファイル一覧]ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

[ファイル一覧]ペインのフィルタを設定するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [表示]>[フィルタ条件]をクリックし、フィルタオプションを選択します。
- [フィルタ] ドロップダウンをクリックし、フィルタオプションを選択します。



サムネイルがすべて隠れてしまった場合には、[フィルタ] から[すべて] を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:

- [表示]から[フィルタ条件]、[高度なフィルタ]をクリックします。
- [フィルタ]ドロップダウンをクリックし、[高度なフィルタ]を選択します。

2. [フィルタ条件の適用]を選択します。

3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、[ファイル一覧]ペインに選択されたファイルの種類が表示 / 非表示されます。

- 画像ファイルの表示
- メディアファイルの表示
- フォルダを表示
- アーカイブファイルの表示
- [隠しファイルとフォルダを表示する]を選択して、オペレーティングシステムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
- [THMファイルを表示する]を選択して、サムネイルファイルを表示します。
- [XMPファイルを表示する]を選択してXMP サイドカーファイルを表示します。

4. [OK]をクリックします。

ファイルをグループ化する

[ファイル一覧]で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、[グループ化]を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。グループ化することで、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数のカメラを使用する場合には、画像撮影に

使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。



グループ化は、[サムネイル]、[サムネイル + 詳細]、[詳細]、[タイル]、[アイコン]表示でのみ利用可能です。



「編集の有無」でグループ分けをすると、「編集なし」と「編集あり」の画像を見つけることができるので大変便利です。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには：

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [表示] メニューから[グループ化]をクリックし、グループオプションを選択します。
 - [グループ] ドロップダウンをクリックし、グループオプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには

特定グループを展開または折りたたむには：

グループヘッダーの左横にある[展開]または[折りたたみ]矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには：

[全グループの展開]または[全グループの折りたたみ]を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには：

グループのヘッダー上にマウスをポイントします。

複数のグループ間をスクロールするには：

[ファイル一覧] スクロールバーの下にある[次のグループ]または[前のグループ] ボタンをクリックします。

目次を表示するには：

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] メニューから[グループ化]、[目次]をクリックします。
- [グループ] ドロップダウン リストから[目次]をクリックします。
- ファイル一覧 スクロールバーの下にある[目次] ボタンをクリックします。

特定のグループに素早くジャンプするには：

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替えるには：

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] メニューから[グループ化]をクリックし、[昇順]または[降順]を選択します。
- [グループ] ドロップダウンをクリックし、[昇順]または[降順]を選択します。

ファイル一覧からグループを削除するには

1 つのグループを削除するには：

以下のいずれかの操作を行います。

- **[表示]** メニューから**[グループ化]**、**[なし]**をクリックします。
- **[グループ]** ドロップダウン リストから**[なし]**をクリックします。

1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには

グループ内のファイルを選択するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- **Ctrl** キーを押しながら、複数グループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

管理モードでは、異なるファイルプロパティによってファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには:

1. **[表示]** > **[並べ替え]** をクリックし、並べ替えオプションを選択します:

- ファイル名
- サイズ **(KB)**
- 画像タイプ
- 更新日時
- 画像プロパティ
- キャプション
- 重要度
- タグ付き
- その他 (メタデータ、EXIF、ファイルプロパティ、画像の属性、IPTC情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)

2. 並べ替えの方向を設定するには、**[表示]** > **[並べ替え]** をクリックし、次のいずれかを選択します:

- 昇順に並べ替え
- 降順に並べ替え



並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには:

1. 列のヘッダーをクリックします。矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します。
2. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

カスタム並び替えを使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。[カスタム並び替え]で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または[カスタム並び替え]が削除されるまで ACDSee ホームによって自動的に保持されます。

ファイルの並び替え順序をカスタマイズするには：

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。



カスタム並び替えを削除するには、[表示] > [並び替え] を選択し、[カスタム並び替えの削除] を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。

また、選択範囲をすべてクリアすることもできます。ファイル一覧に新しいファイルが追加される度にそれらのファイルを自動的に選択するオプションも用意されています。[ツール]メニューから、[オプション]、このオプションを設定する [ファイルリスト] をクリックします。

ファイルやフォルダを選択するには：

- ファイルを選択するにはサムネイルをクリックします。
- **Ctrl** キーを押しながらクリックして、複数のファイルを選択します。
- **Shift +** クリックで、連続した複数のファイルを選択します。



ファイル一覧ペインの端の部分をクリックすると選択を解除します。

メニューからファイルやフォルダを選択するには：

1. [管理] モードで [編集] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **すべて選択**：現在のフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
 - **すべてのファイルを選択**：現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択します。
 - **すべての画像を選択**：現在のフォルダ内のすべての画像ファイルを選択します。
 - **タグの付いた画像を選択**：フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
 - **重要度で選択**：重要度の一覧を表示し、選択した重要度が付いているすべてのファイルを選択します。
 - **選択のクリア**：現在の選択を解除します。
 - **選択範囲の反転**：初めに選択した範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビューペインでは、画像、オーディオ、ビデオファイルのプレビューを表示することができます。デフォルト設定では、プレビューペインには現在選択している画像またはメディアファイルのサムネイルが表示されます。プレビューペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。画像の EXIF 情報の主要な部分がすぐに確認できるようにプレビューペインに表示されるように設定することができます。

プレビューペインを開くまたは閉じるには：

以下のいずれかの操作を行います。

- [ペイン]から[プレビュー]をクリックします。
- **CTRL + Shift + P**を押します。

プレビュー ペインに表示する情報を選択するには:

画像を表示している時にプレビュー ペインに表示されているオプションをカスタマイズできます。[プレビュー]ペインで画像を右クリックし、[画像と情報]を選択して、次のいずれかを選択します。

- **画像の表示:** 画像のプレビューのみを表示します。
- **情報の表示:** 画像のEXIF情報を表示します。これは情報パレットと呼ばれます。

情報パレット

情報パレットは、ACDSeeの左下にあります。画像のEXIF情報の最も有用な要素に素早くアクセスすることができます。含まれる情報:

- カメラ名とレンズ モデル
- 寸法
- ファイル サイズ
- 露出プログラム
- ホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW (RAWでないファイルの場合はブランク)
- ISO
- 絞り値
- シャッター速度
- 露出補正
- 焦点距離



アイコンの意味がわからない場合は、その上にマウスポインタを移動すると説明がポップアップ表示されます。

プレビュー情報をカスタマイズするには:

プレビュー ペインの情報パレットの下に表示する情報をカスタマイズすることができます。既定では、画像の撮影日時が表示されます。

1. プレビュー ペインの情報パネルの下に表示されている日時を右クリックします。
2. [プレビュー情報を選択...]をクリックします
3. [詳細の選択]ダイアログ ボックスで、[現在表示されている詳細]の下に表示されている項目を選択して[削除]ボタンをクリックします。
4. [選択可能な詳細]から項目にチェックを入れて選択し、[追加]ボタンをクリックします。
5. [OK]をクリックします。

オーディオまたは動画 ファイルをプレビューするには:

1. [ツール]>[オプション]>[プレビュー]をクリックします。
2. [オーディオおよびビデオクリップのプレビュー]チェックボックスを選択します。

3. **[OK]**をクリックします。



情報パレットは表示モードおよび編集モードでも表示されます。[情報パレット]をオフにするには、編集モードの場合は[表示]メニュー、表示モードの場合は[ペイン]メニューで、[情報パレット]の選択を解除します。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある[回転]アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未編集のJPEG画像の回転では、ACDSeeは可逆圧縮の回転を実行しますので、情報を失うことはありません。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの[左に回転]または[右に回転]ボタンをクリックします。

回転 アイコン



左に回転

画像を左に90度回転します。



右に回転

画像を右に90度回転します。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの強度レベルを比較して、類似する点と異なる点の両方をハイライトします。好きな方の画像をハードディスク上の新しい場所に保存したり、管理モードで画像にタグを付けて、後で削除、移動、名前の変更、編集を行ったりすることができます。

画像を比較するには:

1. ファイル一覧 ペインから、比較する複数の画像を選択します。
2. [ツール]>[画像の比較]をクリックします。[画像比較ビューア]には最大4画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の1つ以上を実行します。
 - 比較リストの画像を右クリックし、[アクティブビューへ送信]をクリックします(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)。
 - 比較一覧から、[画像比較ビューア]のボックスに画像を直接ドラッグします。
 - [画像比較ビューア]で画像を右クリックし、[次の画像]または[前の画像]を選択します。
 - [画像比較ビューア]で画像を右クリックし、[ファイル]>[ビューアから削除]を選択するか、画像ツールバーから[削除]アイコンをクリックします。
4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します:
 - 比較リストで、右側にある画像の下にあるチェックボックスをチェックします。
 - [画像比較ビューア]で、画像を右クリックし、[タグ]を選択するか、画像ツールバーにある[タグ]アイコンをクリックします。
 - 左手下にある[すべてをタグ]をクリックして全画像にタグを追加するか、[すべてのタグを解除]をクリックして全画像からタグを解除します。

5. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、**[重要度の設定]** をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
6. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、**[カテゴリの設定]** をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
7. 右下隅にある**OK**をクリックします。

画像の比較 ツールバー

	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズーム メニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択してください。 ・ 実寸表示: オリジナルのサイズで画像を表示します。 ・ 画面に合わせて表示: 画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 ・ 幅に合わせて表示: 画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 ・ 高さに合わせて表示: 画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 ・ ズーム固定: 現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズーム レベルが適用されます。 ・ 倍率指定: ズーム オプションを選択することができるダイアログ ボックスが開かれます。
	パンの固定	画像を特定の領域にズーム / パンする際、画像比較ビューアですべての画像の同一領域を表示するように、画像のパンした領域を固定します。
	露出警告を表示する	ピクセルが露出 オーバーまたはアンダーである領域を示します。
	プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。[メタデータの設定] ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
	ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
	メタデータの設定	ダイアログ ボックスを開き、画像比較ビューアに表示する画像のメタデータを選択します (プロパティ  が オンになっていることを確認してください)。
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
	3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。

	4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。
	プロパティ ペイン	1 画像が表示されている場合は、プロパティ、ヒストグラム、虫めがね、ナビゲータペインを開きます。
	ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。

画像 ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

	保存	新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存 することができるダイアログが登場します。
	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像 と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像 と入れ替えます。
	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	削除します	ハードドライブから画像を削除します。
	削除	比較リストから画像を削除します。
	タグ	画像にタグを付 けると、画像の比較ツールを閉 じても、画像が選択された状態 になります。

画像 バスケットに画像を集める

画像バスケットを使うと、さまざまな場所やフォルダにある画像やメディアファイルを集めて維持することができます。画像バスケットにアイテムを入れると、ACDSee ホームのツールや機能を使ってファイルを編集、共有、表示できるようになります。最大5つの画像バスケットを作成し、同時に使用することができます。

画像バスケットを開くには:

管理モードで、[ペイン]>[画像バスケット]>[新しい画像バスケット]をクリックするか、[Ctrl + Shift + 9]を押します。この手順を繰り返すことで、最大5つの画像バスケットを開くことができます。

イメージバスケットにファイルを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ファイル一覧] ペインで追加したいファイルを選択します。アイテムを画像バスケットにドラッグします。
- [ファイル一覧] ペインで、選択したファイルを右クリックし、コンテキストメニューから[画像バスケットに追加]を選択します。この方法は、表示モードでも使用できます。
- [ファイル一覧] ペインで、追加したいファイルを選択し、**Ctrl + B**を押します。この方法は、表示モードでも使用できます。



最後に操作した画像バスケットは、「アクティブな」バスケットと見なされます。これは、バスケット名の横に星印で示されます。アクティブなバスケットは、管理モードまたは表示モードでコンテキストメニューまたはキーボードショートカットを使用するときに画像が追加されるバスケットです。



Windows エクスプローラから画像をドラッグして画像バスケットに追加することもできます。

画像バスケットからファイルを削除するには:

画像バスケットで、ファイルを右クリックし、[画像バスケットから削除]を選択するか、**Alt + X**を押します。

すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして[バスケットを空にする]を選択します。

画像バスケットの名前を変更するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットの名前を変更]を選択します。[画像バスケットの名前を変更]ダイアログで、フィールドに名前を入力し、[OK]を押します。

画像バスケットを削除するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットを削除]を選択するか、**Ctrl + Shift + -**を押します。画像バスケットを削除しても、その中の画像は削除されません。

ACDSee アクティビティマネージャーを使用する

ACDSee アクティビティマネージャーを使用すると、以下のようなバックグラウンドアクティビティを監視および管理できます:

キュー内のアクティビティ:

- インポート
- リサイズ
- ファイル形式の変換



アクティビティマネージャーを使用して実行される機能は、メニュー内で横に **+** が表示されます。

アイドルアクティビティ:

- 顔検出

アクティビティマネージャーを開く

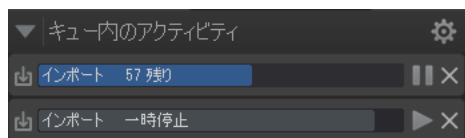
アクティビティマネージャーを開くには、**管理モード**で以下のいずれかの操作を行います:

- ペイン | アクティビティマネージャーをクリックします。
- ステータスバーの **アクティビティマネージャー** アイコンをクリックします。

キュー内のアクティビティ

インポートやその他の実行中のアクティビティは、**アクティビティマネージャー**の **キュー内のアクティビティ** セクションで確認できます。

アクティビティがキューに入ると、すぐに開始されるか、すでに進行中のアクティビティがある場合は **待機中** の状態で開始される場合があります。バーは **アクティビティ** の進行状況を表し、数字はスキャンする残りの画像数を表します。



現在実行中の **アクティビティ** は、**一時停止** ボタンをクリックして一時停止できます。

現在一時停止中の **アクティビティ** は、**再生** ボタンをクリックして再開できます。

実行中または一時停止中の **アクティビティ** は、**閉じる**  ボタンをクリックしていつでもキャンセルできます。

アクティビティ を一時停止すると、すべてのキュー内の **アクティビティ** を一時停止 が選択されていない限り、次の **キュー内のアクティビティ** がすぐに開始されます。



複数の **キュー内のアクティビティ** を同時に実行でき、最大6つまで可能です。同時に実行できる数は **CPU** に依存します。

キュー内のアクティビティ の **再生** ボタンをクリックすると、実行中の1つ以上の **アクティビティ** が一時停止し、クリックされた **アクティビティ** がリストの一番上にジャンプしてすぐに開始されます。

完了した **アクティビティ** は **履歴** セクションに表示され、各 **アクティビティ** によって完了したファイルのリストを表示できます。詳細については、[履歴](#) を参照してください。

キュー内のアクティビティ で利用可能なオプションのリストを表示するには、**キュー内のアクティビティ** の右側にある歯車ボタン  をクリックします。[キュー内のアクティビティオプション](#) を参照してください。

現在実行中の **アクティビティ** は、常に **キュー内のアクティビティ** リストの一番上に表示されます。これらの **アクティビティ** が完了して **履歴** に移動すると、次の **キュー内のアクティビティ** がリストの一番上に移動して開始されます。一時停止中の **アクティビティ** は、**キュー内のアクティビティ** 内でドラッグアンドドロップして処理順序を並べ替えることができます。



一時停止中のアクティビティ を、現在実行中の **アクティビティ** より上にドラッグすることはできません。

競合やデータの損失を防ぐ

アクティビティ はバックグラウンドで実行されるため、**ACDSee ホーム** は複数の **アクティビティ** が同じファイルにアクセスする際のファイルの競合を防ぐために特定の方法を使用します。

- 画像が **アクティビティ** のキューに入っている状態で、その画像を **編集** モードに移行させると、その画像は **キュー内のアクティビティ** によってスキップされます。
- 同じファイルを変更する複数の **アクティビティ** を同時に実行することはできません。
- 新しいファイルを作成する **アクティビティ** は、同じフォルダに対する他の **アクティビティ** と並行して実行することはできません。
- **管理**、**表示**、または **メディア** モードでファイルを読み書きするコマンドは、そのコマンドが完了するまで **アクティビティ** を一時停止させます。一時停止された **アクティビティ** はその後自動的に再開します。
- **ACDSee ホーム** を再起動するオプションやコマンド（レイアウトのリセットなど）は、**アクティビティ** の実行中はブロックされます。
- データベースおよびライセンスのコマンドを実行するには、**ACDSee ホーム** が再起動する前に **アクティビティ** をキャンセルする必要があります。

通知

アクティビティ がキューに入れられたときや完了したとき、**アクティビティマネージャー** の通知が画面の右下に表示されます。

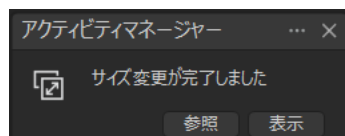
- **表示** をクリックすると、**アクティビティマネージャー** が開きます。
- **参照** をクリックすると、**アクティビティ** の出力ファイルが含まれるフォルダが新しいタブで開きます。
- ミュートする通知をカスタマイズするには、**ツール | オプション... | アクティビティマネージャー** に移動します。
- 各通知には **X** の隣に **その他のオプション...** メニューがあり、通知から直接通知設定を調整できます。
- 通知には **アクティビティ** のステータスが表示されます。**アクティビティステータス** の詳細については、[履歴](#) を参照してください。

通知 ステータス

通知 ステータスには4つの可能性があります：

- **完了**：アクティビティが正常に完了した場合、通知には **完了** と表示されます。
- **エラーありで完了**：アクティビティは完了したが、いずれかのファイルにエラーがある場合、通知には **エラーありで完了** と表示されます。
 アクティビティでエラーが発生した場合、ファイルに警告が出たりスキップされたりしたとしても、通知には常にエラーが表示されます。
- **スキップされたファイルありで完了**：アクティビティは完了したが、1つ以上のファイルがスキップされた場合、通知には **スキップされたファイルありで完了** と表示されます。
 ファイルがアクティビティによってスキップされ、エラーが発生していない場合、通知には常にスキップされたと表示されます。
- **警告ありで完了**：アクティビティは完了したが、いずれかのファイルに警告がある場合、通知には **警告ありで完了** と表示されます。

エラー、スキップされたファイル、または警告を伴ってアクティビティが完了した場合、通知に **注意アイコン**  が表示されます。



アイドルアクティビティ

アセットが **AI顔検出** のためにスキャンされている間、その進行状況は **アクティビティマネージャー** の **アイドルアクティビティ** セクションで確認できます。ここでは、現在のステータス、完了までの残りアセット数を確認でき、右側のスイッチで各ツールを素早く無効にすることができます。

アイドルアクティビティの状態：

アイドルアクティビティには、次の4つの状態のいずれかがあります：

待機中： 	待機中 の状態では、キューにファイルが追加されると残りのアセット数が増加します。これは、ファイルの閲覧、カタログ化、またはインポート中に発生します。
スキャン中： 	スキャン中 の状態では、ツールは積極的に顔を検出しており、ファイルが完了するにつれて残りの数が減少します。
無効： 	無効 の状態では、ツールは手動で停止されており、再度オンにするまで実行されません。
完了： 	完了 の状態では、ツールはキュー内のファイルの処理を終了しています。

アイドルアクティビティ で利用可能なオプションのリストを表示するには、**アクティビティマネージャー** の **アイドルアクティビティ** の右側にある歯車ボタン  をクリックします。[アイドルアクティビティオプション](#) を参照してください。

履歴

キュー内のアクティビティが完了した場合、または **高度な検索** が実行された場合、それらは **アクティビティマネージャー** の **履歴** セクションに表示されます。

実行された **高度な検索** については、**履歴** 内のエントリをクリックすると、条件がプリロードされた状態で **高度な検索** ペインが開きます。

-  **ホーム** が終了すると、**履歴** セクションは自動的にクリアされます。

完了したキュー内のアクティビティについては、**詳細表示** ボタン  をクリックして、完了した各 **アクティビティ** のアセットの包括的なリストを表示できます。

各履歴エントリの **詳細表示** には、以下のフィールドが表示されます：

- **ステータス**：ステータスには、成功、エラー、警告、スキップの4つの状態があります。
 - **成功**：アクションは正常に完了しました。
 - **エラー**：アクションは完了しましたが、エラーのため1つ以上のファイルが作成/変更されませんでした。
 - **スキップ**：アクションは完了しましたが、他で使用中であるなどの理由で1つ以上のファイルがスキップされました。
 - **警告**：アクションは完了しましたが、1つ以上のファイルに警告が発行されました。



エラーまたはファイルスキップを伴って完了したアクティビティは、**履歴** に **注意アイコン**  が表示されます。

- **ファイル名**：ソースファイルのファイル名を表示します。
- **詳細**：アクションの結果を表示します。
- **ソース**：変更されたファイルのソース場所を表示します。
- **保存先**：変更されたファイルの保存先を表示します。

履歴のクリア

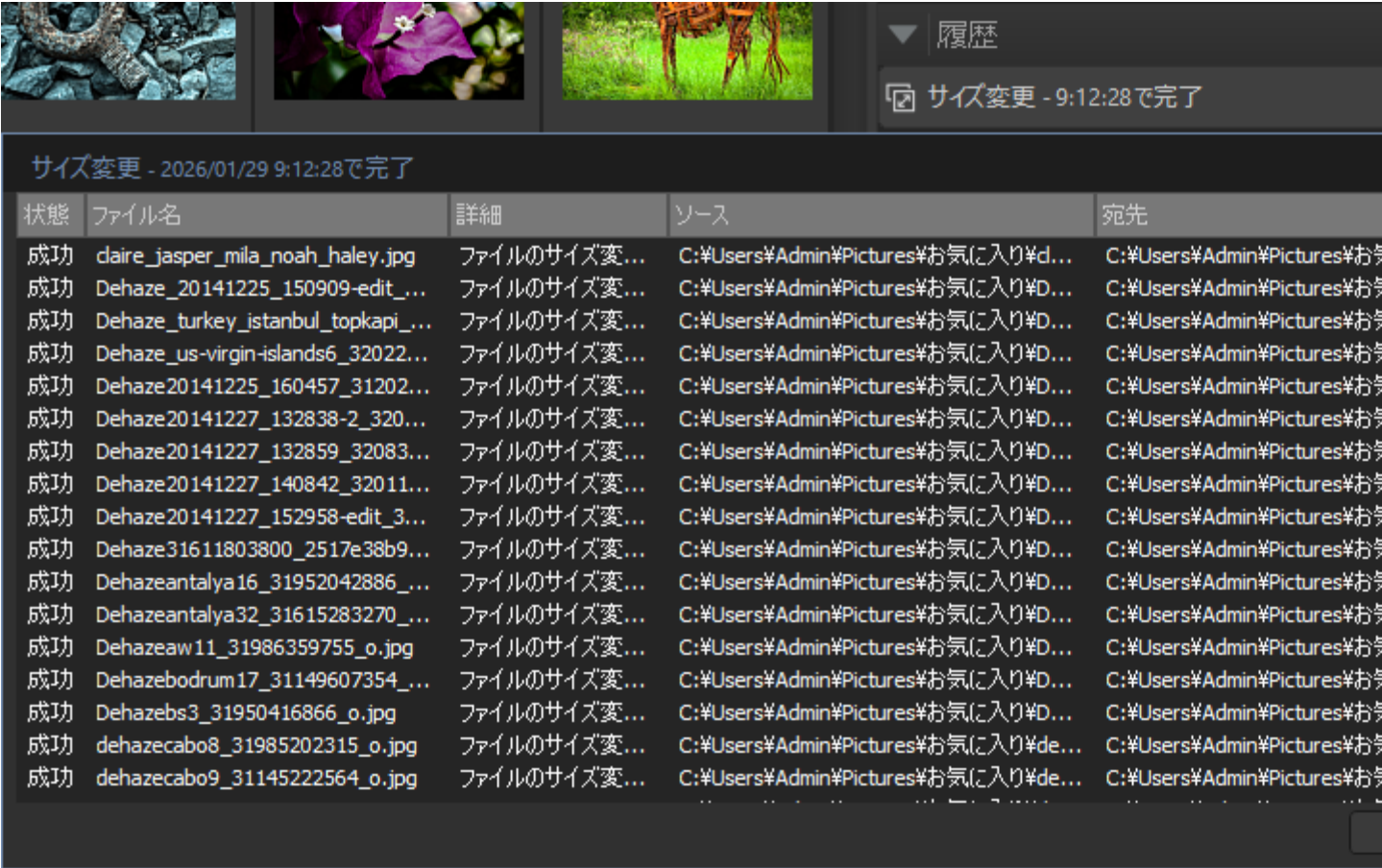
履歴 内の項目は、個別に、または一度にすべてクリアできます。

項目を1つずつクリアするには：

履歴 内の項目の右側にある **閉じる**  をクリックします。

履歴全体を一度にクリアするには：

履歴 の右側にある **アクティビティ履歴をクリア**  ボタンをクリックします。



アクティビティマネージャーオプション:

キュー内 および アイドルアクティビティの右側にある歯車アイコンをクリックすると、利用可能なオプションのリストが表示されます:

キュー内のアクティビティオプション:

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止/再開

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止 または 再開 します。

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止 でアクティビティを一時停止すると、キュー内のすべてのアクティビティを再開 が有効になるまで、各アクティビティの 再生 ボタンが無効になります。

キュー内のすべてのアクティビティをクリア

アクティブまたは一時停止中のすべてのアクティビティを キュー内のアクティビティ からクリアします。

アイドルアクティビティオプション:

AI顔検出を無効化/有効化

クリックして AI顔検出 ツールを無効または有効にします。AI顔検出は、スイッチをオン からオフ 、またはその逆にクリックすることでも手動で無効または有効にできます。

AI顔検出 キューをクリア

AI顔検出 キューからすべての項目を削除します。

でのファイルのカタログ化・管理ACDSee ホーム

閲覧、表示、編集の機能に加え、ACDSee ホームには画像やメディアファイルを整理して並べ替えるのに便利な統合管理ツールが搭載されています。この統合管理ツールには、一括処理機能(複数のファイルを同時に変更したり調整したりできるツール)、カテゴリや重要度のシステム、大切な画像情報を保有する強力なデータベースなどがあります。

ACDSee ホームの一括処理機能を使うと、ファイル形式の変換、回転、サイズ変更、名前の変更、タイムスタンプの調整、露出調整を、1つの画像、画像グループに対してすべて一度に実行することができます。カテゴリ、カラーラベル、重要度のシステムにより、仮想のフォルダ構造を作成して、ワンクリックで関連した画像やメディアを表示します。

ACDSee ホームでは、ファイルのプロパティ、画像情報をアクセスしやすいプロパティペインに表示します。ACDSeeメタデータなどのファイル情報を直接追加、編集することができます。また、作成者、説明、メモ、キーワードのファイルへの追加や、カテゴリや重要度の割り当ての調整を同時に実行することができます。

カタログペインで整理する

[カタログ] ウィンドウは、ファイルを整理、管理、検索するためのツールが多数用意されているため、管理モードで最も便利なウィンドウの1つです。ファイルを [カタログ] ウィンドウのカテゴリ、評価、キーワード、またはカラーラベルにドラッグしてファイルを割り当て、すばやく整理できます。[自動カテゴリ] セクションを使用すると、ファイルサイズ、キーワード、シャッタースピードなどの特定の情報を持つファイルを検索できます。[保存された検索] セクションでは、カスタム検索を作成して実行できます。[イメージウェル] などの特別な項目を使用すると、ワンクリックでコンピュータ上のすべての画像が表示されます。また、[未分類] をクリックしてまだカテゴリに属していない画像のみを表示することもできます。

カタログペインを開くには:

管理モードで、[ペイン] | [カタログ] をクリックします。カタログ。

カタログペインが左側に開き、[フォルダー] ペインと[カレンダー] ペインのタブが表示されます。

カテゴリ

カテゴリを使用すると、ファイルを内容に関連したセクションに簡単に整理することができます。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。ユーザーが一目見ただけでわかるように、異なる種類のアイコンが用意されています。ファイルがカテゴリに割り当てられると、カテゴリ別に検索、並べ替え、グループ化ができるようになります。

ファイルをカテゴリに適用する方法の1つに、ファイル一覧からファイルを選択し、希望するカテゴリ上に直接ドロップする方法があります。色付きのアイコンを選択して、カテゴリを識別して、**】** キーを使って利用できるアイコンを選ぶこともできます。ファイルには複数のカテゴリを適用できますが、アイコンは1つのみとなります。包括的なカテゴリ管理を行うには、[プロパティペインの\[整理\]タブを使用します](#)。

人物

カタログペインの[人物]グループには、[表示モードの顔検出](#) ペインで割り当てた人物の名前が表示されます。顔検出で識別されている場合は、名前を選択して、その人物が写っているすべての写真を表示できます。顔検索オプションを設定すると、[人物]グループの右上隅にある設定メニュー(ギアアイコン)を使用して、割り当てられた名前、推奨ネーム、またはその両方を表示するかどうかを設定できます。

顔に名前を割り当てるには、[人物モード](#)を使用します。

キーワード

キーワードを使用して、ファイルを階層に編成できます。[\[プロパティ\]ペインの\[整理\]タブ](#)で、階層キーワードを作成して割り当てることができます。キーワードは、ドラッグアンドドロップを使用して、画像にすばやく追加できます。また、キーワードを右クリックを使用して、コンテキストメニューで管理することもできます。

重要度

画像やファイルに 1 から 5 までの重要度を適用することができます。重要度を適用すると、重要度に基づいて検索、並べ替え、管理ができるだけでなく、重要度やカテゴリ、自動カテゴリと組み合わせてこれらの作業を行うこともできます。ファイルに複数の重要度を適用することはできませんのでご注意ください。重要度が適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示されます。重要度は、[カテゴリと重要度の割り当てと検索](#)で管理できます。

カラーラベル

カラーラベルを使ってファイルをカタログ化することができます。ワークフローの異なるステージを異なる色で表示することができます。写真またはドキュメントを確認する際に[カラーラベルを割り当てて](#)、それに従って名前を変更することができます。

自動カテゴリ

ほとんどのデジタルカメラは、写真撮影時に、そのファイルに関する情報を作成し埋め込みます。この情報はメタデータと呼ばれ、カメラ名や機種、ファイルのサイズ、シャッター速度、撮影時のカメラ設定などがあります。ACDSee ホームはこの情報を使用して、自動カテゴリを作成します。[自動カテゴリを使用して検索](#)して、メタデータを持つ画像を見つけることができます。例えば特定のサイズの写真、特定のカメラで撮影した写真など、単一または複数の自動カテゴリを選択してファイルを探すことができます。また、プロパティペインでメタデータを追加することもできます。

保存済み検索

同じ検索条件を頻繁に使うような場合、その条件をプリセットとして保存し、後で使用すると便利です。保存済み検索は、検索ペインの上部およびカテゴリペインに表示されます。カテゴリペインでは、名前をシングルクリックする、あるいはイージーセレクトバーの白いチェックボックスをクリックするだけで使用可能です。

カタログ ペインで保存済み検索を新規作成するには:

1. カタログ ペインの [保存済み検索] 領域にある **[新規の保存済み検索]** アイコンをクリックします。

[検索] ペインが開かれます。

2. 検索条件を入力したら **[保存済み検索]** アイコンをクリックします。

カタログ ペインの [保存済み検索] と、検索 ペインの [保存済み検索] ドロップダウン リストに新規の保存済み検索が表示されます。



保存された情報が不足している検索プリセットは、**検索テンプレート**としてカタログペインに*を付けて表示されます。**検索テンプレート**は、情報が不足しているため結果を返すことはできません。代わりに、アドバンスドサーチペインで不足している情報を追加することができます。例えば、**レーティング 5**に常に画像を検索したいが、毎回異なるキーワードで検索したい場合、レーティングの条件が設定され、キーワードの条件が毎回入力されるように保存された**検索テンプレート**を作成できます。

スペシャルアイテム

スペシャル アイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像を素早く表示することができます。次のいずれかを選択します。

- **イメージ ウェル:** ACDSee ホームデータベースにカタログ化されているすべての画像を表示します。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **動画:** ACDSee ホームデータベースにカタログ化されているすべての動画を表示します。ACDSeeでサポートされているすべての動画フォーマットが結果に表示されます。ファイルコレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **埋め込み保留中:** データベースのデータが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。

- **未分類:** データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **キーワードなし:** データベース内にカタログ化された画像で、ACDSeeキーワードが割り当てられていないものを表示します。
- **名前のない顔:** 顔が1つ以上検出されていても名前が付けられていないすべての写真を表示します。
- **顔の自動名前付け:** ACDSee が顔認識を使用して自動的に名前を付けた1つ以上の顔を含むすべての写真を表示します。



自動ネーミング機能は、[自動ネーミング](#)オプションが有効になっている場合のみ使用できます。

- **推奨ネーム:** すべての写真に推奨ネームが表示されます。このアイテムを使用して、画像コレクション全体の候補をすばやく確認または拒否することができます。
- **タグ:** ファイルコレクション内のタグが付けられている全ての画像が表示されます。

データベースとACDSee ホーム 埋め込まれたデータ

ファイルを評価またはカテゴリに割り当てると、この情報は ACDSee ホームデータベースに保存されます。必要に応じて、この情報を個々のファイルに埋め込んで、ファイルの再配置や共有を簡単にしたり、必要に応じてファイルから情報を取得したりすることもできます。データベースでは、情報は常に特定のファイルに関連付けられています。ACDSee ホーム (Windows エクスプローラーなどの) 以外のアプリケーションを使用してファイルを移動または名前変更すると、ファイルと ACDSee ホームデータベース間のリンクが切断されます。これが発生し、各ファイルに情報を埋め込んだ場合は、データベースを再構築してすべての情報を取得できます。

プロパティペインを使用して、キャプションやキーワードなどを ACDSee ホーム データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。[プロパティペインを使った整理](#)の方法について学びましょう。



ACDSee は XMP を使用して、各ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

イーजीセレクトバー

イーजीセレクトバーは、フォルダペインおよびカタログペインの左側にある縦列のバーです。これらはこのようになります: 。イーजीセレクトバーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル一覧ペインにそれらの内容を表示することができます。カタログペインでイーजीセレクトバーを使用して、カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索、スペシャル アイテムの組み合わせを選択することも可能です。例えば、重要度 1 の付けられている画像で [人物] カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

また、イーजीセレクトバーをブラウズ検索ペインで使用することも可能です([表示]から[ブラウズ検索])。

完全一致/部分一致 ボタンとイーजीセレクトを合わせて使用すれば、カタログペインは特定条件でファイルを探すことができるパワフルな検索ツールとなります。

イーजीセレクトバーを適用するには:

フォルダペインまたはカタログペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。インジケータは、選択した項目の方に方向が変わります。



カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、[戻る] をクリックします。

カタログ化されたファイルを表示するには:

1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動 カテゴリ、保存済み検索またはスペシャル アイテムを選択します。その分類に割り当てられたファイルは、ファイル一覧ペインに表示されます。

ファイル一覧の上部にあるコンテンツ バーに、現在選択されているカテゴリやアイテムが表示されます。ブラウズ検索 ペインを使用し、特定のフォルダ内にある特定のカテゴリ、重要度またはアイテムに絞り込んでブラウズすることができます。

完全一致/部分一致

カタログ ペインには、完全一致/部分一致 ドロップダウン リストが 2 つ備えられています。ペインの上部にあるリストはカテゴリ用、中部にあるリストは保存済み検索用です。完全一致/部分一致 オプションを使用すると、ファイル一覧に表示されるサムネイルが次のように絞り込まれます：

- **完全一致**：選択されたカテゴリまたは検索のすべてに一致する画像のみが表示されます。カテゴリまたは検索の両方またはすべてと一致するファイルが、ファイル一覧に表示されます。完全一致はより排他的です。完全一致を使用すれば、表示されるファイルの数を減らし、検索結果をより限定的な条件で絞ることができます。
- **部分一致**：選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに一致する画像が表示されます。ファイル一覧には、選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに当てはまるファイルが表示されます。部分一致はより包括的です。

カタログ アイコン

	カテゴリ	カテゴリに割り当てられているファイルを識別します。
	重要度 1 ～ 5	ファイルの重要度を表示します。
	新規の保存済み検索	保存済み検索を新規作成することが可能な検索ペインが開かれます。
	イーजीセレクト インジケータ (選択済み)	カテゴリ、重要度、自動 カテゴリまたはその他のアイテムを選択し、ファイル一覧ペインに表示します。
	イーजीセレクト インジケータ (選択解除)	カテゴリ、重要度、自動 カテゴリまたはその他のアイテムの選択を解除します。ファイル一覧ペインには表示されません。
	部分一致/完全一致	ファイル一覧ペインに表示される画像をコントロールします。



カタログ ペインでアイコンを非表示にするには、[ツール] > [オプション] をクリックし、[カタログ] を選択します。[オプション] ダイアログボックスで、[アイコンを表示 する] チェックボックスをオフにします。

カテゴリを作成する

プロパティペインのカテゴリタブでカテゴリを作成、管理することができます。ご自身の用途にあったカテゴリを簡単にカスタマイズすることができます。

プロパティペインの カテゴリ タブを選択し、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。[ペイン] から [カテゴリ] を選択しても **カテゴリ** にアクセスできます。

カテゴリを作成するには：

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - カatalog ペインで、[カテゴリ] を右クリックし、[新規 カテゴリ] を選択します。
 - 管理 モードで、[編集] > [カテゴリの設定] > [新規 カテゴリ] をクリックします。

2. 次のいずれかを選択します。

- トップ階層に新規カテゴリを作成する
- 選択したカテゴリにサブカテゴリを作成する

3. サブカテゴリを作成した場合、ドロップダウンリストからトップ階層（親となるカテゴリ）を選択します。（カタログペイン内のカテゴリを右クリックすると、既定設定として、新規サブカテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。

4. [名前] フィールドに新規カテゴリ名を入力します。

5. [OK]をクリックします。



新規に上部階層のカテゴリを作成する場合、アイコンを選択するとカテゴリの識別が簡単になります。アイコンのドロップダウンは、[ACDSee オプション] ダイアログの [カタログ] サブメニューにある [アイコンを表示する] チェックボックスがオンの場合に表示されます。管理モードで、[ツール] | [オプション] をクリックし、[カタログ] を選択します。

カテゴリを管理する

カテゴリを管理するには:

カタログペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- 名前を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、[編集] を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、[削除] を選択します。

カタログペインのカテゴリグループ:

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。

カテゴリを削除中:

ファイル・リスト・ペインの右にあるプロパティ・ペインで、以下のいずれかを行う:

- オルガン] タブで、削除したい **カテゴリ** を右クリックし、コンテキストメニューから **カテゴリを削除** を選択します。
- オルガンタブで、削除したいカテゴリの左にあるイージーセレクトバーをクリックし、**選択したカテゴリを削除** を押します。

ファイル・リスト・ペインの左にあるカタログ・ペインで、以下のいずれかを実行する:

- 削除したい **カテゴリ** を右クリックし、コンテキストメニューから **カテゴリを削除** を選択します。

すべての未割り当てカテゴリを削除中:

アセットが割り当てられていないカテゴリは、**すべての未割り当てカテゴリを削除** オプションですばやく削除できます。S

- ツール | メタデータ | **すべての未割り当てカテゴリを削除中** をクリックします。

カテゴリのフィルタリング:

[プロパティ] ペインの [整理] タブ内でカテゴリをフィルタリングするには、[フィルタ カテゴリ] テキストフィールドをクリックして任意の単語を入力します。表示されるカテゴリは、入力時に動的にフィルタリングされます。

アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する

カテゴリのリストが長かったり、対象別にカテゴリを分けたい場合などは、カテゴリセットの作成機能が便利です。

カテゴリセットを作成するには:

1. セット内に必要なカテゴリを作成します。
2. プロパティペインで、[クイックカテゴリ] ドロップダウンリストをクリックし、[新規のクイックカテゴリセット...] を選択します。
3. [行と列] ドロップダウンメニューから値を選択して、セットの行と列の数をカスタマイズします。

4. 通常使用するカテゴリーを入力フィールドに入力します。サブカテゴリにはパイプキーを使用します。例:例:A|B|C
5. **[保存]** ボタンをクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。このカテゴリはクイックカテゴリ ドロップダウンリストに表示されます。
7. 1 つ以上のファイルを選択してカテゴリセットのボタンをクリックします。そのカテゴリが選択したファイルに割り当てられます。現在選択されているファイルに割り当てられているカテゴリはボタンテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



カテゴリボタン名はカテゴリツリーのカテゴリ名と一致するようにしてください。

カテゴリと重要度の割り当てと検索

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、画像に重要度や 1 つまたは複数のカテゴリを適用することが可能です。



[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

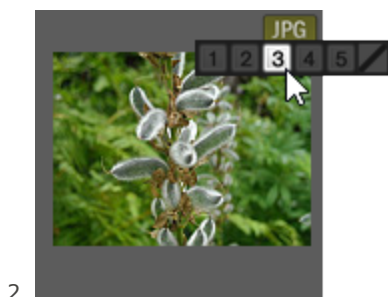
サムネイルビューで重要度をすばやく割り当てる

重要度の数字は他のアプリケーションでお気に入りの星を付けるようなものです。気に入った写真には高い重要度をそうでないものには低い重要度を設定するとよいでしょう。

重要度を割り当てるには:

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーの斜め線が入ったボックスを表示します。
2. グレーのボックスをクリックして重要度を選択します。

サムネイル上にマウスを移動してホバーアイコンから重要度を選択:





キーボードショートカットを使用して重要度を設定するには **Ctrl+ 0-5** を押します。

[カタログ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[カタログ] ペインでは、カテゴリと重要度を適用したり、それらを元に検索することができます。

[カタログ] ペインでファイルにカテゴリと重要度を設定するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - 選択したファイルをカタログペインのカテゴリまたはレーティングにドラッグします。
 - カテゴリまたはレーティングをカタログペインから選択したファイルにドラッグします。
 - 1つまたは複数のファイルを選択し、カテゴリを右クリックします。コンテキストメニューから**項目の割り当て**を選択します。
 - ファイルを右クリックし、**カテゴリを設定**をクリックして、フライアウトのカテゴリをクリックするか、**レーティングを設定**をクリックして、レーティングをクリックします。
2. [表示] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [編集] メニューから**[カテゴリの設定]**をクリックし、希望するカテゴリをクリックする。
 - ファイル上を右クリックし、**[カテゴリの設定]**を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - [編集] メニューから**[重要度の設定]**をクリックし、希望する重要度をクリックする。
 - ファイル上を右クリックし、**[重要度の設定]**を選択し、希望する重要度をクリックする。
 - ステータスバーから、重要度アイコンをクリックし、希望する重要度をクリックする。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。
3. 複数画像の比較中にカテゴリを設定したい場合には、次のいずれかを実行します。
 - ファイルの1つを右クリックし、**[カテゴリの設定]**を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - ファイルの1つを右クリックし、**[重要度の設定]**を選択し、希望する重要度をクリックする。



ACDSee が埋め込んだ重要度は、xmp: 重要度をサポートしている他のアプリケーションで開いたり、逆にその他のアプリケーションから ACDSee で開くことができます。1 つまたは複数の選択ファイルにメタデータを埋め込むには、[ツール] | [メタデータ] | [ACDSee メタデータを埋め込む] | [選択されているファイル] をクリックします。

カテゴリツリーで右クリックし、コンテキストメニューを使用して次のいずれかの操作を行います:

- 項目を適用する
- 項目を削除する
- 新規カテゴリ
- 検索

- ・ 切り取り
- ・ コピー
- ・ 貼り付け
- ・ 削除
- ・ 編集

【カタログ】ペインでカテゴリまたは重要度を使って検索するには:

カテゴリの名前、または重要度の数字をクリックするだけで、適用されているすべてのファイルがファイル一覧に表示されます。

[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[プロパティ] ペインからもカテゴリと重要度を設定する方法が用意されています。

【プロパティ】ペインでファイルに重要度を設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインで[メタデータ] タブを選択します。
3. プロパティペイン上部の番号リストから設定した重要度をクリックします。

【プロパティ】ペインでファイルにカテゴリを設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. プロパティ ペインで[整理] タブを選択します。
3. これらのファイルに適用するカテゴリをカテゴリリストから選択し、
 - ・ 適用するボックスにチェックを入れます。
 - ・ カテゴリの左側にあるイージーセレクトバーをクリックして選択します。複数のイージーセレクトバーを同時に選択できます。**選択したカテゴリを割り当て**をクリックします。



カテゴリセットボタンを使用して素早くカテゴリを設定することも可能です。[アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する](#)の項を参照してください。

すべてのカテゴリを選択:

すべてのカテゴリを選択 ボタン  で、利用可能なすべてのカテゴリを一度に簡単に選択できます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除する

元のファイルを移動したり削除したり、同じカテゴリや重要度が割り当てられた他のファイルを変更することなく、カテゴリまたは重要度からファイルを削除することができます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除するには:

1. [ファイルリスト] ペインで削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ 選択したファイルを右クリックし、[重要度の設定] から[重要度のクリア] を選択する。
 - ・ ファイル上を右クリックして [カテゴリの設定] をクリックし、ファイルから削除したいカテゴリの名前をクリックする。ファイルからすべてのカテゴリを削除するには、[すべての選択項目のカテゴリ解除] をクリックする。
 - ・ プロパティペインのオルガンタブで、割り当てを解除したいカテゴリを探し、チェックボックスをオフにします。

- 割り当てを解除したい**カテゴリ**の左側にあるイージーセレクトバーをクリックし、**選択したカテゴリの割り当て解除**を押します。
- カタログ ペインから、カテゴリのチェックボックスまたはラジオ ボタンに付けられているチェックをオフにする。
- 現在選択されている画像から**すべてのカテゴリを削除**するには、**プロパティパネル**にある「すべてのカテゴリの割り当てを解除」ボタン  をクリックします。



すべてのカテゴリの割り当て解除 ボタン  をクリックすると、選択したすべてのカテゴリの割り当てが解除されます。

すべてのカテゴリを選択:

クリア・セレクション ボタンを使って、現在選択されているすべてのカテゴリを簡単に選択できます .

カラーラベルを割り当てる

カラーラベルを使用すると、画像とドキュメントを色分けして、どのような処理をするべきかが一目でわかるようになります。ワークフローの段階別に異なる色を使い分けてください。例えば、写真またはドキュメントをチェックしている際に、アップロード、印刷、却下、再チェック、シャープネスをかける等、これからするべき処理を色で分けます。ファイルにカラーラベルを適用した後は、カタログペインでその色のラベルをクリックするだけで素早くそのラベルの画像をすべて表示します。

カラーラベルをグループと組み合わせて使用しても便利です。カラーラベルはタグ付けやカテゴリ分け、評価などと同様、写真またはドキュメントを別のフォルダに移動することなく整理、グループ化することができます。



[管理] モードで **[プロパティ]** ペインまたは **[カタログ]** ペインが表示されていない場合は、**[ペイン]** から **[プロパティ]**、または **[ペイン]** から **[カタログ]** を選択します。

カラーラベル セットを作成する

ラベルセットを作成することにより、指定のラベルの選択、割り当てが素早く行えます。ラベルセットが利用できると、ワークフローに対応した適切なラベルを画像またはドキュメントに割り当てることができます。

カラーラベル セットを作成するには:

1. カタログ ペインで **[ラベルセット]** ボタン  をクリックし、**[ラベルセットの編集]** を選択します。
2. ラベルの名前を入力して **[保存]** アイコンをクリックします。
3. **[ラベルセットの保存]** ダイアログで **[別名で保存]** をクリックします。
4. 新しいラベルセットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

作成したカラー ラベル セットは **[カテゴリ]** ペインでラベル設定 ボタンをクリックし、ドロップ ダウン リストから選択できます。カラーラベルを割り当てる前に、正しいラベルセットを選択していることをご確認ください。現在選択されているカラーラベルは、ラベル ヘッダに名前が表示されています。

カラーラベルを割り当てる

次の場所からカラーラベルを割り当てるができます:

- サムネイル ビューのホバー アイコン
- カタログ ペイン

- [プロパティ]ペイン
- 管理および表示モードの編集メニュー
- コンテキストメニュー
- キーボードショートカット

 **ACDSee** は XMP を使用して、各ファイルに **ACDSee** メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、**ACDSee** メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、**ACDSee** 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、**ACDSee** メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、**ACDSee** メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、**ACDSee** メタデータが永久に失われる恐れがあります。

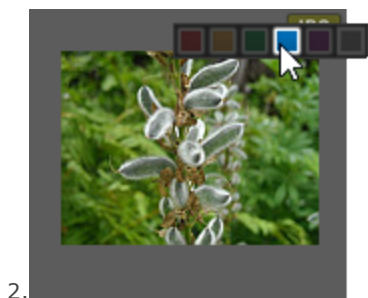


表示、編集モードで **ACDSee** を最小化表示します。

サムネイルビューのホバーアイコンのラベルラインを使用してカラーラベルを割り当てるには：

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーのラインを表示します。
2. グレーのラベルアイコンをクリックして重要度を選択します。

サムネイルのラベルラインをクリックしてホバーアイコンからカラーラベルを選択：





複数選択した画像のいずれか 1 つのオーバーレイアイコンを使用することにより、すべてのファイル画像にラベルを割り当てることができます。

【カタログ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを [カタログ] ペイン内のカラーラベルにドラッグする。
 - [カタログ] ペイン内のカラーラベルをファイルにドラッグする。

【プロパティ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. [ファイル一覧] ペインでカラーラベルを割り当てるファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインの上部のボックスからカラーラベルを選択します。

管理および表示モードの編集メニューでカラーラベルを割り当てるには:

- [編集] メニューから [ラベルの設定] を選択し、色を選択する。

コンテキストメニューでカラーラベルを割り当てるには:

- ファイルを右クリックし、[ラベルの設定] を選択し、ラベル名を選択する。

キーボードショートカットを使用してカラーラベルを割り当てるには:

- Alt 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。



ラベルに割り当てられたファイルを検索する

データベース内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

- [カタログ] ペイン内のカラーラベルをクリックし、[ファイルリスト] ペイン内で該当するファイルを表示する。
- 検索ボックスを使用する。
- クイック検索を使用します。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

ファイル一覧ペインの **フィルタ** ドロップダウンリストをクリックしてラベル名を選択します。現在のファイルリストでそのラベルが割り当てられたすべての画像が選択されます。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて選択するには:

Alt + 1 から Alt + 5 で 5 つの色を指定し、Alt + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。

カラーラベルとカラーラベルセットを削除する

ファイルからカラーラベルを削除するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカラーラベルを削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したファイルを右クリックし、[ラベルの設定] から [ラベルの削除] を選択する。
 - [プロパティ] ペインでグレーのラベル解除 アイコンをクリックする。
 - [プロパティ] ペインで、カラーラベルを右クリックします。

ラベルセットを削除するには:

1. [カタログ] ペインで [ラベルセット] ボタン をクリックし、[ラベルセットの編集] を選択します。
2. [ラベルセット] ドロップダウンリストから削除したいラベルを選択します。
3. [削除] ボタンをクリックします。

コレクションを作成する

コレクションは強力なグループ化および検索クエリツールです。[コレクション] ペインで、使用カメラ、場所、サイズなどの一般的な変数に基づいて、たまった写真をグループ化できます。また、コレクションで写真をグループ化して、選別、処理、共有などを行うこともできます。



コレクションを作成するには:

1. 管理 モードで、[ペイン] > [コレクション] を選択します。コレクション ペインは、フォルダー ペインにタブ付きで表示されます。
2. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから [コレクションを作成...] を選択します。
3. [コレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [作成] ボタンを押します。

[コレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	
名前	コレクションの名前を入力します。
場所	
コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスをオンにします。画像を追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
オプション	
選択した写真を含む	現在選択している写真をコレクションに含めるには、このチェックボックスにオンにします。
ターゲットコレクションとして設定	写真を追加する画像のターゲットコレクションとしてこのコレクションを指定するには、このチェックボックスにオンにします。画像を選択して Ctrl + Alt + C を押すと、画像を直接このコレクションに素早く送信することができます。キーボードショートカットをカスタマイズするには、 キーボードショートカットのカスタマイズ を参照してください。

写真をコレクションに追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を選択してから上記の [コレクションを作成] コマンドを使用します。続いて、[コレクションを作成] ダイアログボックス内の **[選択した写真を含む]** チェックボックスをオンにします。
- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を右クリックし、[コレクション] | [追加先] | [コレクションの名前] を選択します。
- [ファイル一覧] ペインから [コレクション] ペイン内のコレクションに画像をドラッグアンドドロップします。
- ファイル一覧ペインで画像を選択します。[プロパティ] ペインの [カテゴリ] タブにある [コレクション] グループで、コレクションの横にあるチェックボックスをオンにします。

コレクションをターゲットコレクションとして設定するには:

特定のコレクションをターゲットコレクションとして設定することができます。これにより、キーボードショートカットで画像をそのコレクションに素早く追加できるようになります。 ターゲットコレクションでは、[コレクション] ペイン内でその横に青いサークルアイコンが表示されます。

以下のいずれかの操作を行います:

- コレクションを作成するときは、[コレクションを作成] ダイアログボックスで **[ターゲットコレクションとして設定]** チェックボックスをオンにします。
- [コレクション] ペインでコレクションを右クリックし、**[ターゲットコレクションとして設定]** を選択します。

画像をターゲットコレクションに追加するには:

画像を選択し、**Ctrl + Alt + C** キーを押します。



このキーボードショートカットはカスタマイズすることができます。[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) を参照してください。

コレクションを検索するには:

[コレクション] ペイン上部の [フィルタコレクション] フィールドで、コレクション、コレクションセット、およびスマートコレクションを検索することができます。

- 探しているコレクション、スマートコレクション、またはコレクションセットの名前 (または名前の一部) を入力します。検索しているコレクションがコレクションセットの一部である場合、[フィルタコレクション] フィールドに入力したテキストがサブコレクションのいず

れかに含まれていれば、検索によりルートコレクションセットが返されます。

コレクションから画像を削除するには:

1. コレクションを選択します。
2. 画像を右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。



この操作では、コレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。

すべてのコレクションから画像を削除するには:

すべてのコレクションから画像を削除するには、画像を右クリックし、[コレクション] | [すべてのコレクションから削除] を選択します。



この操作では、すべてのコレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をすべてのコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、[コレクション] | [すべてのコレクションから削除] を選択します。

コレクションセット

コレクションセットを作成し、その中に他のコレクションフォルダを追加することができます。この方法で階層を作成することで、さらに詳細な整理が可能です。画像をコレクションセット自体に追加することはできません。画像はコレクションセット内のフォルダ(コレクション)にのみ追加することができます。コレクションセットのルートを選択すると、ルート内の全コレクションの画像がすべて表示されます。

コレクションセットを作成するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから[コレクションを作成...] を選択します。
2. [コレクションセットを作成] ダイアログボックスで、コレクションセットの名前を入力します。
3. 別のコレクションセット内にコレクションを追加したい場合には、[コレクションセットの中] チェックボックスをオンにします。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
4. 作成をクリックします。

コレクションセットにコレクションを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [コレクションセットの中] チェックボックスをオンにするとともに、[コレクションを作成] ダイアログボックス内でコレクションを作成します。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
- [コレクション] ペインで、コレクションをルートレベルからコレクションセットにドラッグ & ドロップします。

スマートコレクション

スマートコレクションは、指定した検索条件に基づいてクエリーが組み込まれたコレクションです。これらの検索クエリーはデータベースに保存されています。新しい画像を後でカタログ化すると、検索クエリーの条件を満たす画像が自動的にスマートコレクションに表示されます。ファイルがカタログ化された日付でファイルを探す検索クエリーを作成することもできます。

スマートコレクションを作成し、検索条件をクエリーに追加するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから[スマートコレクションを作成 ...] を選択します。
2. [スマートコレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

3. **OK** ボタンを押します。

[スマートコレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	スマートコレクションの名前を入力します。	
	スマートコレクションに名前を付ける際には、スマートコレクションに割り当てられた検索クエリーを反映した名前にすることをお勧めします。このようにすることで、スマートコレクションを開いてその内容を確認するのに必要な時間が節約されます。	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。スマートコレクションを追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
一致	[追加] ボタンを押して、クエリーの検索条件を選択します。[選択条件の追加] ダイアログボックスで、[+] をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフを切り替えてプロパティを選択することにより条件を選択します。[OK]を押します。選択した条件は[一致] フィールドボックスに表示されます。各項目を絞り込むには、下線付きの変数をクリックし、ドロップダウンからオプションを選択するか、フィールドに番号を入力します。 例えば、検索条件として[サイズ]を選択した場合、[次の値に一致]をクリックし、[次の値以外]、[次の値より小さい]、[次の値以下]、[次の値より大きい]、[次の値以上]、[次の値の範囲内]のいずれかを選択します。続いて、[0]をクリックし、サイズの値を入力します。	

検索クエリーから条件を削除するには:

[一致] フィールドから条件を選択し、**[削除]**を選択します。

検索クエリーを編集するには:

1. [コレクション] ペインでスマートコレクションを右クリックし、**[編集]**を選択します。
2. [スマートコレクションを編集] ダイアログボックスで、上記のように検索条件を追加および削除します。
3. **[OK]**をクリックします。

[プロパティ]ペインを使用する

プロパティペインは、ファイルと関連付けられているすべてのメタデータを表示します。また、ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイルなど、ファイルのプロパティも表示します。プロパティペインでは、画像およびメディアファイルのメタデータを追加、変更、削除することができます。

[プロパティ]ペインは、デフォルトで[ファイルリスト]ペインの右側にある[管理]モードで開きます。プロパティペインは、365モードとメディアモード、を除くすべてのモードで使用できます。

いずれかのモード内でプロパティペインを開くには:

[ペイン]から**[プロパティ]**をクリックします。



[メタデータ] パネルでは、メタデータフィールドの幅を調整することができます。変更したいラベルとフィールドの間にマウスを置いて、双方向の矢印に変わるのを待ちます。クリック&ドラッグで幅を調整します。ダブルクリックで、グループ間の最も広い幅とペイン内の最も長いラベルの間を切り替えることができます。

[プロパティ]ペインの構成

プロパティペインは、メタデータタブ、整理タブ、ファイルタブという3つのタブに分かれています。



サムネイル上にマウスカーソルを移動すると表示されるオーバーレイアイコンを使用して、画像にタグを追加したり、重要度やカラーラベルを設定することができます。あるいは、[ツール]>[オプション]>[プロパティペイン]の順にクリックして、[タグ付き、評価、カラーの各ラベルを表示]を選択することで、[プロパティ]ペインにこれらの設定を表示できます。

メタデータ タブ

[メタデータ]タブには、写真と一緒に保存されている重要度、カテゴリ、IPTC、EXIF、ACDSeeメタデータが表示されます。ACDSeeメタデータフィールドには、写真に関する説明をはじめ、日付、作者、注記などを入力することができます。キーワードフィールドは表示のみで、入力は整理タブで行います。ラベルフィールドはここで入力したり、カタログペインのラベルセクションから選択できます。IPTC情報は、画像に自動的に埋め込まれている情報である一方、ACDSeeメタデータはファイルには埋め込まれておらず、データベース内に保存されています。ACDSeeメタデータは、[ツール]から[メタデータ]>[ACDSeeメタデータを埋め込む]をクリックすることで、すべてのファイル(あるいは選択されているファイルのみ)に埋め込むことができます。

[IPTC]データフィールドには、説明、作者、著作権情報など、画像に追加されたり保存されたりしている、基本的な情報が表示されます。ACDSeeは、IPTC Core 1.1で定義されているフィールドに対応しています。

[EXIF]データフィールドには、シャッター速度、カメラの機種、GPS情報など、カメラによって作成された情報が表示されます。

特定のEXIFフィールドは、既定で非表示に設定されるようになりました。EXIFアーティスト、著作権、画像の説明、オリジナルの日時フィールドは、IPTCフィールドが変更されると、自動的に修正されます(下の表を参照してください)。この変更は、Metadata Working Group (MWG)の推奨に従った形で導入されました。これらのフィールドをEXIFセクションで表示したい場合には、[ツール]から[オプション]を選択し、[プロパティペイン]をクリックして、[メタデータ表示の管理]ボタンをクリックします。

IPTCフィールドとEXIFフィールドの一致

IPTC		EXIF
説明	次に書き込む	画像の説明
クリエイター	次に書き込む	アーティスト
著作権情報	次に書き込む	著作権
作成日	次に書き込む	オリジナルの日時



ACDSeeがファイルからメタデータを解読する際、フィールドの内容はマップなしで表示されます。

[整理] タブ

[整理]タブには、4つのグループが表示されます。便利なクイックアクセスツール: ACDSeeメタデータ、カテゴリ、コレクション、キーワード。カテゴリ、キーワード、およびコレクションは、[整理]タブ内でファイルツリー形式で表示できます。カテゴリ、キーワード、またはコレクションを右クリックすると、必要に応じて追加または削除できます。カテゴリとキーワードのセットを作成して、ファイルをすばやく分類できます。カテゴリ、キーワード、コレクションツリーを使用して階層を作成し、意味のある方法でファイルを簡単に整理します。

- **ACDSeeメタデータ:** キャプション、データベース日付などの重要なACDSeeメタデータ情報を[整理]タブ内から更新します。、インポート日、作成者、メモ。ACDSeeメタデータは、[メタデータ]タブでも更新できます。
- **カテゴリ:** 選択したファイルに関連付けられたカテゴリとクイックカテゴリを表示、フィルター、管理します。詳細については、[「カテゴリの作成」](#)を参照してください。
- **コレクション:** 選択したファイルに関連付けられたコレクションを表示し、アクセスします。詳細については、[「コレクションの作成」](#)を参照してください。

- **キーワード:** 選択したファイルに関連付けられたキーワードを表示、フィルター、管理します。詳細については、「[階層キーワードの作成と割り当て](#)」を参照してください。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの情報および画像の属性が表示されます。読み取り専用/隠しファイル(フォルダ)の設定および変更や、ファイルのEXIF情報の概要を確認することができます。

ACDSee メタデータをファイルに埋め込む

❗ ファイルにメタデータ情報があり、ACDSee以外のプログラムを使用して、当該ファイルをコピー、移動、または名前を変更すると、ファイルとデータベース間のリンクが失われますが、ファイルに埋め込まれているデータを使用してデータベースを再構築できます。

❗ ACDSee は XMP を使用して、各ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

画像の自動表示による参照とカタログ化

画像の自動表示を使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。管理および表示モードでオートアドバンスを使用できます。

管理モードでオートアドバンスをオンにするには:

[ファイル一覧] ツールバーの下部で、[オートアドバンス] ボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。 

オートアドバンスを使用するには:

オートアドバンスが有効になっている場合、タグ、重要度、カラーラベル、キーワード、またはカテゴリを追加または消去すると、フォルダの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。これは、キーボードから手を離さずにフォルダ全体を整理できるため、キーボードショートカットと組み合わせると特に便利です。

オートアドバンスを起動する適用されたメタデータのタイプを選択するには、[オートアドバンスオプションの設定](#)を参照してください。

❗ キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

管理モード

管理モードで、テンキーを使用して、次のキーボードショートカットを適用すると、オートアドバンスを最大限に活用できます。

次のキーボードショートカットを使用する前に、**Num Lock**キーを押してテンキーを有効にします。

/	タグ
*	紫のカラーラベル
9	青のカラーラベル
8	緑のカラーラベル
7	黄色のカラーラベル
6	赤のカラーラベル
5	重要度 5
4	重要度 4
3	重要度 3
2	重要度 2
1	重要度 1
0	重要度を削除
+	次へ
-	前へ
.	カラーラベルを削除する。



Num Lockキーが有効になっていない場合、これは[削除]ボタンとして機能します。

[キーボードショートカットをカスタマイズすることもできます。](#)

キーワードとカテゴリ

カスタマイズされたキーボードショートカットとオートアドバンスを組み合わせ、画像にキーワードとカテゴリを追加するプロセスを合理化することができます。

キーワード

プロパティペインの[メタデータ]タブのIPTCグループで、キーワードフィールドにキーワードを追加し、**Enter**キーを押すと、オートアドバンスで次の画像に移動します。プロパティペインの[整理]タブのキーワードフィールドでも同じ方法を使用できます。両方の場所で、複数のキーワードを一括で追加し、カンマで区切ることができます。キーボードから手を離さずに、すべての画像の処理を続行できます。

カテゴリ

プロパティペインの[整理]タブで、[カテゴリ]グループを展開します。目的のカテゴリのチェックボックスをオンにして、画像にカテゴリを追加します。または、次のいずれかを実行します。

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから**[カテゴリの設定]>[目的のカテゴリ]**を選択します。
- **[編集]>[カテゴリの設定]>[(目的のカテゴリ)]**を選択します。

これらの方法のいずれかを使用すると、オートアドバンスで次の画像に移動します。

すべてのIPTCフィールドで同様の利便性を利用するには、「[キーボードショートカットを使用して複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには](#)」を参照してください。

表示モード

表示モードでオートアドバンスをオンにするには:

下部のツールバーで、オートアドバンスボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。

表示モードでオートアドバンスを使用するには:

1. [ペイン]>[プロパティ]を選択します。
2. プロパティペインで重要度、カラーラベル、タグ、カテゴリ、またはキーワードを追加し、オートアドバンスでフィルムストリップの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。

表示モードで、次のキーボードショートカットを使用してフォルダを移動します。

ホーム	フォルダ内の最初の画像を選択します。
エンド	フォルダ内の最後の画像を選択します。
ページ下へ	次へ
ページ上へ	前へ

マップペインを使用する

マップペインを使用して写真に撮影場所の情報を追加することができます。場所の情報はいつでも呼び出し、表示することができます。マップを使って、ファイルのグループを選択して次のワークフローに移ったり、写真を選択して表示モードで表示したりします。

マップペインに表示されるファイルの場所は、ファイルのプロパティに含まれている緯度と経度の情報に基づいています。ジオタグ機能を持ったカメラを使っている場合、地理的な位置がマップ上に自動伝達されます。また、マップ上に直接ファイルをドラッグして[すべて保存]ボタンを押すと、座標を追加することができます。

ジオタグの付いている画像は、マップ上にピンで表示されます。マップ上のピンをクリックして、地理的な場所の範囲にあるファイルを選択し、表示したり処理したりすることができます。ジオタグが付けられた画像のピンがマップ上に表示されていない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。



マップに追加できるファイルフォーマットは次のとおりです。JPG、TIFF、RAW、DNG および PNG。



ACDSeeは、ジオタグを含むファイル情報を、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。ファイルの数が多い場合には、まずファイルをカタログ化すると、マップ上のピンの読み込み時間を短縮することができます。ファイルをカタログするには、[ツール]、[データベース]、[カタログファイル]とクリックします。

マップペインを開くには:

管理モードで、[ペイン]、[マップ] (**Ctrl + Shift + M**) をクリックします。

マップペインは、既定設定では管理モードでファイル一覧ペイン上に表示されます。マップのタイトルバーをドラッグして新しい場所に移動したり、ACDSeeの他の可動ペインのように、ペインをフロートしたり、別の場所にドックしたりすることが可能です。



管理モードで、キーボードショートカット **Ctrl + Shift + M** を押して、マップのオン/オフを切り替えることができます。

ドラッグしてマップにファイルを追加するには:

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある[すべて保存]をクリックします。

 画像を処理する前にジオタグを付けておくのが理想です。編集後にジオタグが付けられますが、元の状態に復元するコマンドを使用するとそのジオタグが失われてしまうためです。

マップからピンのある場所を削除するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、[マップ]>[マップから削除]を選択します。

マップ上でジオタグ付きの画像を表示するには:

ジオタグの付きの画像サムネイルを右クリックし、[マップ]>[マップで表示]を選択します。

場所を検索するには:

特定の場所を検索するには、マップペインの右上に表示されている**場所検索** フィールドに名前やランドマークを入力します。

場所、ズーム、マップの種類を規定に設定するには:

1. マップ上で希望する場所を表示し、希望するズームレベルに調整し、マップの種類 (地図、航空写真、地形) のいずれかを選択します。
2. [ツール]>[マップ]>[マップ場所を規定に設定]をクリックします。

 **注意:** マップは現在選択されているファイル一覧の内容に反映されます。ファイル一覧内に、既定設定とは異なる場所にマップされている画像が含まれている場合には、その場所が表示されますのでご注意ください。

 特定の場所にパンしてズームするには、マップ検索フィールドに場所の名前を入力して**Enter**キーを押します。

Reverse Geocoding (逆ジオコーディング):

Reverse Geocoding コマンドを使うと、特定の IPTC フィールドに場所の情報を保存することができます。含まれる情報: 国、国別コード、州/県、場所。

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある[すべて保存]をクリックします。
3. **Reverse Geocode** ボタンをクリックすると、場所の情報をプレビューできます。
4. [保存]をクリックすると、これらの情報を選択された画像の IPTC フィールドに保存します。

 複数の異なる場所の画像が選択されている場合は、それらのうちの一つのみが使用されます。

マップペインを使用したワークフロー

特定の場所の画像がすべて選択されている状態で、次のようなワークフローを実行することが可能です。

- 処理モードを開いて、編集を適用します。
- [一括] ツールを使用して、場所が同じ画像に同じ設定を適用します。
- [スライドショー] をクリックして、この場所の写真のスライドショーを表示したり、提示したりします。
- また、これらの写真を電子メールで **送信** します。

 ジオタグの付けられた画像が表示されない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。

ピンの凡例



ジオタグの場所を示します。



このエリアに複数のジオタグの場所があることを示します。(場所を拡大表示する)



選択されたジオタグの場所を示します。



任意の色のピンにドットがある場合、画像の場所が保存されていないことを示します。

ACDSee メタデータを複数のファイルに追加する

メタデータの入力や編集は、画像を処理する前に行うようお勧めします。**[オリジナルに戻す]** コマンドを使用すると、処理前にメタデータを入力していない限り、(RAW画像の場合を除き)その情報が失われてしまうためです。



CD-ROMのような読み取り専用メディア上のファイルには、IPTC情報、EXIF情報を設定することはできません。



[プロパティ] ペインを開いていない場合は、[ペイン] から [プロパティ] を選択します。

1つ以上のファイルにメタデータを追加するには:

1. 管理モードで、1つ以上のファイルを[ファイル一覧] ペインで選択します。
2. [プロパティ] ペインで [メタデータ] タブを選択します。
3. メタデータフィールドに情報を入力します。
4. [適用] をクリックするか、**Enter** キーを押して変更を適用します。



[管理] モードで [適用] をクリックするか **Enter** キーを押すと、フォーカスが[ファイル一覧] ペインに戻るため、キーボードを使って別のファイルをすぐに選択できます。



メタデータに連続した番号を入れるには、ファイルを選択し、任意のフィールドに開始番号 <#> を入力します。例) <5> を入力すると、連続する番号は5から始まります。

メタデータタブのキーボードショートカット

ショートカット操作	操作
Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを前に移動します。
Shift + Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを後ろに移動します。
Ctrl + K	[プロパティ] ペイン内 [整理] タブの [ACDSee メタデータ キーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Alt + K	[プロパティ] ペイン内 [メタデータ] タブにある [IPTC キーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Enter	変更を適用します。
Esc	変更を破棄します。



プロパティペイン外をクリックすると、入力していたメタデータが失われてしまいます。**[適用]** をクリックまたは **ENTER** を押さないと、変更は適用されません。

キーボードのショートカットを使用して、複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには：

1. 複数画像グループの最初の画像を選択して、メタデータフィールドに値や内容を入力します。
2. **Page Down** キーを押して次の画像に移動します。カーソルはプロパティペイン内の同じフィールドに置かれたままになりますので、複数の画像に同じフィールドの内容を素早く入力することができます。
3. フィールドに内容を入力したら、**Page Down** キーを再度押して次の写真に移動します。
4. 完了するまで手順3を繰り返します。



このショートカットを使用する場合、**[適用]** ボタンをクリックする必要はありません。



Page Up キーを使用して、前の写真に戻ることができます。

ACDSee と IPTC 間のカテゴリとキーワードの埋め込みとインポート

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC メタデータに埋め込んだり、IPTC キーワードと補足カテゴリから ACDSee キーワードとカテゴリにインポートしたりするための簡単なコマンドがあります。

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC キーワードと補足カテゴリに埋め込むには

ファイルを選択し、右クリックして **[メタデータ]** を選択します。キーワードを **IPTC** に埋め込む または カテゴリを **IPTC** に埋め込む。
または

ファイルを選択し、ツール | を選択します。メタデータ | キーワードを **IPTC** に埋め込む または カテゴリを **IPTC** に埋め込む。

IPTC メタデータのマージまたは上書き

ACDSee メタデータを **IPTC** メタデータに埋め込む際には、以前に保存されたメタデータと併せてデータを保存する方法を選択できます。

- ・ マージ: 既存の **IPTC** キーワードおよび/または **IPTC** の補足カテゴリに、**ACDSee** のメタデータが追加されます。
- ・ 上書き: **ACDSee** のメタデータは、既存の **IPTC** キーワードおよび/または **IPTC** の補足カテゴリを置き換えます。

キーワードと補足カテゴリを IPTC から ACDSee キーワードとカテゴリにインポートするには

ファイルを選択し、右クリックして **[メタデータ]** を選択します。**「IPTC」** キーワードからインポート または **IPTC** 補足カテゴリからインポート。

または

ファイルを選択し、ツール | **メタデータ** | を選択します。**「IPTC」** キーワードからインポート または **IPTC** 補足カテゴリからインポート。



IPTC メタデータから **ACDSee** へのインポート メタデータは常にマージとして機能します。

メタデータ表示の管理

メタデータ表示を選択するには：

1. **[ペイン]** | **[プロパティ]** をクリックして、プロパティペインを開きます。
2. プロパティペインの **[メタデータ]** タブを選択します。

3. [メタデータ] タブの [メタデータ表示] ドロップダウンリストをクリックして、次の表示オプションから1つ選択します: 既定のメタデータ表示 (最も一般的に使用されるフィールド)、すべての EXIF、すべての IPTC、ACDSee メタデータ、または保存されたカスタム表示。



[メタデータ] タブを表示するには、画像を選択している必要があります。

既定のメタデータ表示:

選択可能な5つの組み込みメタデータ表示があります:

- 既定のメタデータ表示
- すべての EXIF メタデータ
- すべての IPTC メタデータ
- すべてのビデオ メタデータ
- ACDSee メタデータ



ビデオ ファイルは **Windows** で再生可能な場合のみ再生されます。ビデオの **メタデータ** は、そのビデオが再生可能な場合にのみ表示されます。

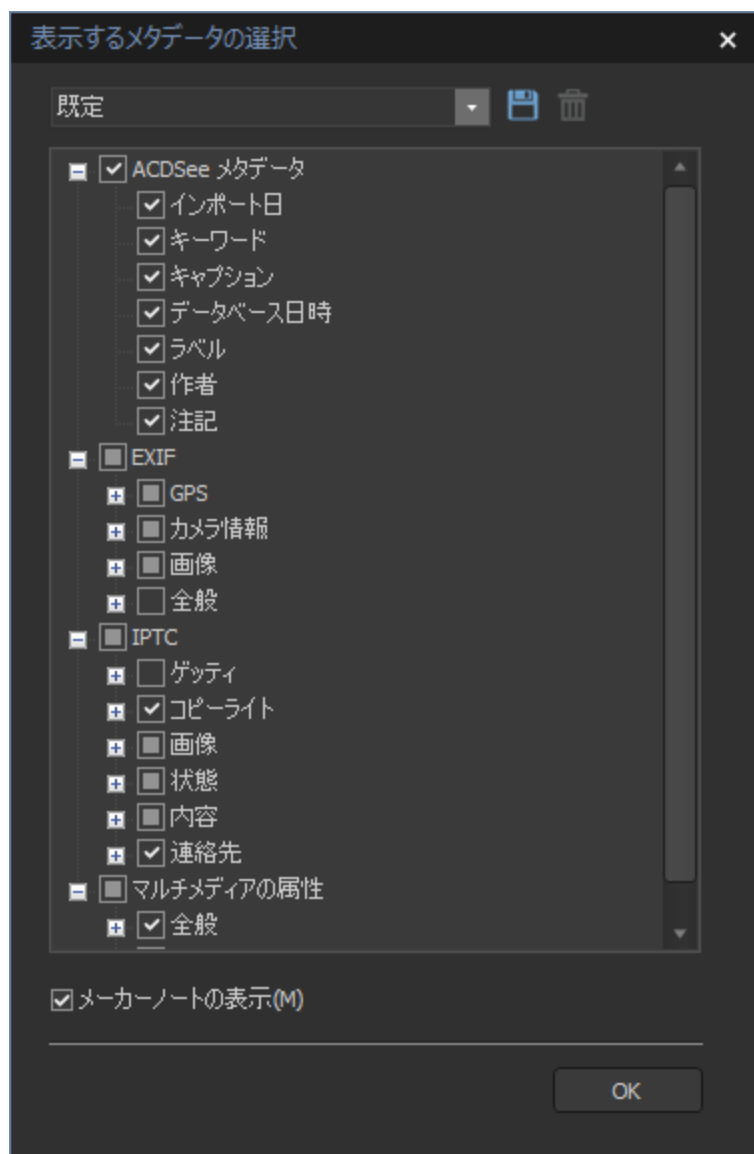
カスタマイズされたメタデータ表示を作成するには:

1. [メタデータ] ペインの [メタデータ表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理...] を選択します。
2. [表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで、ドロップダウンリストから[新規のメタデータ表示] を選択します。
3. プラス + 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスをオン/オフにして設定を選択します。以下の「メタデータ表示の管理オプション」を参照してください。
4. 保存ボタンをクリックして、カスタマイズした表示の名前を入力します。
5. [OK] をクリックします。

メタデータ表示の管理オプション

- グループ内のすべての項目が選択されている場合、グループのチェックボックスがチェックされます。
- グループ内の項目が一つも選択されていない場合、グループのチェックボックスは未チェックになります。
- グループ内の一部の項目 (すべてではない) が選択されている場合、グループのチェックボックスは塗りつぶされた状態で表示されます。

チェックボックスをオン/オフにして、選択を確定してください。



【メーカーノートを表示】 チェックボックスをオンまたはオフにすることで、メーカーノートを表示するかどうかを選択できます。

階層キーワードの作成と割り当て

ファイルにキーワードを追加し、それらのキーワードから階層を構築できます。これらのグループは、キーワードツリーで管理されます。[プロパティ]ペインの[整理]タブを選択して、キーワードを作成、名前変更、削除、および移動します。

[ペイン] > [キーワード] を選択すると、キーワードペインが利用できます。



【カタログ]ペインの[キーワード]グループで特定のキーワードをクリックすると、特定のキーワードに割り当てられた画像すべてを表示できます。

キーワードを作成する

キーワードを管理するには:

ファイル一覧ペインの右にあるプロパティペインで、次のいずれかを実行します。

- [整理]タブの[キーワード]グループの下部で、[キーワード]を右クリックし、[新しいキーワード]をコンテキストメニューから選択します。
- キーワードグループの一番上にキーワードを入力して**Enter**を押します。

既存のキーワードをファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います：

- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードのチェックボックスを有効にする。
- 1つまたは複数のファイルを選択し、**キーワード**の左側にあるイージーセレクトバーをクリックして選択します。複数のイージーセレクトバーを同時に選択することができます。**選択したキーワードを割り当て**を押します。
- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードを右クリックする。コンテキストメニューから[アイテムの割り当て]を選択します。
- 1つ以上のファイルを選択し、ファイルをキーワードにドラッグする。
- ファイルを一つ以上選択し、クイックキーワード セットからキーワードを選択します。選択したキーワードがファイルに割り当てられ、ツリーにも追加されます。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、次の操作が実行できます。

- ファイルを一つ以上選択し、キーワードをツリーから選択したファイルにドラッグします。

階層を作成するには、次のいずれかを実行します：

- キーワードフィールドで、より具体的なキーワード < より幅広い一般的なキーワード、のように記述する。

例：

フクロウ < 鳥

または

マドリード < スペイン < ヨーロッパ

- 既存のキーワードを右クリックして、[新しいキーワード]を選択します。新しいキーワードは自動的に既存のキーワードの子供になります。

 1つのファイルに複数のキーワードを割り当てする場合、複数のキーワードをカンマで区切ってください (階層を作れません)。

キーワードを管理する

キーワードを管理するには：

カテゴリタブにあるキーワードを選択し、次のいずれかの操作を実行します。

- ファイルに割り当てたキーワードを削除するには、キーワードを選択し右クリックして、[アイテムの削除]をクリックするかチェックボックスを無効にします。
- **割り当てを解除**したいキーワードの左側にあるイージーセレクトバーをクリックし、**選択したキーワードの割り当てを解除**を押します。
- 現在割り当てられているキーワードの**チェックボックス**をクリックすると、**割り当て**が解除されます。
- キーワードを編集するには、キーワードを選択して右クリックし、[編集]を選択します。
- キーワードを削除するには、削除したいキーワードを右クリックし、[削除]を選択します。
- キーワードを複製するには、複製したいキーワードを右クリックして[コピー]を選択し、コピーしたい場所で[貼り付け]を選択します。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、上記の管理操作のほか、以下に挙げる操作も実行できます。

- キーワードツリーを編集するには、キーワードをドラッグして他の場所に移動します。

すべてのキーワードの割り当て解除:

現在選択したものを割り当て解除するには、**キーワードセクション**の右下にある**すべてのキーワードの割り当て解除**  を押します。

すべてのキーワードを選択し、選択をクリアする:

すべてのキーワードを一度に選択するには、**すべてのキーワードを選択**  を押します。

クリア・セクション  を押すと、すべてのキーワードを一度に選択解除することができます。

キーワードを削除中:

ファイル・リスト・ペインの右にあるプロパティ・ペインで、以下のいずれかを行う:

- ・「オーガナイズ」タブの「キーワード」グループの一番下にある、削除したい**キーワード**を右クリックし、コンテキストメニューから**キーワードを削除**を選択します。
- ・「オーガナイズ」タブで、削除したいキーワードの左にあるイーजीセレクトバーをクリックし、**選択したキーワードを削除**を押す。

ファイル・リスト・ペインの左にあるカタログ・ペインで、以下を実行する:

- ・削除したい**キーワード**を右クリックし、コンテキストメニューから**削除**を選択します。

すべての未割り当てキーワードの削除:

アセットが割り当てられていないキーワードは、**すべての未割り当てのキーワードを削除** オプションですばやく削除できます。

- ・ ツール | メタデータ | **すべての未割り当てのキーワードを削除** をクリックする。

キーワードのフィルタリング:

「プロパティ」ペインの「キーワードをフィルター」テキストフィールドをクリックして任意の単語を入力すると、**【整理】** タブ内でキーワードをフィルターできます。表示されるキーワードは、入力時に動的にフィルタリングされます。

クイックキーワードを作成する

「クイックキーワード」を使用して、関連するキーワード同士でグループを作成することにより、整理された状態を保ち作業をスムーズにできます。階層構造の中に埋もれてしまわないので、キーワードに簡単にアクセスできます。グループを複数作成し、閲覧している写真に合わせて切り替えることができます。ACDSeeには、クイックキーワードの各種セットが使えるように、あらかじめ設定されています。これらのキーワードをツリーに追加することも可能です。

例:

イタリア

フィレンツェ	ヴェネツィア	コモ湖
ローマ	ミラノ	ヴェローナ
ジェノヴァ	ボローニャ	ナポリ

クイックキーワードからキーワードを割り当てるには:

1つ以上のファイルを選択し、キーワードをクリックします。

素早くアクセスできるクイック キーワードを作成するには:

1. 「整理」タブの「キーワード」グループで、ドロップダウンメニューから**新しいクイックキーワードセット...**を選択します。「クイックキーワード」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「行と列」ドロップダウンメニューから値を選択して、セットの行と列の数をカスタマイズします。

3. 関連キーワードまたは頻繁に使用するキーワードを、250個まで空欄に入力できます。フィールド内に階層を作成するには、パイプキーを使用します。例: A|B|C
4. **[OK]** ボタンをクリックします。
5. **[新しいプリセット]** ダイアログで、セットの名前を入力します。**[OK]** をクリックします。
6. ファイルを選択したらクイックキーワードの表から適切なキーワードを選択して、セットからキーワードを適用します。キーワードがツリーに追加されます。キーワードセットに階層を指定した場合、親キーワードがツリーに表示され、子はその下に格納されます。現在選択されているファイルに割り当てられているキーワードは、表内のキーワードテキストの色が変化し、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



クイックキーワードセットは、AppData フォルダの ACDSee の下の [プリセット] フォルダに保存されます。[プリセット] フォルダは以下のパスで検索できます。C:\Users\<あなたの名前>\AppData\Local\ACD Systems\Presets

キーワードのインポートとエクスポート

他のユーザーから ACDSee にキーワードをインポートすることができます。キーワードをエクスポートして共有することもできます。キーワードは、.txt ファイルとしてインポートおよびエクスポートされます。



Adobe® Lightroom® のキーワードをインポートすることができます。

キーワードのエクスポート:

1. **[ツール] > [メタデータ] > [キーワードのエクスポート]** を選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. キーワードファイルの名前を入力します。
4. **[保存]** を押します。

キーワードをインポート:

1. **[ツール] > [メタデータ] > [キーワードのインポート]** を選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. ファイルを選択して、**[開く]** を押します。ファイル内のキーワードは ACDSee キーワードツリーにロードされ、アルファベット順に一覧表示されます。重複したキーワードは結合されます。

ファイルのコピーと移動

[フォルダにコピー] および [フォルダに移動] コマンドを使用して、ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、既存のファイルの上書きを処理する方法を指定したりすることができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。



ACDSee ホームを使用してファイルの場所を変更する場合、デフォルト設定として、それらのファイルと関連付けられている ACDSee メタデータが新しい場所に自動的にコピーされます。関連付けられているファイルをコピーしたくない場合は、**RAW ファイル以外の関連付けられたファイルを含む** チェックボックスをオフにします。



ACDSee ホームを使用せずにファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れてしまいます。これは ACDSee ホームがファイルを追跡できないために発生します。その結果、カテゴリやその他の重要なデータベース情報が失われます。これは **結合の変更** とデータベースの再結合をクリックすることで、解決することができます。ファイルそのものにデータベース情報が埋め込まれている場合、**[ツール] > [データベース] > [ファイルのカタログ化]** の順にクリックして情報を取り込むことが可能です。

 **ACDSee** は XMP を使用して、各 ファイルに **ACDSee** メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、**ACDSee** メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、**ACDSee** 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、**ACDSee** メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、**ACDSee** メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、**ACDSee** メタデータが永久に失われる恐れがあります。

ファイルをコピーまたは移動するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイル一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、**[編集] > [フォルダにコピー]** または **[フォルダに移動]** を選択します。
 - 表示モードで画像またはメディアファイルを表示しながら、**[編集] > [フォルダにコピー]** または **[フォルダに移動]** を選択します。
- [ファイルのコピー]** または **[ファイルの移動]** ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
 - [フォルダ]** タブを選択し、保存先となるハードディスク上のフォルダを指定します。
 - [履歴]** タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
 - [フォルダの作成]** を選択してから、新規フォルダ名を入力します。
- [重複ファイルを上書きする]** ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択して、**ACDSee** ホームのファイルの上書き方法を指定します:
 - 確認する:** ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
 - 名前を変更する:** ファイル名の変更を促すメッセージを表示します。
 - 置き換え:** 同じファイル名と拡張子のファイルで上書きします。
 - スキップ:** ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
- [OK]** をクリックします。

画像をクリップボードにコピーする

画像をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションに貼り付けることができます。**[画像のコピー]** コマンドを使用すると、画像データのみがクリップボードにコピーされます。EXIF、IPTC、メタデータの情報は保持されません。

画像をコピーするには:

- 管理モードまたは表示モードで、コピーしたい画像を選択します。
- クリックして、**編集** または **コピー** します。画像を右クリックして**コピー**を選択するか、**Ctrl + Insert** キーを押します。
- 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

画像をファイルパスとしてコピーする:

- 管理モードまたは表示モードで、ファイルパスをコピーしたい画像ファイルを選択します。
- 画像を右クリックし、**パスとしてコピー** を選択します。
- 画像ファイルのパスを任意の場所に貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、**ACDSee** メタデータを失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインまたはフォルダペインから1つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. **[編集]**メニューから**[コピー]**または**[切り取り]**をクリックします。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. **[編集]**メニューから**[貼り付け]**を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える / 上書きする

同一のファイル名と拡張子が、コピー先または移動先に既に存在する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSeeでは、**[ファイル置換の確認]**ダイアログボックスで、関係するファイル両方を表示することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、ACDSee ホームは両ファイルのサムネイルのプレビューを表示します。そして、重複するファイル名の取扱い方法は、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止、から選択できます。

[ファイル置換の確認] ダイアログボックスを使用するには:

1. 複数のファイルを移動する際、名前が重複する可能性のあるファイルすべてを同じ方法で扱うよう設定するには、**[すべてに適用]**チェックボックスをオンにします。
2. 2つのファイルの違いを比べるには、プレビューウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 保存先ファイルをソースファイルに置き換えるには、**[置換]**ボタンをクリックします。
 - 保存先フォルダに移動する前にファイル名を変更するには、**[変更後の名前]**欄に新規ファイル名を入力し、**[名前の変更]**をクリックします。
 - このファイルをスキップして、ファイル両方をそのまま残すには、**[スキップ]**をクリックします。
 - ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除したいファイルの下にある**[削除]**ボタンをクリックします。
 - 操作を中止してこれ以上ファイルをコピーまたは移動しないようにするには、**[キャンセル]**ボタンをクリックします。

 **[ファイル置換の確認]**ダイアログボックスでは、ターゲットフォルダにあるファイルを**[移動先ファイル]**、移動またはコピーしようとしているファイルを**[ソースファイル]**と称します。

ファイル名やフォルダ名を変更する

[フォルダ]ペインまたは**[ファイル一覧]**ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

ファイル名またはフォルダ名を変更するには:

1. 管理モードのファイル一覧またはフォルダペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. **編集**メニューから**名前を変更する**(名前を変更する)をクリックします。
3. 「.jpg」のようなファイル拡張子を削除あるいは変更しないよう注意し、新規ファイル名を入力します。
4. **入力**または**決定**キーを押します。

 複数のファイル名をまとめて変更するには、名前一括変更ツールを使用します。

プライベートフォルダにファイルを入れる

機密性の高いファイルは、セキュリティ保護されたフォルダに格納できます。プライベートフォルダにファイルを格納すると、現在の場所からファイルが見えなくなります。プライベートフォルダはパスワード保護されており、ACDSee内でのみ表示することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追加すると、それらに関する全情報がデータベースから完全に削除されることになります。つまり、ファイルを復元しても、情報がデータベースに復元されることはありません。ファイルに関するデータベース情報を保存したい場合には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移動します。

プライベートフォルダ ペンを開くには:

管理モードで、[ペイン] > [プライベートフォルダ] をクリックします。

プライベートフォルダを作成するには:

1. 開かれているプライベートフォルダがある場合には全て閉じます。
2. [プライベートフォルダ] ペインにある [プライベートフォルダ] アイコンを右クリックし、[**プライベートフォルダを作成する**] を選択します。
3. [パスワードの入力] 用テキストボックスに、プライベートフォルダ用のパスワードを入力します。パスワードに使用できる最長文字数は 40 文字です。
4. [パスワードの再入力] 用テキストボックスに、パスワードを再入力します。
5. [OK] をクリックします。



新規作成されたフォルダは、プライベートフォルダペインには表示されません。プライベートフォルダは隠れているため、パスワードを入力することでのみ表示することができます。プライベートフォルダを開くと、そのフォルダ内に含まれているサブフォルダも表示されますが、プライベートフォルダとこれらのサブフォルダを区別するようにしてください。

プライベートフォルダを開くには:

1. 開かれているプライベートフォルダがある場合には全て閉じます。
2. [ペイン] > [**プライベートフォルダー**] をクリックします。
3. [プライベートフォルダ] ペインのヘッダーにある [開く] ボタンをクリックします。
4. [パスワードの入力] テキストボックスに、開こうとしているプライベートフォルダのパスワードを入力します。
5. [OK] をクリックします。



開かれているプライベートフォルダの内容は、そのフォルダを閉じるまで表示されます。コンピュータから離れる可能性があり、他の人にそのプライベートフォルダを見られたくない場合には、フォルダを閉じてから席を外すように気をつけてください。

プライベートフォルダを閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [プライベートフォルダ] ペインのヘッダーにある [閉じる] ボタンをクリックします。
- [ファイル] > [最後まで] をクリックして、ACDSeeを最後までします。プライベートフォルダが自動的に閉じられます。

プライベートフォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベートフォルダを開きます。
2. [プライベートフォルダ] ペインの [プライベートフォルダ] アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。警告メッセージが表示されます。
3. [はい] をクリックして、プライベートフォルダにファイルを移動します。



ファイルやフォルダをプライベートフォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベートフォルダに追加されることになります。パスワードを忘れてしまうと、プライベートフォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベートフォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベートフォルダを開きます。
2. [プライベートフォルダ]ペインの [プライベートフォルダ]アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。
3. [はい]をクリックして、フォルダとその内容をプライベートフォルダに移動します。

プライベートフォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベートフォルダを開きます。
2. フォルダまたはファイルを選択し、[ファイル] > [プライベートフォルダから復元する]をクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、[OK] をクリックします。
4. [OK]をクリックします。



この操作により、ACDSee ホームは指定された場所にプライベートフォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベートフォルダ、またはプライベートフォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベートフォルダを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - プライベートフォルダを削除するには、[プライベートフォルダ]アイコンを右クリックし、[削除]を選択します。
 - プライベートフォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、[削除]を選択します。

警告メッセージが表示されます。
3. [はい]をクリックしてプライベートフォルダとその内容を削除する、あるいはプライベートフォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。



プライベートフォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベートフォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベートフォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所に移動して復元するようにしてください。

画像またはファイルにタグを付ける

画像にタグを付けて、特定の特性を識別することができます。これは、あるイベントの最高の写真やレビューしたい画像を識別することもできます。これと同じ方法を使用して、ドキュメントやその他のファイルを整理および分類できます。

サムネイルの右下に、タグ付けチェックボックスがあります。このチェックボックスをオンにして、写真またはドキュメントのタグの設定と解除を切り替えます。タグをつけた写真は、このチェックボックスのチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

カタログ ペインのスペシャルアイテムにある[**タグ付き**]をワンクリックするだけで、タグの付いたすべての写真またはファイルを表示することができます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、写真やファイルをまとめて管理することができます。



タグは、画像やファイルを区別する一時的な手段として意図されています。画像やファイルを移動したり、カテゴリや重要度を適用する操作が完了したら、タグをクリアするようにします。長期間にわたって画像やファイルを管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

選択した画像やファイルにタグを付けるには:

- キーボードショートカット \ バックスラッシュキーを使用してタグを適用します。
- サムネイルの右下にあるチェックボックスをオンにします。
- 1 つまたは複数のサムネイル上を右クリックして、[タグ] を選択します。
- プロパティペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスのチェックをオンにします。

選択した画像やファイルのタグを解除するには:

- キーボードショートカット \ バックスラッシュキーを使用してタグを適用します。
- プロパティペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスのチェックを外します。

タグのついたすべての画像やファイルからタグを解除するには:

1. [カタログ] ペインの [タグ付き] をクリックして、タグの付いたすべてのファイルをファイル一覧に表示します。
2. キーボードショートカットの **Ctrl + A** キーを押して、すべてのファイルを選択します。
3. バックスラッシュキー \ をクリックしてタグを削除します。

タグのついた画像やファイルを表示するには:

管理モードで、[ペイン] から [カタログ] をクリックして、カタログ ペインを開き、[スペシャル アイテム] セクションの [タグ付き] をクリックします。

タグの付いた写真やファイルがすべて、ファイル一覧ペインに表示されます。

表示モードで画像またはファイルにタグを付けるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 表示モードで、ステータスバーの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードで、[ペイン] から [プロパティ] をクリックして、プロパティペインを開き、[メタデータ] タブをクリックして、左上隅にある [タグ付き] のチェックボックスをオンにします。

画像の比較中にタグを付けるには:

1. [比較リスト] で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをオンにします。
2. [OK] をクリックします。[画像の比較] を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いているか確認します。

自動カテゴリからIPTC キーワードを削除する

ACDSee ホーム データベースから、使用していない IPTC キーワードを削除することができます。一度削除すると、IPTC キーワードは、カタログ ペインの画像プロパティの自動 カテゴリリストのキーワード (IPTC) から削除されます。



このプロセスは [補充 カテゴリ] フィールドにも適用されます。このフィールドは、[ツール] > [オプション] > [プロパティ ペイン] で **メタデータ表示の管理** ボタンをクリックし、[表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで選択されている場合のみ表示されます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. 管理モードで、IPTC をサポートしている画像を選択します。
2. プロパティペインが表示されていない場合は、[ペイン] > [プロパティ] をクリックします。

3. 次を実行して、画像が書き込み可能かを確認します：

- ・ [ファイル] タブを選択して [読み取り専用] にチェックマークがあるか確認します。
- ・ [読み取り専用] にチェックマークが付いている場合、その画像に書き込むことはできません。[読み取り専用] チェックマークをオフにして、ファイルを書き込み可能にします。

4. [メタデータ] タブの [IPTC] セクションで、 [キーワード] フィールドの横にあるキーワードピッカーボタンをクリックします。

5. [IPTCキーワードの選択] ダイアログボックスで、[リストの編集] をクリックします。

6. 値リストから削除したいキーワードを選択します。



複数のキーワードを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらキーワードをクリックします。

7. 削除をクリックします。

8. [OK] をクリックします。

9. もう一度 [OK] をクリックして確認します。



使用されていないキーワードのみをリストから削除できます。キーワードに関連付けされている写真を検索するには、カタログページの自動カテゴリリストで画像プロパティにリストされているキーワードをクリックします。

画像プロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、管理モードや表示モードで表示される1つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイルプロパティの日付けと時間を変更するには：

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール] から [一括] として [タイムスタンプの調整] を選択します。
 - ・ 表示モードで、[ツール] から [修正]、[画像のタイムスタンプを調整] をクリックします。
- 「変更する更新日時を選択する」タブで、次のオプションを選択します。

変更する日付

EXIF日時	オリジナルの EXIF 日時	画像がキャプチャされたオリジナルの日時です。
	デジタル化された EXIF日時	画像がデジタル画像に変換された日時です(通常オリジナルと同じになります。)
	EXIF日時	画像の最終更新日時です。
ファイルの最終更新日時		画像またはファイルが最後に編集された日時です。例えば、画像の編集や、メタデータへの更新を行った日時などです。
ファイルの作成日時		ファイルが作成されたオリジナルの日時です。
ACDSeeデータベースの日付と時刻		ACDSeeデータベース上で記録されている日付と時刻です。

3. [アドバンスオプション] タブで、以下で解説する[画像のタイムスタンプを調整]ツールのオプションを選択し、[次へ]をクリックします。

アドバンスオプション

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日付と時刻の変更を開始するには、[タイムスタンプを調整]をクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	手順が完了次第、[画像のタイムスタンプ調整]ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

4. 「新規の更新日時を選択する」のページで、次のいずれかのオプションを選択します。
- 別の日付と時刻を使用: 選択した日付と時刻を、同じファイルの別のタイムスタンププロパティに置き換えます。[日付と時刻の選択]ドロップダウンリストから、使用したいファイルプロパティを選択します。
 - 特定の日付と時刻を使用する: 各ファイル内の選択されたタイムスタンプを特定の日付と時刻に変更します。[日付と時刻]フィールドのタイムスタンプに新規の日付と時刻を入力します。
 - 新規の開始日時に変更する: 最も古いタイムスタンプを特定の日付と時刻に置き換え、以降のタイムスタンプすべてをその日付と時刻に合わせてずらしします。[日付と時刻]フィールドで最も古いファイルのタイムスタンプを指定します。
 - 日付と時刻を指定した時間数分ずらす: すべてのタイムスタンプを特定の時間数分、前後にずらしします(タイムゾーンに合わせて調整します)。[早い時間にシフト]または[遅い時間にシフト]を選択し、[時間]、[分]、[秒]のスピニングボックスに数値を入力します。
5. [タイムスタンプの調整]をクリックして、ファイルの調整を開始します。
6. ウィザードが終了したら、[完了]をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

[同期]ウィザードを使用すると、ローカルハードドライブにエラーが発生した場合に備えて、ファイルを同期したコピーを作成できます。これはバックアップとも言われます。このウィザードでは、ネットワーク、リモートコンピュータ、外部ハードドライブに保存されているローカルフォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集 / 削除などのオプション設定が可能です。

❗ ファイルを新しい保存場所にコピーすると、[同期]ウィザードではデータベースのバックアップは作成されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

同期ファイルを作成するには:

- [管理]モードで、[ファイル]>[同期]>[同期を作成]をクリックします。
- [よろこ]ページで、準備ができた[次へ] ボタンをクリックして続行します。
- 「同期オプション」のページで次を実行します。
 - [ソースフォルダ] フィールドで、コピーしたいファイルがあるフォルダを指定します。
 - [バックアップの保存先]フィールドで、ネットワークドライブやリモートコンピュータまたは外付けハードドライブにあるフォルダを、バックアップファイルの保存先として指定します。

- **[オプション]** エリアで、同期がエラーとログを処理する方法を指定します。
- **[確認]** エリアで、同期が重複ファイルを処理する方法を指定します。
- 準備ができたら**[次へ]**をクリックして続行します。

4. 「同期スケジュール」のページで次を実行します。

- **[名前]** テキストボックスに、同期の名前を入力します。
- **[スケジュール]** エリアで、同期を今すぐ実行するか、同期のスケジュールを設定するかを指定します。
- ウィザードを完了するには、**[完了]**をクリックします。



スケジュール: パスワードのないアカウントでは、スケジュールは設定できません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

ACDSeeから、同期設定を変更したり、定期的に同期を実行するスケジュールを設定したり、同期を削除したりすることができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. **[管理]** モードで、**[ファイル]>[同期]>[同期を編集]**をクリックします。
2. **[既存の同期]** ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 同期のスケジュールを設定するには、**[スケジュール]**をクリックします。同期を実行する頻度を指定したら、**[OK]**をクリックします。
 - 設定を調整するには、**[編集]**をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモートコンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。**[オプション]** エリアで、同期時のエラーやログの対処方法についての設定を更新します。**[確認]** エリアで、同期が重複ファイルを処理する方法についての設定を更新します。設定が完了したら、**[OK]**をクリックします。
 - 同期の名称を変更するには、**[名前の変更]**をクリックします。同期の新規名称を入力し、**[OK]**をクリックします。
 - 同期を削除するには、**[削除]**をクリックします。
4. **[閉じる]**をクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

管理 モードから、**[ファイル]>[同期]**をクリックし、実行したい同期の名称を選択します。

で検索ACDSee ホーム

ACDSee ホームでは、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞り込み検索することができます。また、特定の日付や重要度に該当するファイルを検索し、その検索条件に名前を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索、また管理することもできます。

比較的シンプルな検索をする場合には、クイック検索 バーを使ってファイルやフォルダを検索したり、特定の名前やキーワードを指定してデータベース内を検索することができます。クイック検索 バーをカスタマイズして、特定の項目やデータベースの特定情報だけで検索することができます。

「カタログ ペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。多数の画像から検索するような場合、「ブラウズ検索 ペイン」を使用すれば、ファイル一覧 ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

クイック検索 バーを使用する

管理 モードでは、クイックサーチバーを使用して、すばやくファイルまたはフォルダーを検索 することができます。クイックサーチオプションを使用して検索 を絞り込んだり拡大したりし、ファイルリストペインで結果 を表示 することができます。

このアイコン  をクリックすることで、クイックサーチが現在のファイルリストのファイルのみを検索 するか、またはデータベース全体を検索 するかを選択 できます。

クイック検索 を実行 する場合、検索 を実行 するタイプをクリックすることで、クイックサーチフィールドの右側にある拡大鏡アイコン  をクリックすることで選択 できます。

検索タイプは、**デリミター**、**演算子**、またはなしを使用 します：

- **デリミター**は、コンマとスペースです。デリミターを使用 する検索 タイプは、コンマまたはスペースで検索 語を区切 ります。
- **スタートウィズ とエンドウィズ** は、何も分離 しません。入力 されたすべてのテキストはリテラルです。例：猫, 犬 は、コンマとスペースを含めた「猫, 犬」を検索 します。
- クラシッククイックサーチでは、+、-、|、およびスペース(+と同じ方法で扱われます)の演算子を使用 します。

クイック検索 タイプ：

検索タイプ	結果	区切り文字	例
単語 任意	検索条件内で指定されたいずれかの語句を含むアイテムの検索。サブストリング検索を含む。	区切り文字	猫, イヌ は、猫またはイヌまたはその2つの組み合わせのいずれかを含む全ての結果を返します。サブストリング検索を含むため、例えば猫を検索するとネコを含む単語(例: カタロ)の結果も表示されます。
単語 どれか	検索条件内で指定された全ての語句を含むアイテムの検索。サブストリング検索を含む。	区切り文字	猫, イヌ は、猫 とイヌの両方を含む全ての結果を返します。
単語 すべて	検索条件内で指定された単語を含むアイテムの検索。	デリミタ	猫, イヌ は、猫およびイヌという単語全体を含むすべての結果を返します。
含まない	検索条件内に指定された語句のいずれも含まない項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。	デリミタ	猫, イヌ は、猫またはイヌという検索語句を含まないすべての結果を返します。
先頭に	検索条件内で指定された文字で始まるすべての項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。	なし	猫 は、猫で始まるすべての結果を返します。これには検索語句を含む結果も含まれます (catalog など)。
末尾に	検索条件内で指定された文字で終わる項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。 ご注意: ファイル名を検索する場合は、ファイル拡張子を必ず含める必要があります。	なし	Sing は、Singで終わるすべての結果を返します。これに

検索タイプ	結果	区切り文字	例
			は、 「rising」の ような指定さ れた用語で 始まらない 結果も含ま れます。 Sing.jpg は、 Sing.jpgで 終わるすべ ての結果を 返します。こ れは、.jpg の拡張子を 含むsingの みの結果が 返されること を意味しま す。
クラシック ク イック サーチ	ACDSeeの旧式のクイックサーチエンジンを使用して項目を検索します。ファイル名を検索する場合、検索は「スタートウイズ(で始まる)」検索スタイルを使用します。他の検索フィールドは全ての単語を検索します。 演算子: +: 両方の検索語句を含むすべての項目を検索します。片方のみを含む項目は除外されます。スペースも + 演算子として扱われます。 -: 最初の検索語句を含むすべての項目を検索し、二番目の語句を含む項目を除外します。 : 検索要素のいずれかを含むすべての項目を検索します。	演算子	猫 -犬 は、犬を 含まない 猫を含む すべての 項目を 返しま す。マイ ナス記号 の前にス ペースを 挿入して ください。 スペース を挿入し ない場 合、 ACDSee e ホーム は、ハイ フンで区 切られた 単語を 検索して いるとみ なしま

検索タイプ	結果	区切り文字	例
			す。 猫 犬 は、猫または犬を含むすべての項目を含みます。 猫+犬+-子猫 は、猫と犬を含み、子猫も含む項目を除くすべての項目を返します。 猫+犬 または猫犬は、猫と犬を含む項目を返します。 猫+犬 子猫 は、猫と犬を含み、子猫も含む項目を含めるものです。

クイックサーチを実行する:

次のいずれかを行ってください:

1. クイックサーチバーに、検索したい用語または用語の一部を入力します。
2. クイック検索フィールドの横のドロップダウンリストをクリックし、以前入力した検索用語を選択します。



キーボードショートカット**Ctrl + F**を使用して、クイック検索バーにフォーカスを移し、すぐに入力を開始できます。

検索に含まれるフィールドを選択する:

- [ツール] | [オプション]を選択します。
- [管理モード]で[クイック検索]を選択します。
- 検索に含まれるか除外されるかを切り替え、[OK]を選択します。

高度な検索パネルを使用する

ファイルとフォルダを検索するために高度な検索パネルを使用できます。ファイル名、テキスト文字列、メタデータフィールド、ファイルプロパティ、画像属性など、さまざまなオプションで検索できます。また、ファイル名パターンを検索して重複するファイルを見つけることもできます。

さらに、検索を保存して名前を付けることができます。検索プリセットは、高度な検索パネルとカタログパネルにリストされています。高度な検索パネルでは、ドロップダウンリストから検索プリセットを選択して再度実行できます。カタログパネルでは、検索プリセットが自動カテゴリの下にリストされています。検索プリセットの名前をクリックするだけで再度実行できます。



高度な検索パネルでは、ACDSee ホームデータベースにカタログ化されていないフォルダの検索結果を返しません。ブラウズしてフォルダにアクセスすると、自動的にカタログ化されます。また、**ツール | データベース | ファイルをカタログ化**をクリックすることもできます。

高度な検索パネルを開くには:

管理モードで、**パネル | 高度な検索**をクリックします。

高度な検索パネルエリア

高度な検索パネルには、検索を管理するのに役立ついくつかのエリアがあります。検索を作成する際は、検索ツールが指定したすべての条件を満たすファイルのみが返されることを覚えておく必要があります。

検索プリセット

検索プリセットエリアでは、後で使用するための複雑な検索を保存したり、既存の検索を再度実行したり、検索プリセットを削除することができます。

検索プリセット

検索プリセットがある場合、このドロップダウンリストにリストされています。これを選択して再度実行できます。パネルの下部で**開始**をクリックすると、検索結果がファイルリストパネルに表示されます。

検索プリセットは、カタログパネルにもリストされています。検索プリセットの名前をクリックするだけで再度実行できます。

検索プリセットを保存する



「保存」アイコンをクリックします。検索プリセットダイアログが開いたら、検索に名前を付けます。説明的な名前を使うと、検索プリセット内の条件をより簡単に記憶できます。

検索プリセットを削除する



ドロップダウンリストから検索を選択し、**「削除」**アイコンをクリックします。プロンプトが開いたら、**「はい」**をクリックして削除を確認します。

ソース

ファイルを検索するとき、3つの異なるソース位置から検索できます:

データベース	「データベース」ソースを使用した検索では、フォトスタジオに登録されたファイルが検索対象となります。
フォルダ	「フォルダ」ソースを使用した検索では、一つ以上のフォルダ内のファイルが検索対象となります。フォルダを一つ以上選択するか、「現在のフォルダに同期」を選択することで、フォルダベインで選択中のフォルダが検索対象となります。
現在の表示	「現在の表示」ソースを使用した検索では、フォトスタジオの現在選択中のファイルリスト内のファイルが検索対象となります。これには、フォルダを一つ以上含んだり、カタログベインから異なるメタデータを含んだり、前回の検索の結果を含むこともあります。

基準

多岐にわたる基準やファイル形式から選択可能です。ヘッダーにある「ファイルタイプセクター」ボタンを押すと、検索可能なさまざまなファイル形式のメニューが開きます。

+ ボタンを押すと、「基準ピッカー」が表示され、検索可能な基準のフルリストが表示されます。左側の基準をクリックすると、右側に追加されます。右側に追加された基準は上下移動したり、と/又はの状態を変更したり、削除ボタンで削除したりできます。OK ボタンをクリックすると、選択した基準を「高度な検索」ベインに反映します。ほとんどの基準は単一のメタデータフィールドを検索するため、細かな検索が可能です。基準はそれぞれ、高度な検索ベインにと/又はの状態を表示するボタンによって区切られており、そのボタンをクリックすると、とと又はの間で状態が切り替わります。

詳細情報や例については、「[高度な検索ベインでの基準の選択](#)」を参照してください。



「高度な検索」ベインに基準が追加されたら、多くの場合に「ギアアイコン」が表示されます。ギアアイコンをクリックすると、検索をさらにカスタマイズできる追加の方法が提供されます。

履歴

「高度な検索」が実行されると、アクティビティマネージャーの「履歴」セクションに表示されます。「履歴」内の「高度な検索」エントリをクリックすると、検索条件が事前にロードされた状態で「高度な検索」ベインが開きます。詳細については、「[アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。

オプション

フォルダの処理

検索結果を返すときのフォルダの処理方法を選択できます：

それらのフォルダを返す	検索条件を満たすフォルダーを返します
これらのフォルダーとその内容を返します	検索条件を満たすフォルダとその内容を返します
それらのフォルダーの内容のみを返します	フォルダ自体は表示せずに、検索条件を満たすフォルダの内容を返します



この設定に関係なく、検索では常に検索条件を満たすファイルが返されます。

高度な検索パネルでの選択基準

高度な検索パネルを使用すると、ACDSeeのメタデータ、IPTC、EXIF、その他のファイル情報から大量の選択基準を検索できます。一般的に使用される基準とその他のデータ型の例については、以下の表を参照してください。

データ型	定義と例	
ファイル名	ファイル名またはフォルダー名でファイルを検索します。パターン一致以外のすべての検索タイプでは、検索キーワードをセミコロンで区切ることができます。各検索フィールドで いずれかを含む または すべてを含む を選択して、検索キーワードの処理方法を決定できます。いずれかを含む は、検索キーワードのいずれかが含まれるアイテムを検索し、すべてを含む は、検索キーワードのすべてが含まれるアイテムを検索します。ファイル名検索では、検索履歴が保存されます。上矢印キーと下矢印キーを使用して履歴からオートコンプリートの候補を選択し、ENTER または TAB キーを押して選択した候補を入力します。ワイルドカードを使用するには、検索タイプを [パターン一致] に変更してください。	
ワイルドカード	結果	例
?	ファイル名内の任意の1文字を表します。	ca?.jpg は、 cat.jpg、cap.jpg、 car.jpg を結果としますが、cats.jpg は結果にはなりません。
*	ファイル名内の0文字以上の任意の文字を表します。	cat* は、cat.jpg、 cats.jpg、 cathy.jpg を結果とします。
[...]	記号の間のいずれかに一致します。	ca[tr] は cat.jpg または car.jpg に一致しますが、cap.jpg には一致しません。
[!...]	記号で囲まれていない任意の文字に一致します。	cat[!0] は cata.jpg と catb.jpg に一致しますが、cat0.jpg には一致しません。
[...-...]	指定された範囲内の任意の文字に一致します。	cat[a-f0-9] は cata.jpg、 catb.jpg、 catf.jpg、 cat0.jpg、 cat1.jpg、...、 cat9.jpg に一致します。
\	他のワイルドカード文字 (例えば、[] の場合) を使うことをブロックします。ファイル名で*や? は使えないため、この機能はそれらとは使えません。	ワイルドカードとしての[]を使う場合は、バックスラッシュで先頭につける必要があります： ACD\[123\] は、 ACD[123].gifとなります。
 パターンは大文字小文字を区別しません。複数のパターンを使う場合は、スペースまたはセミコロンで区切ってください。スペースやセミコロンを含むパターンをマッチさせる場合は、パターンをダブルクォーテーションで括ってください。*ワイルドカードをパターンに含めない場合は、サブストリ		

データ型	定義と例
	 ングとしてマッチさせます。例えば、 cat は cat 、 cathy 、 bobcat にマッチします。それは、 *cat* と同等です。
テキスト	いくつかの一般的なフィールドに対する文字列ベースの検索。キーワード、カテゴリ、人物、ラベル、キャプション、メモのいずれかまたはすべてから選択します。検索履歴は テキスト 検索に対して保存されます。 上 と 下 矢印キーを使用して履歴から別のオートコンプリート候補を選択し、 入る または たれ を押します。> 選択した提案を入力します。
人物、キーワード、およびカテゴリ	文字列とルックアップリストの検索の組み合わせです。バリューピッカーを開いて、データベースから値を選択するか、テキストフィールドにカスタム文字列を入力してください。検索語句はセミコロンで区切ることができます。
評価	検索したい評価を選択してください。
ラベル	検索したいラベルを選択してください。あなたのラベルセットの中から、または テキスト検索 に変更してカスタム値を検索してください。
文字列	セミコロンで区切られたテキスト文字列を検索します。例: 製造元
日付/時刻	日時を検索します。精度を日または秒に設定します。例: 日時 オリジナル
ルックアップリスト	値ピッカーから1つ以上の値を選択します。例: 画像タイプ
整数	整数を検索します。例: ISO
有理数	分数または小数として有理数を検索します。例: F ナンバー



検索語をセミコロン(;)で区切るときは、2つのセミコロン(;;)を使用してリテラルセミコロンを検索できます。

ブラウズ検索を使用する

ブラウズ検索ペインは、特定のフォルダ、カタログ分類、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウズ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウズしたいファイルのみを表示します。

ブラウズ検索を最大限に活用するには、[ACDSee ホームデータベース](#)のファイルを[カタログ](#)化して[整理](#)することをお勧めします。ブラウズ検索はファイルの情報が多ければ多いほど便利な機能です。

ブラウズ検索を使用するには:

[表示]から[ブラウズ検索]をクリックして、[ブラウズ検索]パネルを開きます。このパネルはファイル一覧ペインの左側に表示されます。

ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する

[ブラウズ検索]パネルは、フォルダ、カタログ、カレンダーの3つの領域に分かれています。各領域は、同じ名前の管理モードペインに対応しています。[ブラウズ検索]パネルを開くと、ファイル一覧ペインの[コンテンツバー]が現在の検索条件すべてを一覧表示する[ブラウズ検索バー]に置き換えられます。

ブラウズ検索パネルの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、整理方法を追加すると、ACDSee ホームは検索範囲と一致しないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:

ブラウザ検索 パネルを開き、次のいずれかの操作を行います。

- [フォルダベイン](#) から、フォルダを一つ以上選択します。
- [カタログ ベイン](#) から、カテゴリを一つ以上選択し、必要に応じて重要度も選択します。
- [カレンダー ベイン](#) から日付の範囲を一つ以上選択します。

ブラウザ検索 パネルの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、ACDSee ホームはデータベースのフォルダから、検索範囲と一致するファイルを検索し、ファイル一覧ベインに表示します。表示されたファイルはACDSee ホームで自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

以下のように、ブラウザ検索 パネルの検索範囲を設定し直すこともできます。

- 選択した条件をブラウザ検索 パネルから削除するには、削除したい条件を右クリックして[**対象から削除**]を選択します。
- 検索範囲から特定の種類の条件をすべて除外するには、一覧の上にあるバーをクリックして[**検索範囲に含む**]をオフにします。例えば、一覧にしたフォルダを対象から除外するには、[**フォルダ**]バーをクリックして[**対象に含む**]をクリックします。ブラウザ検索 パネルの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 特定の種類の条件すべてを削除するには、一覧の上にあるバーをクリックして[**すべてクリア**]を選択します。

ブラウザ検索 パネルのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかと一致するファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。動作を切り替えるには、カテゴリの上にあるバーを右クリックして[**部分一致**]または[**完全一致**]を選択します。

ブラウザ検索 を使用 する際の ヒント

ブラウザ検索 パネルに検索条件を追加すると、検索したいファイルにその属性が含まれた条件となります。例えば、フォルダベインからフォルダを選択すると、ACDSee ホームは、そのフォルダ内にあるファイルのみをファイル一覧ベインに表示します。カタログベインの「重要度」を選択すると、ACDSee ホームは、その重要度が適用されているファイルのみをファイル一覧ベインに表示します。

ブラウザ検索 の検索範囲を組み合わせて、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、カテゴリとある特定の日付の範囲を選択すると、ACDSee ホームはその両方と一致するファイルのみを表示します。ACDSee ホームは指定された日付の範囲に該当するファイルが存在しても、適切なカテゴリに適用されていない限りそれらを表示しません。あるいは、適切なカテゴリに適用されていても、指定された日付の範囲に該当しない場合にはそれらを表示しません。

ブラウザ検索 パネルを非表示にする

ブラウザ検索 パネルの[自動非表示]機能を使うと、ブラウザ検索 パネルを自動的に非表示にし、ファイル一覧ベインの作業領域を広げることができます。パネルが自動非表示に設定されている場合、パネルの外をクリックするとパネルがロールアップされ、パネルの端部のみが表示されます。パネルの端部にマウスポインタを合わせると、パネルが再度表示されます。

自動 カテゴリで検索 する

自動 カテゴリは、ファイルの検索に役立ちます。これは、たくさんの写真を撮る場合、または写真を他の人と共有する場合に特に便利です。

自動 カテゴリは[カタログ]ベインの[ラベル]のすぐ下に表示されます。プラスサイン(+)をダブルクリックまたはクリックして、自動 カテゴリのグループを展開します。マイナスサイン(-)をダブルクリックまたはクリックして、自動 カテゴリのグループを閉じます。

自動 カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した場所、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。これを行うには、プロパティベインで情報を手入力できます。

自動 カテゴリをクリックすると、ACDSee ホームはそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを持って撮影している場合、自動 カテゴリを使って特定のメーカーのカメラで撮影した写真を検索でき、そのカメラで撮影されたすべての画像が表示されます。

以下で、自動 カテゴリの検索ヒントをご紹介します。

よく使うカテゴリを識別する

【フォトプロパティ】で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、【よく使うカテゴリ】としてそれらを追加して、検索時間を短縮することができます。デフォルトでは、【フォトプロパティ】グループの一部が【よく使うカテゴリ】のグループで使用できるように設定されています。【よく使うカテゴリ】には必要な数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

【よく使うカテゴリ】に自動カテゴリのグループを追加するには：

1. 【フォトプロパティ】のグループを展開します。
 2. 【よく使うカテゴリ】に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、【よく使うカテゴリに追加】を選択します。これで、該当のグループが【よく使うカテゴリ】に追加されます。
- 同様に、【フォトプロパティ】のグループでも表示されます。

【よく使うカテゴリ】から自動カテゴリのグループを削除するには：

1. 【よく使うカテゴリ】のグループを展開します。
 2. 【よく使うカテゴリ】から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、【よく使うカテゴリから削除】を選択します。
- これで、該当のグループが【よく使うカテゴリ】から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、自動カテゴリ検索の精度を上げることもできます。例えば、特定の絞り値とシャッタースピード設定の組み合わせで画像を見つけることができます。**f/16**の絞り値と**1/30**秒のシャッタースピードの横にあるイーजीセレクトインジケータをクリックすると、ACDSee ホームは両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数の自動カテゴリを選択する場合、【カテゴリペイン】の上部にある【完全/部分一致】ドロップダウンから、【完全一致】または【部分一致】を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。【部分一致】を選択すると、ACDSee ホームで選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。【完全一致】を選択すると、ACDSee ホームで選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、【撮影者】のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。【カテゴリペイン】の【重要度】領域から**1**を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度**1**の画像のみが表示されます。

また、【ブラウズ検索】ペインを使用して、自動カテゴリの検索を絞り込むことも可能です。例えば、【カメラのメーカー名】のカテゴリをクリックし、ACDSee ホームで何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけが見たいとします。【表示】>【ブラウズ検索】をクリックして、【カレンダー】ペインを選択し、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

重複ファイルを検索する

「重複の検索」機能を使用して、ハードドライブ上のさまざまなフォルダから重複するファイルを検索することができます。重複が見つかったら、名前変更機能や削除機能を実行して、ファイルコレクションをより適切に管理することができます。



異なる形式(JPEG、BMP、GIFなどの異なる拡張子)で保存された同一の画像は、重複として認識されません。JPEG画像のコピーを保存する場合、画像は再圧縮されます。したがって、元のJPEG画像とコピーは内部的に異なるファイルであり、重複として認識されません。

重複ファイルを検索するには：

1. 管理モードで、重複の検索を行うフォルダまたはファイルを選択します。(任意)
2. 【ツール】から【重複の検索】をクリックします。

3. [重複の検索]ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します。
 - 選択したフォルダおよび追加されたファイルまたはフォルダ内で重複を検索するには、[このファイルの単一リストから重複を検索する]を選択します。
 - 2つの異なるリストの内容を比較して重複を見つけるには、[この2つのファイルリスト内で重複を検索する]を選択します。(これは、2つのリストのいずれかで重複を検索するのではなく、2つのリストを相互に検索する目的のみに使用されます。)
4. [ファイルを追加]ボタンと[フォルダを追加]ボタンでリストにファイルを追加します。リストでファイルを選択して、[削除]ボタンを押してファイルを削除します。リストでファイルまたはフォルダを選択して、[変更]ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを切り替えます。選択したサブフォルダの内容を含むには、[サブフォルダを含む]チェックボックスをオンにします。
5. [ファイルリスト]の下で、完全重複ファイルを検索するか、または同じファイル名の重複を検索するかを指定します。画像ファイルのみを検索したい場合は、[画像のみを検索する]を選択します。
6. [検索]を押します。
7. 重複が検索されなかった場合は、[OK]をクリックして検索条件を変更してやり直するか、[キャンセル]をクリックして[重複の検索]を閉じます。
8. 重複が見つかった場合は、リストで重複するファイルを選択し、さらにアクションを実行します。

ファイルの削除と名前変更

重複が見つかったら、ファイルの名前を変更または削除することができます。画像ファイルを使用している場合は、プレビューを利用できません。

複数の重複ファイルが見つかった場合は、見やすくするためにそれらを並べ替えることができます。

ファイルを並べ替えるには:

1. 左上のリストを右クリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - ファイル名で並べ替え
 - パスで並べ替え
 - ファイルサイズで並べ替え
 - ファイルの種類で並べ替え
 - 重複の数で並べ替え

重複を削除するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、次のいずれかを実行します。
 - ファイル名の横にあるチェックボックスをオンにします。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
 - ファイル名を右クリックして、コンテキストメニューから[削除]を選択します。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
3. 2つのファイルリストを使用して検索した場合は、[ファイルリスト1/ファイルリスト2から削除]を選択します。これにより、指定どおりにファイルリスト1またはファイルリスト2からすべてのファイルを選択することで、時間の節約になります。
4. [次へ]をクリックして変更を確認し、[完了]をクリックします。

ファイル名を変更するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、ファイル名を右クリックし、コンテキストメニューから[名前の変更]を選択します。
3. 新規ファイル名を入力します。
4. [次へ]をクリックして変更を確認し、[完了]をクリックします。

画像をすばやく検索する

保存済み検索の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。[カテゴリペイン](#)の「スペシャル アイテム」を使用すれば、[データベース](#)内にあるすべての画像や、[カテゴリへの割り当て](#)がまだなされていない未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を再度使用するには:

管理モードのカatalog ペインから、保存済み検索の名前をクリックします。

ファイル一覧 ペインに検索結果が表示されます。

すべての画像を一度に検索するには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [イメージ ウェル] を選択します。

カテゴリ未分類の画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [未分類] を選択します。「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能は、[データベース](#)内のCatalog化された画像を表示するのみです。ハードディスクから特定のファイル形式を検索するではありません。

キーワードのない画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [キーワードなし] を選択します。

ACDSee ホームとファイルを共有する

ACDSee ホームを使用して、ご家族やお友達と画像を簡単に共有することができます。ACDSeeにより、電子メールでファイルを直接送信したり、Web サイトへ画像をアップロードしたり、HTMLアルバムプラグインでご自身のWebページを作成したり、コンタクトシートを印刷することができます。また、スライドショーやスクリーンセーバーを作成して、コンピュータを持っている人に提供することができます。

ACDSee ホームがなくても表示可能です。

スクリーン キャプチャを実行する

ACDSee ホームのスクリーンキャプチャユーティリティを使って、画面の様々な領域をキャプチャして画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャ方法、画像の出力先の指定ができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、[ツール] から [スクリーンキャプチャ...] をクリックします。
2. [スクリーン キャプチャ] ダイアログ ボックスの [ソース] セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細については、下記の表をご参照ください。
3. 出力する画像にマウスのカーソルも入れたい場合、[マウスのカーソルを入れる] チェックボックスをオンにします。

4. [出力先] セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
5. [キャプチャの実行] セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
6. [開始] をクリックし、スクリーン キャプチャ ツールを起動します。
タスクバーの通知領域にスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。
7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
8. スクリーン キャプチャを実行せずに[スクリーン キャプチャ] ユーティリティを終了するには、[スクリーン キャプチャ] アイコンを右クリックし、[スクリーン キャプチャの終了] を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

デスクトップ	
現行 モニタ	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
ウィンドウ	
ウィンドウ全体	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトルバーはキャプチャされません)。
領域	
固定サイズ	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、寸法の設定を選択するか、[カスタム]を選択して、希望の寸法をピクセルで入力します。
選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック&ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
オブジェクト	
子ウィンドウ	ウィンドウの一部をキャプチャします。例：ツールバー、ボタン
ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。
マウス ポインタを含む	
マウス ポインタを含む	スクリーンキャプチャにカーソルを含めます。
出力先オプション	
クリップボード	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。
キャプチャの実行オプション	
ホットキー	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、ボックス内に入力するのではなく、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ (例: Ctrl + S) を押します。
タイマー	指定された時間が経過した後に、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は60秒間です。

電子メールで画像を送信する

電子メールの送信ウィザードを使うと、他の電子メールアプリケーションを開くことなくACDSee ホーム内から直接ファイル画像を送信することができます。電子メールの送信ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントがあるか、コンピュータ上で既定のメールアプリケーションが設定されているか、SMTPサーバーにアクセスできる必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイル一覧 ペインから電子メールで送信する画像を選択して、[ファイル]から[送信]、[電子メールで画像を送信]をクリックします。
 - 他の画像を追加したい場合は、[追加]をクリックします。画像の追加が完了したら[OK]をクリックします。
 - 画像を削除したい場合には、画像を選択して[削除]をクリックします。画像はウィザードより削除されますが、ACDSee から削除されるわけではありません。
 - 電子メールの最大サイズや JPEG に変換するなど、電子メールや画像 オプションを設定したい場合は、[オプション]をクリックします。オプションの選択が完了したら[適用]をクリックします。
 - 電子メール アカウントの設定を変更したい場合、既定の電子メール クライアントとSMTP サーバーのどちらかを使用するために、[変更]をクリックします。電子メール アカウントの変更が完了したら、[OK] をクリックします。
2. [電子メールの送信ウィザード] にある[次へ] をクリックします。
 - [既定の電子メールクライアント経由で送信]を選択した場合、新規のメッセージに画像と電子メール情報が追加されます。通常のメッセージを扱うように、メッセージを編集してから送信します。
 - [SMTP サーバー経由で送信]を選択した場合、ウィザードで電子メールの送信先、件名、メッセージを入力します。[次へ]をクリックします。
3. 画像の送信が終了したら、[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。



Hotmail や Yahoo (無料アカウント) のようなインターネットベースのアプリケーションの中には SMTP をサポートしないものがあり、[電子メールの送信ウィザード] と合わせて使用することができません。Gmail、Yahoo (アップグレードアカウント)、AOL などその他のアプリケーションでは、POP/SMTPのアカウントを設定する必要があります。電子メール アカウントの設定方法は各アプリケーションによって異なりますので、詳細につきましては各アプリケーションのWeb サイトからSMTP を検索してしてください。

関連トピック:

ACDSee 365 で共有/メール送信する

ACDSee 365 のアカウントを一度有効にすると、365.acdsee.com からあなたの写真を共有することができます。

電子メールで画像を送信するには:

1. [ファイル一覧] ペインから、共有したい写真を選択し、[ファイル] メニューから[送信]、[ACDSee 365 で共有/メール] をクリックします。
2. [ACDSee 365 で共有/メール] ダイアログボックスで、写真アルバム名を入力し、既存のオンラインフォルダから場所を選択します。
3. 画像の送信先となる 1 つまたは複数のメールアドレスを入力します。



[共有する人たち] ボタンをクリックして、アドレス帳から希望する名前を引き出すことができます。

4. ドロップダウン リストからアップロードのサイズを選択します。
5. アップロードをクリックします。
6. 新しいウィンドウが開かれますので、メッセージの入力、フルサイズの JPG ダウンロードを有効にするか、アクセスパスワードを作成するなど、希望するオプションを選択します。
7. [OK]をクリックします。

スライドショーを表示、設定する

画像やビデオのスライドショーは、管理モードまたは表示モードから表示することができます。スライドショーを自動実行するように設定したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー/フッターの追加などのオプションを設定したりすることも可能です。

管理モードからスライドショーを起動するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイラー一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを選択します。
 - イージーセレクトバーを使って、画像が格納されているフォルダ複数を選択します。
2. [ツール]>[スライドショー]をクリックします。(Ctrl + S)

表示モードからスライドショーを起動するには:

[ツール]>[スライドショー]をクリックします。

スライドショーを設定するには:

1. [管理]モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ファイラー一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを1つ選択するか、イージーセレクトバーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
2. [ツール]>[スライドショーの設定]をクリックします。
3. [スライドショーのプロパティ]ダイアログボックスで、下記を参考にしてスライドショーのオプションを選択または変更します。
4. 現在のオプション設定をスライドショーの既定値として保存するには、[現在の設定を既定値として保存する]のチェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択

スライドショーの内容

スライドショーに含むメディアの種類を以下から指定します。

- **現在のフォルダ内のメディア ファイルすべて:** 現在選択されているフォルダ内のファイル すべて(画像またはビデオ)を表示します。
- **現在のフォルダとサブフォルダ内のメディア ファイルすべて:** 現在選択されているフォルダとそのサブフォルダ内に含まれているファイルすべてを表示します。
- **選択されたメディア ファイル:** [スライドショーのプロパティ] ダイアログ ボックスを開く前に選択されていたファイルのみを表示します。

この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する

現在指定しているスライドショーの内容 設定を維持し、スライドショーを次回実行する際に自動的に再生します。

ベーシック

トランジションを選択する

トランジションの一覧が表示されます。トランジション、変化、効果を選択すると、プレビューに反映されます。

- **すべて選択:** すべてのトランジションを選択し、ランダムに表示します。
- **すべてクリア:** 選択されたトランジションをすべてクリアします。



これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。

バリエーション

ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。

- **なし:** バリエーションを一切使用しません。
- **パン&ズーム:** 各スライドの表示時間に合わせて、パンニング & ズーム表示を行います。
- **2画像:** 画像二点を一度に表示します。
- **4画像:** 画像四点を一度に表示します。
- **コラージュ:** 画像を重ね合うコラージュとして表示します。

効果

ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。

- **なし:** 効果を一切使用しません。
- **モノクロ:** すべての画像をグレースケールで表示します。
- **セピア:** すべての画像をセピア色で表示します。
- **ヴィヴィッド:** 画像の彩度を高めて、色全体をより明るく表示します。
- **ソフト:** 画像をわずかにぼかしてソフトな効果を加えます。

背景色

背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。[その他] をクリックして、[色ダイアログ] でカスタムの色を設定します。

スライドの表示間隔(秒)

スライドショーの各画像の表示時間を指定します。

アドバンス

全般設定

次のオプションから選択または解除します。

- **画面に合わせて画像を引き延ばす:** 画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。
- **埋め込みオーディオの再生:** 画像に埋め込まれているあらゆるオーディオクリップを再生します。
- **画面に合わせてビデオを引き延ばす:** 画面のサイズに合わせてビデオファイルを拡大します。
- **コントロールバーの自動非表示:** マウスのカーソルが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロールバーを自動的に隠します。
- **ループ:** 最後の画像が表示された後、スライドショーを繰り返します。

スライドの順序

以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します。

- 進む
- シャッフル

ミュージック ディレクトリ

以前選択したフォルダからミュージックを表示するか、**[参照]**をクリックして新しいフォルダを探します。

テキスト

ヘッダー テキストの表示

画像の上にテキストキャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

フッター テキストの表示

画像の下にテキストキャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

現在の設定を既定値として保存する

現在の設定を既定値として保存する

すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。

スライドショー テキスト オプション

配置

テキストキャプションの配置を指定します。

背景色

キャプションの背景色を指定します。

テキスト

キャプションとして表示するテキストを入力します。

フォント

[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォントオプションを選択または変更します。

メタデータの挿入

メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。

クリックして**[プロパティの選択]** ダイアログ ボックスを開き、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーとスクリーンセーバーを共有する

[ツール]>[スライドショー]をクリックするか、管理モードでキーボードの**Ctrl + S**を押すと、管理モードまたは表示モードからいつでも画像のスライドショーを表示することができます。ACDSeeでは、お気に入りの写真のスライドショーやスクリーンセーバーを作成して、友人や家族に送ったり、Web サイトに表示したりすることができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。

スライドショーを作成するには：

1. 管理モードで、[ツール]>[作成]>[スライドショーファイル]をクリックします。
2. [ようこそ] ページから、新規スライドショーを作成するには、[新規スライドショーを作成する] ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のオプションから1つを選択します：
 - **スタンドアロン スライドショー**：すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含む、シングル実行ファイル (.exe) を作成します。このファイルの種類は、ACDSee をインストールしていなくても、コンピュータを持っている人なら誰でも閲覧することができます。
 - **Windows スクリーンセーバー**：標準の Windows スクリーンセーバーファイル (.scr) を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
 - **Adobe Flash Player® スライドショー**：Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル (.swf) を作成します。
3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、[既存のスライドショーをロードする] ラジオボタンを選択し、[参照] をクリックしてプロジェクト(.asw ファイル)の保存先を指定します。
4. [次へ]をクリックして続行します。
5. 「画像の選択」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには [追加] または [削除] をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
6. 「ファイル固有オプションの設定」のページで、サムネイルの横に表示されているハイパーリンクをクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔(長さ)、テキストキャプション、画像が表示される際のオーディオファイルを設定します。注意：オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
7. 「スライドショーのオプション設定」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示/非表示などを設定します。BGM に使うオーディオファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクトファイルの保存先を設定します。
9. 最後に [次へ] をクリックして、ACDSee ホームがスライドショーを作成するまで待ちます。完了したら、スライドショーを起動するかウィザードを終了します。



オーディオファイルを画像に適用してある状態で、スライドショーオプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることになりますのでご注意ください。

デスクトップ スライドショーを作成する

ACDSee Showroom を使用して、お気に入りの画像のスライドショーを作成し、コンピュータのデスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最高 16 ものスライドショーを起動することが可能です。

ACDSee Showroomのウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータの起動時に ACDSee Showroomウィンドウを自動実行するようにも設定できます。ACDSee Showroomを使うためにACDSee ホームを開く必要はありません。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには：

1. 管理モードで、デスクトップ スライドショーに使用したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ツール] > [作成] > [ACDSee Showroom]をクリックします。
 - [スタート] > [プログラム] > [ACD システム] > [ACDSee Showroom]の順にクリックします。

ACDSee Showroom のアイコンがタスクバーに表示されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、[戻る] または [次へ] ボタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている間、[一時停止] ボタンをクリックしてスライドショーを一時停止することができます。



ACDSee Showroom ウィンドウ内にこれらのコントロールが表示されない場合は、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、写真をフルにお楽しみいただけるようコントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには:

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ACDSee Showroom ウィンドウの [閉じる] をクリックします。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom を終了する] を選択します。



コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動実行されます。

PDF を作成する

ACDSee ホームでは、画像をPDF (Portable Document Format)ファイルに結合できます。PDFファイルの作成ウィザードでは、画像から単数または複数のPDFファイルを作成する方法や、画像をPDFスライドショーに追加する方法をご案内します。

PDFファイルを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. [ツール]>[作成]>[PDF]をクリックします。
3. PDF ファイルの作成ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、[次へ] をクリックします:
 - **PDF スライドショーを作成する:** すべての画像をまとめて、スライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
 - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する:** すべての画像をまとめて、マルチページのシングル PDF ファイルを作成します。
 - **画像ごとに PDF ファイルを作成する:** 画像ごとに個別のPDF ファイルを作成します。

4. 「画像の選択」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更したりします。[次へ]をクリックして続行します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [PDF スライドショーを作成する]を選択した場合、各画像の横にあるハイパーリンクをクリックして、トランジションオプションを設定または変更します。[次へ]をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。準備ができたら[次へ]をクリックして続行します。
 - 1つ以上のPDFファイルを作成することを選択した場合、ファイル名と保存先を指定し、[次へ]をクリックします。
6. [完了]をクリックしてウィザードを終了し、ACDSeeに戻ります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成する

PowerPoint作成ウィザードを使って、ACDSee ホーム内から素早くPowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、希望する画像のプレゼンテーション作成・編集の一連の手順をサポートします。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザインテンプレート指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。



この機能は、コンピューターにMicrosoft PowerPoint®がインストールされている場合にのみ機能します。この機能はRAWファイルをサポートしていないため、RAWファイルを別の形式に変換する必要があります。Microsoft PowerPoint®のバージョンは、ACDSeeアーキテクチャと一致する必要があります。たとえば、64ビットバージョンのACDSeeを使用している場合は、64ビットバージョンのPowerPoint/Officeが必要です。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. [ツール]>[作成]>[PPT]をクリックします。
3. PPT の作成ウィザードの [画像の選択] ページで、[追加] をクリックして画像を追加します。
4. [次へ]をクリックします。
5. [プレゼンテーション オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - プレゼンテーションを新規作成する場合、[プレゼンテーション オプション] 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。
 - プレゼンテーションを編集している場合、[既存プレゼンテーション] を選択し [パス] フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入するかを選択します。
 - ドロップダウン リストから [各スライドの画像数] を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。
 - プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像をACDSee ホームをリンクした状態に保ちたい場合には、[画像ファイルへリンク]を選択します。
 - [デザイン テンプレートの使用] をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint のテンプレートは通常 [Microsoft Office]>[Templates]>[Presentation Designs]) に格納されています。
6. [次へ]をクリックします。
7. [テキストオプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - [キャプション] タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
 - [タイトル] タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、メタデータ情報を挿入することも可能です。

- **[注記]** タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。

8. 作成をクリックします。

作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。

HTMLアルバムを作成する

[HTML アルバム] ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。HTML アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイル一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには：

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]>[作成]>[HTML アルバム]**をクリックします。
3. [HTML アルバムの作成] ウィザードの **[スタイルの設定]** ページで、**[ウェブ ページのスタイル]** ボックスから希望するギャラリー スタイルを選択します。



ギャラリー スタイルとその他の設定を選択したら、**[ギャラリーのプレビュー]** をクリックして、HTML アルバムの仕上がりプレビューを確認します。**[アルバムの作成]** をクリックして、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することも可能です。

4. **[次へ]**をクリックします。
5. **[ギャラリーのカスタマイズ]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - **[ギャラリー タイトル]** のテキストボックスに、ウェブ ページの上部に表示するタイトルを入力します。
 - **[ヘッダーを含む]** をオンにしてページ上部にヘッダーを表示する、あるいは **[ヘッダーを含む]** のチェックボックスをクリアしてヘッダー テキストの表示を解除します。
 - **[フッターを含む]** をオンにしてページ上部にフッターを表示する、あるいは **[フッターを含む]** のチェックボックスをクリアしてフッター テキストの表示を解除します。
 - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、**[画像を使用する]** を選択した後に **[参照]** をクリックし、会社のロゴやユーザーの顔写真など希望する画像を選択します。
 - ヘッダーまたはフッターにテキストを表示させたい場合には、**[情報を使用する]** を選択した後に **[情報の設定]** をクリックし、希望する情報を選択します。
 - **[フォルダ設定]** セクションにある **[参照]** をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。
6. **[次へ]**をクリックします。
7. **[サムネイルと画像]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - **[サムネイル設定]** セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
 - **[画像設定]** セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
 - **[スライドショーの長さ]** セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
 - **[カラーとフォント設定]** セクションの **[カラーとフォント]** をクリックして、ウェブ ページに使用する色とフォントを設定したら、**[OK]** をクリックします。



[設定を保存] をクリックして、特定のウェブ ページ スタイル用に選択した設定を保存します。設定を保存しておくと、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードにある **[ウェブスタイルの設定]** ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

8. **[次へ]** をクリックしてHTMLアルバムを作成します。ACDSee ホームがウェブページとサムネイルの作成するまで、しばらく待つ必要がある場合があります。

9. **[別のアルバムを作成する]** をクリックして別のアルバムを作成するか、**[完了]** をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。



HTML アルバムを Web サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

ウェブサイト写真にアップロードする

[Flickr](#)、[SmugMug](#)、[Zenfolio](#)、FTPなどのサイトに、ACDSeeから画像や写真を直接アップロードできます。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要がありますが、まだアカウントをお持ちでない場合、アップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。



RAWやTIFFなど、ほぼすべての画像ファイル形式を選択することができ、ACDSeeはアップロード前に形式をJPGに自動変換します。

写真ウェブサイトに写真をアップロードするには:

ACDSeeを終了しなくても、写真共有サイトに素早く写真をアップロードできます。

1. [管理]モードで、画像を一つ以上選択し、[ファイル]>[送信]>[<写真ウェブサイト>...へ]をクリックします
2. [<写真サイト>アップローダー]ダイアログボックスで、右下隅の[ヘルプ]ボタンを押して、指示に従います。

Flickr アップローダープラグインへようこそ

このプラグインは、ACDSee から画像を直接 Flickr にアップロードするためのプラグインです。

承認する

Flickr にアップロードする前に、ACDSee Flickr アップローダーを Flickr ウェブサイトで承認する必要があります。もちろん、Flickr アカウントも必要です。一度承認を行うと、次回から素早く簡単にファイルをアップロードできます。

Flickr は登録プロセスの一環として、Yahoo ID を使用します。Yahoo ID ををお持ちでない場合は、Yahoo ID も作成する必要があります。

プロセスの手順:

1. Yahoo ID ををお持ちでない場合、まず Yahoo ID を作成します。
2. Flickr アカウントをお持ちでない場合、Flickr アカウントを作成します。
3. ACDSee Flickr アップローダーを承認します。
4. 画像をアップロードします。



Flickr では特定のファイル形式のみ使用することができます。Flickr がサポートしていないファイルをアップロードしようとすると、それらのファイルは適切にアップロードされません。ご注意ください。

ACDSee を Flickr で承認する

Flickr にアップロードする前に、ACDSee を Flickr のサイトで承認する必要があります。

承認と最初のアップロードは、同時に行うことができます。

(以下は、Flickr アカウントを既にお持ちであると仮定した手順です。Flickr アカウントをお持ちでない場合は、[Flickr アカウントを作成する](#)をご覧ください。)

アップローダを承認するには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインからアップロードしたい画像を選択します。
2. [ファイル] メニューから送信、[アップロードする] をクリックします。
3. [アップロードマネージャ] ダイアログから **[Flickr]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. ご利用のコンピュータに承認の記録を残したい場合は、**[このユーザーを記憶する]** をクリックします。
5. [Flickr アップローダ] ダイアログにある **[承認]** をクリックします。



Flickr ウェブサイトが開かれます。

6. Yahoo ID とパスワードを入力し、**[Sign In]** をクリックします。



黄色の背景色で、Flickr アカウントとアップローダをリンクするかをたずねるメッセージが表示されます。

7. **[Ok, I'll Allow it]** ボタンをクリックします。



ACDSee Flickr アップローダの承認が完了したことを告げるメッセージが表示されます。

8. 右上部にある赤い **[X]** をクリックして、ウェブページを閉じます。



ウェブページの後ろに、小さなダイアログが隠れていたのがわかります。

9. **[継続]** をクリックして、選択された画像のアップロードを開始します。



[Flickr アップローダの設定] ダイアログが開かれます。サイズ変更の設定、タイトル、説明、タグの入力、プライバシー、内容の種類を選択します。(詳細につきましては、[既定設定を編集する](#)をご覧ください。)

10. 設定を変更したら、**[設定の保存]** をクリックします。
11. 画像のセット用に、タグを入力し、追加することができます。
12. 準備が完了したら**[次へ]** をクリックし、**[アップロードする!]** をクリックします。



進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

Flickr アカウントを作成する

Flickr アカウントをお持ちでない場合、アップローダを使用する前に Flickr アカウントを作成する必要があります。Flickr アカウントを作成したら、ACDSee Flickr アップローダを [承認](#) し、画像をアップロードします。

(Flickr は登録プロセスの一環として Yahoo ID を使用します。Yahoo ID をお持ちでない場合は、まず Yahoo ID を作成する必要があります。Yahoo ID を作成するには、[こちら](#) をクリックします。)

直接 Flickr サイトを開くには、[こちら](#) をクリックします。

画像をアップロードする

初めて Flickr を承認し、画像をアップロードするには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインからアップロードしたい画像を選択します。
2. [ファイル] メニューから送信、[アップロードする] をクリックします。

3. [アップロード マネージャ] ダイアログの [アップロードするサービスの選択] ボックスから、**Flickr** を選択し [次へ]をクリックします。

 [Flickr アップローダ] ダイアログが開かれます。

4. [承認] をクリックします。

 Yahoo ID とパスワードを持っているかたずねられます。

5. 次のいずれかを実行します:

- Flickr ID とパスワードをお持ちの場合、必要な情報を入力し [Sign In] をクリックします。
- Flickr ID とパスワードをお持ちでない場合、[サインアップ] をクリックして Yahoo ID を作成してから、Flickr アカウントを作成します。

 黄色のパナーのついた Flickr ページが表示され、ACDSee Flickr アップローダの承認をたずねられます。

6. [OK, I'LL ALLOW IT] をクリックします。

ACDSee Flickr アップローダの承認が完了したことを示すチェックマークが表示されます。

7. 右上部にある赤い [X] をクリックして、ウェブページを閉じます。

 ウェブページの後ろに、小さなダイアログが隠れていたのがわかります。

8. [継続] をクリックして、選択された画像のアップロードを開始します。

9. 画像のセット用に、タグを入力し、追加することができます。

10. Flickr で画像を表示させたい場合は、[Flickr で画像を表示する] チェックボックスを選択します。

11. 準備が完了したら [次へ] をクリックし、[アップロードする!] をクリックします。

 [Flickr アップローダの設定] ダイアログが開かれます。サイズ変更の設定、タイトル、説明、タグの入力、プライバシー、内容の種類を選択します。(詳細につきましては、[既定設定を編集する](#)をご覧ください。)

 進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

12. [完了] をクリックします。

 Flickr は次のメッセージを表示します: "Your photos were uploaded successfully." (Flickr のサイトが日本語でご覧いただけるようになるまで、メッセージは英語で表示されます。)

13. [OK] をクリックします。

 Flickr サイトに画像が表示されます。

承認した後 **Flickr** にアップロードするには:

1. ACDSee のアプリケーション内からアップロードしたい画像を選択します。
2. ブラウザで、次のいずれかの操作を行います:
 - メニューバーで [ファイル] メニューから [アップロードする] をクリックします。
 - ツールバーで [アップロードする] をクリックします。
 - 右クリックして [アップロードする] を選択します。

3. [アップロードマネージャ] ダイアログの [アップロードするサービスの選択] ボックスから、**Flickr** を選択し [次へ] をクリックします。
4. 画像のセットを選択するには、下矢印キーをクリックして希望するセットを選択します。新規セットを作成するには、[セットの作成] をクリックし、セットのタイトルと説明を入力してから [作成] をクリックします。
5. この画像のセットにタグを適用するには、タグのボックスに希望する文字を入力してから、[タグの追加] をクリックします。



これらのタグは、選択されているすべての画像に適用されるので注意してください。各画像にタグを適用したい場合は、次のダイアログで行います。

6. 準備が完了したら、[次へ] をクリックします。



このダイアログでは、各画像に個別のタイトル、説明、タグを追加したり、画像を回転したり、一括情報の適用やサイズ変更を行ったりすることができます。

7. 画像を回転するには、矢印をクリックして選択してから、[回転] をクリックします。
8. 個別のタイトル、説明、タグを作成するには、矢印をクリックして画像を選択してから、[タイトル/説明/タグ] アイコンをクリックします。
9. 画像を 回転、サイズ変更、情報を追加する には、該当する設定を調整します。
10. [アップロードする!] をクリックします。
11. Flickr で画像を表示させたい場合は、[Flickr で画像を表示する] チェックボックスを選択します。



進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

12. [完了] をクリックします。



画像の一覧を示した Flickr のページが表示されます。各画像にタイトルや説明、コメントを追加します。

プライベートとしてFlickrに画像をアップロードするには:

Flickr アカウントのプライバシー設定が非公開になっていることを確認し、ACDSee内のプライバシー設定を「Flickrのデフォルト設定に従う」に設定します。これにより、写真が非公開としてアップロードされるようになります。詳細については、[デフォルト設定の編集](#)を参照してください。

画像にタグを付ける

タグを付けると、タグによって検索することができるため、写真や画像の検索を簡単に行うことができます。Flickr アップローダダイアログ内で、Flickr にアップロードしながら、画像に一括してタグを付けることができます。

画像にタグを付けるには:

1. [Flickr アップローダ] ダイアログで、[これらのタグをこのバッチに適用する] の下にあるボックスにタグを入力します。
2. [タグの追加] をクリックすると、新規タグが下のボックスに表示されます。
3. タグを削除するには、該当タグの横にある赤い **[X]** をクリックします。

既定設定を編集する

アップロードする際に画像のサイズ変更を行う、タイトルを付ける、プライバシー、安全レベル、内容の種類設定を変更する、といったアップローダの既定設定のほとんどを変更することができます。これらの設定は Flickr 設定に基づいています。詳細につきましては、[こちら](#)をお読みください。

Flickr アップローダの設定

承認の失効	クリックして、Flickr サイトでの承認を失効に設定します。	
サイズ変更	サイズ変更しない	画像をそのままのサイズでアップロードするには、この設定を選択します。(ご利用のアカウントの許容量を超える場合、その制限内に収まるようサイズ変更する必要があります。サイズ変更をしない場合には、サイズ変更をするかをたずねる警告メッセージが表示されます。)
	最大の縦または横サイズをピクセル単位で指定する	選択して、以下のサイズに画像のサイズを変更します: 800 ピクセル (ウェブ表示に適切) 1280 ピクセル (小さい印刷に適切) 1600 ピクセル (大きい印刷に適切) 2400 ピクセル (アーカイブに適切)
	タイトル、説明、タグ	次からタイトルを入力: 選択して、次の 1 つから各画像のタイトルを入力します: - ファイル名 (既定) - IPTC ヘッドライン - ACDSee キャプション (ACDSee データベース内でキャプションを作成済みの場合にのみ利用可能。)
	次から説明を入力:	選択して、次の 1 つから各画像の説明を入力します: - IPTC キャプション (既定) - ACDSee 注記 (ACDSee データベース内で注記が入力されている場合にのみ利用可能。) - ACDSee キャプション (ACDSee データベース内でキャプションを作成済みの場合にのみ利用可能。) - EXIF 画像説明
写真のプライバシー設定	次からタグを入力:	選択して、いずれかからタグを追加します: - IPTC キーワード (常に追加) - ACDSee キーワード - IPTC カテゴリ - IPTC 補充 カテゴリ
	Flickr アカウントの設定に従ってください。	Flickr アカウントの設定に従ってプライバシー設定を行います。
	あなたと友達には見える	プライバシー設定を自分と友人のみに写真を公開するように設定します。
	あなたとご家族の目に見えるもの	プライバシー設定を自分と家族のみに写真を公開するように設定します。
	あなた、友人、家族に見える	プライバシー設定を自分、友人、家族のみに写真を公開するように設定します。
	誰でも見ることができます(公開)	プライバシー設定を公開に設定し、誰でもあなたの写真を表示できるようにします。
	 アップロードした写真を自分だけに表示するには、Flickr アカウントのプライバシー設定をプライベートに設定し、ACDSee のプライバシー設定を「Flickr アカウントの設定に従う」に設定します。	

安全レベル	安全性 - 高	一般向けの画像の場合に選択します。
	安全性 - 中	一般向けであるかわからないけれども、制限する必要がない画像の場合に選択します。
	制限あり	子供向けではない画像の場合に選択します。
内容の種類	写真	写真をアップロードする場合に選択します。検索の絞り込みが可能のため、他のユーザーが必要な内容を検索しやすくなります。
	スクリーンショット	スクリーンショットをアップロードする場合に選択します。スクリーンショットに限定した検索の絞り込みが可能になります。
	アート、イラスト、CGI またはその他の非写真画像	その他の種類の画像をアップロードする場合に選択します。特定の画像の種類に限定した検索の絞り込みが可能になります。
アップロードされた画像をパブリック検索から隠す	パブリック検索に画像を含みたくない場合に選択します。	

画像に情報を追加する/調整する

アップロードの最終スクリーンでは、画像に幾つかの異なる調整を追加することができます。それらは以下の通りです：

- 画像を回転する。
- タイトル、説明、タグを追加する。
- 一括情報を追加する。
- 画像のサイズを変更する。

画像を回転するには：

1. ダイアログの右端にある矢印を使用して、回転させたい画像を探します。
2. 該当する画像をクリックして選択します。
3. 左または右回転の矢印  をクリックします。

タイトル、説明、タグを追加するには：

1. ダイアログの右端にある矢印を使用して、調整したい画像に移動します。
2. 該当する画像をクリックして選択します。
3. タイトル/説明/タグアイコン  をクリックします。
4. **[タイトル]** フィールドに、選択された画像用のタイトルを入力します。
5. **[説明]** フィールドに、簡単な説明を入力します。
6. **[タグ]** フィールドにタグを入力し、**[追加]** をクリックします。(赤い **[X]** をクリックして、タグを削除します。)

一括情報とサイズ変更

既定設定を編集する、またはアップロードする前に最終ダイアログで設定を選択することで、一括情報を設定することができます。これらの設定を選択すると、各画像の情報がファイルから挿入され、Flickr のページで表示されることになります。これらの情報は、ほとんどの場合、まず ACDSee のプロパティペインでファイル情報を作成する必要があります。

一括サイズ変更は、既定設定およびアップローダダイアログの両方で設定することができます。アップロードするにつれ、画像のサイズが変更されます。

各画像に一括情報を設定するには:

1. 各画像にタイトルを設定するには、**[次からタイトルを入力]** ドロップダウンをクリックし、以下のオプションから選択します:
2. **[ファイル名]** - 各画像のファイル名がタイトルとして入力されます。
3. **IPTC** ヘッドライン-プロパティペインの **[IPTC]** タブにある **[IPTC ヘッドライン]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、タイトルは空白で表示されます。
4. **ACDSee** キャプション-プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、タイトルは空白で表示されます。
2. 各画像の説明を設定するには、**[次から説明を入力]** ドロップダウンをクリックし、以下のオプションから選択します:
3. **IPTC** キャプション-プロパティペインの **[IPTC]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
4. **ACDSee** 注記-プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[注記]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
5. **ACDSee** キャプション-プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。ACDSee でこの情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
6. **EXIF 画像説明** -プロパティペインの **[EXIF]** タブにある **[画像説明]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。ACDSee でこの情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
3. **ACDSee** キーワード、**IPTC** カテゴリ、**IPTC** 補充 カテゴリからタグを入力するには、各チェックボックスをクリックします。

サイズを一括変更するには:

1. **[サイズの一括変更]** ボックス内にある **[最大の縦または横サイズをピクセル単位で指定する]** を選択します。
2. 希望する画像のサイズを選択します。

コンタクトシートを作成する

画像のサムネイルプレビューをページに並べて表示する「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の整理や共有に便利です。**[コンタクトシートの作成]**ユーティリティを使用して、コンタクトシートをさまざまな画像フォーマットや **HTML** 画像マップとして保存することができます。オプションは後で利用する際の**プリセット**として保存することができます。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで表示する行数と列数、表示の際のサムネイル間のスペースによって変わります。

コンタクトシートはを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、取り入れたい画像を選択します。
2. **[ツール] > [作成] > [コンタクトシート]**をクリックします。
3. コンタクトシートのフォーマットのところで、コンタクトシートのフォーマットのオプションを設定します。
4. 出力設定のところで出力設定オプションを選択します。
5. 必要に応じて、ページにテキストを追加したり変更したりできます。
6. **[OK]**をクリックします。



出力ファイルのパスを指定しない場合、コンタクトシートの作成ユーティリティは、既定の画像フォルダに、**<ext>** コンタクトシート.&b><拡張子> というファイル名で保存します。コンタクトシートが複数ページにわたる場合は、ファイル名に数字が追加されます。例: **コンタクトシート3.bmp**。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定

サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
スペース	各サムネイルにフレームを追加します。行間/列間のスペースの幅を指定します。 [横] スピンボックスおよび [縦] スピンボックスで、サムネイル間の間隔を示す値を入力します。

フレーム オプション

サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
余白	フレームの幅を指定します。
無地	フレームの色を指定します。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル表示画像	フレームとして使う画像を指定します。 [参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

サムネイル オプション

ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
マット	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。

ページ背景オプション

無地	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
タイル表示画像	ページの背景にタイル表示画像を使用します。 [閲覧] をクリックして使用する画像を指定します。

ファイルのアーカイブを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やドキュメント、メディアファイルのアーカイブファイルを作成することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブフォーマットをサポートしているだけでなく、圧縮、暗号、パスワードの保護ツールを使って画像を管理することができます。

アーカイブを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、フォルダまたは複数のファイルを選択します。
2. **[ツール]** から**[作成]**、**[アーカイブ]** をクリックします。

3. [アーカイブ作成]ダイアログ ボックスのオプション領域で、[**アーカイブの種類**]ドロップダウン リストをクリックし、作成したいアーカイブフォーマットを選択します。

追加設定があるアーカイブフォーマットの場合は、[**設定**]ボタンをクリックして設定します。

4. 次のいずれかを実行します。
 - 選択したサブフォルダの内容を含むには、[**サブフォルダを含む**] チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブに隠しファイルを含むには、[**隠しファイルを含む**] チェックボックスをオンにします。
 - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された時点でハードディスクから削除するには、[**アーカイブ作成後にファイルを削除する**] チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブの内容をパスワードで保護するには、[**アーカイブをパスワード保護する**] チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力します。パスワードはすべてのアーカイブの種類ではサポートされていません。また、一部のフォーマットではパスワードは必須です。
5. [出力ファイル] フィールドにファイルのパスを入力するか、または [参照] をクリックしてフォルダを検索します。
6. 次のいずれかを選択します。
 - **既存のアーカイブに追加する:** ファイルを既存のアーカイブに追加します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
 - **既存のアーカイブを上書きする:** 既存のアーカイブを作成中のアーカイブで上書きします。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
7. 変更を確認したら、[作成] ボタンをクリックしてアーカイブファイルの作成を開始します。

アーカイブを展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブを素早く簡単に展開することができます。フォルダに展開するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示するかのをいずれかを選択します。

アーカイブをフォルダに展開するには:

1. 管理モードで、フォルダペインを使用してアーカイブが含まれているフォルダに移動します。
2. ファイル一覧でアーカイブをクリックします。
3. [編集]、[フォルダに展開する]をクリックします。
4. [フォルダに展開する] ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定します。
5. 新規フォルダを作成するには、[フォルダの作成] ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから**Enter** キーを押します。
6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、[重複ファイルを上書きする]ドロップダウン リストから選択します。以下の選択肢から選択します:
 - **確認する:** 各ファイルに対する対応法を確認するメッセージが表示されます。
 - **名前を変更する:** 重複ファイルに新しい名前が付けられます。
 - **置き換え:** 重複ファイルは上書きされます。
 - **スキップ:** 重複ファイルがある場合は、展開されません。
7. [OK]をクリックします。

アーカイブ内のファイルを表示するには:

1. 管理モードで、アーカイブが含まれているフォルダに移動します。
2. アーカイブをダブルクリックします。

ファイル一覧ペインに、アーカイブの内容を示したサムネイルが表示されます。

画像とドキュメントを

ACDSee ホームの印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応している用紙サイズ、印刷方向、解像度を指定してファイルを印刷できます。また、コンタクトシート、ヘッダー、フッターや、各画像にキャプションを付けて印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新されるプレビューを表示して、そのページのファイルとその配置を確認することができます。ファイルや画像毎に出力サイズを調整したり、複数の部数を印刷したり、ページ毎に画像やドキュメントの印刷方向を変更したりできます。



印刷ダイアログは、ショートカット **Ctrl + P** で起動できます。

画像またはPDFを印刷：

1. 印刷するを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[印刷]をクリックします。
 - [表示]モードで、[ファイル]>[すべての画像を印刷]をクリックします。(表示モードで画像を一点印刷したい場合は、[画像を印刷]を選択します。)
3. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します。
 - [ページ全体]を選択し、[形式]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、[コンタクトシート](#)の外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
4. [プリンタ オプション]タブで、使用したい[プリンタ](#)、用紙サイズ、印刷方向、印刷したい部数、ページ上で印刷したい範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定]タブでは、ページ上の[画像の位置](#)や余白の幅を指定します。
6. [調整]タブで、適用したい[調整内容を指定](#)します。
7. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、[ページ設定]タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト]を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
8. [キャプション、ヘッダー、フッター](#)を追加します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
9. 印刷をクリックします。

プリンタオプションを設定する

ACDSeeを使って印刷する際、[印刷]ダイアログボックスの使用するプリンターを指定し、[プリンタオプション]タブから、使用するプリンタオプションを設定することができます。

プリンタオプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。ドロップダウンリストで使用するプリンタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
方向	ページの向き(ポートレートまたはランドスケープ)を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します。 • すべて: ドキュメントのすべてのページを印刷します。 • ページ指定: 指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始ページと終了ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PP = pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例: 600 PPI = 360,000 (600×600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプリング フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します: • Box: 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。 • Bicubic: 写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。 • Mitchell: 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ランクゾス フィルタの波打つ効果 と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
ガンマ	印刷画像にガンマ補正値を適用します。[ガンマ補正値]フィールドに0.10から3.00までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF 情報をキャプチャするものがあります。EXIF 印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

カスタム印刷レイアウトを作成する

カスタム印刷レイアウトを作成し、印刷 オプションとして保存することができます。

カスタム印刷フォーマットを作成するには:

1. 印刷 ダイアログ ボックスの[ページ全体]をクリックします。
2. 印刷 フォーマット領域で[追加]をクリックします。
3. [カスタム フォーマットの追加]ダイアログ ボックスで、[寸法の単位]ドロップダウン リストから寸法の単位を選択します。
4. [フォーマットの幅]フィールドと[フォーマットの高さ]フィールドに新規フォーマットの寸法を入力します。
5. [追加]をクリックします。

画像サイズと位置を設定する

[印刷] ダイアログ ボックスの タブのオプションを使用して、印刷する画像のサイズおよび各ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページ上で画像を置く位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、「上」、「下」、「左」、「右」スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	印刷する画像の部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合わせて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 - 印刷フォーマットに合わせてトリミングする: 印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 - 印刷フォーマットに合わせて縮小する: 印刷フォーマットに合わせて画像全体を縮小します。

印刷調整の設定をする

[印刷]ダイアログの[調整]タブの設定を使用して、プリンターが露出を処理する方法など、プリンター固有の癖を補正できます。

❗ これらの設定は、最初に印刷した後、プリンタに必要な修正がわかっている場合にのみ調整することをお勧めします。

❗ [調整]タブで行った調整は、[プレビュー]ウィンドウには反映されないことに注意してください。

印刷前に画像に調整を適用するには:

1. 管理モードで、印刷したい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [管理]モードで、[ファイル][印刷]をクリックします。
 - 表示モードで、[ファイル][画像を印刷する]、または [ファイル][すべての画像を印刷する]をクリックします。
3. 必要に応じて、[調整]タブの[印刷]ダイアログで、[露出]、[コントラスト]、または[シャープネス]スライダーを調整します。
4. 印刷をクリックします。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには:

1. [印刷](#) ダイアログボックスで、**キャプション** タブをクリックします。
2. **[キャプション テキストを使用する]**をクリックします。
3. **[フォント]**をクリックしてフォントダイアログボックスを開き、フォントオプションを設定します。
4. テキストボックスに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. **[メタデータの挿入]**をクリックして、各画像のキャプションにファイルの固有情報を挿入します。
6. **[テキストの配置]**ドロップダウン リストから、キャプションの配置を選択します。
7. 表示する各キャプションの最大行数を設定するには、**行数**チェックボックスをオンにし、フィールドで値を指定します。

印刷ページにヘッダー/フッターを追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **ヘッダー** タブをクリックし、**[ヘッダー テキストを使用する]**を選択します。
 - **フッター** タブをクリックし、**[フッター テキストを使用する]**を選択します。
2. **[フォント]**をクリックしてフォントダイアログボックスを開き、フォントオプションを設定します。
3. テキストボックスに、ヘッダーまたはフッターとして表示するテキストを入力します。
4. テキストに現在のページ番号や総ページ数を入力するには、**[ページ番号の挿入]**をクリックし、メニューからオプションを選択します。
5. **[テキストの配置]**ドロップダウン リストから、ヘッダーまたはフッターの配置を選択します。
6. テキストの最大行数を設定するには、**行数**チェックボックスをオンにし、フィールドで値を指定します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの **[コンタクトシートフォーマット]** セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマットオプションがプリセットとして既に保存されている場合、該当する[プリセット](#)を選択することができます。

コンタクトシートフォーマットオプション

サムネイル設定

サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
スペース	行と列の間のスペースの値を指定します。 [横] および [縦] スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。

フレーム オプション

サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
余白	フレームの幅を指定します。
ページ背景オプション	フレームの色を指定します。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル状画像	フレームとして使う画像を指定します。 [参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

サムネイル オプション

ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。

ページ背景オプション

ページ背景オプション	ページの背景に無地を使用します。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル状画像	ページの背景にタイル状に画像を使用します。 [参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

一括編集について

ACDSeeでは1つの編集作業を複数の画像にまとめて行うことができます。例えば、複数の画像のサイズを変更する場合は、**[サイズの一括変更]** ツールを使用します。または、複数の写真を**90度回転**する場合は、**[一括回転/反転]** ツールを使用します。

ファイルにタグを付けると、一括編集のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカタログペインで**[タグ付き]** をクリックすると、ファイル一覧ペインにタグが付いたすべてのファイルが表示されます。すると、ファイルを選択して一括ツールを実行することができます。

AI超解像の使用

AI超解像は、高度なアルゴリズムを使用して低解像度の写真をインテリジェントにアップスケールすることで、画像の品質を強化します。この機能は、画像の解像度とディテールを向上させ、品質を損なうことなく、よりシャープで鮮明な画像にします。小さな写真を拡大する

場合でも、デジタル画像の明瞭度を向上させる場合でも、**AI超解像**を使用すれば簡単にプロフェッショナルな結果を得ることができます。

 **AI機能**をGPUで実行するには、**DirectX 12 機能レベル 12_0**以上が必要です。GPUのサポートレベルは、**dxdiag.exe** ツールを実行して「ディスプレイ」タブを確認するか、デバイスの公式仕様を調べることで確認できます。GPUが要件を満たしていない場合でも、**AI機能**は代わりにCPUを使用して実行されます。**AI超解像**のGPUアクセラレーションには、最低**4GB**の**VRAM**が必要です。

AI超解像の仕組み：

AI超解像は、画像のパターン、テクスチャ、色を分析することで画質を強化します。その後、複雑なアルゴリズムを適用して画像をアップスケールし、ノイズやぼやけを低減し、アーチファクトを除去し、明瞭度とディテールを維持するために必要なピクセルを追加します。この機能は、小さな画像を拡大したり、トリミングした写真を拡大したりする場合に特に便利です。

AI超解像の使用例：

- 低解像度の画像を拡大して、大きなプリントやディスプレイに使用する
- トリミングされた画像を強化して品質を向上させる
- 解像度の低いカメラで撮影された古い写真のサイズを大きくする

AI超解像の適用方法：

AI超解像で画像を強化するには、以下の操作を行います：

1. **管理モード**または**表示モード**で強化したい画像を見つけ、次のいずれかを実行します：
 - 右クリックして、**AI機能** | **AI超解像**を選択します。
 - **Shift + Alt + S**を押します。
2. **AI超解像**ダイアログで、お好みの設定を選択します。パラメータが変更されるたびにプレビューが自動的に生成されるため、常にリアルタイムで仕上がりを確認できます。
3. **強化**をクリックして、画像に超解像を適用します。強化された画像は、デフォルトで元の画像と同じフォルダに保存されます。この設定は、**AI超解像**ダイアログの下部にある**オプション**で調整できます。



一括 AI超解像の適用方法:

一度に複数の画像を**AI超解像**で強化するには、以下の操作を行います:

1. **管理モード**で強化したい画像を見つけ、次のいずれかを実行します:
 - 対象の画像を選択し、そのうちの一つを右クリックして一括 | **AI超解像** | **AI超解像** を選択します。
 - ツール | 一括 | **AI超解像** | **AI超解像** を選択します。
 - 画像を右クリックし、一括 | **AI超解像** | **AI超解像** を選択します。
 - **Shift + S** を押します。
2. 一括 **AI超解像** ダイアログで、お好みの設定を選択します。パラメータが変更されるたびにプレビューが自動的に生成されるため、常にリアルタイムで仕上がりを確認できます。



複数の画像に **AI超解像** を適用する場合、プレビューには最初に選択した画像のみが表示されます。

3. **強化**をクリックして、画像に超解像を適用します。強化された画像は、デフォルトで元の画像と同じフォルダに保存されます。この設定は、**一括 AI超解像**ダイアログの下部にある**オプション**で調整できます。

設定:

どの測定モードを使用しても利用できる5つのオプション設定があります:

オリジナルを表示	修正前の元の画像を表示し、すばやく比較できます。
AI強度	スライダーを調整して、AIが強化に与える影響度を増減します。
ズーム	現在のプレビュー表示のズームを調整します。
実寸	プレビュー表示を画像の実寸(100%)に設定します。
フィットイメージ	プレビューウィンドウ内に画像が収まるようにプレビュー表示を設定します。

リサイズオプション:

画像の大きさを決定するために使用できる5つのリサイズオプションがあります。詳細については、[AI超解像オプションの設定](#)を参照してください。

パーセント	幅(%)、高さ(%)、および「元の縦横比を維持」を含みます。
ピクセルサイズ	幅(px)、高さ(px)、「元の縦横比を維持」、および「内に収める」を含みます。 「内に収める」の選択肢: 幅と高さ、幅のみ、高さのみ、幅または高さ(最大の画像)。
印刷サイズ	幅、高さ、単位、解像度(ピクセル/インチ)、「元の縦横比を維持」、および「内に収める」を含みます。 「内に収める」の選択肢: 幅と高さ、幅のみ、高さのみ、幅または高さ(最大の画像)。
長辺	サイズ(ピクセル、インチ、cm、mm)および解像度(ピクセル/インチ)を含みます。
短辺	サイズ(ピクセル、インチ、cm、mm)および解像度(ピクセル/インチ)を含みます。

⇒ 一括編集の使用

複数の画像を別のファイル形式に変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイルフォーマットに変換することができます。各フォーマットのオプションを個別に設定したり、複数ページの画像を取り扱う方法を指定したり、変換の既定値を自動的に適用したりできます。

変換ステータス

ACDSee 写真館 2026 ホーム でアセットを変換する際、アクティビティマネージャーから進行状況の確認、一時停止、またはキャンセルを行うことができます。詳細については、[「ACDSee アクティビティマネージャー」](#)を参照してください。

複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、[ツール] > [一括] > [ファイル形式の変換] > [変換...]をクリックします。
 - 表示モードで、[ツール]から[変更]、[ファイルフォーマットの変換]、[変換]をクリックします。

- 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、**[一括]**、**[ファイルフォーマットの変換]**、**[変換]**をクリックします。
 - 管理モードまたは表示モードで、1つ以上の画像を選択し、**Ctrl + Alt + F**を押します。
- 2. **[ファイルフォーマットの変換]**ダイアログで、**[出力ファイルフォーマット]**ドロップダウンリストから画像の新しいフォーマットを選択します。フォーマット固有オプションを設定するには、ファイルフォーマットを選択し、**[設定]**ボタンを押します。
- 3. **[出力場所]**セクションで、変換された画像の保存先を指定します。
- 4. **[ファイルオプション]**セクションで、重複ファイル名の対処方法を指定するには、**[既存ファイルの上書き]**ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択します：
 - **確認**: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。
 - **スキップ**: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
 - **置換**: ファイルが上書きされます。確認メッセージは表示されません。
 - **名前の変更**: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
- 5. **[ファイルオプション]**セクションでは、追加のオプションを設定できます。：
 - **最終更新日時を維持する**: 変換後の新しいファイルに、元のファイルの最終更新日時を引き継ぎます。
 - **元のファイルを削除する**: 変換完了後に元のファイルを削除します。
 - **出力ファイルでメタデータを維持できない場合は元のファイルを削除しない**: 出力がメタデータを保持できない場合、元のファイルを削除しません。



出力ファイルでメタデータを維持できない場合は元のファイルを削除しないが無効な場合、メタデータとカラープロファイルに対応していないファイル形式に変換すると、これらが永久に失われる可能性があります。

- **メタデータを維持する**: 元のファイルのメタデータを変換後のファイルに保持します。
 - **データベース情報を維持する**: 元のファイルのデータベース情報を変換後のファイルに保持します。
 - 6. ベクタの設定とマルチページ画像の処理方法を設定するには、**[詳細設定]**ボタンを押します。マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイルフォーマットとして指定していない場合は、マルチページソースセクションのオプションをスキップしてください。
 - 7. **変換**をクリックします。
-  使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。**[ファイルフォーマットの変換]**ダイアログの設定を構成したら、**[プリセット]**フィールドの横にある**[保存]**アイコンを押します。プリセットの名前の入力を求められます。プリセットにはわかりやすい名前を付けることをお勧めします。保存したプリセットは、**[ファイル形式の変換]**ポップアップメニューに一覧表示されます。



保存したプリセットにカスタムショートカットを割り当てて、すばやく変換することができます。プリセットは**[ショートカットのカスタマイズ]**ダイアログの**[プリセット - ファイルフォーマットの変換]**カテゴリの下にあります。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転 / 反転するには:

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]に続き[回転/反転]をクリックします。
2. [回転 / 反転の一括変更] ダイアログ ボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
3. ページが複数にまたがる画像を選択した際、選択した回転角度をすべてのページに適用するには、[現在の画像のページすべてに適用する] チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [次の画像] をクリックして、次に選択した画像に進みます。[選択した画像すべてに適用する] チェックボックスがオンになっていると、[次の画像] ボタンはクリックできません。
 - 複数の画像を選択し、同じ回転角度を画像すべてに適用するには、[選択した画像すべてに適用する] チェックボックスをオンにします。
 - [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 画像に回転を適用する準備ができれば、[回転を開始する] をクリックします。

回転/反転の角度



画像を反時計回りに90度回転させます。



画像を180度回転させます。



画像を時計回りに90度回転させます。



画像に含まれるEXIFデータに従って画像を回転します(カメラが向きをどのように判断するかに基づいて)。



画像を垂直軸に対して反転させます。



画像を水平軸に対して反転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに90度回転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに90度回転させます。



編集モードの[回転] ツールを使用して、カスタム角度で画像を回転させることも可能です。

回転/反転済みファイルのオプションを設定する

[回転/反転の一括変更]ダイアログボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、[回転/反転の一括変更]ツールを使用する際ファイルの最終更新日を更新するかなど、ACDSee ホームが実行するオプションを設定することができます。

回転/反転オプションを設定するには:

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]に続き[回転/反転]をクリックします。
2. [画像を一括で回転/反転]ダイアログボックスで、[オプション]ボタンをクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]をクリックします。

回転/反転オプション

JPEG可逆回転を行う	JPEG情報を展開または再圧縮することなく、JPEG画像を回転することができます。非可逆回転では、画像を回転 / 反転しても画質に変化はありません。
ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 • 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 • 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 • 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照]ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ACDSee ホームでのファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択してください: • 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 • スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 • 置換: ファイルを上書きします。 • 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
最後に行った回転を保存して適用する	次回画像を回転する際、現在の回転設定が自動的に適用されます。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、画像の回転 / 反転ウィザードを次回使用際に適用することができます。

複数画像のサイズを変更する

バッチサイズ変更ツールを使用すると、一度に複数の画像のサイズを変更できます。

リサイズ ステータス

ACDSee 写真館 2026 ホーム でファイルのリサイズを実行際、アクティビティマネージャーから進行状況の確認、一時停止、またはキャンセルを行うことができます。詳細については、「[ACDSee アクティビティ マネージャー](#)」を参照してください。

複数画像のサイズを変更するには:

1. 次のいずれかを行います:
2. 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]そして[サイズ変更]、[サイズ変更]を選択します。
3. [サイズ変更]ダイアログボックスでは、画像のサイズを変更する複数の方法から選択できます。サイズ(ピクセル単位)、パーセンテージ、印刷サイズ、長辺、または短辺のいずれかを選択します。以下の表の指示に従ってください。
4. [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. [サイズ変更] をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、名前変更設定をプリセットとして保存できます。そこから、名前を入力して[OK]を押します。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)トピックの説明に従い、ショートカットを割り当てて、複数のファイルの名前を変更するプロセスを高速化できます。

サイズ変更 オプション

サイズ変更方法	設定	説明
ピクセルサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	高さ	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大または縮小：すべての画像を指定した幅と高さサイズに変更します。 • 拡大のみ：指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ：指定した高さより大きい画像のみサイズ変更します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更 オプションと効果] をご参照ください。
パーセンテージ		
	幅	元の画像のパーセンテージとして、画像の新しい幅を入力します。
	高さ	元の画像のパーセンテージとして、画像の新しい高さを入力します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
印刷サイズ		
	単位	インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択します。
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	高さ	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ：指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ：指定した高さより大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小：すべての画像を指定した幅と高さサイズに変更します。

サイズ変更方法	設定	説明
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更 オプションと効果] をご参照ください。
長辺		
	サイズ	サイズを単位で入力します。単位は、ドロップダウンメニューで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択できます。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さと幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
短辺		
	サイズ	サイズを単位で入力します。単位は、ドロップダウンメニューで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択できます。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さと幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オプション		
	出力場所	オプションから出力場所を選択します： • 元のファイルを削除/置換: このオプションは元のファイルを上書きします。 • ソースフォルダと同じ: サイズ変更されたファイルを元のフォルダに貼り付けます。 • 特定のフォルダー: フォルダーアイコンを使用して、出力ファイルの特定のフォルダーに移動します。

サイズ変更方法	設定	説明
		• サブフォルダーの作成: 出力場所を選択した状態で、このチェックボックスをオンにして、サイズ変更された画像のサブフォルダーを作成します。ボックスに名前を入力します。これは、特定の寸法に複数のバッチサイズ変更を行う場合に役立ちます。サイズ変更したファイルは別のフォルダに保存できます。
	ファイル オプション	既存のファイルを上書きするためのファイルオプションを選択します。 サイズ変更時に特定のファイル情報を保持するかどうかを選択します。 JPEG圧縮オプションを選択します。詳細については、JPEGオプションのトピックを参照してください。 次のオプションからリサンブルタイプを選択します: • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • Bicubic: 写真のようにリアルな画像や、不規則だった複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Box: 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギー(ギザギザとした輪郭)が出ます。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • ClearIQZ: Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大においてベストな仕上がりになります。 • Mitchell: 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ランクゾスフィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。

ファイルのオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスの設定を変更すれば、ACDSee ホームにて、変更されたイメージを適用する場所、ファイルが重複した場合の対応方法、ファイルの最終変更日付を保持するかどうかの指定ができます。

ファイル オプション

ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次の3つのオプションからいずれかを選択します。 ● 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ACDSee ホームでのファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択してください: ● 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 ● スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換: ファイルを上書きします。 ● 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、[画像のサイズ変更]ウィザードを次回使う際に適用することができます。
JPEG圧縮オプション	[JPEGオプション] ダイアログが開き、サイズを変更したファイルに適用する圧縮オプションの詳細を指定できます。

🔗 [ACDSeeでファイルのカタログを整理、管理する](#)

複数の画像の露出を調整する

ACDSee の「露出一括調整ウィザード」では、1 つまたは複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。各画像を個別に調整して適用前に変更のプレビューを確認したり、1 つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用したりすることができます。



使用した設定は、後で利用するための[プリセット](#)として保存することもできます。

画像の露出を調整するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール] メニュー**から**[一括]**、**[露出調整]**を選択します。
2. [露出一括調整] ダイアログ ボックスで、次を 1 つ以上実行します:
 - 画像の明るさ、コントラスト、フィルライトを調整するには、**[露出]** タブを選択してオプションを調整します。
 - 画像のコントラストや光量レベルを正確に調整するには、**[レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の露出を自動調整するには、**[自動レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の RGB カラー チャンネルを正確に調整するには、**[トーンカーブ]** タブを選択してオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオンにすると、選択したすべての画像に現行の設定が適用されます。
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオフにして、**[次の画像]** をクリックして次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順 2 を繰り返します。

4. [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。

5. [すべての画像をフィルタする] をクリックします。



編集モードで画像の露出と色レベルを調整することもできます。

一括露出処理オプションを調整する

[露出の一括調整] ダイアログのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブで構成されています：露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには：

[露出の一括調整] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します：

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
自動	画像の明るさを基本にして露出を自動調整します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
ミッドトーン	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ～ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。

自動レベル オプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動 コントラストと自動 カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動 コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
自動 カラー	画像全体の色を調整します。

トーンカーブのオプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。

複数のファイル名を変更する

バッチ名前変更ツールを使用して、複数のファイルの名前を変更できます。数字またはアルファベット順でテンプレートを指定したり、将来使用するためにテンプレートを保存したり、特定の文字やフレーズを置き換えたり、大文字と小文字を変更したり、テキストやスペース

を挿入または削除したりできます。これは、大量の画像を処理する場合、またはファイル名で画像を整理する場合に特に便利です。

複数のファイルの名前を変更するには:

1. 管理モードで、1つ以上のファイルを選択し、[ツール] > [バッチ] > [ファイル名の変更] > [名前の変更...]の順にクリックします。2つ以上のファイルを選択する場合は、**F2**キーを押すこともできます。
2. [名前の変更]ダイアログボックスに、操作のリストが表示されます。操作をクリックすると、その設定を表示または変更できます。チェックボックスを使用して、バッチの名前変更時に実行する操作を選択または選択解除できます。次の操作により、次のアクションを実行できます。
 - **テンプレート**: 選択したすべてのファイルに適用する名前変更テンプレートを作成します。
 - **検索と置換**: ファイル名の一部を検索して置換します。
 - **大文字と小文字の変更**: ファイル名のテキストの大文字と小文字を変更します。
 - **テキストの挿入**: ファイル名にテキストを追加します。
 - **テキストの削除**: ファイル名からテキストを削除します。
 - **スペースの削除**: ファイル名からスペースを削除します。
3. [プレビュー] フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
4. [名前を変更する]をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、名前変更設定をプリセットとして保存できます。そこから、名前を入力して[OK]を押します。アクションを繰り返したい場合は、プリセットメニューの最後に使用した設定にアクセスすることもできます。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



キーボードショートカットのカスタマイズトピックの指示に従い、ショートカットを割り当てて、複数のファイルの名前を変更するプロセスを高速化できます。

設定の名前を変更

テンプレート

テンプレート:	テンプレートとして設定するファイル名の形式を入力します。このボックスには、ハイフンやアンダースコアなど、任意のテキストを入力できます。 *記号を使用して元のファイル名を挿入するため、テンプレート「 Summer Wedding * 」を使用して IMG-9359.jpg の名前を変更すると、ファイルの名前が「 Summer WeddingIMG-9359.jpg 」に変更されます。 #記号を使用して、数値またはアルファベット順のシーケンスを開始します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
テンプレートのクリア	このオプションを選択して、既存のテンプレートをクリアして新しいテンプレートを作成するか、既存のテンプレートを変更します。
# を数値に置き換える	名前変更テンプレートの#を連番に置き換えるには、このオプションを選択します。
# を文字に置き換える	名前変更テンプレートの#を連続した文字に置き換えるには、このオプションを選択します。
開始:	固定値または自動検出のいずれかを選択します。[固定値]を選択した場合は、シーケンスを開始する番号を選択します。[自動検出]を選択して既存の数値システムを識別し、続行します。

検索と置換

検索する文字列:	検索する用語を入力します。
置換後の文字列:	検索した用語を置き換える用語を入力します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
大文字/小文字を区別する	検索語の大文字と小文字が一致する結果のみを検索するには、このチェックボックスをオンにします。これを使用して、ファイル名のすべての大文字、またはすべての小文字の用語を削除できます。
拡張子を含める	検索と置換にファイル拡張子を含めるには、このチェックボックスをオンにします。

文字種の変換

名前	小文字、大文字、またはタイトルの大文字と小文字を選択してファイル名の大文字と小文字を変更するか、[変更なし]を選択してそのまま保持します。
エクステンション	小文字、大文字、または変更なしから選択します。これは、.JPGや.jpgなどのファイル名の大文字と小文字の違いを統一するのに役立ちます。

テキストの挿入

挿入:	ファイル名に挿入するテキストを入力します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
場所	接頭辞、接尾辞、位置(名前の文字数を意味する)、このテキストの後、このテキストの前から選択します。前後のテキストでは、前、または後にくるテキストを入力します。

右から左に追加	このボックスをオンにすると、テキストが左から右ではなく、右から左に追加されます。
既存の名前を上書きする	このボックスをオンにすると、既存のファイル名を上書きしてファイルの名前を変更します。
拡張子を含める	名前変更プロセスにファイル拡張子を含めるには、このチェックボックスをオンにします。
大文字/小文字を区別する	検索語の大文字と小文字が一致する結果のみを検索するには、このチェックボックスをオンにします。

テキストを削除

開始:	位置または区切り文字を選択します。 - 位置を入力します。これは、テキストの削除を開始する名前の中の文字数を意味します。 - テキストの削除を開始する区切り文字を入力します。
次まで削除	同数を数える、区切り文字、または[最後まで]から選択します。 - 削除するテキストの文字数を入力します。 - テキストの削除を停止する区切り文字を入力します。 [最後まで]を選択すると、ファイル名の最後までテキストが削除されます。
右から左に削除	このボックスをオンにすると、テキストが左から右ではなく、右から左に削除されます。
区切り記号を削除	名前を変更するときに区切り文字を削除するには、このボックスをオンにします。そうでないと、区切り文字は残されます。
拡張子を含める	削除するテキストにファイル拡張子を含めるには、このボックスをオンにします。
大文字/小文字を区別する	区切り文字フィールドのテキストで大文字と小文字を区別するには、このボックスをオンにします。

スペースを取り除く

スペース除去のタイプ	[すべて削除]、[末尾を削除]、[連続削除]、または[置換]から選択します。 - すべて削除では、ファイル名のすべてのスペースが削除されます。 - 末尾を削除では、ファイル名に続くスペースが削除されます。 - 連続して削除では、ファイル名の複数のスペースが削除されます。 [置換]を使用すると、文字、数字、ダッシュなどの選択肢を入力できます。

詳細設定 (A)...

名前が競合した場合の対応:	次のオプションから選択します: 確認: 名前の競合が発生したときに確認メッセージを表示します。 スキップ: 競合する名前をスキップします。 名前の変更: 競合するファイルの名前を変更します。

拡張子の変更に対応

次のオプションから選択します:

- **確認:** 名前の変更が拡張子に影響する場合に確認メッセージを表示します。
- **スキップ:** 拡張子に影響する変更をスキップします。
- **名前の変更:** 名前の変更が必要な場合は、拡張子の名前を変更します。



表にリストされているオプションを編集するだけでなく、これらの操作の実行方法を並べ替えることもできます。操作を並べ替えるには、リストの下部にある上矢印または下矢印を使用するか、操作の名前をクリックして新しい場所にドラッグします。



合計で最大10個の操作を追加できます。これを行うには、リストの下部にあるプラスボタンを押します。



操作を削除するには、ごみ箱アイコンを押します。

データベース ACDSee ホーム について

フォルダを参照すると、ACDSee ホーム データベースは、画像、ドキュメント、メディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースによりコンピュータの閲覧速度が上がり、データベースに保存した情報を使用して画像やメディアファイルの並べ替え、整理、検索、フィルタリングができます。また、データベース情報をバックアップ、復元、共有することもできます。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加したり編集したりすることができます:

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- カラーラベル
- 作成者
- 日付
- 重要度
- キャプション
- 顔データ

データベースからフォルダを除外したり、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像またはメディアファイルと切り離して保管したりすることも可能です。

ACDSee メタデータはファイルに直接埋め込むことができます。詳細については、「[ファイルへの ACDSee メタデータの埋め込み](#)」を参照してください。



ACDSee でファイルに ACDSee メタデータを追加すると、そのファイルはデータベースにリンクされます。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のプログラムを使用してファイルのコピー、移動、名前の変更を行うと、データベースとのリンクが壊れ、ACDSee メタデータが消えることがあります。

データベースからフォルダを除外する

データベースからフォルダを除外して、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像やメディアファイルから切り離すことができます。既定値として、ハードディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

す。

フォルダの除外設定を管理するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[フォルダの除外設定] をクリックします。
2. [フォルダの除外] ダイアログ ボックスで、以下のいずれかを実行します:
 - データベースからフォルダを除外するには、[追加] をクリックします。ハードドライブから除外するフォルダを選択して、[OK] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して [削除] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、[既定値にリセット] をクリックします。
3. 選択項目を確認したら、[閉じる] をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルをデータベースにカタログ化する

ACDSee ホームを使用してフォルダを参照すると、ファイル情報とサムネイルが自動的にデータベースに追加されます。カタログダイアログ ボックスを使用すると、参照するまえにフォルダにグループ化されたファイルをデータベースに追加することができます。ACDSee ホームを最初に使用するときや、大きな画像コレクションを参照または管理するときに特に有用です。このときのフォルダの読み込み時間を短縮することができます。

ACDSee ホームを最初に実行すると、カタログ化するファイルを求められます。

ファイルのカタログ化方法:

1. 管理モードで、[ツール] | データベース | ファイルをカタログ化... をクリックします。
2. カatalog化するファイルを選択します。詳しくは、以下の「カタログオプション」テーブルを参照してください。
3. [開始] をクリックします。
進行状況バーで、ファイルがカタログ化されているのを確認できます。
4. [終了] をクリックします。

カタログオプション

カタログ

フォルダを追加...

「フォルダを追加...」ボタンをクリックして、データベースに追加するフォルダを参照してください。

フォルダを削除

「カタログ化するフォルダ」テーブル内のフォルダを選択し、「フォルダを削除」ボタンをクリックして、フォルダをテーブルから削除します。

カタログ化されたファイルからインポート

EXIF と IPTC メタデータ

EXIF と IPTC メタデータをインポートするには有効にします。

IPTC キーワードから ACDSee キーワードへ

IPTC キーワードを ACDSee キーワードにインポートできるようにします。IPTC キーワードは、画像を右クリックし、[メタデータ] | [メタデータ] を選択してインポートすることもできます。IPTC キーワードをインポートします。



ACDSee キーワードが割り当てられたファイルは、既存の ACDSee キーワードを上書きまたは削除することなく、IPTC キーワードをインポートします。

ACDSee カテゴリに対する IPTC 補足 カテゴリ

IPTC 補足 カテゴリを ACDSee カテゴリにインポートできるようにします。IPTC 補足 カテゴリは、画像を右クリックして [メタデータ] を選択してインポートすることもできます | IPTC 補足 カテゴリをインポートします。



ACDSee カテゴリが割り当てられているファイルは、既存の ACDSee カテゴリを上書きしたり削除したりせずに、IPTC 補足 カテゴリをインポートします。

ACDSee メタデータ、カテゴリ、キーワード、タグ、およびコレクションを含む

カテゴリ、キーワード、タグ付き、コレクションなどの ACDSee メタデータをインポートできるようにします。



ファイルの埋め込み保留フラグが設定されている場合、ACDSee カテゴリとキーワードはインポートされません。



ファイルの埋め込み保留フラグが設定されておらず、ACDSee カテゴリとキーワードが埋め込まれている場合、ファイルの既存のカテゴリとキーワードの割り当てが解除され、埋め込まれたデータからそれらの値がインポートされます。

顔データ(顔の輪郭と名前を含む)

「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスを有効にすると、「ACDSee顔データ」ラジオボタンと「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンが有効になります。

ACDSee顔データ

「ACDSee顔データ」をインポートするために有効にし

カタログ

ます。「ACDSee顔データ」ラジオボタンは、「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスが有効になっている場合にのみ有効になります。「ACDSee顔データ」ラジオボタンを有効にすると、「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンが無効になります。

LightroomまたはPicasa顔データ

「LightroomまたはPicasa顔データ」をインポートするために有効にします。「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンは、「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスが有効になっている場合にのみ有効になります。「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンを有効にすると、「ACDSee顔データ」ラジオボタンが無効になります。

ファイルフォーマット

カタログ画像

画像ファイル形式のみがカタログ化されます。

カタログ画像と動画

画像と動画の両方のファイルタイプがインポートされます。

すべてのファイルをカタログ化する

選択したフォルダー内のすべてのファイルがインポートされます。

オプション

サムネイルを生成し、データベース内に含める

画像や動画のサムネイルを生成し、データベース内に含めるように有効にします。

アーカイブファイルの内容を含める

アーカイブされたファイルの内容をインクルードするように有効にします。

RAW 画像のプレビューファイルを作成する

RAW 画像のプレビューファイルを作成することが可能です。

その他

ヘルプ

メディアモードでファイルをカタログ化する関連ヘルプファイルを開きます。

開始

サムネイルとファイル情報をデータベースへの追加プロセスを開始します。

キャンセル

ウィンドウを閉じます。



大量のファイルをカタログ化している場合は、プロセスを中断せず、他のソフトウェアを使用しないでください。大量のファイルのコレクションの場合、カタログを夜間に実行するのが最善です。

ACDSee インデクサーについて

カタログとデータベース。

ACDSeeデータベースは、フォルダーを閲覧した時にファイル情報を保存します。このプロセスは、**カタログ化**と呼ばれます。**カタログ化**とデータベースを使うと、ファイルの並べ替え、整理、検索、絞り込みに役立ち、閲覧が高速化されます。**ACDSee**インデクサーは、閲覧せずに画像をカタログ化するのを助けます。

[カタログ]ダイアログボックスを使用すれば、最初にフォルダを参照することなくファイルをデータベースに追加することもできますが、カタログ化中は **ACDSee** を使用することができません。

ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターがアイドル状態で**ACDSee**が実行されていないときにファイルをカタログ化できます。これにより、すべてのフォルダーを参照する必要や、処理中にコンピューターの速度が低下することがなくなります。選択したフォルダ内のファイルを編集した場合、**ACDSee**インデクサーはデータベースを更新します。

カタログ化したいフォルダおよび **ACDSee** インデクサーがカタログ化を始めるまでのパソコンのアイドル時間を設定することができます。これらのオプションの設定方法は、[ACDSeeインデクサーオプションの設定](#)を参照してください。

複数のデータベースの作成と切り替え

ACDSeeでは複数のデータベースを作成することができ、またいつでもデータベース間の切り替えが行えるため、どんなに大量のファイルでも楽に管理できます。

ACDSeeを一番最初に起動して使用するデフォルトのデータベースは "Default.dbin" と呼ばれ、新しく追加でデータベースを作成しない限り継続して使用されます。C:\Users \<ユーザー名> \AppData \Local \ACD Systems \ Catalogs \ <Version #> にあります。別に指定しない限り、作成する追加データベースはすべてこの同じ場所に保存されます。



タイトルバーに実行中のデータベースを表示するように**ACDSee**を設定することも可能です。

新規データベース作成するには:

1. 管理モードで、[ファイル]>[データベース]>[新規...]を選択します。
2. [新規のデータベース]ダイアログボックスで、新規データベースの名前を入力します。
3. [参照]からデータベースを保存するディレクトリを指定しても、既存のデータベース、"Default.dbin" が保存されているデフォルトのディレクトリのままでもかまいません。



新しく作成したデータベースは、データベースと同じ名前のフォルダ内に保存されます。データベースのファイルとフォルダ名はいつでも必ず同じである必要があります。そうでないと、**ACDSee** がデータベースへ接続できません。

4. アプリケーションのタイトルバーにデータベース名を表示したい場合は、[タイトルバーにデータベースのファイル名を表示]チェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックします。
6. ダイアログが開き、新しく作成したデータベースに切り替えるか確認されます。**はい**または **いいえ**を選択します。**[はい]**を選択すると、**ACDSee** は再起動後、新しいデータベースを使用します。

データベース間を切り替えるには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います。

[ファイル]>[データベース]>[開]を開きます。	[データベースを開]ダイアログボックスで、使用したいデータベース (*.dbin) を参照したら、[開]をクリックします。

[ファイル]>[データベース]>[履歴]の順に選択します。最近使用したデータベースから希望のものを選択してください。

コマンドライン スイッチを使って特定のデータベースで **ACDSee** を素早く起動するには:

1. **ACDSee** のショートカットを作成します。ここで付けるショートカット名は、開きたいデータベースに関連したものにするのがおすすめです。
2. ショートカットのプロパティで、リンク先を次へ指定します: **C:\Program Files\ACD Systems\ACDSee\<Version #>\ACDSee<Version #>.exe" /db "C:\Users\<Your Name>\AppData\Local\ACD Systems\Catalogs\<Version #>\<Name of Your Database>.dbin"**

旧バージョンのデータベースを変換する

「ACDデータベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンのACDSee ホームのデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンのACDSee ホームでファイルに関連付けられた情報が現在のデータベースで正しく参照できます。

 既に現在の **ACDSee** ホームのデータベースに情報が追加されている場合、以前の**ACDSee** ホームのデータベースを変換する前にデータベースのバックアップを作成することをおすすめします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースの変換]をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ]をクリックしてデータベースの変換オプションを選択します。
3. [データベースの変換オプション]ページで、変換するデータベース ファイルのバージョンと、ハードディスク上でデータベース ファイルが格納されているフォルダを指定します。[次へ]をクリックします。
4. 変換後、画像サムネイル、EXIF、IPTC 情報を自動的に再構築するには、[ローカル画像用にサムネイル、EXIF、IPTC データを再構築する] チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、[変換後、データベース ファイルを最適化する] チェックボックスをオンにします。
6. [次へ]をクリックします。
7. 「概要」のページで選択項目を再確認したら、[次へ] をクリックしてデータベースを変換します。

データベース情報をインポートする

ACDデータベースのインポートウィザードを使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他のユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、**ACDSee** ホームはその情報を対応する画像へと関連付けます。

 既に現在の**ACDSee** ホームのデータベースに情報が追加されている場合は、以前の**ACDSee** ホームのデータベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することをおすすめします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[データベース]を選択します。
2. [次へ] をクリックして、ウィザードを開始します。
3. 「インポート オプション」のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。
データベースの圧縮版、あるいは XML ベース テキスト ファイルから画像情報をインポートすることができます。
4. [参照] ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して[OK] をクリックします。
5. [インポート後、データベース ファイルを最適化する]チェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。[次へ] をクリックします。

6. 「概要」のページで選択した項目を再確認します。変更するには、**[戻る]** をクリックします。また、データベース情報のインポートを開始するには、**[次へ]** をクリックします。
7. **[完了]** をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。



他の ACDSee ホームユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートする場合、情報が適用される画像のファイルの場所とファイル構造が完全に一致していることを確認してください。

他のソースからファイル情報をインポートする

[ACDSeeフォトディスク](#)や、旧バージョンのACDSeeなど、他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンのACDSee (バージョン4.0および5.0) では、フォトディスクは別のデータベースファイル「.ddf」として作成されます。フォトディスクデータベースファイルは ACDSee ホームデータベースにインポートできます。

フォトディスクをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[フォトディスク]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。
3. **[開く]** をクリックします。



ACDSee 6.0以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を**変換してインポート**しなくてはなりません。

アルバムをインポートする

旧バージョンのACDSeeのアルバムでは「.ais」ファイルフォーマットが使われ、画像へのショートカットがありました。新バージョンのACDSeeでは、アルバムの作成にファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成できます。旧バージョンのACDSeeで作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加できます。ACDSee ホームはアルバムをインポートする際、新しいカテゴリを作成します。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[アルバム]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. **[開く]** をクリックします。

Descript.ion ファイルの使い方

旧バージョンのACDSeeでは、ファイルの説明は個別の「Descript.ion」ファイルとして、画像を含む各フォルダに保存されていました。ACDSee ホームでは、ファイルの説明はキャプションとして、注意事項やキーワードなど別のファイル情報とともにデータベースに保存されます。

「Descript.ion」ツールを使えば、以前作成した Descript.ion ファイルをインポートしてその情報をデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Descript.icon ファイルにエクスポートしたりすることができます。

Descript.ion ファイルをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックして、[Descript.ion ファイル]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい Descript.icon ファイルを選択します。

3. [開] をクリックします。

キャプションを**Descript.ion**ファイルにエクスポートするには:

1. [管理] モードで、[ツール] > [データベース] > [エクスポート] をクリックして、[Descript.ion ファイル] を選択します。
2. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの [ファイル名] フィールドに Descript.ion ファイルの名前を入力します。
3. [保存] をクリックします。

データベース情報をエクスポートする

ACDSee データベースのエクスポート ウィザードを使い、選択したデータベース情報を圧縮 フォーマットで保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee ホーム ユーザーと共有したりすることができます。カテゴリやキーワード定義をテキスト ファイルとしてエクスポートすることも可能です。

バックアップの作成とは異なり、データベース情報のエクスポートは、CD など共有または格納したい特定 ファイルのデータベースの一部だけを選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee ホーム ユーザーは、既存のデータベースが壊れないかという心配をすることなく、情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、[ACD 同期 ウィザード](#)を使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、管理モードの[ファイル一覧](#)ペインでファイルを選択します。
2. [ツール] > [データベース] > [エクスポート] > [データベース] をクリックします。
3. [次へ] をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. 「コンテンツとフォーマット オプション」のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、[次へ] をクリックします:
 - **ACDSeeデータベースの読み取り専用の圧縮バージョン全体をエクスポートする:** ACDSee ホームデータベースのコンテンツ全体を、他の ACDSee ホームユーザーと共有できる圧縮バージョンでエクスポートします。
 - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** ファイル一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
 - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする:** XML 形式のテキストファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 「ロケーション オプション」のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキストファイル名も入力)、[次へ] をクリックします。
6. [概要] のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、[戻る] をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、[次へ] をクリックします。
7. [完了] をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧を作成する

「ファイル一覧の作成」機能を使って、ファイル一覧ペインで現在表示されているフォルダ内に含まれている、すべてのファイルをテキストファイルとして作成することができます。フォルダ内のすべてのファイルのファイル名、サイズ、画像ファイル形式、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度が表になった、1 つのテキストファイルとして作成されます。

ファイル一覧を作成するには:

管理モードで、[ツール]、[データベース]、[エクスポート] をクリックして、**ファイル一覧の作成** を選択します。

ACDSee ホームは自動でファイル一覧を作成し、既定のテキストエディタでテキストファイルとして開きます。作成されたテキストファイルは、必要に応じて編集したり、保存したりすることができます。

データベースをバックアップする

[ACDSee バックアップ] ウィザードを使って、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

ACDSeeバックアップ ウィザードは、データベースを全情報を一連のファイルにして、ユーザーの指定した場所に作成します。バックアップは既存のフォルダ構造に基づいて作成されるため、ご利用のコンピュータによって異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee ホームユーザーとデータベース情報を共有するには、[ACDSeeデータベースのエクスポートウィザード](#)を使ってください。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、「[データベース情報のバックアップ](#)」のワンポイントをご覧ください。

データベース情報をバックアップするには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースのバックアップ]をクリックします。
2. [ようこそ]のページで、新規バックアップを作成するか、既存のバックアップを更新するかを選択します。[次へ]をクリックします。
[既存バックアップを更新する]を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ]のページで、バックアップする情報を選択します。[次へ]をクリックします。
4. 「バックアップの保存先」のページで、[参照]をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。[次へ]をクリックします。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する]を選択した場合、[バックアップの更新] ドロップダウン リストから更新する既存バックアップを選択します。[次へ]をクリックします。

バックアップ情報オプション

サムネイルを含めない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハードディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォトディスクのようにハードディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハードディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します: • 画像: 画像 ファイルをバックアップに含めます。 • メディア: オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含めます。 • アーカイブ: アーカイブ ファイルをバックアップに含めます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。[参照] ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。

データベース バックアップのヒントと手順

プロパティペインで入力したEXIF情報、ファイル名、保存先、サムネール、カテゴリ、重要度などのファイル情報は、ACDSee ホームデータベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多いほど、データベース情報のバックアップはより重要です。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を失ってしまうことがあります。バックアップを行い、損失を最小限に抑え、回避することができます。

バックアップスケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップスケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。[ACDSee オプション] ダイアログボックスの「データベース」のページにある[バックアップアラームの表示]で、必要に応じてバックアップのスケジュールを設定します。特にビジネスでご利用のユーザー、またはプロの写真家ユーザーは、毎日バックアップすることをお勧めします。

別のACDSee ホームユーザーから情報をインポートする、あるいはACDSeeの古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースを行う前に、既存のデータベースをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。バックアップをハードディスクに保存する場合は、ACDSee ホームによってバックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これはバックアップファイルの上書きを回避するためで、増分された項目を加えることで復元が可能です。また、月1回は、ご自分のコンピュータ以外の場所(例: ネットワークなど)にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップサイズ

バックアップサイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップします。また、画像のバックアップも定期的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元ウィザード」では、以前バックアップしたデータベース情報を復元することができます。

データベース情報を復元するには:

1. 管理モードで、[ツール] > [データベース] > [データベースを復元] をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ] をクリックしてバックアップを選択します。
3. 「復元オプション」のページで、バックアップ名と日時から選択するか、バックアップの保存先に移動してバックアップファイル(拡張子.bkup)を選択します。
4. [次へ] をクリックして、データベースの復元を実行します。



複数のバックアップファイルから復元する際、ACDSee ホームは選択したバックアップファイルに含まれる情報とそれ以前の情報のみを復元します。そのため、必要な場合を除き、一連のバックアップで最後に作成されたファイルを選択することをおすすめします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee ホームのパフォーマンスを全体的に向上するために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス]ダイアログ ボックスでは、フォルダの更新や、フォルダ内にある削除したいサムネイルやデータベース情報の識別ができます。[データベースのメンテナンス]ダイアログ ボックスでは、システム内のフォルダ一覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベース コンテンツ アイコン



フォルダには、サムネイルがデータベースにキャッシュされたファイルが含まれています。



このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。例えば、ACDSee 以外でフォルダやファイルが名前が変更されたり移動されたりしたなど。

データベースのメンテナンスを行うには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースのメンテナンス]をクリックします。
2. [データベースのメンテナンス]ダイアログ ボックスで、データベース コンテンツ アイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。
3. フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして、実行するメンテナンスを指定します:
 - ・ **サムネイルの削除**: 選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
 - ・ **データベース情報をすべて削除**: 選択されたフォルダから、すべてのデータベースおよびサムネイル情報が削除されます。
 - ・ **孤立フォルダの削除**: 選択されたフォルダから、今はないファイルや情報への古い参照や破損した参照が削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オフアンのチェックが可能です。フォルダがネットワーク上にある場合は、このオプションは表示されません。
 - ・ **結合の変更**: 選択されたオフアン フォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合フォルダは **My Pictures** です。
4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、[データベースの最適化]をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
5. [閉じる]をクリックします。

データベースを最適化する

[データベースの最適化] ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化とデータベースのメンテナンスを定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee の全体的なパフォーマンスを向上することができます。



定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[データベースの最適化]をクリックします。
2. [データベースの最適化] ウィザードで、[次へ]をクリックします。
3. 次のいずれか、または両方のオプションを選択します:
 - ・ **データベーステーブルとフィールドを最適化する**: データベースから古い情報を削除して、データベースフィールドの空きスペースを増やし、テーブルの再インデックスが行われます。
 - ・ **データベースからオフアンを削除する**: 他プログラムにより削除されたファイルやフォルダによるオフアンのデータベースエントリを削除します。

4. **[次へ]**をクリックします。
5. ウィザードが完了したら、**[完了]**をクリックして ACDSee に戻ります。

取り込むデータベース用にドライブをマップする

ACDSee ホームにアップグレードする、あるいはACDSee ホームデータベースをインポート/復元する場合、[データベース ドライブ マップ] ダイアログボックスに、ドライブマッピング(取り込むデータベースの)がACDSee ホームデータベースでどのように再構築されるかが表示されます。このダイアログを使用して、データベース内における各ドライブのマップを変更することができます。

新規のドライブのマップを選択するには:

1. [データベース ドライブのマップ] ダイアログで、ドライブを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ドライブのマップを新規作成するには、**[新規データベース エントリの作成]**を選択します。
 - ドライブをローカル ドライブにマップするには、**[ローカル ドライブ]** ドロップダウン リストからドライブを選択します。
2. **[完了]**をクリックします。

サムネイルとメタデータの再構築

[ファイル一覧]ペインで表示されるサムネイル画像や埋め込まれたメタデータの同期が適切に行われなかったことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルとメタデータの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - **[ファイル一覧]**ペインから1つ以上のサムネイルを選択します。
 - **[フォルダ]**ペインからフォルダを選択します。
2. [ツール]から**[メタデータ]>[サムネイルとメタデータの再構築]**をクリックします。

ファイルを隔離する

ACDSee ホームにて画像またはメディアファイルが破損している、不完全なため読み込みに問題がある、プラグインエラーが生じる場合、ACDSee ホームはそのファイルを隔離します。ユーザーは、隔離ファイルの一覧から必要に応じてファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. 管理 モードで、[ツール]>**[データベース]>[隔離したファイル]**をクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して**[削除]**をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、**[隔離機能を有効にする]**のチェックボックスをオフにします。
4. **[OK]**をクリックして[ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じて、ACDSee に戻ります。

プラグインを使用する

プラグインはソフトウェア モジュールで、より大きなプログラムに機能を追加します。ACDSee ホームは様々な種類のプラグインを搭載しています。

プラグインの種類

- **画像デコード**: ファイルをバイナリ形式からACDSeeに表示される画像に変換します。ACDSee ホームでデコードプラグインを使うと、さまざまなファイル形式の画像を表示できます。ACDSee ホームで表示できるファイルは、コンピューターにインストールされているデコードプラグインによって異なります。
- **画像エンコード**: ACDSee ホームに表示された画像をバイナリファイル形式に変換します。エンコードプラグインを使用すると、ACDSee ホームで画像をさまざまなファイル形式に保存 (または変換) できます。ACDSee ホームで編集および保存できるファイルは、コンピューターにインストールされているエンコードプラグインによって異なります。
- **アーカイブ**: さまざまなファイル形式のアーカイブを ACDSee ホームで表示、保存できます。ACDSee ホームで表示、作成できるアーカイブは、コンピューターにインストールされているアーカイブプラグインによって異なります。
- **カメラ**: ACDSee ホームでデジタル カメラの画像を参照し、ハードディスク上のフォルダに転送することができます。
- **コマンド拡張**: ACDSeeに機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用するプラグインがあります。
- **ペイン拡張**: ペインをデジタル画像の印刷 オーダーなどのタスクを実行できるACDSee ホームに追加します。



ACD Systems社が認証していないプラグインについては、その品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、ユーザーは、プラグインがウイルスに感染しておらず、プラグインの製造元が信頼できる会社であることを信じています。

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログボックスには、システムにインストールされているすべての ACDSeeプラグインの一覧が表示されます。[プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee ホームが使うプラグインを指定することができます。

【プラグインの設定】ダイアログ ボックスを開くには:

管理 モードで、[ツール] メニューから [プラグインの設定] をクリックします。

プラグインを無効にする

[プラグイン設定] ダイアログボックスで不要なプラグインを無効にして、ACDSee ホームが使用しないように設定できます。

プラグインを無効にするには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. ACDSee ホームによる使用を無効にしたいプラグイン名の横にあるチェックインボックスをクリアします。
3. [OK] をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイルフォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイルフォーマットの読み取り・書き込みにどのプラグインを使用するかを指定できます。[プラグイン設定] ダイアログ ボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee ホームがファイルを読み取り・書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. プラグイン一覧からプラグインを選択します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[上へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
 - **[下へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
4. **[OK]** をクリックします。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには:

1. **[プラグインの設定]ダイアログボックス** で、**[プラグイン]** タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. **[プロパティ]** ボタンをクリックします。

プラグインのヘルプファイルを表示するには:

1. **[プラグインの設定]ダイアログボックス** で、**[プラグイン]** タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. **[プラグイン ヘルプ]** ボタンをクリックします。

ACDSee SeeDrive™

ACDSee SeeDrive™ ペインでは、ACDSee 365 アカウントに直接アクセスすることができます。ACDSee SeeDrive™ を使用すると、ACDSee 365 の画像を管理したり、画像の共有・ストレージサービスの 365.acdsee.com へのアップロードやダウンロードの状況を監視したりすることができます。ACDSee 365 アカウントのご利用には、365.acdsee.com にてご入会いただくか、または追加ストレージをご購入いただく必要があります。

ACDSee SeeDrive™ では、インターネットブラウザを起動することなく、オンラインの画像を閲覧することができます。または、ブラウザで 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。SeeDrive™ ペインを表示するには、**[ペイン] > [SeeDrive]** に移動します。



ACDSee SeeDrive™ を使用するには:

ACDSee SeeDrive™ ペインで、[接続]をクリックし、ACDSee 365 のログイン情報を入力します。[ACDSee 365 アカウント](#)を持っていない場合は、[アカウントを作成]を選択します。

または、[365モード](#)でログインすることもできます。

ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する

管理モードの ACDSee SeeDrive™ から直接、ACDSee 365 のフォルダの作成、名前の変更、削除ができます。

新規フォルダを作成するには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名を右クリックして[オンラインフォルダの新規作成...]を選択します。
2. [オンラインフォルダの新規作成]ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。



新規に作成したフォルダを既存のフォルダ階層に追加するには、新規に作成したフォルダを追加したい階層の場所にドラッグします。

既存のフォルダ内に新規フォルダを作成するには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 既存のフォルダを右クリックして、[オンラインフォルダの新規作成...]を選択します。
3. [オンラインフォルダの新規作成]ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。

フォルダ名を変更するには：

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[名前の変更]を選択します。

フォルダを削除するには：

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[削除]を選択します。

ファイル名を変更するには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイル一覧ペインで、ファイルを右クリックしたら[名前の変更]を選択します。

ファイルを削除するには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイル一覧ペインで、ファイルを右クリックして[削除]を選択します。

アップロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 へアップロードするには：

- **フォルダをアップロードするには：** フォルダペインからフォルダを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- **ファイルをアップロードするには：** ファイル一覧ペインからファイルを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送マネージャ...]を選択すると、アップロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送マネージャのコントロールを使用してください。

ダウンロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 からダウンロードするには：

1. フォルダ ペインでダウンロード先のフォルダを選択します。
2. ダウンロードする ACDSee SeeDrive™ のフォルダを選択して、[ダウンロード]を選択します。

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送 マネージャ...]を選択すると、ダウンロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送 マネージャのコントロールを使用してください。

転送 マネージャ オプション

アップロード/ダウンロード タブを選択します。



一時停止した転送を再開する



転送を一時停止する



転送のキャンセル



転送の再試行



すべて選択



転送済みのクリア

フォルダを公開/非公開にする

管理モードにある ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダの公開または非公開の設定をすることができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも 365.acdsee.com にて閲覧することができます。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を【公開】に変更するには：

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 公開したいフォルダを右クリックして、**公開する**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を【非公開】に変更するには：

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 非公開にしたいフォルダを右クリックして、**非公開にする**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする

ACDSee SeeDrive™ を使えば、オンライン上にあるコンテンツをすぐにダウンロードおよび共有することができます。転送 マネージャで、アップロードとダウンロードの進行状況を表示および管理することも可能です。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する

ACDSee 365 のフォルダを、ACDSee SeeDrive™ ペインだけですぐに共有することができます。フォルダや画像は、メールで送信、ソーシャルネットワークにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

ACDSee SeeDrive™ を使用してフォルダを共有するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックしたら、**フォルダの共有**を選択します。
3. 共有ウィンドウが開きますので、共有方法を選択して次のように必要情報を入力します:

共有オプション**メールアドレス**

ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記情報をすべて入力したら、**OK** をクリックします。

宛先のメールアドレス	受取人のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスはカンマ [,] で分けます。
メッセージ	受取人に向けたメッセージを入力します。
利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	受取人が利用可能な最大バージョンの画像をダウンロードできるようにします。
自分のメールアドレスにも送る	メールのコピーを受信したいときはこのチェックボックスにチェックを入れます。
パスワード (任意)	フォルダをパスワードで保護したい場合は、ここにパスワードを入力します。入力したパスワードはメール本文内に記載されますので、メールの受信者はそのパスワードでフォルダを開くことができます。

X™

ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記手順が完了したら、**アップロード** をクリックします。

X™	このボタンを押すと X™ がブラウザで立ち上がりますので、ログイン情報を入力します。
bit.ly で URL を短くする	アルバムの URL が短くなりますので、メッセージ欄に入力できる文字数が増えます。
プレビュー	投稿のプレビューが表示されます。
残りの文字数	メッセージ欄にあと何文字入力可能か表示されます。
利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	閲覧者が、利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。

ウィジェット

フォトウィジェットとは、ブログやサイトに貼ることのできる画像ビューアーまたはスライドショーのようなものです。このオプションでは HTML コードが生成されますので、それをコピーしてウェブサイトやブログに貼り付けます。ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。

方向	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの向き(方向)を選択します。
配色	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの配色を選択します。
サイズ	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットのサイズを選択します。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けしてフォルダを共有する

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダの URL をコピーして、ブラウザやメールはじめその他のメディアに貼り付けることができます。

 URL がコピーできるフォルダは 公開 フォルダのみです。

フォルダの **URL** をコピー & 貼り付けするには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックして、**URL のコピー** を選択します。
3. URL を貼り付けたい箇所をどこでも右クリックして、**貼り付け**、または **Ctrl+ V** を押します。

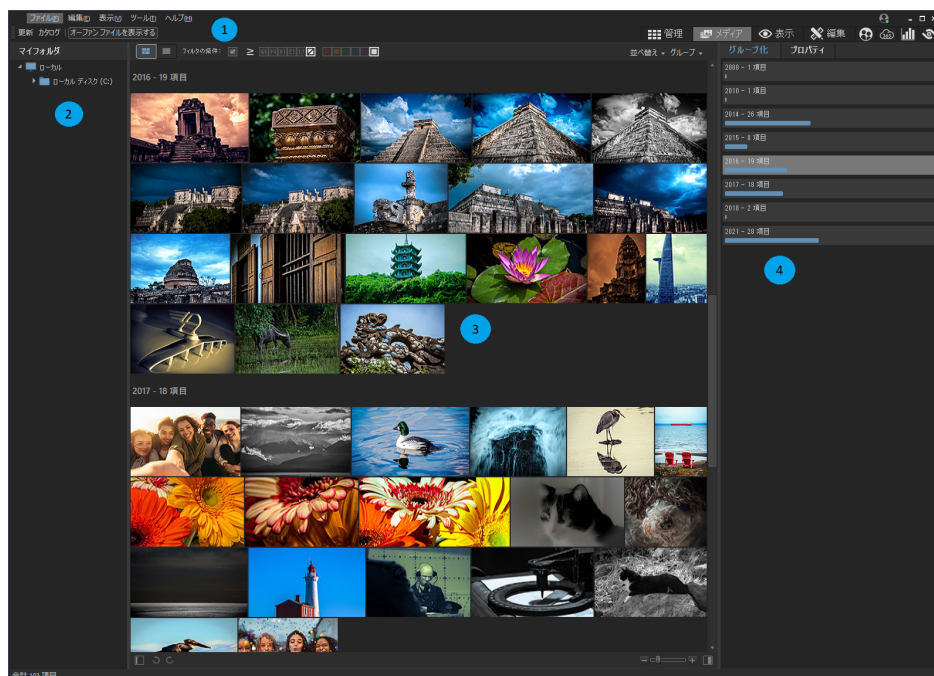
章 4: メディアモード

メディアモードの使用

メディアモードは、デジタル資産管理のための簡素化されたデータベース駆動アプローチを提供します。**管理**モードで閲覧されたフォルダと、ACDSeeデータベースにカタログ化されたフォルダだけが、ACDSeeによって管理された写真とビデオのクラッタフリーなビューを提供するように、**メディアモード**で表示されます。

メディアモードのインターフェイスは、4つの独立した機能領域に分かれています：

1. [ヘッダーボタンバー](#)
2. [マイフォルダー](#)
3. [表示領域](#)
4. [グループ化とプロパティ](#)



ヘッダーボタンバー

メインメニューのすぐ下にあるヘッダーボタンバーには、以下の3つのボタンが含まれています：

- リフレッシュ
- カタログ
- オープン・ファイルを表示

ヘッダーボタンバーオプション

リフレッシュ	マイフォルダー ペインのフォルダー・ツリーとディスプレイエリア ペインをリフレッシュします。
カタログ	ファイルのカタログについての詳細は、 データベース内のファイルのカタログ を参照してください。
オーファン・ファイルを表示	見つからないファイルをオーファンとしてマークされたファイルを表示します。オーファンはセピア色で表示されます。

マイフォルダー

画面の左側にあるマイフォルダー ペインは、**管理** モードで閲覧したすべてのフォルダーで構成されたシンプルなフォルダー・ツリーです。**メディア** モードからマイフォルダー ペインに追加のフォルダーを追加するには、上記の[カタログファイル\(ファイルをカタログ化\)](#) ツールを使用します。

マイフォルダー ペインはデフォルトでは非表示になっています。マイフォルダー ペインを表示するには、表示エリアの左下にある隠す/表示するアイコン  をクリックしてください。

マイフォルダー ペイン内のメディアを含むフォルダーをクリックすると、表示エリアのコンテンツを選択されたフォルダーのメディアにフィルタリングすることができます。

表示エリア

表示エリアのペインが画面の大きな中央部分を占め、主にフィルター、ソート、またはグループ化できる画像や動画を表示するために使われます。

画像や動画をダブルクリックすると、それらをフルスクリーンで表示します。フルスクリーンで表示された動画は **メディア** モードを離れずに再生できます。フルスクリーンの画像や動画をダブルクリックすると、グリッド表示に戻ります。

個々のメディア・アセットを右クリックすると、以下のオプションを含むコンテキストセンシティブ・ヘルプ・メニューが表示されます：

- **表示:** 表示モードでメディアアセットを開きます。
- **編集:** 編集モードでメディアアセットを開きます。
- **左回転:** 左回転するには **Ctrl + L** を押します。
- **右回転:** 右回転するには **Ctrl + R** を押します。
- **ファイルエクスプローラーで表示:** メディアアセットのファイルの場所をファイルエクスプローラーで開きます。

グリッドとフルスクリーン表示を切り替える

表示エリアのペインのフィルターオプションの左隣の上部左端にあるトグルボタンを選択することで、**グリッドとフルスクリーン表示**を切り替えることができます。

フィルター

有効にした場合、**フィルター** ツールバーは、特定のメタデータに基づいて表示エリアのペインに表示される結果を調整するために非常に強力です。

表示エリアのペインのメディアアセットをフィルターするには、次のいずれかの組み合わせから選択します：

- **タグ付け** チェックボックスを有効にして、タグ付きの画像のみを表示します。

- ・ レーティングから選択して、特定のレーティングを持つメディアのみを表示します。レーティングの左側のボタンを選択することで、結果が選択したレーティング以下、以上、または一致するメディアを含むかどうかを選択できます。
- ・ カラーラベルから選択して、特定のラベルが付けられたメディアのみを表示します。



フィルター・パイ ツールの変更は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

並べ替えとグループ

メディア・アセットの直上に位置し、「表示エリア」ペインの右側にある「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンは、「表示エリア」ペインの内容を変更するために使用されます。「フィルター・バイ」フィールドにより表示されるメディア・アセットの数を絞り込むのとは異なり、「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、表示されるメディア・アセットの数を変更しません。「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、前方または後方に並べ替えることができます。



「グループ」フィールドでの選択は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

グループ・バイとプロパティーズ・ペイン

画面の右側に位置する「グループ・バイ」ペインは、「フィルター・バイ」ドロップダウンと「グループ」ドロップダウンで選択されたグループのメディア・アセットのリストを表示します。「プロパティーズ」ペインは、IPTC、EXIF、および重要なACDSeeメタデータなどの主要な詳細を表示します。「グループ・バイ」および「プロパティーズ」ペインを表示するには、表示エリアの下右にある非表示/表示アイコン  をクリックします。

「グループ・バイ」ペインの結果は、前方または後方にグループ分けすることができます。

各グループタブ内の青いバーは、グループに含まれるメディア・アセットの数を表しています。

「グループ・バイ」ペインのタブをクリックすると、「表示エリア」ペインに選択したグループが表示されるようになります。

メディア モード内のナビゲーション ボタン

画像をフルスクリーン表示している場合、クライアントはウィンドウの左側または右側にカーソルを合わせて、表示されたナビゲーション矢印をクリックすることで、画像を間を移動できます。

メディア モード内での画像の削除

メディア モード内で画像を削除する方法は3つあります：

- ・ 画像を右クリックして、コンテキストメニューから「削除」を選択します
- ・ 画面の上部の「編集」ドロップダウンをクリックして、「削除」を選択します
- ・ 画像を1回クリックして、「Delete」キーを押します

章 5: 表示モード

表示モードは、ACDSeeユーザーインターフェイスのメインの表示コンポーネントです。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます：

- クリック + ホールド + ドラッグ して、大きな画像をパンします。
- キーボードショートカットの**F** キーを使って、フルスクリーン表示のオン/オフを切り替えます。
- 画像を拡大または縮小表示する。
- スライドショー形式で画像を表示する。
- ビデオとオーディオファイルを再生し、画像ファイルに音声を追加します。
- 画像にキャプションを追加する。
- ファイルにタグを付けたり、カテゴリ、キーワードやその他のメタデータを追加したりして、ファイルのカタログを作成します。
- メタデータを適用すると、フィルムストリップの次の画像に自動的に進みます。
- 画像内の顔を検出し、名前を割り当てます。

自動レンズで画像をプレビューする

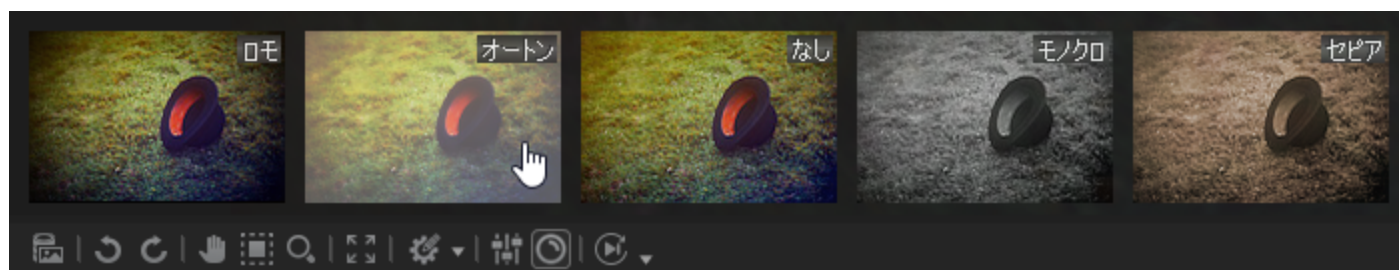
自動レンズを使用すると、実際にフィルタを適用せずに多数のフィルタが適用された画像をプレビューすることができます。

自動レンズで画像をプレビューするには：

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
3. プレビューしたいフィルタを選択します。
4. フィルムストリップまたは[前へ]/[次へ]ボタンで、選択したフィルタが適用された他の画像もプレビューできます。



自動レンズはオフにするまでは表示モードでオンになったままになります。



選択した自動レンズをオフにするには：

1. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
2. [なし]を選択します。

Light EQ™

Light EQ™ の表示モードでインスタント露出調整をした画像を表示することができます。表示する画像ごとにLight EQ™ を選択する必要があります。

Light EQ™ で画像を表示するには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[Light EQ™]ボタンを押します。



画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある[回転]アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未編集のJPEG画像の回転では、ACDSee は可逆圧縮の回転を実行しますので、情報を失うことはありません。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの[左に回転]または[右に回転]ボタンをクリックします。

回転 アイコン



左に回転

画像を左に 90 度回転します。



右に回転

画像を右に 90 度回転します。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像内の各カラーチャネルの色強度の分布を表すグラフです。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] から[ヒストグラム]または編集モードで[表示]から[ヒストグラム]をクリックします。
2. ヒストグラムで、次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッドチャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーンチャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルーチャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

表示モードで顔検出と顔認識を使用する

顔検出を使用して、表示モードで閲覧している画像内の人物を検出できます。表示モードで他のプログラムから顔データをインポートすることもできます。



現在表示中のフォルダの管理モードで顔検出のスクリーンショットがすべて実行されるようにした場合、このプロセスは迅速に実行されます。

顔検出ペインまたは顔ツールを使用して、表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。顔に名前を付けると、ACDSeeが他の画像で人物を認識するのに役立ちます。これは顔認識といいます。同じ人物に対する名前の登録が多いほど認識率が高まり、以降の認識が速くなります。ACDSeeが誤って顔に割り当てた名前を修正することにより、結果を改善することもできます。修正が早く行われるほど、誤認識が再発する可能性は低くなります。1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。以下の提案セクションを参照してください。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

名前を割り当てることにより、画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索できるようになります。検索を行うには、管理モードの検索機能と、カタログペインの人物グループを使用します。人物モードを使って、顔に割り当てられた名前を管理することもできます。

顔検出は規定で有効になっています。顔検出は、サポートされている画像ファイルタイプでのみ使用できます。



アーカイブ、携帯、フォトディスクなど、サポートされていない場所にあるファイル、またはデータベースから除外されているファイルに対して顔検出を実行することはできません。

顔検出を有効または無効にするには：

[ツール]から[オプション]、[顔検出]をクリックし、[顔検出を有効にする]チェックボックスをオン/オフにします。

表示モードで画像を閲覧する際に、画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

顔検出ペインを開くには：

[ペイン]、[顔検出]を選択します。

検出された顔が顔検出ペインに表示されます。

顔の輪郭を表示するには：

下部のツールバーで、[顔の輪郭を表示]ボタンをクリックするか、**Shift + B**を押します。



検出された顔に名前を付けるには：

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、検出された顔の名前を入力します。
3. **Enter**キーを押します。



タブを使用して、画像や顔検出ペインの名前フィールド間でカーソルを移動することができます。

顔の輪郭を編集するには：

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. カーソルを使用して、輪郭を移動、拡大、または縮小します。



未検出の顔の輪郭を描いて、名前を付けるには：

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. クリック&ドラッグして、画像に顔の輪郭を描きます。
3. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、顔の名前を入力します。



❗ 検出されていない顔の輪郭を描いて名前を付けても、ACDSeeによる人物の認識率は向上しません。

LightroomまたはPicasaから埋め込み顔データをインポートするには:

1. 表示モードで、[AI]、[AI顔検出]の順に選択します。**Lightroom**または**Picasa**の顔データをインポートします。
2. 顔データがインポートされ、顔データがデータベースに追加されます。

❗ **Lightroom**または**Picasa**の顔データをインポートすると、画像上の既存の顔データが上書きされます。

候補

1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。名前の候補は時間とともに改善され、類似性に基づいて割り当てを行うこともできるようになります。

 自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

 メインビューで候補を操作するには、**顔ツール**を選択する必要があります。

候補を否定または確定するには:

緑色のチェックマークをクリックして候補名を確定するか、赤色の否定マークをクリックして候補名を却下します。



望ましくない結果を回避して、誤った候補を無視することができます。候補を拒否しても、他の写真の候補には影響しません。名前フィールドで候補を編集して**Enter**キーを押すこともできます。

画像送りで画像を表示する

画像送り機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするクイックスライドショーを作成することができます。

画像送りを開始するには:

1. 表示モードで複数の画像を開きます。
2. [ツール]>[画像送り]>[オプション]をクリックします。
3. 以下で解説されているように、[画像送り]ダイアログボックスのオプションを設定します。
4. **開始**をクリックします。
5. 次の画像ファイルを表示するには、**Space**キーを押します。

6. 前の画像に戻るには、**Backspace**キーを押します。
7. 画像送りを一時停止または再開するには、**Pause**キーを押します。

画像送りオプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 - 昇順 - 降順 - ランダム
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後も、スライドショーを自動的に繰り返します。
ディレイ	各画像を表示する時間を指定します。スライダーをドラッグするか、ミリ秒単位で時間を入力します。
サウンド	[オーディオ クリップ の再生] のチェックボックスをオンにすると、選択した画像ファイルに埋め込まれているオーディオが再生されます。

表示モードで画像にテキストを表示する

ヘッダー/フッター ツールを使用して、表示モードで画像にテキストを表示することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像そのものを変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、ヘッダーやフッターのテキストを隠すこともできます。

テキストを画像に直接追加し、画像の一部として保存する方法については、[\[画像にテキストを追加する\]](#) を参照してください。

ヘッダーとフッターを表示するには:

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集] を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
 - [フッター] チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
3. 下の解説を参照して、テキスト オプションを選択または変更します。
4. [OK]をクリックします。

テキストオプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。[カラー] をクリックして色を指定します。
説明	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには:

1. [説明] テキストボックスで、ファイルの情報を表示したい場所にカーソルを合わせ、[メタデータの挿入] をクリックします。
2. [プロパティの選択] ダイアログ ボックスで、表示したいファイル情報を選択します。
3. [OK]をクリックします。

情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキストフィールドの情報を変更 / 削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには：

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集]を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
 - [フッター] チェックボックスをオフにすると、画像の下のテキストが削除されます。
3. [OK]をクリックします。



ヘッダーとフッターの両方を同時に表示または非表示にするには、[表示] メニューから[ヘッダー/フッターの表示]をクリックします。

画像の一部を選択する

表示モードの[選択ツール]を使用して、画像の一部を四角形で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには：

1. [ツールの選択]アイコンをクリックします。
2. 画像上にカーソルを置いてドラッグし、マーキーを作成します。
3. マーキーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
4. 選択範囲をクリアするには、マーキーの外部をクリックします。

選択範囲のオプション

倍率指定	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。
タイル状配置の壁紙	表示選択領域を使用してタイル状に壁紙を作成します。

表示モードでファイルプロパティを表示する

管理モードで画像のプロパティペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像ファイルのプロパティを表示するには：

表示モードで、[ペイン]>[プロパティ]とクリックします。

プロパティペインやACDSee ホーム メタデータの追加や編集に関して詳しくは、「[プロパティペインの使い方](#)」をご確認ください。

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォントファイルやその他のファイルのように、ブラシ ファイルを管理 モードで表示 することができます。これにより、ACDSeeの他のファイル同様に重要度を設定したり、整理したりできることを意味します。**.abr** は、1 つのファイル内に複数の画像を含むファイル形式のため、表示モードで個々の画像を開く必要があります。



ACDSee では、**.abr** ブラシ ファイルはこのアイコンで表示 されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

管理 モードで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。

- **.abr** ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
- **.abr** ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルを表示 モードで開きます。左手のペインに各画像を表示した形で、表示 モードにファイルが開かれます。
- サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示 されます。
- 特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。

画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします:

Adobe Photoshop®とACDSee ホームの両方を開いた状態で、管理 モードのファイル一覧からPhotoshop®のウィンドウへファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop® のブラシ ライブラリにロードされます。新規ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。



Photoshop® を既定のエディタとして設定すると、Photoshop®でブラシファイルを扱いやすくなります。**Ctrl + Alt + X** キーにより、Photoshop®を開き、ブラシファイルをすぐに使用 することができます。

ビデオとオーディオファイルを再生する

ACDSee では、様々なフォーマットのビデオまたはオーディオ ファイルを再生 することができます。再生 音量の調整やビデオ フレームから画像を作成することが可能です。

オーディオまたはビデオ ファイルを再生するには:

管理 モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

1. オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
2. 1 つ以上のファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
3. 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右 クリックした後、**[表示]**を選択します。
4. メディア ツールバーを使用して、音量の調整、一時停止、繰り返し、フレームの抽出を行います。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

表示 モードでオーディオまたはビデオ ファイルを開くとすぐに、または管理 モードの [プレビュー ペイン](#) で開くと、自動再生 されるように設定 することができます。

メディア ファイルを自動再生するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、[ツール] > [オプション] > [プレビュー] をクリックします。
2. [オーディオおよびビデオクリップの自動再生] チェックボックスをオンにします。
3. [OK] をクリックします。

メディア ツールバー

メディア ツールバーを使用して、頻繁に使用するメディアの表示や編集 ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

	再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止 ボタンに変わります。
	フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出 することのできるメニューを開きます。  フレームは、現在表示している解像度で抽出 されます(ご使用中のスクリーンの解像度)。
	ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。
	音量 ミュート	クリックして再生 音量をミュートし、もう一度 クリックして音量を再生します。

動画のフレームを画像として保存する

動画 ファイルから個々のフレームを抽出して、静止画として保存 することができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - キャプチャするフレームを見つけて、[一時停止] を押します。
 - 抽出 したいフレームが今まさに再生中の場合、手順 2 に進みます。
2. 選択範囲とメディア コントロール ツールバーの [現在のフレームの抽出] ボタンをクリックします。
3. [現行フレームの抽出] ダイアログ ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
4. [ファイル名] フィールドにファイル名を入力します。
5. [ファイルの種類] ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。[オプション] ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択 または変更 します。
6. [保存] をクリックします。

画像に音声を追加/編集する

ACDSee ホームは、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている TIFF または JPEG 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像 ファイル内にオーディオを直接埋め込むことができます。

オーディオ ファイルと関連付けられた画像とは、WAV ファイルとペアになっている画像のことです。画像 ファイルと関連付けられたオーディオ ファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存 されます。WAV ファイルと画像に同じファイル名を付けて同じフォルダ内に保存 するか、画像にオーディオを追加 することで、画像とオーディオを関連付けることができます。

- ❗ 関連付けられた画像 ファイルまたはオーディオファイルを移動する、あるいは名前を変更する場合、同じフォルダ内にある両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ、画像とオーディオの関連付けが解除されてしまいます。なお、この法則は TIFF や JPEG などオーディオの埋め込まれた画像には当てはまりません。

画像にオーディオを追加するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
- [ツール]>[画像のオーディオ]>[編集] をクリックします。
- [オーディオの編集] ダイアログ ボックスで、[参照] ボタンをクリックします。
- .WAV ファイルを選択し、[保存] をクリックします。
- オーディオ ファイルの一部を切り捨て、あるいはクリップしたい場合、[マーカーを使用する] チェックボックスをオンにして、[開始マーカー] と[終了マーカー] のスライダーをドラッグします。以下のいずれかの操作を行います。
 - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外)を削除するには、[切り捨て] ボタンをクリックします。
 - オーディオファイルの一部(開始マーカーと最終マーカーの範囲内)を削除するには、[クリップ] ボタンをクリックします。
- ファイルのプレビューを聞くには、[再生] ボタンをクリックします。
- [OK]をクリックします。

画像にオーディオを録音する

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に直接埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダに保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
- [ツール]>[画像のオーディオ]>[編集] をクリックします。
- [オーディオの編集] ダイアログ ボックス内で、以下を参照にして [サウンドの録音設定] オプションを設定します。
- [録音] ボタンをクリックして、次のいずれかを実行します。
 - マイクを使用してサウンドを録音します。
 - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
- [録音] ボタンをクリックし、録音を停止します。
- [名前を付けて保存] ボタンをクリックし、オーディオ ファイルを保存します。
- [サウンドファイルの保存] のダイアログ ボックスで、[ファイル名] のフィールドにファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
- [OK]をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャデバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプルレートとオーディオタイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンドカードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを[開始マーカー]のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオファイルと録音を結合します。
開始マーカーの位置に挿入	開始マーカーの位置に録音を挿入します。[開始マーカー]スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンドファイルに追加	既存のオーディオファイルに録音を追加します。
サウンドファイルの置換え	オーディオファイル全体を新しい録音と置換えます。

画像を表示モードで印刷する

ACDSee ホームの印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応している用紙サイズ、印刷方向、解像度を指定してファイルを印刷できます。また、コンタクトシート、ヘッダー、フッターや、各画像にキャプションを付けて印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新される画像ファイルのプレビューを表示して、ページ上の配置を確認することができます。また、各画像の出力サイズの調整、各画像の複数印刷、各ページの画像の印刷方向の変更も実行できます。

1つの画像を印刷するには:

1. 表示モードで、印刷したい画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックします。
3. [形式]から[印刷サイズ]を選択します。
4. [プリンタオプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定]タブでは、用紙上の画像の位置や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
6. [調整]タブで、設定を調整して、プリンターが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
8. 印刷をクリックします。

すべての画像を印刷するには:

1. [表示]モードで、[ファイル]>[すべてを印刷]をクリックします。
2. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します:
 - [ページ全体]を選択し、[形式]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、コンタクトシートの外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
3. [プリンタオプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定]タブでは、ページ上の画像の位置や余白の幅を指定します。
5. [調整]タブで、設定を調整して、プリンターが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。

6. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、[ページ設定] タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト] を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
8. **印刷**をクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合せて自動拡大したり、以前使用した壁紙を復元したりすることも可能です。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには：

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ 管理モードで、画像を選択し、[ツール] > [壁紙の設定] をクリックします。
 - ・ 表示モードで、[ツール] > [壁紙の設定] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - ・ **中央に表示**：画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
 - ・ **タイル状に並べて表示**：デスクトップ全体を覆うように、画像をタイル状に並べて表示します。
 - ・ **拡大表示**：スクリーンに合わせて画像を拡大表示します。

選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee ホームは、コントロール パネルの画面プロパティの壁紙設定を自動的に変更し、画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには：

1. [ツール]>[オプション]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[全般] をクリックします。
3. [全般] ページで、[壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する] チェックボックスを選択します。
4. [OK]をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには：

[ツール]>[壁紙の設定]>[元に戻す]の順にクリックします。

表示モードとフォルダを同期する

[フォルダと同期] オプションを使用すると、表示モードで表示される画像を変更できます。

フォルダを同期するには：

1. 表示モードで、[ファイル] から[フォルダの同期]をクリックします。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、[新規画像] オプションをオンまたはオフにします。
4. [OK]をクリックします。

新規画像オプション

新規画像をすくに表示する	フォルダに追加された新規画像をすくに表示します。このオプションがクリアされると、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイルを無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を解除するには:

表示モードで、[ファイル] から [フォルダの同期] をクリックします。

オフライン画像を表示する

ACDSee ホームは、CD または他のリムーバブルメディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報を、フォトディスクとして保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていないなくてもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示したりすることができます。

フォトディスクを追加するには:

1. 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
2. 管理モードで、[ファイル] > [新規] > [フォトディスク] とクリックします。
3. [新規ディスク] ダイアログボックスで、「タイトル」フィールドにディスク名を入力し、[OK] をクリックします。

フォルダペイン内の [オフライン メディア] から、作成したフォトディスクをブラウズすることができます。



フォトディスクとして ACDSee ホームに追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダペインでディスク名を右クリックして、**フォトディスクの更新**を選択します。

既定では、ACDSee ホームはフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この設定がフォトディスクで作業するためのもっとも確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作業中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルはマルチセッションのフォトディスクを識別するための方法として使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、ACDSee ホームで識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されているながら、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。マルチセッションディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、ACDSee ホームで認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報を関連付けます。

フォトディスクを ACDSee ホームデータベース情報と再結合するには:

1. [フォトディスクの再結合] ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. [フォトディスクの名前] 一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. **再結合** をクリックします。

別のアプリケーションでファイルを表示する

ACDSee内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シエル コマンドを使用するには:

1. 管理モードで、[ファイル]、[シエル]とクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **開く Windows** がそのファイル拡張子と関連付けているアプリケーションを使ってファイルを開きます。
 - **編集:** 既定のシステム アプリケーションでファイルを開くか、アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開きます。

オリジナルの表示

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。

オリジナル画像を表示する手順:

1. 表示モードで、編集された画像を選択します。
2. 画面下のツールバーの **オリジナルを表示** ボタンをクリックし、ホールドします。
マウスボタンを放すと、編集済みの画像が表示されます。

変更の確定

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。編集した画像を保持することにし、オリジナル画像として保存する場合は、画像に加えた変更を確定します。こうすることで保存されていたサイドカー ファイルやオリジナルは削除され、画像が編集済みであることを示す編集済みオーバーレイ アイコンが消えます。

画像に加えた変更を確定するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、編集された画像を選択します。
2. [ツール] > [変更を確定]をクリックします。

画像の色深度を変更する

表示モードで、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の1段階の範囲のことです。

画像の色深度を変更するには:

表示モードで[ツール] > [修正] > [色深度の変更]を選択し、下記で説明するオプションの1つを選択します。

色深度オプション

モノクロ	白黒2色のパレット
16色グレイ	16色のグレースケール パレット
256色グレイ	256色のグレースケール パレット
16色カラー	16色 パレット
256色カラー	256色 パレット (GIF 形式では既定値として256色を使用しています)
High Color	32,768色 パレット
True Color	人間が識別可能なすべての色 16,777,216色のパレット

ACDSee ホームを使って、画像をこれらの色深度に変換することができます。しかし、特定の画像エンハンスメントツール、フィルタ、ブレンド、調整のオプションを使用するには、画像がハイカラーかトゥルーカラーである必要があります。元がハイカラーまたはトゥルーカラーではない画像を編集するには、画像を変換して編集した後、元の色深度に戻してください。

拡大/縮小

表示モードで画像を表示する際、ズーム ツールを使用して、表示中の画像サイズを拡大または縮小することができます。画像が、表示モードウィンドウのサイズよりも大きくなった場合、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。

画像を拡大または縮小するには：

- 画像を一回クリックするごとに、既定の表示サイズと原寸サイズの表示が切り替わります。
- [ツール] > [ズーム] をクリックし、そのズームメニューのオプションを1つ選択します。

ズーム メニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
原寸サイズ	オリジナルの画像サイズで画像を表示します (100%)。
ウィンドウに合わせて表示する	表示モードウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	表示モードウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示	表示モードウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用します。ズーム レベルを変更すると、変更したズームレベルが表示するすべての画像に適用されます。
倍率指定	ズームレベル を選択することができるダイアログ ボックスが表示されます。
パンの固定	画像の パン 領域を固定します。



[画面に合わせて表示する](#)を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。



既定の画像表示方式を変更するには、[ツール]> [ズーム] を選択し、原寸表示、画面に合わせて表示、幅に合わせて表示、高さに合わせて表示のいずれかを選択します。



ズーム固定 ボタンを切り替えて、ツールバーからズーム固定 に簡単にアクセスすることができます。



ズーム レベルを設定する

[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを使って、表示 モードのズーム レベルを設定 することができます。

特定のズーム レベルを設定するには：

1. [ツール] メニューから [ズーム] そして [倍率指定...] を選択します。
2. [ズーム レベルの設定] ダイアログ から、次のいずれかを選択します。
 - ・ **画面に合わせて表示：** ウィンドウ全体に画像が収まるように、画像 をズームします。
 - ・ **幅に合わせて表示：** ウィンドウ幅に合わせて画像 をズームします。
 - ・ **高さに合わせて表示：** ウィンドウの高さに合わせて画像 をズームします。
 - ・ **倍率指定：** ズーム倍率を指定します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
3. この設定を表示 モードのズーム レベルの既定値として使用するには、[このズーム レベルで固定する] チェックボックスをオンにします。表示 モードでは、すべての画像 が指定されたズーム レベルで表示 されます。
4. [OK] をクリックします。



[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印 キーを押すことで前後の画像を表示できるようになります。

画像を自動で拡大/縮小する

オプションのダイアログボックスの[表示] ページを設定すれば、ACDSee ホームウィンドウのサイズに合わせて画像を自動的に拡大・縮小 できます。ズーム オプションを組み合わせたときの表示 についての詳細は、下記の表「ズーム モードとサイズ変更の結果」をご参照 ください。

画像を自動拡大 / 自動縮小するには：

1. 管理モード、あるいは表示 モードで、[ツール] > [オプション] をクリックします。
2. オプション ダイアログ ボックスで [表示モード] > [表示] をクリックします。
3. [ズーム オプション] 領域で、[ズーム モードの既定値] ドロップダウン リストから次のオプションを選択します。
 - ・ **実寸表示：** 画像のオリジナルサイズを保持します。
 - ・ **幅に合わせて表示：** 表示モードウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更します。
 - ・ **高さに合わせて表示：** 表示モードウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更します。
 - ・ **ウィンドウに合わせて表示：** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更します。
4. [サイズ変更] ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ **縮小のみ：** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。
 - ・ **拡大のみ：** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、小さな画像を拡大します。

- **拡大または縮小**: 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大します。

5. **[OK]**をクリックします。

ズーム モードとサイズ変更の結果

	ウィンドウに合わせて表示する	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モードウィンドウの幅に合わせて縮小されます。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モードウィンドウの高さに合わせて縮小されます。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さな画像は、表示モードウィンドウのサイズに合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モードウィンドウの幅に合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モードウィンドウの高さに合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大されます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モードウィンドウの左右に合わせて表示されます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モードウィンドウの上下に合わせて表示されます。



[ウィンドウに合わせて表示]を選択すると、キーボードの左右の矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する

ナビゲータペインを使って、表示モードの表示領域よりも大きく拡大された画像のサムネイルを表示します。ナビゲータでは、表示モード内で表示されている画像の領域は、マーカーで囲まれます。

ナビゲータ ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、**[ペイン]>[ナビゲータ]**をクリックします。
2. ナビゲータペインのスライダをドラッグして、表示モードで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

クイック ナビゲータ ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、下にあるツールバーの **[ナビゲータ]** ボタンをクリックして長押しします。
2. ナビゲータペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

拡大された画像のパンニング

表示モードでは、大きな画像を表示領域全体で垂直、水平、および斜めに移動してパンし、画像の特定の領域を表示できます。ACDSee ホームのウィンドウサイズよりも大きな画像を扱う場合は、**[スクロール]** ツールを使うことになり、カーソルが手の形に変わります。

画像をパンニングするには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。**Ctrl** キーをホールドすると、移動の速度が速くなります。一方、**Shift** キーをホールドすると、移動の速度が遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定]設定を使用すると、複数の大きい画像を表示する際、画像の同じ部分を表示モードの中心として自動表示することができます。

パンを固定するには:

1. 表示モードで、大きい画像の上をパンニングし、表示したい部分を指定します。
2. [ズーム](#) メニューを使用して、画像に使用したいズームレベルになるまで拡大します。
3. [ツール]、[ズーム]、[ズーム固定]とクリックして、現在のズームレベルを維持します。
4. [ツール]、[ズーム]、[パンの固定]とクリックします。

ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大/自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] から[虫めがね]をクリックします。
2. 画像の任意の領域にカーソルを移動して、その領域を虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します。
 - 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
 - [固定] チェックボックスをオンにして、画像の元のサイズにスライダの設定を適用します。[固定] チェックボックスをオフにして、[表示]モード内で拡大した画像の倍率にスライダの設定を適用します。
 - [スムーズ]チェックボックスをオンにして画像の拡大部分にアンチエイリアシングを適用するか、[スムーズ]チェックボックスをオフにして個々のピクセルを表示します。アンチエイリアシングは、「ジャギー」とも呼ばれるギザギザの線を減らします。

章 6: 編集モード

編集モードでは RGB 画像データの微調整を行うことができます。編集モードのツールを使用すると、画像の一部にさまざまな編集を追加することができます。

【編集】モードでは次の作業が可能です:

- [選択範囲ツール](#)を使用して、選択範囲を作成し、画像の一部に編集を適用します。
- [編集ブラシ](#)を使用する
- [欠陥の削除](#)、[赤目](#)、[肌の色合い](#)を調整します。
- [テキスト](#)、[透かし](#)、[枠](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[特殊効果](#)、および [描画ツール](#)の追加。
- [トリミング](#)、[反転](#)、[サイズ変更](#)、[回転](#)。
- [露出](#)、[レベル調整](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、[Light EQ™](#) を使用してライティングを調整します。
- [ホワイトバランス](#)、[カラー EQ](#)、[モノクロへの変換](#)、[スプリットトーン](#)、および [カラー LUT](#) フィルターを使用して色調整を行います。
- [シャープネス](#)、[ぼかし](#)、[ノイズ除去](#)、[ノイズ追加](#)、[明瞭度](#) フィルターを使用してディテールの追加を行います。

編集モードを使用する

編集モードでは、赤目補正、特殊効果などの微調整を行う編集ツールが用意されています。

画像を編集する

画像の編集:

1. 「編集」モードを選択します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - パネルの上部で、[選択ツール](#)または[描画ツール](#)を使用します。
 - [強調]グループで、[赤目除去](#)、[スキンチューン](#)、[修復ツール](#)をクリックします。
 - [追加]グループで、[テキスト](#)、[ウォーターマーク](#)、[枠線](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[粒子](#)をクリックします。または、[特殊効果](#)をクリックして効果を選択します。
 - 「幾何学」グループで[回転](#)、[反転](#)、[切り抜き](#)、または [リサイズ](#)をクリックします。
 - 「露出/照明」グループで[露出](#)、[レベル](#)、[オートレベル](#)、[トーンカーブ](#)、または [ライト EQ™](#) をクリックします。
 - 「色」グループで[ホワイトバランス](#)、[カラーEQ](#)、[モノクロ変換](#)、そして [カラーLUTs](#) をクリックします。
 - 「詳細」グループで[シャープ](#)、[ぼかし](#)、[クラリティ](#)をクリックし、ノイズを[除去](#)または[追加](#)することもできます。
3. 画像を保存する複数のオプションがあります。詳しくは、[編集中の画像の保存](#)を参照してください。

オリジナルの設定に戻す

編集で行ったすべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。オリジナルの画像に戻す手順については、[オリジナルを復元](#)するのトピックを参照してください。

ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の編集に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

ヒストグラム		現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラムは、各 カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白 とびや黒 つぶれが発生しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映 されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。 [表示] > [ヒストグラム]を選択してヒストグラムを表示することも可能です。
元に戻す/やり直し		[元に戻す] は、現在開 かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択 されたオプションに戻ります。編集モードでは、[元に戻す] および [やり直し] ボタンが表示 されている場合、それぞれの操作を行 うが可能 なことを意味します。
リセット		リセットボタンをクリックして画像を既定設定に戻します。
画面に合わせて表示		画像をフル スクリーンで表示します。F キーで全画面表示、再度押すど編集モードに戻ります。
原寸サイズ	1:1	現行の画像を原寸に戻します。
ナビゲーターペイン		自動ウィンドウ: 自動ウィンドウが有効な場合、画像を拡大すると同時にナビゲーターペインが表示 されます。表示 されたら、拡大したい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターペインを右 クリックして自動から手動へ切り替えます。 手動ウィンドウ: 手動ウィンドウが有効な場合、ナビゲーターアイコンを選択 すると、ナビゲーターペインが表示 されます。 ナビゲーターアイコンは、画像が拡大 されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされた場合にのみ表示 されます。ナビゲーターアイコンをクリックしてホールドすると、画像の小さな複製が表示 されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターアイコンを右 クリックして、手動から自動へ切り替えます。
ウィンドウに合わせて表示する		編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
前の画像の表示		変更をオン/オフで切り替えて、最後に保存した画像と現在の画像を比較することができます。
ズーム スライダー		右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズーム ドロップダウンリスト	38% 	ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。

編集モードでのカラーピッカーの使用

編集モードでカラーピッカーを使用する場合、カラーピッカーの横のRGB値は、新しく、保存されていない編集の前の画像に関連しています。ページ下部のステータスバーには編集中の画像の最新のRGB値を確認できます。

編集モードでプリセットを使用する

さまざまなACDSee ホーム編集ツールや特殊エフェクトで、設定した内容をプリセットとして保存することができます。特定のツールやエフェクトで同じ設定を頻繁に使用する場合に便利です。

ほとんどのツールでは、ACDSee ホームが[適用]または[完了]をクリックした時点での設定内容を自動的に保存します。プリセット名は「最後に使用された設定」となります。



【プリセットの保存】と【削除】ボタンは、プリセットを保存可能な編集ツールのパネル上部で見つけることができます。

プリセットを保存するには:

1. 編集モードで、ツールを選択してオプションを設定します。
2. 【プリセットを保存】ボタンをクリックします。
3. 【新規プリセット】ダイアログボックスで、プリセット名を入力して【OK】をクリックします。
ツールのプリセットドロップダウンリストに、新しいプリセットが表示されます。

以前保存されたプリセットを使用するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. 【プリセット】ドロップダウンリストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. 【プリセット】ドロップダウンリストから、削除するプリセットを選択します。
3. 削除ボタン(−)をクリックします。
4. 【削除の確認】ダイアログボックスで、をクリックします。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

【編集】モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある【元に戻す】ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット **CTRL + Z** を押します。

変更をやり直すには:

【編集】モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある **やり直し** ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット **CTRL + Y** を押します。

編集ブラシを使う

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部にだけ適用したい場合も時にはあります。例えば、写真全体をぼかすのではなく、背景など、写真の一部だけをぼかしたい、というような場合です。このような部分的な調整を行うことができるのが、編集ブラシです。

編集ブラシは、ブラシをかけるだけで選択的に効果を適用できます。編集ブラシでは、どのピクセルに効果を適用するかを決定するためにマスクを作成します。



編集ブラシ

編集ブラシが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバーの上中央に、編集ブラシ ボタンが表示されます。

編集ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **編集ブラシ** ボタンをクリックして、ブラッシング モードに入り、ブラシ コントロールを開きます。 または、ブラシ パネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルでブラシ設定を指定するか、作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 写真に効果を描画します。
5. スライダーを調節して効果を施しましょう。
6. **完了** をクリックしてブラシ ストロークを適用します。

ブラシ コントロールの編集

ブラシストロークの追加	マウスの左 ボタンを押しながらブラシを動かします。
ブラシストロークの消去	マウスの右 ボタンを押しながらブラッシングします。
ペン先の幅	ブラシの大きさを調整します。マウスホイールまたは[ブラシ幅]スライダを使ってブラシ幅を変更します。
フェザリング	スライダを調節してブラシストロークと画像の境界を柔らかさを設定できます。 【Ctrl + マウスホイール】 か フェザリング スライダを使ってフェザリングの量を調整します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ モードとカーソル適用 ツールを切り替える	ライトEQ™やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、 Alt キーを押しながらブラシ モードをツールの使用に切り替えることができます。
すべてのブラシストロークをクリア	 画像からすべてのブラシ ストロークを削除します。
すべてのブラシストロークを反転	 ブラシストロークを反転します。こうすると、ブラッシング済みの領域はそれ以上効果が適用されず、ブラッシングされていない領域に効果が適用されます。画像の大部分をブラッシングしたいけれども、小さな一部はそのままにしたい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
最後に適用したブラシストロークを読み込み	 最後にブラシを適用した領域に効果を適用します。
ブラシストロークを表示	 このオプションが有効の場合、ブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合、処理したかどうかのわかりにくいので便利です。もしくは S キーを押下するとブラシストロークを表示できます。



編集ブラシをクリックしてブラッシングモードに入った場合、ブラシ ストロークを適用して調整を確認します。



ブラシモードを終了するには、編集ブラシボタンをクリックします。 

直線を作る:

Shift キーを押しながら **ブラシの編集** を使用すると、水平または垂直の線を描くことができます。たとえば、**Shift** キーを押しながら水平方向にクリックしてドラッグすると、**Shift** キーを押している間だけカーソルが水平方向にロックされます。**シフト** を離すと、フリーハンドのブラシに戻ります。**シフト** を解除してフリーハンドブラシに戻り、同じ線を描いているときにもう一度 **シフト** を押すと、ブラシのロックを解除して自由に再ロックすることもできます。

対角線を作る:

ブラシの編集 を使うと、画像上に2つの点を置くことで、まっすぐな斜めの線を描くことができます。線の始点となる場所にカーソルを置き、**シフト** を押したまま、画像上で**左クリック**して点を作成します。**シフト** を放し、線が終わる位置にブラシを移動させ、**シフト** を押したまま、もう一度**左クリック**して2点目を作ります。この2点の間に直線が入る。

編集ブラシは、多くの編集ツールと特殊効果フィルタで使用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。編集ブラシは次のツールでは利用できません: トリミング、サイズ変更、回転、反転、テキスト、赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

グラデーションツールを使用する

編集モードのツールは、写真の全体に調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあります。例えば、ぼかしを写真全体に均一に適用するのではなく、徐々に適用したり、画像の一部に適用したい場合などです。その場合には、グラデーションツールを使って、効果を写真全体にグラデーションをかけて適用しましょう。

グラデーション ツール

グラデーション ツールが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバーの上中央に、グラデーション ツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには：

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **グラデーション** ツールボタンをクリックしてグラデーション モードに入ります。または、グラデーション パネルはキーボードの**G**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルでグラデーション設定を指定するか、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 画像上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドではグラデーションツールによる効果が最大限に適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示**チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるような効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。
5. スライダーを調節して効果を施しましょう。
6. **[適用]**または**[完了]**を押します。

グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S**キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

グラデーション ツールとカーソル適用ツールを切り替える

Light EQ™ やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**Alt** キーを押し続けることでグラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



グラデーション モードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシ モードに切り替える際、グラデーション マスクを保持するには、**Shift** キーを押しながら、編集ブラシ ボタンをクリック



します。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

グラデーション ツールは、数多くの編集 ツールと特殊効果で利用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。グラデーション ツールは次のツールでは利用できません：サイズ変更、トリミング、描画 ツール、ヴィネット、枠、テキスト、修整 ツール、赤目補正、選択範囲。

放射状グラデーションツールを使用する

編集 ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。放射状グラデーション ツールを使用して効果を丸く適用したり、画像の中心に直接適用することができます。

放射状グラデーション ツール

すべての利用可能な編集 モードツールでは、編集 パネル ツールバー上部に放射状グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには：

1. 編集 モードで、使用したいツールを選択します。
2. **[放射状グラデーション]** ツールボタンをクリック  して、放射状グラデーションモードに入ります。または、**[R]** キーを使用して放射状グラデーションパネルを開閉します。
3. パネルで放射状グラデーション設定を指定するか、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションで適用した効果は、効果のない箇所（円の中）と効果が強い箇所（円の外）が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。 **Shift** キーを押しながら、効果の位置を決め、放射状グラデーションを真円に変えます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **完了** を押します。

グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えてグラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部（円形のガイドの中）に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、放射状グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S** キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

放射状グラデーション ツールとカーソル適用 ツールを切り替える

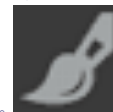
Light EQ™ やホワイトバランスなど、画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**Alt** キーを数秒間押下し、放射状グラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



放射状グラデーション モードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。 



編集ブラシモードに切り替える際、放射状グラデーションマスクを保持するには、**Shift**キーを押しながら、編集ブラシボタンを



クリックします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

放射状グラデーションツールは、数多くの編集ツールと特殊効果フィルターで利用することができますが、編集ブラシが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。放射状グラデーションツールは次のツールでは利用できません：サイズ変更、トリミング、描画ツール、ヴィネット、枠線、テキスト、修整ツール、赤目補正、選択範囲。

ブレンドモードと透明度について

編集内のツールの中には、「ブレンド」と「透明度」というツールが表示するものがあります。これらのツールをクリエイティグに使用して、新しい画像を生み出すことができます。「ブレンドモード」と「透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

透明度

「透明度」スライダーは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。施された編集が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。

ブレンドモード

オリジナルの画像と編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

ノーマル	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します(RGB 値を基準にしています)。
明るくする	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の輝度を影響しません。
輝度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色(ブレンド色によって決まる)を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。

ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像（ベース）色からブレンド色を減算します。
除算	画像（ベース）色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像（ベース）色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像（ベース）色から、より高いチャンネル値が選択されます。



編集ブラシを使用すると、画像の一部に効果を描画し、ブレンドモードと透明度スライダを設定して効果の度合いを変更することができます。

「ブレンドモード」および「透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。「ブレンドモード」および「透明度」が表示されないツールの一覧は次の通りです：トリミング、サイズ変更、回転、反転、透かし、テキスト、赤目補正、修整ツール、選択範囲

編集モードで画像を保存する

画像を保存する

画像の編集が終了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. **[完了]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	編集した画像を別名、別フォーマットで保存します。 ファイルの種類に応じて、[画像に名前を付けて保存]ダイアログボックスの左下隅に次のオプションが表示されます： ・ メタデータを保持する：新規画像でメタデータを保持します。 ・ データベース情報を保持する：重要度のようなカタログ情報を保持します。 ・ 画像の埋め込みカラープロファイル：カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして同じ画像に戻ります。
自動保存	自動保存を有効にすると、画像が完成する度に保存オプションを選択する必要がなくなります。自動保存を有効にして[完了]を押すか、フィルムストリップから別の画像を選択するとACDSeeの編集モードで変更が自動保存されます。[変更の保存]ダイアログが表示されることはありません。自動保存を無効にするには、[ツール] > [ACDSee オプション]を選択します。オプションダイアログにある[編集モード]をクリックします。[全変更の自動保存]チェックボックスからチェックマークを外します。  自動保存はRAW 画像にはご利用いただけません。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 編集した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 編集した画像のコピーを新しい名前、フォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、**RAW** 画像のコピーを **JPG** で保存しても、画質の劣化が発生する **JPG** 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の **RAW** 画像のままで作業を続けることができます。



RAW ファイルへの変更は直接保存できないため、**RAW** ファイルフォーマットでは **[保存]** を使用できません。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

[キャンセル] をクリックするかキーボードショートカットの **Esc** を使用します。

選択範囲を使用する

[範囲選択] ツールを使用して、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して、その領域だけに編集やフィルタを適用することができます。[範囲選択] ツールには 4 のさまざまな選択ツールがあり、画像の領域の選択方法がツールごとに異なります。選択したツールによって、利用できるオプションやコントロールが変わります。

範囲選択ツールを使用するには:

1. 編集モードで、パネル上部にある次のツールから選択してボタンをクリックします: 四角形選択ツール、楕円形選択ツール、投げなわ選択ツール、マジックワンド選択ツール。各ツールの詳しい使用方法につきましては、下記をご覧ください。

選択範囲 ツールは、次の編集ツールで利用することができます:

- 強化: 肌の色合い
- 追加: ヴィネット、特殊効果、チルトシフト、描画ツール、グレイン
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ライト EQ™、かすみ除去
- カラー: ホワイトバランス、カラーEQ
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ、明瞭度、色収差

選択範囲 ツール



- **フリーハンド投げ縄**: マウスを左クリックしカーソルをドラッグして、選択したい範囲を囲むように描きます。描いているときには、描いた領域を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、点滅破線のようなラインで表示されます。



- **マジックワンド**: 画像上の任意の場所をクリックすると、その色と同じピクセルすべてが選択されます。クリックしたところと同じ色のピクセルだけを選択するか、あるいは写真に近いカラーピクセルすべてを選択するかを選ぶことができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択され、従って選択されるピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、より離れた色のピクセルまで選択範囲に含まれます。

- 
四角形または
 
楕円形: クリック & ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスを放して終了点を指定します。**長方形**選択ツールを使っているときは**Shift**を押したままにして、正三角形の**正方形**にし、**楕円形**選択ツールを使っているときは正三角形の**円形**にします。

選択範囲 ツールを使う

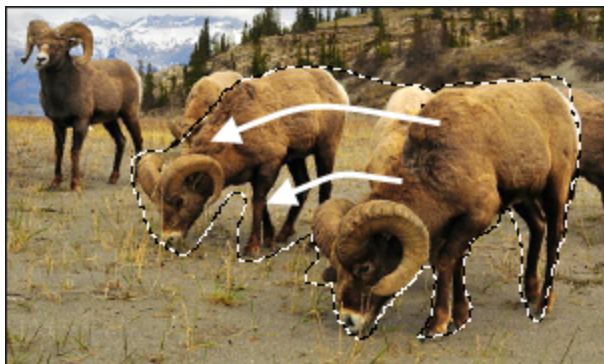
【投げ縄】を使用するには:

1. **投げ縄** ボタンを選択します。
2. 画像上で、左マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。
3. マウスボタンを放すと、選択範囲が完了します。



4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックします (投げ縄、四角形、楕円形の場合)。
5. 既に選択されている範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままか、またはコンテキストバーにある**選択範囲に追加**ボタンを押してから、元の選択ラインの一部を含むようにして形を描きます。
 

マウスを放すと、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



6. 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままか、またはコンテキストバーにある**選択範囲に追加**ボタンを押してから、該当の領域を描きます。
 

その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



7. 選択範囲から任意の領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドしたままか、またはコンテキストバーにある **選択範囲から削除** ボタンを押してから、元の選択範囲の一部を含むか、または全部を取り囲む形を描きます。

8. 選択領域の外側で編集または効果を適用したい場合、[選択] > [反転] をクリックすると選択範囲を反転します。

これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用 します。

マジックワンドを使用するには：

1. マジックワンドボタンを選択します。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します：
 - [しきい値] スライダを調整して、選択範囲に含む、または含まないピクセル数を指定します。[しきい値] スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近い色のピクセルを選択範囲に含めるかを設定するものです。
 - クリックしたピクセルと同じ色のものだけを選択したい場合は、[連結] チェックボックスをクリックします。
 - **Shift** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、ピクセルが追加されます。
 - **Ctrl** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、選択範囲からピクセルが削除されます。
4. [選択モード] ドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します：
 - **明るさ**: クリックした画像上の領域に近い明るさのピクセルが選択されます。
 - **カラー**: クリックした画像上の領域に近い明るさと色合のピクセルが選択されます。



カラーを選択して範囲選択するのが一般的です。

- **RGB:** クリックした画像上の領域に近いレッド、グリーン、ブルー (RGB) のピクセルが選択されます。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。



編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

四角形または楕円形選択ツールを使用するには:

1. [四角形] ボタンまたは[楕円形] ボタンのいずれかを選択します。
2. クリック&ドラッグして選択範囲を描きます。
3. 次のいずれかを実行します:
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**Shift** キーをホールドした状態で、または [選択範囲に追加] ボタンを使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift** キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
 - 既存の選択範囲から領域を削除するには、**Ctrl** キーをホールドした状態で、または [選択範囲から削除] ボタンを使って、削除したい領域と交わる選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。



編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

ツールを組み合わせる

選択範囲ツールは、複数のツールと組み合わせることも可能です。例えば、[マジックwand]を使用して特定の色を含んだ大まかな領域を選択した後、[フリーハンド投げ縄]に切り替えて選択範囲の追加と削除を行うことができます。あるいは、[四角形]選択を使用して大まかな領域を大きく選択した後、[フリーハンド投げ縄]で微調整を行うことができます。

選択範囲 ツールを組み合わせるには:

1. ツールを選択して範囲を指定します。
2. 別の選択範囲ツールを選択します。
3. [選択範囲に追加] ボタンを押します。
4. また新たに範囲を選択します。

選択範囲をプリセットとして保存するには:

使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。範囲選択ツールで範囲を選択したら、[選択] | [選択範囲を保存する] をクリックします。

以前保存した選択範囲を使用するときには、[選択] | [選択範囲をロード] をクリックします。

保存した選択範囲を削除するには、[選択] | [選択範囲を管理] をクリックします。

編集またはエフェクトを選択範囲に適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の編集したい特定の部分のみ選択することができます。選択が完了したら、その選択範囲内にのみカラーや露出などの編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、ありの行進のようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには：

1. [選択範囲 ツール](#) を使用して、範囲を特定して選択します。
2. 以下のグループから使用するツールを選択します：

- 露出 / ライティング
- 色
- デイテール
- 追加 (特殊効果)

 **[フェザリング]** スライダーの横にある**[選択範囲を使用]** ボタンがオンになっていることを確認します。

3. ツールを使って画像を編集します。

次のオプションのいずれかを選択します：

選択範囲の使用		クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、 選択範囲の使用 を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。
選択範囲の反転		クリックして選択範囲を反転します。(選択範囲外の領域が選択されることになります)。
フェザリング		ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。 フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐことになります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。
選択範囲の表示 / 選択範囲を隠す		クリックして、選択範囲の周りの行進するアリを表示または非表示にします。選択線を非表示にすると、さまざまな効果の効果を判断しやすくなります。 Ctrl + Alt + Z を押して、有効または無効にします。

赤目を補正する

編集モードの**[赤目補正]** ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。

赤目を補正するには：

1. [編集] モードで、[補正] グループの**[赤目補正]** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[赤目補正]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目を拡大し、センタリングします。

3. 目の赤い部分をクリックします。
4. [赤目補正] グループで、下記説明に従い、スライダを調整します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダを右に移動すると、暗くする領域の広さが広くなり、左に移動すると、小さくなります。
暗くする	スライダを右にドラッグすると塗りつぶしの色が濃くなり、左にドラッグすると薄くなります。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



暗くしたい領域の広さは、マウスをスクロールすることにより、あとで修正することができます。



[輪郭を表示する] チェックボックスのオン/オフで、暗くした領域の輪郭の表示/非表示を切り替えます。



Delete キーで、設定した赤目補正を削除することができます。

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます。

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

修復ツールには 2 つ以下に挙げるオプションがあります。ヒーリングブラシ、クローンブラシ。

[ヒール]: [ヒーリングブラシ] を選択すると、[修復ツール] が画像の一部からピクセルを別の領域にコピーしますが、実施前にコピー元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりとなじむことになります。[ヒーリングブラシ] は、肌や毛皮など、複雑な質感を含む写真に使用すると特に効果的です。

クローン: [クローンブラシ] を選択すると、[修復ツール] が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーし、完全に同一の画像領域を作成します。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像を補整するには:

1. [編集] モードで、[修復] グループから **[修整ツール]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[修整ツール]** にアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します。

- **ヒール**: コピー元の領域からコピー先の領域へピクセルをコピーし、コピー先の領域周辺のピクセルとなじませます。
- **クローン**: コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーします。

3. 以下の表の説明に従い、[ペン先の幅]と[フェザリング]スライダをドラッグします。

4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

5. コピーしたい領域をクリックとドラッグします。美肌効果ブラシを選択した場合、マウスボタンを離した際にACDSee ホームにてピクセルの分析と置き換えが行われます。

6. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



[リセット]をクリックすると、スライダがリセットされます。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。



マウスをスクロールして作業しながらブラシサイズを調整するか、スクロール中にシフトキーを押してフェザリングを調整します。

修整 ツールオプション

ブラシの幅を設定します。	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相對します。
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。
圧力	クローン ツールのソースポイントを設定した後、スライダを調節して、適用されている効果の強度をコントロールします。
カーソルでプレビューを表示	このチェックボックスをオンにすると、カーソルで選択したソースポイントのプレビューが表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像に描画を追加する

編集モードの描画ツールを使用すると、画像に線や四角、円、矢印などを追加することができます。また、ブラシの幅やフェザリング、ブレンドを調整することができ、繊細でドラマチックな描画の作成に便利です。

画像に描画するには:

1. 編集モードでパネル上部にある次のツールから選択します

ハンド



ハンドツールを使用すると、他の描画ツールや選択ツールなどが終了します。スクロール可能な画像の場合は、ハンドツールで画像をパンすることもできます。

長方形



画像に長方形を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと正方形になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

楕円



画像に楕円を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと円になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

線



画像上でドラッグして直線を描きます。**Shift**キーを押しながら描くと垂直線、または水平線になります。

矢印



画像上でドラッグして矢印を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと垂直または水平の矢印になります。

多角形



クリックで多角形の端点を設定し、ダブルクリックで始点と終点を結合して、多角形ができあがります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

カーブ



画像上でドラッグした後マウスボタンを離します。次にマウスを動かして曲線を作成し、クリックで確定します。

ブラシ



画像上でドラッグして自由な線を描きます。マウスで左クリックすると前景色で、右クリックすると背景色で描きます。

不透明度スライダーを使用して、キャンバスに適用される不透明度を調整します。



マウス ホイールを使用するか、パネル上部の不透明度スライダの近くにある[**ブラシ 幅**]スライダを使用して。



[**ファイル**]メニュー下部にある[**元に戻す**]ボタンでブラシ ストロークを個別に元に戻すことができ、[**やり直す**]ボタンでブラシ ストロークを個別にやり直すことができます。

塗りつぶし



[塗りつぶし] ボタンを選択して画像上をクリックすると、クリックしたピクセルと同じカラー値のピクセルがすべて選択した色でシェーディングされます。選択する色はカラーボックスで次のように定義します。しきい値スライダで範囲に含むピクセル数または除外するピクセル数を指定してください。しきい値スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近いピクセルを範囲に含むかを指定するためのものです。コンテキストバーの[関連付け済み]チェックボックスをオンにして、同じ色の関連付けられたピクセルをすべて塗りつぶしてください。

グラナイト



グラデーション ツールを使用して画像にグラデーションを描くか、[放射状] オプションを使用して領域の周辺にグラデーションを描きます。グラデーション ツールを選択したら、コンテキストバーを使用して色、不透明度、ブレンドモードを設定します。放射状グラデーションの場合は、コンテキストバーの[放射状グラデーション] ボタンを選択します。次に、画像でドラッグしてグラデーションを描きます。グラデーションを取り消すには、コンテキストバーの[破棄] ボタンを押します。必要に応じてグラデーションを再調整したら、コンテキストバーの[確定] ボタンを押します。「Ctrl + Z」を押すか、[編集] > [元に戻す] を選択するか、。

スポイト



スポイト ツールを使用して画像から色を選択します。画像内の色をクリックすると、パネルの右上にあるカラーボックスに表示されます。ブラシ ツールなどの描画 ツールを使用して、この色を適用することができます。

画像上で右クリックして背景色（カラーボックスの下部）を選択することができます。

画像を左クリックしてアプリケーションの外にある色までカーソルをドラッグすれば、アプリケーションの外から色を選択できます。マウスボタンを放すとその色が選択され、パネル右上のカラーボックスに表示されます。

アイドロPPERは、ハイライトされたピクセルの輝度値も表示します。

2. 以下のいずれかのオプションを選択します (注: 選択したツールにより利用できるオプションは異なります)。

色

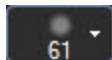


パネル右上のカラーボックスをクリックして色を選択し、前景または背景の色ダイアログを開くと、色を選択するスウォッチのダイアログが表示されます。長方形などの単色の図形を描く際には、図形の輪郭に使われる色は一番上（前景）のカラーボックスで定義されます。図形の中心を塗る色は、一番下（背景）のカラーボックスで定義されます。図形に単色にしたい場合は、両方のカラーボックスを同じ色にします。



カラーボックスのすぐ横のリセットボタンを押すと、モノクロにリセットすることができます。

ペン先の幅



[ブラシ幅] スライダーをドラッグして、ブラシの半径（単位：ピクセル）を設定します。ブラシ幅は、マウスホイールか、画像を右クリックして表示されるブラシ幅スライダーで、調整することができます。

フェザリング

[ブラシ幅] ボタンを選択して、フェザリングスライダーを表示します。フェザリングスライダーをドラッグしてブラシの半径を設定します。画像を右クリックすると、ブラシ幅スライダーとフェザリングスライダーが表示されます。または、**Shift** キーを押したままでマウスホイールを使用すると、点線の円で表示されたフェザリングの半径を調整できます。

スペース

スペーシングスライダーをドラッグして、ブラシセグメントの間隔を設定します。このスライダーはブラシ幅のサイズをパーセントで指定するもので、ストロークのなめらかさや粗さの程度を決定します。

自動スペーシングを使用する: [自動スペーシングを使用] チェックボックスをオンにすると、ACDSee がブラシ幅とフェザリングの設定に基づいて間隔をパーセントで選択し、ストロークがなめらかになります。

塗りつぶし

塗りつぶし チェックボックスをオンにして、描いた図形を選択した色で塗りつぶします。

不透明度

不透明度スライダーをドラッグして、ブラシストロークの不透明度を指定します。

ブレンド

ブレンドドロップダウンメニューからオプションを選択して、ブラシストロークと画像のブレンド割合を設定します。

3. 画像上でドラッグして描画します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像にテキストを追加する

編集モードの [テキストの追加] ツールを使って、画像にテキストを追加したり、吹き出しテキストを加えて漫画のように面白く仕上げることができます。透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れる際に便利です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像にテキストを追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[テキスト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[テキスト] ツールにアクセスすることもできます。

2. [テキスト] フィールドにテキストを入力します。
3. [フォント] 領域では、使用するフォント、斜体や中央揃えなどのフォーマットオプション、テキストの色を指定します。[サイズ] スライダをドラッグしてフォントのサイズを、[透明度] スライダをドラッグしてテキストの透明度を指定します。
4. マーキーをクリック&ドラッグしてテキストの場所を変更したり、マーキーにある四角をドラッグしてサイズ変更したりします。
5. [ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。
6. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [会話吹き出し] チェックボックスをオンにして、以下の一覧で解説されているように会話吹き出しのオプションを設定します。テキストの他の効果は会話吹き出しには適用できません。
 - [効果]、[ドロップシャドウ]、[斜角縁] チェックボックスのうち使用したいものをオンにして、テキストをカスタマイズします。[設定] ボタンをクリックして、各オプションの設定を調整します。オプションの詳細につきましては、以下の一覧をご覧ください。
7. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして画像にテキストを追加します。[テキストの追加] ツールを開いたままにすると、継続してテキストを追加することができます。[テキスト] ツールにより空白の新規マーキーが作成されるので、上記の手順3に戻ることができます。
 - [完了] をクリックすると、画像にテキストが追加されてツールが終了します。空白のマーキーが開かれている場合、マーキーは自動的に削除されます。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

テキスト追加のオプション

会話吹き出しの設定

話言葉	漫画でよく見られる、先が尖ったしっぽの付いた吹き出しでテキストを囲みます。
考え	漫画でよく見られる、連なった丸のしっぽの付いた吹き出しでテキストを囲みます。
しっぽの角度	吹き出しのしっぽの向きを設定します。矢印をドラッグして角度を調整します。
厚さ	吹き出しの枠の幅を指定します。
長さ	吹き出しのしっぽの長さを設定します。
塗りつぶし	吹き出しの背景色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
枠線	吹き出しの枠の色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。

効果の設定

効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。

ドロップシャドウの設定

距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
角度	影を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。

斜角縁の設定

斜角縁	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
強度	テキストの最高点と最低点の差を指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
高度	エッジ傾斜のシャドウ効果を形成する仮想光源の高さを指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
角度	エッジ傾斜効果を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像に透かしを追加する

透かしツールを使用して、写真に透かしを追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。また、新しい透かしを追加したり、使用しなくなった透かしを削除することもできます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

 画像に透かしを追加する前に、透かしとして使用する画像を作成する必要があります。

画像に透かしを追加するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、[透かし] を選択します。既定値として、透かしは画像の右下に表示されます。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [透かし] ツールにアクセスすることもできます。

2. ドロップダウンリストから透かしを選択、または [+] ボタンをクリックして新規の透かしを追加します。
3. 透かしをクリックしてドラッグし、画像上の任意の場所に再配置するか、[配置] 設定から [アンカーポイント] を選択します。画像の周りで透かしを移動すると、ルーラーのガイドラインが表示され、エッジからのピクセル距離が表示されます。[配置] 設定でこのピクセル距離を変更することもできます。
4. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。
5. 透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、[サイズ変更時に縦横比を保持する] を選択します。
6. 透かしにアルファチャンネルが存在し、それを適用したい場合には、[アルファチャンネルを適用する] を選択します。
(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファチャンネルを含むことができます。
7. 透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用する] を選択します。
デフォルトの色は黒です。カラーボックスをクリックすると、別の色を選択できます。[標準] タブでは、色を選択するか、カラーピッカーを使用して色を選択できます。[カスタム] タブでは、HSB値(色相、彩度、および明るさ)、赤、緑、青の値、または16進カラーコードを入力できます。選択した色は、透かし画像自体で透明になります。
8. [ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
9. [不透明度] スライダーをドラッグして、透かしの透明度を指定します。
10. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして画像に透かしを追加し、[透かし] ツールを開いたままの状態にします。
 - [完了] をクリックして透かしの追加を終了し、ツールを終了します。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

リストから透かしを削除するには：

1. ドロップダウンリストで透かしを選択します。
2. マイナス記号 [-] を押します。
3. 透かしが削除されます。

枠線を追加する

【枠線】 ツールを使用して、複数の枠線を画像に追加したり、エッジ効果を加えたりすることができます。枠線の各サイドのサイズを設定したり、色やテクスチャを変えたり、画像の任意の色をクリックして枠線の色として使用したりすることが可能です。

エッジとテクスチャのライブラリから選択することもできますが、カスタム メードのテクスチャやエッジを ACDSee フォルダに保存してライブラリに追加することも可能です。

【エッジのぼかし】 を使ってエッジをソフトにしたり、背景のテクスチャとブレンドしたりすることもできます。ドロップシャドウや浮き出しのエッジ効果を使って、画像に 3D 効果を加えることもできます。

複数の枠線やエッジ効果を使って、画像のムードや雰囲気を換えたり、コントラストを強調したり、カラーを浮き立たせたりすることが可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像に枠線を追加するには：

1. 【編集】 モードの 【追加】 グループで、【**枠線**】 を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【**枠線**】 ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の枠線 オプションを参照して、サイズ、カラー、テクスチャ、エッジ、エッジ効果を選択し枠線を作成します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して【**枠線**】 ツールを閉じるには、【**完了**】 をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【**キャンセル**】 をクリックします。
4. 別の枠線を追加するには、ツールをもう一度開き、上述の手順を繰り返します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【**リセット**】 をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

枠線 オプション

スポイト



画像上の任意の場所をクリックすると、カーソルの場所の色が選択されます。枠線をクリックした色に変わり、枠線ペインの[カラー ボックス]にもその色が表示されますので、[色の設定]ダイアログを開いて希望する色に変えることも可能です。



テキストチャを使用している場合、スポイトは使用できません。

枠線

サイズ

枠線の幅サイズをすべて同時に設定します。スライダを左右にドラッグして、枠線の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。

[サイズ] フィールドの下に、枠線を含んだ画像サイズが表示されます。枠線のサイズの調整に応じて、最終サイズも大きく変わります。



高度なサイズコントロール

ポップアップメニューの高度なサイズ コントロールが表示されます。スライダを使用する、上下の矢印キーを使用する、数値を直接入力するのいずれかの方法で、枠線の各サイドの幅を個別に設定します。著作権情報を入力するスペースが必要なため、枠線の下幅を大きく設定したい場合などが例として挙げられます。[サイズ]スライダの隣にある矢印をクリックすると、高度なサイズ コントロール メニューが開きます。

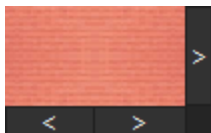


カラー ボックス

[カラー] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- 画像の中にある任意の色をクリックして、枠線の色として使用します。クリックされた色がカラー ボックスに表示されます。
- カラー ボックスの中央部分をクリックすると、[色の設定]ダイアログが表示されます。このダイアログでは、様々な方法で色を設定することができます。
- ボックスの横にある下矢印をクリックして、クイックカラー ボックスの上にマウスを移動してお気に入りの色を見つけます。クイックカラー ボックスのボックス内をクリックすると、その色がカラー ボックスに表示され、枠線の色もその色に変わります。



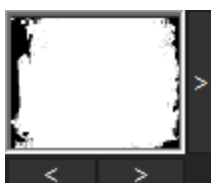
テキストボックス

[テキスト] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- 横にある矢印をクリックするとテキストライブラリが開くので、表示されるテキストサムネイルから選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテキストを参照します。

エッジ



ストレート

枠線のエッジを直線に設定します。

不規則

[不規則] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- ボックスの右横にある矢印をクリックすると、エッジライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。

エッジのぼかし

画像の外側と枠線の内側が重なるエッジをぼかします。スライダを右にドラッグするとぼかしが増え、左にドラッグするとぼかしが減ります。

エッジの効果

ドロップシャドウ

画像にドロップシャドウを追加して、ページから画像が浮かんでいる感じに仕上げます。ドロップシャドウは、画像の背景、つまり画像と枠線の間に追加されます。ドロップシャドウの縁のぼかしの量や、ドロップシャドウの透明度を調整できます。透明度は、枠線の上のドロップシャドウの透明度をコントロールします。[光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。

- **ぼかし**：スライダをドラッグして、ドロップシャドウのエッジにおけるぼかしの量を調整します。
- **透明度**：スライダをドラッグして、ドロップシャドウの不透明度の量を調整します。

浮き出し

画像と枠線の重なるエッジ上に浮き出しを追加して、3D 効果を出します。浮き出しは画像、つまり画像と枠線の間に適用されます。[光源] ボールにある光(白)を

ドラッグして、光の当たる方向を調整します。以下のように、サイズ、強度、浮き出しのカラーを調整することも可能です：

- **サイズ**：スライダを右にドラッグして浮き出しのサイズを増やします。サイズを増やすほど、浮き出しの部分がより高く見えます。サイズが大きくなればなるほど、より丸みを帯びた効果になります。
- **強度**：スライダを右にドラッグして、浮き出しの 3D 効果を増やします。
- **カラー**：浮き出しのエッジに枠線の色を適用したい場合、このオプションを選択します。

光源

【ドロップシャドウ】または【浮き出し】ボックスをクリックすると有効になります。ボール上の光をクリック & ドラッグして、ドロップシャドウの 3D 効果やエッジ浮き出し効果のための仮想光源の位置を設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する

【枠線】ツールのライブラリに、ユーザーがカスタム作成したテクスチャとエッジを追加することができます。インターネットからコレクションをダウンロードした場合も、テクスチャとエッジライブラリに追加することが可能です。また、ライブラリから不要なファイルを削除して、他のファイルを追加する容量を増やすこともできます。

テクスチャとエッジファイルは、次のファイルフォーマットであること、および拡張子が付けられていることが必要です：

- BMP
- EMF
- GIF
- JPG
- GIF
- PNG
- TIF

テクスチャ

テクスチャは並べて表示されるという特徴から、繰り返し並べた際にスムーズな画像である必要があります。また、ファイルは拡大や縮小を行わないフル解像度で保存されるべきです。例えば、テクスチャの画像が 100 x 100 ピクセルで、1000 x 1000 ピクセルの画像の枠線に使おうとしている場合、テクスチャファイルは 10 回並列表示されることになります。テクスチャファイルが 1000 x 1000 ピクセルの場合には、枠線全体に 1 回表示されるだけになります。

ユーザー定義のテクスチャをテクスチャライブラリに追加するには：

1. ACDSee で【枠線】ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャファイルをコピー/貼り付けします：

C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\textures

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後[ツール]>[編集]をクリックします。
4. [追加]グループから、[枠線]をクリックします。
5. [テキストチャ]ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、テキストチャライブラリを開きます。
テキストチャのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。

エッジ

エッジファイルはグレースケールの画像で、画像に合わせてサイズ変更されます。画像は、エッジファイルに見られる白い領域では表示されますが、黒い領域では隠れて表示されます。エッジファイルでグレーのトーンのピクセルでは、白と黒のどちらに近いかにによる相対的な透明度で表示されます。つまり、濃いピクセルほど透明に表示されます。

ユーザー定義のエッジをエッジライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠線] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテキストチャファイルをコピー/貼り付けします:

C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\edges

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後[ツール]>[編集]をクリックします。
4. [追加]グループから、[枠線]をクリックします。
5. [不規則]ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、エッジライブラリを開きます。
エッジのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。



既に枠線の適用されている画像を開くと、新しい枠線がその画像の上に適用されます。

ビネットを追加する

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。境界線の外観をコントロールすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. [編集]モードの[追加]グループで、[ヴィネット]を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[ヴィネット]ツールにアクセスすることもできます。
2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット]をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

ヴィネットオプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリアゾーン	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
トランジションゾーン	クリアゾーンとフレーム間のトランジションゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなります。スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
中央から拡張	丸ではなく楕円形になるようにビネットの形を横に伸ばします。
形	ヴィネットの形を指定します: ● 丸: 丸みを帯びたフレームに仕上がります。 ● 四角: 四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この[輪郭を表示する]オプションを選択します。
フレーム	次の特殊効果を、焦点の周りにあるヴィネットに適用します: ● カラー: カラー設定で選択された色が、ヴィネットの枠の色として変更されます。 ● 彩度: フレーム内にある人物やオブジェクトの色を削除するため、グレースケールで表示されます。 ● ぼかし: ビネットフレームの領域がぼかされます。 ● 雲: フレームの領域に雲の効果が適用されます。 ● エッジ: フレーム領域の人物やオブジェクトの線やディテールを、蛍光色でエッジ検出します。 ● 放射状波: 焦点からフレーム領域に放射する波を生成します。 ● 放射状ぼかし: フレーム領域を回転してひ引き伸ばす放射状ぼかしを生成します。 ● ズームぼかし: フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 ● クレヨンエッジ: クレヨンエッジエフェクトをかけて、人物やオブジェクトの周辺の線やディテールをクレヨンで描いた線でなぞります。 ● ペンキ画: 焦点の周りにある人物やオブジェクトを、ブラシで描いたように表示されます。 ● ピクセル化: フレームにピクセル化エフェクトをかけます。 ● オールド: フレームに経年エフェクトをかけて、古い写真のような見栄えにします。 ● グローエッジ: フレーム内のはっきりとした線すべてに対し、エッジを光らせます。 ● 波紋: フレームに波紋エフェクトがかかり、焦点から外に向かって波紋が生じているように見えます。
フレームの設定	[フレーム]のドロップダウンリストの下に表示される設定は、選択されるオプションによって変化します。例えば、[フレーム]ドロップダウンリストから カラー を選択すると、カラーピッカーが表示されますので、ヴィネットに使用する色を選択することができます。同様に、[フレーム]ドロップダウンリストから ぼかし を選択すると、スライダーが表示されますので、ぼかしの量を調整することができます。エッジのように、フレームの中には設定オプションのないものもあります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

チルトシフト効果を追加する

チルトシフト効果とは、写真の一部を強調したり、実際の風景をミニチュアのように写した画像を作成したりするものです。

チルトシフト効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[チルトシフト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[チルトシフト] ツールにアクセスすることもできます。

2. [チルトシフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

チルトシフト オプション

画像上に表示されるガイドを使用して効果を適用します。内側のボックスは、フォーカスからぼかしに遷移する地点を表します。外側のボックスの地点から完全なぼかしが発生します。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるよう効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。

ぼかし

ぼかしの種類をドロップダウンメニューから選択します。

- レンズぼかし
- ガウスぼかし

詳しくは、[\[ぼかしの種類\]](#)をご確認ください。

度合い

適用するぼかしの度合いを指定します。

ぼけ頻度

ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。

ぼけ明度

表示されるぼかしの形状の明度を指定します。

ぼけサイド

ぼかしの形状の辺の数を指定します。

彩度

スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果 フィルタについて

特殊効果 フィルタを使用して、画像にユニークな効果を追加することができます。ACDSee ホーム には、クロスハッチ、鉛筆画、ソラリゼーションを始めとする 40 以上の特殊効果 フィルタがあります。

特殊効果 フィルタにアクセスするには：

編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウン メニューやツールバーから特殊エフェクト メニューにアクセスすることもできます。

各特殊効果 についての詳細は、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプ ファイルをご参照 ください。

特殊効果：曇 りガラス

曇 りガラス効果は、画像をバー状に分割することで、浴室の曇 りガラスを通して見たような画像に仕上げることができます。曇 りガラスオプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用 することができます。

曇 りガラス効果を適用 するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウン メニューやツールバーから特殊エフェクト メニューにアクセスすることもできます。

2. [曇 りガラス]をクリックします。
3. [バーの幅] スライダーをドラッグして、バーの太さを設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。
4. [バーの方向]領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します。
 - 上下
 - 左右
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用 することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用 できます。

特殊効果: ブラインド

ブラインド効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアンブラインドやパーチカルブラインドのような外観に仕上げることができます。画像に適用したいブラインドの設定をカスタマイズできます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ブラインド効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ブラインド]**をクリックします。
3. **[ブラインド]** パネルで、下記を参考にしてオプション...を設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ブラインド オプション

幅	ブラインドの幅を指定します。1から1000までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの幅を調整します。値が大きくなるほど、ブラインドの幅は広くなります。
不透明度	ブラインドの不透明度を指定します。1から99までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインドの角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインドの色	ブラインドの色を指定します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブルースチール

ブルースチール効果を使用して、画像をスタイリッシュな青みがかった色合いに仕上げることができます。

ブルースチール効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ブルースチール] をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: Bob Ross

Bob Ross効果を使用すると、画像を Bob Ross画法 (ウェットオンウェット) のように粗めのペイント風に仕上げることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

Bob Ross効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [Bob Ross] をクリックします。

3. [Bob Ross] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

Bob Ross効果のオプション

ブラシ サイズ	[ブラシ サイズ] スライダをドラッグして、効果として使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広くなります。
画線比率	[カバレッジ] スライダをドラッグして、写真「キャンパス」上のインクの濃度を設定します。
ペンキの厚さ	[ペンキの厚さ] スライダをドラッグして、ペンキの立体感を調節します。
カラフル	[カラフル] スライダをドラッグして、画像内の色の数を調整します。
背景色	
画像	[画像] チェックボックスをオンにすると、写真に追加したブラシ効果の背景色として画像の色を使用できます。背景色に別の色を使用する場合は、[画像] チェックボックスをオフにして、ドロップダウンメニューから新しい色を選択します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 Bob Ross 効果を画像に適用すると、ACDSeeは塗りつぶしをランダムに配置します。そして、[ランダム化]を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。[ランダム化]をクリックして、好みの雰囲気が出るまで楽しみましょう。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 膨張

膨張効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。強度、膨張や歪みの位置を設定することができます。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

膨張効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[**特殊エフェクト**]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [**膨張**]をクリックします。
3. [**膨張**]パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、[**完了**]をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、[**キャンセル**]をクリックします。

膨張オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。
半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強度	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右: 歪みを左右に動かします。 • 上下: 歪みを上下に動かします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: マンガ

マンガ効果を使用して、画像をコミック風に仕上げることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

マンガ効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[マンガ]**をクリックします。
3. **[マンガ]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

マンガ効果のオプション

影の強度	画像の影の強度を指定します。大きな値ほど、画像に使用される影の量は多く、濃くなります。	
影の半径	影の広がり方を調整します。	
影のしきい値	影を適用する前の画像上に輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多い影になります。	
滑らかさ	同系色間のトランジションの滑らかさをコントロールします。	
輪郭の詳細	画像の細部に表示される黒い輪郭の濃さを指定します。	
輪郭の強度	画像の細部に表示される黒い輪郭の多さと強さを指定します。	
アーチファクト抑制	細部を削除する	黒い輪郭が画像の細部に表示されないようにして、画像をさらにマンガに近い画風に仕上げます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ノスタルジア

ノスタルジア効果を使用して、画像をまるで昭和時代の写真のように仕上げるすることができます。

ノスタルジア効果を適用するには：

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ノスタルジア]** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

コラージュエフェクトを適用する

コラージュエフェクトを使用すると、1枚の写真クリエイティブに複数の写真に分割することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

コラージュエフェクトを適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【コラージュ】**をクリックします。
3. 写真の[数]と[サイズ]のスライダをドラッグして調整します。
4. 色の階調度が表示されるドロップダウンの矢印をクリックするか、スウォッチのダイアログが表示されるカラーボックスをクリックするかして、背景色を選択します。
5. 写真をシャッフルしたい場合は、**【ランダム化】**をクリックします。
6. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。
7. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**【完了】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：カラーエッジ

カラーエッジ効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの線や詳細をトレースすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

カラーエッジを適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [カラーエッジ]をクリックします。
3. [カラーエッジ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。 【ぼかしの使用】 チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：等高線

等高線効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に仕上げることができます。等高線や色などの設定を変更して画像に適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

等高線を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [等高線]をクリックします。
3. [等高線] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

等高線オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間隔が小さくなります。
強度	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。

2. **【クレヨン画】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

クロスハッチ エフェクトを適用する

クロスハッチ エフェクトを使用して、画像全体にクロスハッチを加えることができます。

クロスハッチ エフェクトを使用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[クロスハッチ]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]



ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げるすることができます。強度や頻度などの設定を変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

ペンキ画を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ペンキ画]**をクリックします。

3. **[ペンキ画]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 画像にペンキ画効果を適用すると、ACDSee ホームがペンキをランダムに配置します。そして、 [ランダム化] を適用する度ペンキの配置がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義すれば同じ配置を生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ドラマチック

特定の領域のコントラストを強調するドラマチック効果を適用すれば、画像をドラマチックな雰囲気に仕上げることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ドラマチック効果を適用するには：

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ドラマチック]**をクリックします。
3. **[ドラマチック]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ドラマチック効果のオプション

強度	適用されるコントラストの強度を調整します。
スプレッド	画像細部のどこまで効果を広げるか、ここで調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



グラデーション ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



放射状グラデーション ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

エッジ検出エフェクトを適用する

エッジ検出効果を使って、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

エッジ検出効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**特殊エフェクト**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **エッジ検出**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**完了**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**キャンセル**をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



グラデーション ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



放射状グラデーション ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に仕上げるすることができます。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

画像にエンボスを適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**特殊エフェクト**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **エンボス**をクリックします。

3. **エンボス** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

エンボス オプション

高度	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0の値では影は左に伸び、180の値では影は右に伸びます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線や細部に柔毛や剛毛を追加することができます。

 使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

柔毛エッジ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【柔毛エッジ】**をクリックします。
3. **【柔毛エッジ】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に追加される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広がります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
変化	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の線の色を選択します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、柔毛線をランダムに配置することを指します。 画像に柔毛エッジ効果を適用すると、ACDSee ホーム は柔毛をランダムに配置します。これにより、フィルタを適用するたびに柔毛の織りが変化します。特定のランダムシードを定義すれば、同一の柔毛パターンを何度も生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ネオン効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [ネオン効果]をクリックします。

3. [ネオン効果] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ネオン効果 オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

グラナイト効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。
-  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **【グラナイト】**をクリックします。
3. [グラナイト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

グラナイト オプション

光の角度	画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ロモ エフェクトを適用する

ロモカメラのレトロ効果を再現します。ロモカメラで撮影された写真は、コントラストが高く、色ずれとヴィネット効果のはっきり出るのが特徴です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ロモ効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【ロモ】**をクリックします。
3. **【歪み】** スライダーを右にドラッグすると、色ずれが強調されます。
4. **【ヴィネットの強さ】** スライダーを右にドラッグすると、ヴィネット効果が強調されます。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。
6. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**【完了】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反射させることができます。ミラーの軸や方向を変更することにより効果を適用します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ミラー効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ミラー]**をクリックします。
3. **[ミラー]**パネルで、**[ミラー方向]**領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します。
 - 左右
 - 上下
4. **[ミラー軸]** スライダーをドラッグして、画像を反射するミラー軸の位置を調節します。500の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ネガエフェクトを適用する

ネガティブ効果を使って、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブフィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

ネガティブ画像を作成するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ネガ]**をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントのように仕上げることができます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

オイルペイント効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [オイルペイント]をクリックします。
3. [オイルペイント] パネルの [ブラシの幅] スライダーをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広くなります。
4. [変化] スライダーをドラッグして、各ブラシで描かれる色の変化を調整します。大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
5. [変化] スライダーをドラッグして、画像内の色の強さを調整します。
6. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

古い効果を適用する

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

アンティーク効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [アンティーク]をクリックします。
3. [アンティーク] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

アンティーク オプション

年	アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。(数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。)

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

オートン エフェクトを適用する

オートン効果は写真に印象派の絵画のような効果を適用します。オートン効果は、2種類の画像(一つはややぼかし、もう一つはやや露光過多)を重ね合わせることによって生み出される暗室のテクニックを再現したものです。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

オートン効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【オートン】**をクリックします。

3. **【ぼかし】**、**【コントラスト】**、**【明るさ】** スライダーをドラッグして各効果を調整します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

5. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**【完了】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果を使用して、画像の輪郭を強調することができます。輪郭効果を使用することで、輪郭の厚み、エッジを輪郭で縁取るかどうか、輪郭で縁取られた画像の背後に表示される色をコントロールすることもできます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

輪郭効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[輪郭]**をクリックします。
3. **[輪郭]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

輪郭オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広くなります。
しきい値	縁取られるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、縁取られるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

鉛筆画エフェクトを適用する

鉛筆画効果を使って、画像を鉛筆で描いたように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[鉛筆画]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げるすることができます。強度や方向などの設定を変更して、ピクセル爆発効果を画像に適用します。



使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

ピクセル爆発効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ピクセル爆発]**をクリックします。

3. **[ピクセル爆発]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ピクセル爆発 オプション

左右の中央	爆発の中心を横軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
上下の中央	爆発の中心を縦軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。
爆発の方向	爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 ● ピクセルを左右に爆発: 画像の左右に向かってピクセルを爆発させます。 ● ピクセルを上下に爆発: 画像の上下に向かってピクセルを爆発させます。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにピクセルを配置することです。 ピクセル爆発効果を画像に適用すると、ACDSee ホームはピクセルをランダムに配置します。フィルタを適用するたびにピクセルへの効果は異なります。特定のランダムシードを定義すれば、同じピクセルパターンを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク効果を使用して、画像のピクセルサイズを大きくすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

モザイク効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[モザイク]** をクリックします。

3. **[モザイク]** パネルで、**[幅]** および **[高さ]** スライダーをドラッグして画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の辺の長さを等しくするには、**[正方形]** チェックボックスをオンにします。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



グラデーション ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



放射状グラデーション ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズ オプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ポスタライズ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ポスタライズ]**をクリックします。
3. [ポスタライズ] パネルで、**[明るさのレベル]** スライダーをドラッグして、画像の色の変化を調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



グラデーション ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



放射状グラデーション ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 霞み

霞み効果を使用して、画像に薄ら紫がかった効果を広げ、レトロに仕上げるすることができます。

霞み効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果]メニューにアクセスすることもできます。

2. **[霞み]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。

 使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

光線ぼかし効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【光線ぼかし】**をクリックします。

3. **【光線ぼかし】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を横軸上で設定します。 500 の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を縦軸上で設定します。 500 の値では、画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右の波: 画像の左右に向かう波を加えます。 • 上下の波: 画像の上下に向かう波を加えます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げるすることができます。雨の量、角度、強度その他の特性を調整して画像に適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

雨効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[雨]**をクリックします。
3. **[雨]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

雨 オプション

強度	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0から100までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の変化	雨だれの角度を指定します。0から50までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の変化	雨だれの長さの変化を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。位置や強度などの波紋の設定を変更して画像に適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波紋効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[波紋]**をクリックします。
3. **[波紋]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

波紋 オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波紋の深さと高さを設定します。
波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 上下の波紋: 波紋を画像の上下に向かわせます。 • 左右の波紋: 波紋を画像の左右に向かわせます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイルオプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

飛散タイル効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[飛散タイル]**をクリックします。
3. **[飛散タイル]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

飛散タイル オプション

タイル サイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにタイルを配置することです。 画像に飛散タイル効果を適用すると、ACDSee ホームはタイルをランダムに配置します。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義すると、同じタイルパターンを生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

セピア エフェクトを適用する

セピア効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げるすることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

セピアトーンを画像に追加するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[セピア]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 70年代

70年代効果も、画像にレトロな印象を与えることができます。

70年代効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[70年代]** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げるすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

金属シート効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[金属シート]** をクリックします。

3. [金属シート] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

金属シートオプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
ディテール	画像の詳細を調整します。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかを選択します。 - インデント: 画像の上から金属をプレスします。 - エンボス: 画像の下から金属をプレスします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

シフト効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. シフトをクリックします。
3. [シフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

シフトオプション

強度	バーの間のシフトの量を指定します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左側を上、右側を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

アングル効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[アングル]**をクリックします。
3. **[アングル]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

アングル オプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグして写真下部の近くに傾斜の中心を配置します。スライダを右にドラッグして写真上部の近くに傾斜の中心を配置します。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 • 左右：写真の上部または下部を、右または左方向に歪ませたい場合に[左右]を選択します。 • 上下：写真の左端または右端を、上または下方向に歪ませたい場合に[上下]を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ソーベル エフェクトを適用する

ソーベル効果を使用して、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

ソーベル効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソーベル]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ソラリゼーション

ソラリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソラリゼーション オプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

ソラリゼーション効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソラリゼーション]**をクリックします。

3. **[ソラリゼーション]** パネル上で**[しきい値]** スライダーをドラッグし、画像の明るさのしきい値を調整します。

4. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します。

- **ソラリゼーション:** しきい値オプションで指定された値より高いピクセルを調整します。ソラリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソラリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。

- **ルナリゼーション**: しきい値 オプションで指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出 オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: くすみ

くすみ効果を使用して、画像を暗い、少し重苦しいような印象を与える独特の写真に仕上げることができます。

くすみ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。

2. **【くすみ】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ステンドグラス

ステンドグラス効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げることができます。効果設定を使用してフラグメントのサイズと位置を調整します。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

ステンドグラス効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ステンドグラス]**をクリックします。
3. [ステンドグラス] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにフラグメントを配置することです。 画像にステンドグラス効果を適用すると、ACDSee ホームはフラグメントをランダムに配置します。フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成すれば、同一のフラグメントパターンを何度も生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化]をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 太陽 スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

太陽スポット効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[太陽スポット]**をクリックします。
3. [太陽スポット] パネルの**[左右の位置]** および **[上下の位置]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。

4. **[明るさ]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの明るさを調整します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

特殊効果: 渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

渦巻き効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。


 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **[渦巻き]** をクリックします。
3. **[渦巻き]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

渦巻きオプション

左右の位置	渦巻きの位置を横軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を縦軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強度	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右の渦巻き: 渦巻きが画像の上下に向かうようにします。 • 上下の渦巻き: 渦巻きが画像の左右側に向かうようにします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

しきい値エフェクトを適用する

しきい値を使用して、モノクロの画像を作成することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

しきい値効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[しきい値]**をクリックします。
3. **[しきい値]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

しきい値オプション

しきい値

スライダをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げるすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

地形図効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[地形図]**をクリックします。
3. [地形図] パネルの **[丸み]** スライダーをドラッグして、輪郭線の丸みを調整します。
4. **[線の数]** スライダーをドラッグして、地形図に使用したい輪郭線の数进行指定します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォーター

ウォーター効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下からなど開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ウォーター効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ウォーター]**をクリックします。
 3. [ウォーター] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:
- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
波の深さと高さ	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が大きくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の間隔が小さくなり、波紋によって発生する歪曲が大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の間隔が大きくなり、波紋によって発生する歪曲が小さくなります。
遠近法	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
ライティング	水面の光の量を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、位置をコントロールすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ウォータードロップ効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ウォータードロップ]** をクリックします。
3. **[ウォータードロップ]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグして水滴を除去します。スライダを右にドラッグして水滴を追加します。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグして水滴を小さくします。スライダを右にドラッグして水滴を大きくします。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が大きくなります。
ランダム化	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 画像に水滴効果を適用すると、ACDSee ホームによって水滴がランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを指定すれば、同一の水滴パターンを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波

波効果を使用して写真に波を表示することができます。波の間隔を変更することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。写真に表示される波の高さ、波の角度も設定することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[波]**をクリックします。
3. **[波]** パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

波 オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
波の深さと高さ	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 織り

織り効果を使用すると、画像が布やバスケットに織り込まれたように仕上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

織り効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[織り]**をクリックします。
3. **[織り]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

織りオプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 風

風効果を使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げるすることができます。設定を選択または変更して、画像に加えた風効果をコントロールします。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

風効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【風】**をクリックします。
3. **【風】**パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

風オプション

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムに風の線を配置することです。 画像に風効果を適用すると、ACDSee ホームは風の線をランダムに配置します。フィルタを適用するたびに風のラインは異なります。特定のランダムシードを定義すれば、同一の風のラインを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: カスタムフィルタ(畳み込み効果)

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成して画像に適用することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

「カスタム」フィルタを作成するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ユーザー定義の畳み込み]** をクリックします。
3. **[ユーザー定義の畳み込み]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ユーザー定義の畳み込み オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 [コンボリューション マトリックス] のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 [分割] フィールドに数値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 [バイアス] フィールドに数値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルの RGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルタ ドロップダウン メニュー	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **【回転】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【回転】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します:

- 既定の方向 オプションを選択します。
- **【傾きを直す】** スライダーを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
- **【左右】** または **【上下】** ボタンをクリックして、以下で解説されているツールを使用します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、**【まっすぐに調整された画像のトリミング】** を選択します。

- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、**[まっすぐに調整された画像を保持する]** を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、**[塗りつぶしの色]** ドロップダウンから選択します。
- **[グリッドのオーバーレイを表示する]** を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

回転 アイコン

左右

アイコンをクリックしてから、カーソルを使って左右の線として使用する線を画像上に描きます。



上下

アイコンをクリックしてから、カーソルを使って上下の線として使用する線を画像上に描きます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下左右に反転することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像を反転するには：

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから**[反転]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[反転]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかまたは両方を実行します。

- **[左右に反転]** チェックボックスをオンにします。
- **[上下に反転]** チェックボックスをオンにします。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

画像をトリミングする

トリミングツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、画像キャンバスを特定のサイズに縮小したりできます。また、選択した画像をパッチトリミングする設定を作成するのに役立つ相対位置を有効にすることもできます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。



画像を縮小するには **スペースバー**を押したまま画面をパンします。

画像をトリミングするには:

1. **【編集】** モードで、**【ジオメトリ】** グループから **【トリミング】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【トリミング】** ツールにアクセスすることもできます。

2. トリミング ウィンドウの **サイズを変更** して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、**【トリミング範囲外を暗くする】** スライダを左にドラッグします。スライダを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. **【新規ファイルの予想サイズ】** をクリックして、トリミング後の画像ファイルの大きさを確認します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ **【完了】** をクリックすると、画像をトリミングしてツールが終了します。
 - ・ 画像をトリミングせずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズ変更方法は3つあります。

- ・ トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズに変更する。
- ・ ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- ・ 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを正確に指定するには:

1. **【幅】** と **【高さ】** のスピンボックスに希望のトリミング ウィンドウの比率を入力します。
2. **【単位】** ドロップダウン リストから、寸法の単位を選択します。
3. **【ドット/インチ】** スピンボックスで、解像度を指定します。

トリミング ウィンドウの縦横比を指定してサイズを変更するには:

1. **【縦横比の設定】**チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウンリストから比率を選択します。
3. トリミングウィンドウの方向を変更する場合は、**【回転】**ボタンをクリックします。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - トリミングウィンドウの端にカーソルを合わせ、カーソルが双方向矢印に変わったら、トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
 - **【幅】**または**【高さ】**スピンボックスを使用して、トリミングウィンドウの縦または横のサイズを指定します。設定された比率に基づいて、ACDSee ホームは自動的に縦または横のサイズを変更します。

相対配置を使用してクロップウィンドウのサイズを変更するには:

相対位置を有効にして、画像のトリミング方法を指定できます。これは、バッチでのトリミングに特に役立ちます。

1. **【相対配置を有効にする】**チェックボックスをオンにします。
2. 水平設定で、トリミングを左端または右端のどちらから配置するか、および距離をピクセル単位またはパーセンテージで選択します。
3. 垂直設定で、トリミングを左端または右端のどちらから配置するか、および距離をピクセル単位またはパーセンテージで選択します。

画像のサイズを変更する

【サイズ変更】 ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプルリング フィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像のサイズを変更するには:

1. **【編集】** モードで、**【ジオメトリ】** グループから **【サイズ変更】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【サイズ変更】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのサイズ変更 オプションを選択します:
 - **ピクセル:** 特定のピクセル サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。
 - **パーセント:** 元のサイズに対するパーセンテージで、画像のサイズを変更します。
 - **実寸/印刷サイズ:** 特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。
3. 特定の幅や高さを保持したい場合、**【縦横比を固定】** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します:
 - **オリジナル:** 元の画像の幅と高さの比率を保持します。
 - **1 x 1:** 幅と高さを等しくします。
 - **2 x 3:** 幅と高さの比率を 2:3 にします。
 - **3 x 2:** 幅と高さの比率を 3:2 にします。
 - **3 x 5:** 幅と高さの比率を 3:5 にします。
 - **5 x 3:** 幅と高さの比率を 5:3 にします。
 - **カスタム:** カスタムの比率を適用します。**【カスタムの縦横比】** ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。
4. **【フィルタのサイズ変更】** ドロップダウン リストから、フィルタを選択します。

5. 手順 3 で選択したサイズ変更 オプションの **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに、画像の新規サイズを入力します。**[実寸/印刷サイズ]** を選択した場合、**[解像度]** ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット/インチ)を選択します。
6. 出力画像の予想サイズを確認するには、**[新規ファイルの予想サイズ]** ボタンをクリックします。
7. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して **[サイズ変更]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには **33%**、**50%** または **66%** で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足のいく結果でなかった場合には、**[元に戻す]** ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

ピクセルのサイズ変更 オプションと効果

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの1つ以上の画像を拡大 / 縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報については、[「画像のサイズを変更する」](#)、あるいは[「複数の画像サイズを変更する」](#)をご覧ください。

 画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げることになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようにお勧めします。

サイズ変更オプション	オプション	操作
拡大のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小		
	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さ

サイズ変更オプション	オプション	操作
	幅または高さ(最大画像)	を指定された値にできるだけ近づけるように調整します。 画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像の露出を調整するには：

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[露出]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[露出]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - ・ 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - ・ 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

画像の露出 オプション

露出	スライダを右にドラッグすると露出が増加し、左にドラッグすると露出が減少します。
自動	[自動] ボタンをクリックして、露出レベルを自動調整します。
コントラスト	スライダを右にドラッグするとコントラストが大きくなり、左にドラッグするとコントラストが小さくなります。
フィルライト	スライダを右にドラッグすると画像の暗い領域で光の量が増え、左にドラッグすると追加される光の量が減ります。フィルライトは、画像の暗い領域を明るくするためのオプションです。
露出警告を表示する 	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。使用されていない時にはこのアイコンはグレーに、使用している時にはこのアイコンはイエローで表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ](#)  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像のレベルを調整する

レベル ツールを使用すると、画像のコントラストや明るさのレベルを正確に調整することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のレベル調整を行うには：

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[レベル調整] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [レベル調整] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下のいずれかの操作を行います。

- 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよびライトのレベルを手動で調整します。
- [自動] をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- [適用] をクリックして変更を適用します。
- 変更を適用して [レベル調整] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。矢印上をクリックして、画像のブラックポイントの開始点に自動設定することも可能です。
中間色	画像のミッドポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに値を入力して、ミッドポイントを指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。矢印上をクリックして、画像のミッドポイントに自動設定することも可能です。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。矢印上をクリックして、画像のハイライトの開始点に自動設定することも可能です。
自動	次のいずれかのオプションを選択します。 ・ コントラストの調整: 自動分析して、画像のコントラストを調整します。 ・ 色とコントラストの調整: 自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 ・ 色と明るさの調整: 自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 ・ トレランス: [トレランスの設定]ダイアログボックスが開かれます。ブラックとホワイトレベルの最大クリッピング率を指定し、[OK]をクリックします。 ACDSee ホームは画像のレベルを自動調整します。
ブラックポイント ピッカー 	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー 	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー 	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。



ピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、スポイトを動かすたびに **RGB 値** が変わるのを確認することができます。RGB 値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

レベルを自動調整する

【自動レベル】タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のレベルを自動調整するには:

1. 【編集】モードで、【露出/ライティング】グループから、【自動レベル】を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【自動レベル】ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します。

- **自動コントラストと自動カラー:** 色の違い、明るさ、RGB チャンネルのバランスを調整します。
- **自動コントラスト:** 色の違いと明るさのみを自動調整します。
- **自動カラー:** 明るさやコントラストを変更せずに、画像の RGB チャンネルのバランスを調整します。

3. 【強度】スライダを使って、適用する露出の量を微調整します。

4. 【露出警告を表示する】をクリックすると、露出オーバーと露出アンダーのピクセルが表示されます。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、【完了】をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【リセット】をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

編集モードでトーンカーブの調整

編集モードで、トーンカーブフィルターは画像の色調範囲を変更します。【トーンカーブ】ペインに埋め込まれたチャネルフィルタリングは、画像の全範囲 (RGB) または特定の色 (赤、緑、青) のいずれかを調整します。

 調整した設定を今後使えるよう プリセット として保存します。

画像の明度カーブを調整するには:

1. **編集** モードで、次のいずれかを実行します。

- [フィルター]メニューペインの[露出/ライティング]グループで、[トーンカーブ]を選択します。
- メインメニューから[フィルタ]>[露出/ライティング]>[トーンカーブ]の順に選ぶか、
- **U**を押します。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- [適用]をクリックして変更を受け入れ、引き続きツールを使います。
- [完了]をクリックして変更を受け入れてツールを閉じるか、
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット]をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。オプションには、RGB、赤、緑、および青が含まれます。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択したチャンネルに基づいて、画像の色情報レベルのグラフィックを表示します。線をクリック&ドラッグし、曲線を作成できます。曲線上の点をクリックすると、ヒストグラムの左上隅にノード情報ボックスが表示されることにご注意ください。ノード情報ボックスには、視覚的な表現を提供するために色のブロックで設定されたInおよびOutピクセル値があります。ノード情報ボックスの番号は、入力値のピクセルが出力値に変更されることを示しています。たとえば、In値が40でOut値が80の場合、値が40のすべてのピクセルが80に変更されます。曲線をクリックすると、曲線に新しいポイントが追加されます。ポイントをカーブの上下にドラッグします。ポイントを削除するには、ノードを右クリックして[ポイントの削除]を選択します。
カラーピッカー	カーソルを画像にドラッグして、現在の位置のRGB値を入力するカラーピッカーにカーソルを変更します。希望のトーンで画像をクリックして、対応するポイントを調整カーソルに追加します。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

ライティングを調整する

LightEQ™ ツールを使用すると、写真の他の領域に影響を与えることなく、画像内の暗すぎる領域または明るすぎる領域を調整できます。暗すぎる領域を明るくすると同時に、明るすぎる領域を暗くすることもできます。例としては、人が影になっており、背景が明るいポートレートなどがあります。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

[Light EQ™]は多機能なツールで、簡単に画像を調整することができます。ACDSee ホームは写真を分析して、画像全体の調整を自動で変更します。例えば、暗い画像ほど明るくなる度合いが大きくなります。Light EQ™ツールを開くと、1ステップで自動で露出調整します。より詳細に調整したいときは、その右にあるベーシックタブの自動ボタンをクリックすると、ACDSee ホームが画像をくまなく分析して、スライダの位置を自動で設定します。画像のある領域(通常は画像の被写体)を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

- **1-ステップ** タブ: 露出調整が瞬時にかつ簡単にできます。
- **基本** タブ: 3つのスライダーを使用して非常にすばやく簡単に調整できます。ACDSee ホームは写真を分析し、画像全体の調整を自動的に変更します。たとえば、暗い画像はより明るくなります。[自動]ボタンをクリックすると、ACDSee ホームは写真を完全に分析し、スライダーの位置を自動的に設定します。また、画像の領域を直接クリックして、その領域(通常は写真の被写体)に最適な自動設定を生成することもできます。

Light EQ™ ツールを開くには:

[編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、[Light EQ™] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [Light EQ] ツールにアクセスすることもできます。

Light EQ™ のコントロール

スライダ上を右クリックする	スライダ上を右クリックしてリセットします。
露出警告を表示する 	[露出警告] をクリックすると、露出 オーバーまたは露出 アンダーのエリアがすべて見えるようになります。露出 オーバーが赤のピクセルで露出 アンダーが緑のピクセルで、表示されます。 E キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。
自動	クリックして、画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい写真よりも暗い写真の方が、明るくなる度合いが大きくなります。
完了	変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
キャンセル	変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

[1-ステップ] タブを使用する

Light EQ™ ツールで画像を開くと、1-ステップで画像の露出が自動で調整されます。さらに調整するときは、度合のスライダーを使用して変更します。1-ステップで自動で調整された露出に戻すには、**リセット** ボタンをクリックします。

[ベーシック] タブを使用する

暗い領域に明るさを加えるには:

1. [シャドウ]スライダを右にドラッグし、写真の暗い領域に光を追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには:

1. [ハイライト] スライダを左にドラッグし、明るすぎる領域を暗くし、ディテールを戻します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

暗すぎるまたは明るすぎるミッドトーンを調整するには:

1. [ミッドトーン]スライダを右 または左 にドラッグし、ミッドトーンの明 るさと暗 さを調整します。
2. 以下の表で解説 されているあらゆるコントロールを使用して、設定 を調整します。

 スライダーを右 クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用 することができます。

 **[グラデーション]** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用 できます。

霞みを除去する

かすみ除去 ツールを使用して、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元 することができます。このツールは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪 うことで発生します。

画像のかすみを除去するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[かすみ除去]** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[かすみ除去]** ツールにアクセスすることもできます。

2. **[量]** スライダーをドラッグして補正の強度を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

 スライダーを右 クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用 することができます。

 **[グラデーション]** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用 できます。

ホワイトバランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除 することができます。例えば、夕焼けを撮影した写真に赤み(またはレッドカラーキャスト)がかかっている場合、[ホワイトバランス] ツールを設定して、赤みを取り除くことができます。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用 することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 編集モードで[カラー]グループから[ホワイトバランス]をクリックします。



[ホワイトバランス]グループで、以下のいずれかを実行します：

2. 画像のグレーのピクセルをマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
3. [色温度] スライダーを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
4. [ティント] スライダーを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
5. ホワイトバランス調整の強度を指定するには、[強度] スライダーを動かします。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
6. [完了] をクリックして変更を保存するか、[キャンセル] をクリックして変更を破棄しツールを終了します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



あなたの画像上に白バランスマスクを作成するために、**中性ピクセルの強調表示** オプションを選択できます。白いピクセルは低色彩飽和度を表し、暗いピクセルは高色彩飽和度を表します。



希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラーEQで色を調整する

編集モードで、[カラーEQ] ツールを使用して、画像全体の色または個別の色を調整することができます。アドバンス カラー ツールは微調整やカラーの強調を行うために、あるいは画像に見られる各カラーを大幅に変更するために使用します。

カラーEQは画像内の単一の色を変更するのに便利です。黄色い車の画像では、[彩度] タブを使って黄色の色味を強調したり、[明るさ] タブを使って黄色の色味を明るくすることができます。[色相] タブでは、黄色い車をピンクに変更することができます。[コントラスト] タブでは、黄色のコントラストを調整し、[バランス] スライダーを使用して、コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を指定できます。

次に、グローバル調整を使用して、画像の色のバランスをとるために変更を加えることができます。鮮やかさは色の鮮やかさを調整し、彩度は色の強さに影響し、カラーシフトは明るさに影響を与えずに色相を調整し、色相は色を変更し、明るさは画像全体の明るさに影響します。赤、緑、青のスライダーを使用して色を調整し、これらの色のバランスを増減することもできます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。



黄色い車と背景に黄色の建物がある画像では、[選択範囲] ツールを使って黄色い車の色だけを変更することが可能です。[選択範囲] ツールで車を選択してから、色を調整します。

カラーを調整するには：

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、[カラー EQ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [カラー EQ] ツールにアクセスすることもできます。

2. ColorEQ内のタブのいずれか、またはグローバル調整セクションのスライダーのいずれかを選択し、以下の表で説明されているオプションに従ってそれらを調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用]をクリックして変更を適用します。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

[カラーEQ]ペインの上部で、[高品質]または[標準]を選択します。画像の色を個別に調整します。高品質は、より新しく、より現代的なカラーモデルを使用しており、視覚的に知覚できる高品質の調整を可能にします。標準は以前に現像された画像をサポートし、色を個別に調整したり、グローバルに調整したりすることができます。

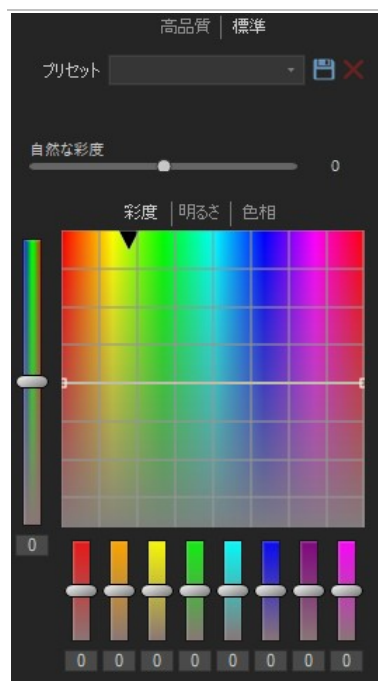
カラーEQオプション-高品質。

	プリセット [プリセット] ドロップダウンメニューでは、既存のプリセットから選択するか、保存アイコンを使用して現在の編集をプリセットとして保存できます。
	カラー-EQ 彩度、明るさ、色相のスライダー スライダーを右にドラッグして強度を上げるか、左にドラッグして強度を下げることで、各色を個別に調整します。正確に調整するために、フィールドに数値を入力することもできます。 または画像上にカーソルを移動させて、双方向矢印アイコンが表示されると、調整する色を正確に選択することができます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。 スライダーには次の効果があります： • 彩度：左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。 • 明るさ：画像の明るさを調整します。 • 色相：画像の色相を調整します。
	コントラストスライダー スライダーを右にドラッグして強度を上げるか、左にドラッグして強度を下げることで、各色を個別に調整します。正確に調整するために、フィールドに数値を入力することもできます。 または画像上にカーソルを移動させて、双方向矢印アイコンが表示されると、調整する色を正確に選択することができます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。 [コントラスト] タブで、コントラストを調整したら、コントラストバランスを調整できます。これにより、画像の明るい色と暗い色のどちらにコントラストを適用するかが変わります。
グローバル調整	鮮やかさ、彩度、カラーシフト、色相、明度のスライダー スライダーをドラッグして、グローバルに調整します。これらには次の効果があります： • 鮮やかさ：肌の色に影響を与えずに画像の鮮やかさを調整します。 • 彩度：左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。 • カラーシフト：明るさに影響を与えずに色相を調整します。

- **色相:** 画像の色相を調整します。
- **明るさ:** 画像の明るさを調整します。

赤、緑、青のスライダー スライダーをドラッグして、画像の赤、緑、青のチャンネルをグローバルに調整します。

カラーEQオプション-標準。



プリセット

[プリセット] ドロップダウンメニューでは、既存のプリセットから選択するか、保存アイコンを使用して現在の編集をプリセットとして保存できます。

バイバランス

スライダーをドラッグして、スキントーンを変えずに画像のバイバランスを調整できます。

縦のスライダー

垂直スライダーは、画像全体に調整を適用します。タブに次のような効果があります:

- **彩度:** 彩度をグレースケールから高彩度に調整します。
- **明るさ:** 画像の明るさを調整します。
- **色相:** 画像の色相を調整します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する

画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダーが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

各カラー スライダー

スライダーを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、そのスライダーをクリック & ドラッグします。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

グレースケール画像を作成する

レッド、グリーン、ブルーの各チャンネル、および全体の輝度を調整して、リッチなグレースケールの画像を作成することができます。[モノクロ変換] ツールを使用すると、写真のさまざまな領域やアスペクトを強調したり、ムードやトーンを変更したりすることができます。

各スライダーの上にマウスを移動すると、小さなプレビューウィンドウに効果が表示されて、チャンネルごとに画像のどの部分が変化するのかがわかります。画像における各スライダーの効果を確認するために便利です。



使用した設定は、後で利用するための**プリセット**として保存することもできます。

グレースケールの画像を作成するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから**[モノクロに変換]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[モノクロに変換]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表で解説されているように設定を調整します。
3. **[完了]** をクリックして変更を保存するか、**[キャンセル]** をクリックして変更を破棄し、フィルタメニューに戻ります。

グレースケールオプション

明るさタブ:

[明るさ] タブで、次のいずれかを実行します。

- 個々のカラー 슬라이ダーをドラッグするか、画像(以前に色が発生した場所)を左クリックして上下にドラッグして特定のトーンの明るさを変更します。たとえば、空色の領域にカーソルをドラッグして、ブルーの明るさを変更します。
- **[レッドのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[グリーンのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[ブルーのパーセント]** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **[輝度のパーセント]** スライダーを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。



スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

コントラストタブ:

個々の色のコントラストを増減できます。さらに、コントラスト調整の対象となる個々の色の明るさの範囲を指定できます。

[コントラスト] タブで、次のいずれかを行います。

強度: 特定の色調でコントラストを調整するには、個々の色 スライダーをドラッグするか、画像(以前に色が発生した場所)を左クリックして上下にドラッグします。

バランス: コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を設定するには、スライダーを調整して、ハイライトまたはシャドウからディテールを引き出します。中間色調からディテールを引き出すには、**[バランス]** スライダーを**0**のままにしておきます。



Shift キーを押しながら画像をクリックしてドラッグすると、その色が対応しているバランススライダーが対象になります。



スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

[白黒に変換] パネルの下部で、度合いスライダーおよび色相スライダーを使用して画像に色を追加できます。色相スライダーを使用して色を選択します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

LUT を使用してカラー グレーディング

「カラーLUT」とは[カラー ルックアップ テーブル]の略です。カラーLUTとは、特定のRGB値を他の特定のカラー値にマッピングするよう ACDSeeまたは関連プログラムに指示するリストです。LUTをインポートして、ACDSeeでフィルタとして使用できます。LUTは、他の編集モードで使用するフィルタと同じ方法で適用できます。カラーLUTに対応しているファイルの種類は、.3DLと.CUBEです。

画像にカラー LUT を適用するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから[カラーLUT] を選択します。
2. カラーLUT パネル上で、次のいずれかを実行します。
 - リストからLUTを選択します。LUTがすぐに適用されます。
 - [LUTをインポート] ボタンを押します。[開く]ダイアログで、LUTファイルの場所を参照して[開く]を押します。LUTがすぐに適用されます。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



インポートしたLUTファイルの場所が変更された場合、カラーLUT パネル上でファイルを再ロードする必要があります。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

カラー LUT のリストを更新するには:

使用可能なLUTのリストを更新すると、移動または削除されたファイルを見つけることができます。利用できないLUTは、フォントの色が暗くなっています。

[カラーLUT] パネル上で、[リストの更新] ボタンを押します。

カラーLUTは、以下の手順で削除します:

1. [カラーLUT] パネル上で、**[LUTの削除]** ボタンを押します。
2. [LUT の削除]ダイアログで、削除したい LUT の隣のチェックボックスをオンにします。
3. **[LUT の削除]** を押します。

ヒストグラムを使用する

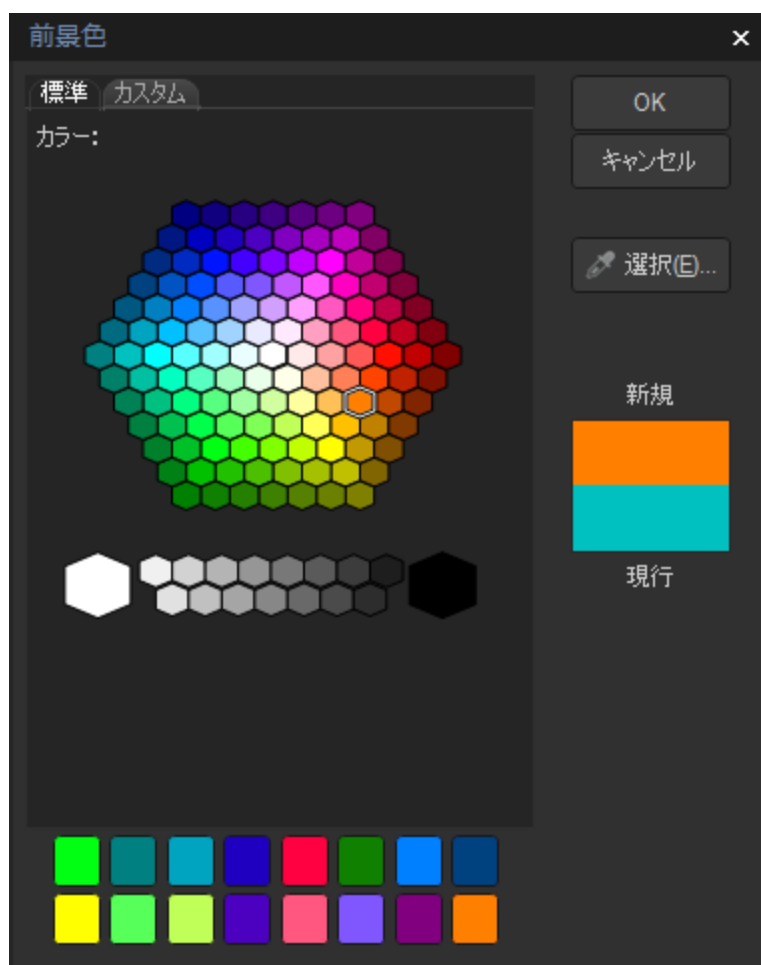
ヒストグラムは、画像内の各カラーチャネルの色強度の分布を表すグラフです。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] から[ヒストグラム]または編集 モードで [表示]から[ヒストグラム]をクリックします。
2. ヒストグラムで、次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッドチャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

色の設定 ダイアログボックスを使用する

[編集] モードで色を選択または適用する場合、さまざまな場所に [色] ダイアログボックスが表示されます。「色の設定」ダイアログボックスを使用して、様々な方法でカラーを選択したり、異なる編集 ツールでカラーを調整したりします。



標準 タブ

最初のタブの下部にはグレー、黒、白を含む基本色がハチの巣状に表示されていて、ここから色を選択できます。その下にはカスタムまたはお気に入りの色がグリッド状に表示されます。色を選択してグリッドのボックスを右クリックすることで、その色を適用することができます。カスタム色を作成するには [カスタム] タブをクリックします。

カスタム タブ

第 2 のタブにはカラーパレットが表示されています。右端にあるカラー滑り台を使用してカラーグループに移動し、スペクトルの任意の色またはすべての色を利用することができます。パレットの色を選択してグリッドのボックスを右クリックすれば、カスタムカラーに色が追加されます。

カラーを選択する/調整する

色を選択するには、カスタムカラーのグリッドで四角をクリックするか、カラーパレットをクリックします。カラーパレット上ではドラッグすることも可能です。色をクリックすると[新規]ボックスにその色が表示され、すべての数値(色相、彩度、明度、RGB 値)が[カスタム]タブの各フィールドに表示されます。

色相、彩度、明度の値を変更して色を調整することもできます。厳密に色を選択したい場合には、その色の値を入力します。色の調整は RGB それぞれの値を使用しても可能です。

画像をシャープにする

[シャープネス] ツールを使用して、画像のミディアムおよびハイコントラストエッジを強調することで、画像をシャープにすることができます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. [編集] モードの [ディテール] グループで、[シャープネス] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [シャープネス] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が粗くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細くなります。
ディテール	強度を減らすことにより光輪(極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線)を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像をぼかす

ぼかしツールを使用すると画像にさまざまな種類のぼかし効果を適用することができます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像をぼかすには：

1. **【編集】** モードで、**【詳細】** グループから、**【ぼかし】** をクリックします。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【ぼかし】** ツールにアクセスすることもできます。

2. **【ぼかしの種類】** セクションで、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して **【ぼかし】** ツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

ぼかしの種類

ガウシアン



画像全体を均等にスムーズにぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

リニア



画像に動きをつけてぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

角度

ぼかしエフェクトが適用される方向を指定します。

放射状



画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

時計回り

時計回りにぼかします。

反時計回り

反時計回りにぼかします。

左右の位置

水平軸にぼかしの中心を指定します。

上下の位置

垂直軸にぼかしの中心を指定します。

スプレッド



画像全体を曇ガラスのようにぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ズーム



画像の中心から外に向かって、または外から画像の中心に向かってぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ズーム イン

画像の中心に向かってぼかします。

ズームアウト

画像の中心から外に向かってぼかします。

左右の位置

水平軸にぼかしの中心を指定します。

上下の位置

垂直軸にぼかしの中心を指定します。

スマートぼかし



エッジを検出して無効化することでぼかし効果を生み、しきい値の設定に基づいてディテールを保持します。この効果は通常肌を滑らかにするために使用します。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

しきい値

ぼかしを適用する境界を指定します。

レンズ

カメラの絞りのぼかし効果に似たぼかしを生成します。

ぼかしパネルのオプションからぼけの形状を選択します。この形状はハイライト部分で効果が強まります。

度合い

ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ぼけ頻度

ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。

ぼけ明度

ぼかしの形状がどれだけ強く現れるかを指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

**編集ブラシ**

を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

**【グラデーション】**

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

**【放射状グラデーション】**

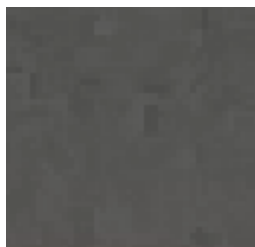
ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズとノイズ除去について

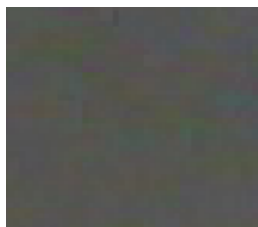
ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因を幾つか挙げてみましょう。ISO 設定が例えば ISO 800 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。) しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。似たような状況では、カメラのレンズやスキャナベッドについたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

画像には一般に 2 種類のノイズが含まれています: ルミナンスとカラーです。ルミナンス ノイズは、特にグレーなど無地の領域に見られる明るさの違いによるノイズで



カラー ノイズは、カラーの違いによってランダムに発生するノイズです。



ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを気にしすぎるとシャープネスが失われてしまいます。[ノイズ除去] ツールを使用して、ルミナンスとカラーの両方のノイズを削除することができます。

ノイズを除去する

[ノイズ除去] ツールを使用して、画像のディテールを保持しながら画像からノイズを除去することができます。



CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去 ツールを使います。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ノイズ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ノイズの削除] タブを選択します。
3. [ノイズ タイプ] セクションからオプションを選択します。
4. 下記を参考にして、オプションを設定します。



画像上の効果のプレビューを見るには、**Alt** キーを押したままスライダを動かします。

5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

ノイズ除去 オプション

チャンネルに適用:

画像内の既存のカラーチャンネルを混合して、ターゲットのカラーチャンネルを変更します。

ノイズ タイプ

カメラノイズ
の除去

デジタルカメラのノイズを削除します。より細かくノイズを削除するために設定された、以下のスライダを使用して調整します。

輝
度

明るさに見られるノイズをランダムに除去します。

強
度

[明るさ] スライダの強度をコントロールします。

カ
ラ
ー
ノ
イ
ズ
の
低
減

スライダを右にドラッグして、画像のカラーノイズを除去します。**Altキー**を押しながらスライダをドラッグすると、画像に残っているカラーノイズを確認できます。

色
調
範
囲

色調範囲とは、画像の平均輝度値の範囲を指します。たとえば、暗い洞窟で撮影された写真の色調範囲は低くなりますが、晴れた空は高くなります。

[色調範囲]スライダーの値は、左から右に向かって増加し、左側の低い色調範囲から右側の高い色調範囲に増加します。[色調範囲]スライダーは、対応する色調範囲を持つ画像の領域にノイズリダクションの焦点を合わせるために使用されます。たとえば、一番左の位置は、空よりも洞窟のノイズを減らします。

色調範囲は、輝度ノイズリダクションにのみ影響します。

周
波
数
範
囲

周波数範囲スライダーは、ノイズパターンを調整します。高周波ノイズは細かい静的ノイズのように見えますが、低周波ノイズは粗い粒子または「斑点」のように見えます。周波数範囲スライダーを左に動かして、ノイズリダクションを高周波ノイズに制限します。

周波数範囲は、輝度とカラーノイズの両方の低減に影響します。

メジアンノ
イズの除去

エッジを保持しながら、黒や白い点が散らばったノイズを低減します。ノイズをさらに除去するには、次のオプションから選択します。

正
方
形

正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。

X

X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。

+

十形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。



ノイズ除去 ノイズを除去します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズを追加する

【ノイズ追加】 ツールを使用して、画像に粒状のテクスチャを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかすかな欠点が目立たなくなります。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

画像にノイズを追加するには：

1. 【編集】モードで、【詳細】グループから、【ノイズ】を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【ノイズ】ツールにアクセスすることもできます。

2. 【ノイズの追加】タブを選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 【完了】をクリックすると、変更を適用して【ノイズ追加】ツールが閉じます。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【リセット】をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。

ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します： • ランダム: ランダムにノイズの色を選択します。 • モノクロ: 白黒のノイズが追加されます。 • 調整: ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、[色の設定] チェックボックスをオンにします。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム化	画像のノイズをランダムに配置します。 [ノイズ追加] ツールを使用する際、ACDSee ホームは乱数シードに基づいてノイズピクセルを追加します。そのため、ツールを使用する度に追加されるノイズが変化します。固有の乱数シードを作成すると、同じ画像ノイズを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。

明瞭度を調整する

透明度ツールは画像のディテールに明瞭度を加えます。明瞭度ツールを使用すると、シャドウとハイライトが強調されることなく画像の中間色のコントラストが強調されます。



設定した内容は**プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

画像の明瞭度を調整するには：

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[透明度] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[透明度] ツールにアクセスすることもできます。

2. **強度** スライダーを右に移動すると明瞭度が上がり、左に移動すると下がります。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



ナンバーボックスに数字を入力して、正確に微調整することもできます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

**編集ブラシ**

を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

**【グラデーション】**

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

**【放射状グラデーション】**

ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

人物モードを使う

人物モードは、人物のすべての画像を管理するための専用スペースです。

人物モードにアクセスするには、モードバーの人物モードアイコンを選択するか、メインメニューの管理モードから**【ツール】>【人物を管理】**の順に選択します。

人物モードには3つのビューがあります：

- 名前付き
- 名前なし、および
- 人物

名前付きビューと名前なしビューには、ボタンバーの結果グリッドのすぐ上にある**名前付き**ボタンと**名前なし**ボタンからアクセスできます。人物ビューにアクセスするには、**名前付き**ビューで人物の顔画像をダブルクリックします。モードスイッチツールをクリックして、選択したサムネイルを**表示**、**開発**、または**編集**モードに直接移動します。1つのサムネイルをダブルクリックすると、画像が表示モードに入ります。



すべてのビューで、顔をクリックして選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**で複数選択します。



名前なしビューと人物ビューの両方で、**顔のサムネイルの表示**



アイコンと**ソース画像のサムネイル**



アイコンを切り替えて、顔のサムネイルまたはソース画像全体を表示します。

名前付きビュー

人物モードの**名前付き**ビューには、ACDSee写真データベースで名前が割り当てられた人物の画像が全て表示されます。識別された人物の画像は、統合(「Rob」、「Robby」、「Bobby」などの類似した名前を持つ人々の場合)、名前の変更、削除できます。人物をダブルクリックすると、その方の**人物**ビューが開き、その人物に割り当てられたすべての顔が確認し、AIによる提案を承認または拒否できます。



名前付き表示では、各人に割り当てられた顔の数が表示される。9999人以上の顔を割り当てることができます。

名前のないビュー

人物モードの**名前のない**ビューには、名前が割り当てられていない顔が表示されます。

名前のないビューは、顔画像の上にあるボタンバーの右端にあるドロップダウンリストを切り替えることで、**グループ化された顔**と**グループ化されていない顔**でフィルタリングできます。

グループ化では、表示が2つのペインに分割されます。上のペインにはグループ化された顔が表示され、それぞれの右下に検出された類似する顔の数を示す数字が表示されます。下のペインには、顔の総数と、選択したグループに関連付けられた顔の両方が表示されます。**グループ化**された顔は、人物モードのAIがそれらをグループ化することを提案するほど、構造が十分に似ています。

グループ化されていない場合、ビューには、データベース内の名前のないすべての顔がグリッド状に並んで表示されます。グループ化されていない画像は、AIによって生成されたグループが適用されていない顔画像の全てです。

名前のないビューは、名前のない顔の名前の割り当てや削除など、名前のない顔を管理するために使います。

人物ビュー

人物モードの人物ビューは1人の人物に関連するすべての顔画像を表示します。

人物ビューは、次の2つの領域で構成されています：

- **[割り当てられた顔]**ペイン、以前にその名前で割り当てられた顔画像のコレクション、および
- **提案された顔**ペイン、AIがその人物と一致する可能性を示唆する顔のコレクション。



人物ビューには、名前付きビューからしかアクセスできません。

フォルダペイン

[**フォルダ**]ペインは、結果をフォルダで絞り込むために使います。クリックして単一のフォルダを選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**、またはフォルダ名の左側にある簡単な選択の矢印をクリックして複数選択します。

[**フォルダ**]ペインは結果グリッドの左側にあり、次の2つのビューがあります。

- **管理** モードでアクセスされた顔画像を含むフォルダを拡張して表示するツリービュー、および
- 顔画像を含むフォルダのフラットに並べた一覧ビュー。

[**フォルダ**]ラベルの右側にある[表示]ボタンを使用して、ツリービューと一覧ビューを切り替えます。

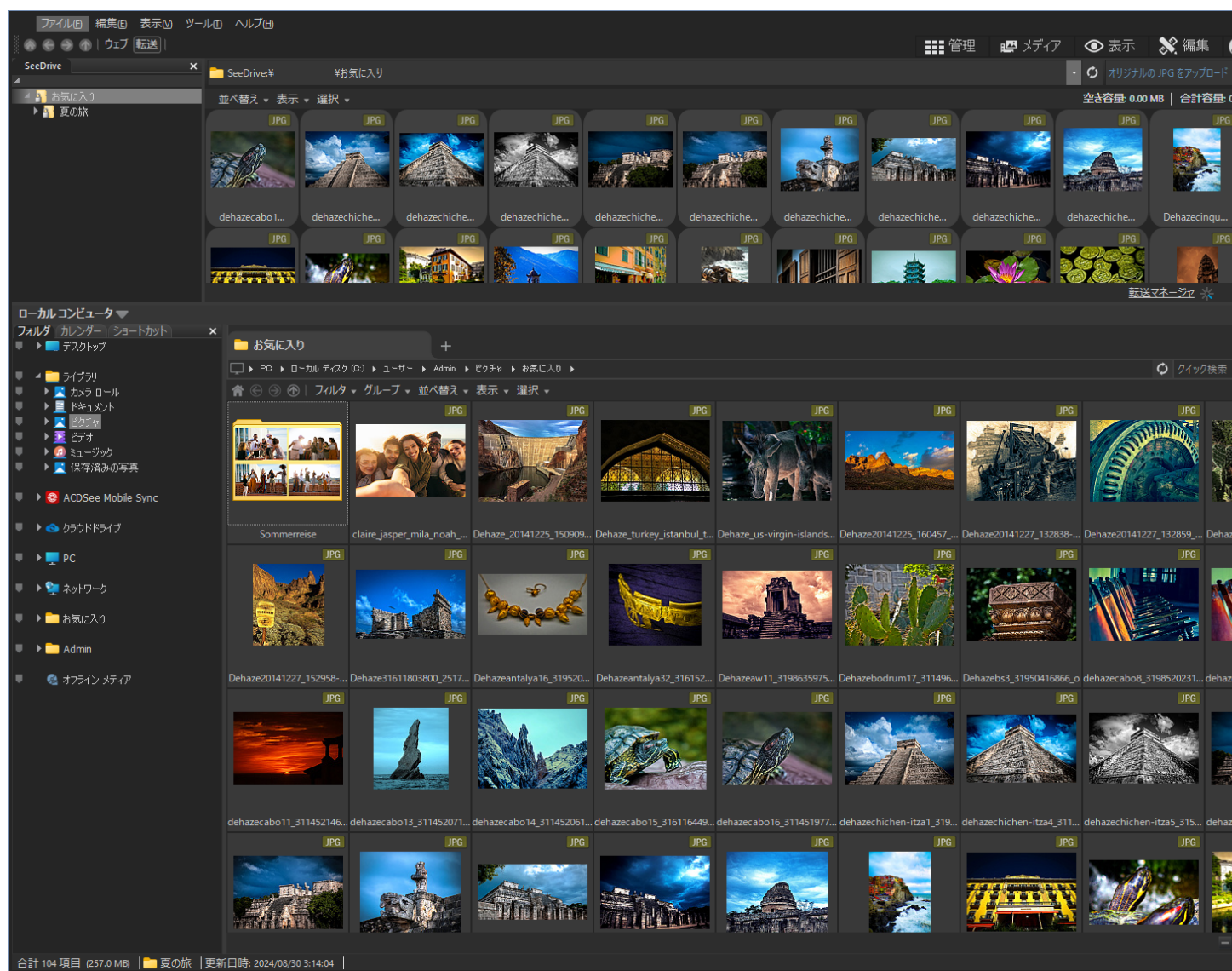
[**フォルダ**]ラベルの下にある[フォルダの更新]アイコンを使用して、現在のフォルダの選択をクリアします。

章 7: 365 モード



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

ACDSee ホームユーザーは365モードからseedrive.acdsee.comに画像をアップロードして、画像を共有・保存できます。365モードとseedrive.acdsee.comを使えば、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロード・参照できます。まず365.acdsee.com アカウントを作成してから、画像をアップロードしてください。



seedrive.acdsee.com を使用して、次のような操作を行うことができます。

- [seedrive.acdsee.com アカウントの作成](#)
- [画像をアップロードする](#)
- [画像フォルダのプライバシー設定](#)

365 モードを使用する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

ACDSee ホームユーザーは、365 モードにより、365.acdsee.com に画像をアップロードし、画像を共有したり、保存したりできます。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。あるいは、ご利用になっているインターネットブラウザから直接 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。

365 モードには次の 2 つがあります：365.acdsee.com と転送です。



[365.acdsee.com] と **[転送]** タブを有効にするには、[365.acdsee.com のアカウントを作成](#)する必要があります。

365.acdsee.com

[365.acdsee.com] タブをクリックすると 365.acdsee.com にアクセスすることができます。365.acdsee.com には次の 4 つのメニューがあります：

- **管理**：画像をフォルダに入れて管理します。
- **アップロード**：**[アップロード]** をクリックして画像のアップロードが可能な **[転送]** に切り替えます。
- **プロフィール**：プロフィールを変更したり、特定の情報を「公開」、「非公開」に設定したりします。
- **サポート**：365.acdsee.com のサポートが必要な場合、「ヘルプ」または「よくある質問」をご覧ください。

転送

転送 モードを使用して、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードすることができます。**[転送]** のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の 365.acdsee.com アカウントが表示されます。



365 モードの画像を、「編集」モードで開いて編集処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「編集」モードで開きます。ご注意ください。

ACDSee 365 アカウントの作成

365.acdsee.com に画像をアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。

ACDSee 365 アカウントを作成するには：

1. **[365]** タブをクリックして、**ACDSee 365** モードに入ります。
2. **登録** ボタンを押します。
3. フィールドに必要な情報を入力して、**[アカウントの作成]** をクリックします。



既にアカウントがある場合は、**サインイン** ボタンをクリックします。

ACDSee 365 への画像のアップロード



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

ACDSee 365、または365.acdsee.com は、ACDSeeユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。まず365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像にサイズの制限はありません。



365.acdsee.com アカウントのプランによっては、動画もアップロードできます。

画像をアップロードするには:

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. アカウントにログインします。
3. [アップロード] をクリックして、[転送] に切り替えます。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示され、上の領域にはオンラインの画像が表示されます。

4. 下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
 - **関連データを含んだオリジナルをアップロード:** メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。
 - **オリジナルをアップロード(JPG):** 画像を元のサイズのJPGとしてアップロードします。
 - **1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード:** 画像をJPEG フォーマットに変換し、解像度を1920 x 1440に設定します。このオプションは高画質のJPGに最適です。
 - **1024 x 768のJPGファイルをアップロード:** 画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションを使用すると、アップロード時間が最も早くなります。
5. 次のいずれかを実行して、画像をアップロードします:
 - スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したまま、クリックして画像を選択します。カーソルでクリックアンドドラッグして、複数の画像を選択することも可能です。
 - スクリーンの上半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
 - 画像を選択してから、[転送 マネージャ] の横にある上矢印アイコンをクリックします。

アップロードが完了すると、アップロードされた順番で画像が表示されるようになります。画像が編集済みの場合、ファイルの種類を示すオーバーレイアイコンが表示されます。



サブフォルダを含んだフォルダをアップロードすることも可能です。365 モードでは、365.acdsee.com アカウントにフォルダをアップロードする際、そのフォルダ構造を保ったままアップロードします。

フォルダを自動的にWebに同期するように設定する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

コンピューターに特定のフォルダーを作成し、すべての画像を365.acdsee.comの特定のフォルダーにアップロードできます。コンピューターのフォルダーに新しい画像を追加すると、[Webに同期] ボタンを押して、365.acdsee.comの対応するフォルダーを簡単に同期できます。同期は、お使いのコンピューターから365.acdsee.com のアカウントにアップロードするという一方方向でのみ動作します。

フォルダを設定して自動的に「Webに同期」するには:

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. 転送 タブをクリックします。
3. 画面の下半分の [フォルダ] ペインで、フォルダを右クリックし、[「Web に同期する」フォルダとして設定] を選択するか、**Alt + A**をクリックします。

4. 「Web に同期」フォルダとして設定] ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
5. **[OK]**をクリックします。



[ファイル] > **「Web に同期」するフォルダの管理**] をクリックして、設定することも可能です。

Web に同期を実行するには:

1. [転送] で、画面の右側にある**Web に同期**] をクリックします。
2. **[OK]**をクリックします。

フォルダの [Web に同期] 設定を編集するには:

1. [転送] で、スクリーンの下半分の [フォルダ] ペインで、Web に同期 フォルダを右クリックし、**「Web に同期」するフォルダの編集**] を選択します。
2. 「Web に同期」フォルダの編集] ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
3. **[OK]**をクリックします。

「Web に同期」フォルダのオプション

アップロードの種類	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します: ● 関連データを含んだオリジナルをアップロード: メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。 ● オリジナルをアップロード(JPGで): JPEG画像を元のサイズに変換してからアップロードします。 ● 1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード: 画像をJPEG フォーマットに変換し、解像度を1920 x 1440に設定します。このオプションは、高品質の JPEG ファイルに最適です。 ● 1024 x 768のJPGファイルをアップロード: 画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
ローカルフォルダ	選択したフォルダのパスを表示します。[参照] ボタンをクリックして、別のフォルダを選択します。
Online フォルダ	Online フォルダに使用する名前を入力します。既定設定では、「Web と同期」に設定しているコンピュータ上のフォルダと同じ名前に設定されます。
今すぐ Web に同期	選択したフォルダ内の画像をすぐにアップロードしたい場合にこのボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、[Web に同期] をクリックして、同期するように選択したすべてのフォルダ内に含まれているすべての画像をアップロードすることができます。

公開または非公開のフォルダを作成する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

[365.acdsee.com] と[転送] タブでは、フォルダを作成して公開または非公開を指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、友達や家族にその URL を知らせて共有することも可能です。



新規フォルダを作成する際、既定設定としてフォルダは「非公開」に設定されます。

[転送] でフォルダを作成し、公開または非公開に設定するには:

1. 365 モードで **[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペインで ユーザー名 を右 クリックし、**[オンラインフォルダの新規作成]** を選択 します。
3. [新規の Online フォルダ] ダイアログボックスで、新規 フォルダの名 前を入力 します。
4. **[OK]** をクリック します。

既定設定として、新規フォルダは「非公開」に設定 されます。

フォルダを「公開」に変更するには 、フォルダを右 クリックして**[公開する]** を選択 します。

公開フォルダの URL を共有するには:

1. 365 モードで **[転送]** をクリック します。
2. [フォルダ] ペイン ウィンドウの左上 部から、公開 フォルダを右 クリック します。
3. **[URLをコピー]** をクリック します。
4. その URL を電子 メール、インスタント メッセージやその他のアプリケーションにコピーして、友達や家族と共有 します。



公開 フォルダ上を右 クリックして**[共有]** を選択 すると、電子 メールで送信、ソーシャルネットワークサイトにアップロード、あるいはウィジェットを作成 することができます。

重要度設定システムを変更する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリック します。

管理モードで重要度を設定した画像は、365 モードでは星の数で評価 されます。ユーザーは、星で画像を評価 する方法を選択 することができます。

重要度設定システムを変更するには:

1. **[ツール]** をクリックし、**[オプション]** を選択 します。
2. オプション ダイアログ ボックスの**[ACDSee 365]** をクリック します。
3. [重要度] で、**[重要度1を星5に変換する]** または **[重要度1を星1に変換する]** のいずれかを選択 します。
4. **[OK]** をクリック します。

画像をダウンロードする



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリック します。

365.acdsee.com は、ACDSee ホームユーザー向けのストレージサービスでもあります。365.acdsee.com アカウントから自分のコンピュータへ、いつでも画像をダウンロード できます。

画像をダウンロードするには:

1. 365 モードで、**[サインイン]** をクリック します。
2. アカウントにログイン します。
3. **転送** タブをクリック します。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示 され、上の領域にはオンラインの画像が表示 されます。

4. 画面の上側の左上にあるフォルダペインで、365.acdsee.com フォルダからダウンロード したい画像に移動 します。

5. 画面の下側にある[ローカル コンピュータ] ペインで、画像のダウンロード先のフォルダを選択します。
6. 次のいずれかの方法で、画像を選択してダウンロードします。
 - 画像を画面の下側の領域にクリック & ドラッグして自分のコンピュータにダウンロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したままクリックして画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することもできます。
 - 画像のフォルダを画面の下側の領域にドラッグします。
 - 画像を選択し、[転送 マネージャ]の隣にある下矢印アイコンをクリックします。

転送 マネージャを使用する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

[転送 マネージャ] では、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロード + ダウンロードする作業を確認したり、転送作業をキャンセルしたり一時停止したりすることが可能です。[転送 マネージャ] には、[アップロード] と [ダウンロード] の 2 つのタブが用意されています。これらのタブには、アップロード、ダウンロード、一時停止またはキャンセルされた画像が一覧表示されます。

[転送 マネージャ] を開くには：

[ツール] > [転送 マネージャ] をクリックします。

[転送 マネージャ] では次のような操作を行うことができます。

	アップロードまたはダウンロードのキャンセル。
	画像のアップロードとダウンロードを再試行。
	アップロードまたはダウンロードの一時停止。
	画像のアップロードまたはダウンロードを継続。
	一覧のすべての画像を選択します。
	一覧から、アップロード、ダウンロードまたはキャンセルされた画像をクリアします。

章 8: ダッシュボードモード

ダッシュボードモードを使用する

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、データベースの統計情報を1か所で簡単に監視できます。カメラデータは画像のメタデータから収集され、ファイル情報はACDSeeデータベースから分析されます。最も正確な情報を表示するために、ファイルが[カタログ化](#)されていることを確認してください。

ファイルのカタログ化

ファイルをカタログ化するには、次のいずれかの操作を行います：

- ツール|データベース| **カタログ**に移動します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボードモードのタブ

ダッシュボードモードは4つのタブで構成されており、それぞれ異なる視点でデータを確認できます：

- **概要タブ:** 写真のアクティビティとデータベースステータスのハイレベルな概要を表示します。
 - 上部のグラフには、月別または年別の写真数が表示されます。ドロップダウンメニューを使用して年別表示と月別表示を切り替え、「前へ」および「次へ」ボタンを使用して期間を移動できます。
 - グラフの下には以下の情報が表示されます：
 - **データベースの概要:** データベースの総サイズ、ファイルとフォルダの総数、最終バックアップ日。
 - **カメラの概要:** 最も使用されたカメラ、カメラの総数、お気に入りのISO設定。
 - **ファイルの概要:** 画像およびビデオファイルの数、お気に入りのファイル形式、お気に入りの画像解像度。



このタブは、写真コレクションとデータベースの健全性をすばやくチェックするのに役立ちます。

- **データベースタブ:** データベースに関する詳細情報を表示し、サイズ、構造、バックアップステータスを追跡できます。
 - **データベースの総サイズ:** データベースのファイルパスが含まれます。
 - **ファイル情報:** 画像ファイル、ビデオファイル、その他のファイルの内訳。
 - **フォルダ情報:** 参照したフォルダ、参照したリモートフォルダ、参照したリムーバブルフォルダの数。
 - **孤立したアセット:** 孤立したファイルとフォルダの数を表示します。
 - **ACDSeeデータベースのバックアップ:** 最終バックアップ日を表示し、データが安全であることを確認できます。
 - **サムネイル情報:** サムネイルキャッシュのサイズと、サムネイルを持つ画像の数が含まれます。



このタブを使用して、データベースのパフォーマンスを監視し、バックアップとサムネイルが最新であることを確認してください。

- **カメラタブ:** カメラとレンズの使用状況を表示します。
 - **カメラの概要** パネル(左側)には、最も使用されたカメラ、レンズ、焦点距離、絞り、シャッタースピード、ISOがハイライト表示されます。

- メイン画面には以下が含まれます:
 - カメラ、レンズ、焦点距離別の写真数を、パーセンテージの内訳とともに示す円グラフ。
 - 絞り、シャッタースピード、ISO別の写真数を示す棒グラフ。
- これらのグラフは、**表示 | グラフ**からオン/オフを切り替えることができます。



このタブは、最も頻繁に使用するレンズや設定など、撮影の習慣を理解するのに役立ちます。

- **ファイルタブ:** 画像およびビデオファイルに関する情報を表示します。
 - **ファイルの概要**セクション(左上)には、ファイルの総数、お気に入りのファイル形式、最も一般的な画像解像度が表示されます。
 - 2つの円グラフでファイル形式とビット深度の内訳を表示し、凡例にパーセンテージが表示されます。
 - 棒グラフには、コレクション内の上位20個の画像解像度が表示されます。



このタブでは、最も頻繁に扱うファイルの種類についての洞察が得られます。

章 9: PicaView

ACDSee PicaView について

ACDSee PicaViewは、WindowsのFile Explorer™用のすばやく簡単なファイルビューア「アドオン」で、アプリケーションでファイルを開かなくてもファイルをプレビューできるため、時間を節約できます。右クリックすると、画像のEXIF情報を表示したり、RAWファイルを含むさまざまなサイズの画像ファイルを表示したりできます。ACDSeeでサポートされている他の画像ファイル形式のプレビューを表示することもできます。WindowsのFile Explorer™でファイルを右クリックすると、ACDSee PicaViewプレビューにアクセスできます。

プレビューのサイズや表示する情報など、ACDSee PicaView ではさまざまな設定ができます。設定へのアクセスは、**[ACDSee PicaView] > [オプション...]**をクリックするか、または ACDSee で**[ツール] > [オプション...]**に移動して、オプションダイアログメニューにある ACDSee PicaView に移動します。

ACDSee PicaView オプションを調整するには:

1. Windows/File Explorer™ でファイルを右クリックして、ACDSee PicaView のプレビューにアクセスします。
2. プレビューの上部で、**[ACDSee PicaView] > [オプション...]**をクリックします。
3. ACDSee PicaView オプションダイアログで、以下のオプションを設定・変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee PicaView オプション

画像の表示

[画面の表示] チェックボックスをオンにすると、ファイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューにプレビューが表示されます。

場所

- **画像をメインメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、メインメニューにプレビューが表示されます。
- **画像をサブメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、**ACDSee PicaView** の隣にある矢印をクリックして表示されるサブメニューにプレビューが表示されます。

サイズ

右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。

オリジナルの表示

[オリジナルの表示]を選択すると、編集前の画像が右クリック時に表示されます。

EXIF 情報を表示する

[EXIF情報を表示] チェックボックスにチェックを入れたり外したりすると、右クリックした写真のEXIF情報についての表示状況を設定できます。

ACDSee クイックビューを使う

ACDSee クイックビューは、ACDSeeを開かずに画像を素早く表示できる画像ビューアです。例えば、誰かがメールで送ってきた画像を表示したいとします。対象の画像をダブルクリックするとクイックビューで開き、ACDSeeの**[表示]**モードの簡易版のような感じで画像を表示することができます。

クイックビューでは、画像を素早くスクロールしたり、一時的に回転したり、拡大/縮小表示することができます。クイックビューで表示中に気に入った画像があれば、それをデスクトップの壁紙に設定したり、印刷したりすることも可能です。

クイックビューからACDSeeへ簡単に切り替えることができます。また、画像を管理、メディア、表示、または編集モードで開くことも可能です。

[表示] モードでキーボードやマウスのショートカット操作に慣れている方は、クイックビューでも同様にほとんどのショートカットが使用できます。

クイックビューで画像を開くには:

1. ACDSee ホームを閉じた状態で、画像をダブルクリックします。例えば、Windowsエクスプローラ内またはメールに添付された画像をダブルクリックします。
2. 下記の表示オプションを使用して画像を表示します。

ACDSee クイックビュー 表示オプション

	前へ	前の画像を表示します。
	次へ	次の画像を表示します。
	左に回転	画像を左へ回転します。
	右に回転	画像を右へ回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	画像を削除してごみ箱に移動します。

 [Esc]を押すとACDSeeを閉じることができます。

ACDSeeで画像を開くには以下の手順を実行します:

[管理]、[表示]、[メディア}、または[編集]モードをクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. デスクトップの壁紙に設定したい画像がクイックビューで表示されるまで**前へ**または**次へ**をクリックします。
2. [ツール]、[壁紙の設定]をクリックし、次のいずれかを選択します。
 - **中央に表示:** デスクトップの中央に画像を表示します。
 - **並べて表示:** デスクトップ全体を覆うようにファイルを複数のタイルとして並べて表示します。画像のサイズが小さい場合は、複数枚の画像がデスクトップに表示されます。画像のサイズが大きい場合は、1、2枚の画像がデスクトップに表示されます。
 - **拡大表示:** 画像の縦横比を保持したまま拡大表示して、デスクトップを可能な限り覆うように表示します。

デスクトップの壁紙を既定に戻すには:

[ツール] > [壁紙 の 設定] > [元 に 戻 す] の順にクリックします。

画像は以下の手順で印刷します:

1. [ファイル] に続いて [印刷] をクリックします。
2. [形式] から [印刷 サイズ] を選択します。
3. [プリンタ オプション] タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定] タブでは、用紙上の画像の位置や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
5. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
6. 印刷 をクリックします。

クイックビュー でWindows Touch Gestures™ を使用 する

Windows Touch Gestures™対応のデバイスをお持ちの場合、デバイスをACDSee クイックビュー と併せて使用することで素早く簡単に写真を表示できます。

クイックビュー でWindows Touch Gestures™を使用するには:

ACDSee クイックビュー で画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップするとACDSeeで画像が開きます。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を拡大したあとは、画像を指でパンすることができます。元に戻すには、[表示] > [ズーム] > [画像を合わせる] を選択します。

章 9: オプションと設定

全般オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を調整して、便利なワンポイントの表示、表示する日付フォーマットの設定、自動回転オプション、特定画像表示のコントロールなどを設定することができます。

全般オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[全般]をクリックします。
3. 「全般」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

全般オプション

ガンマ補正	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正值を適用します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像をデスクトップ全体のサイズに合わせて自動拡大し、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	管理モードのプレビューペインおよび表示モードで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF方向を基準にして、JPEGおよびTIFF画像を自動的に回転する	ACDSeeでTIFFやJPEG画像を表示する際、画像の向きは自動的に補正されます(EXIFデータを基準とする)。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
日付/時間の出力フォーマット	次のいずれかを選択します。 ● 既定のシステムフォーマット: 情報オーバーレイに日付および時間を表示する際は、既定のシステムフォーマットを使用します。 ● カスタムフォーマット: すべての情報オーバーレイに日付および時間を表示する際に、カスタムフォーマットを使用します。日付と時間のフォーマットを、ドロップダウンリストから選択します。
タスクバーの通知領域にアイコンを表示する	タスクバーの通知領域にACDSee ホームのアイコンを表示します。
モード切り替えアイコンを表示する	各モード名の左にアイコンを表示します。

画像の自動表示オプションの設定

画像の自動表示を起動する適用されたメタデータを制御できます。

[画像の自動表示]オプションは、以下の手順で調整します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[全般]>[画像の自動表示]をクリックします。

3. [画像の自動表示]ページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

画像の自動表示 オプション

自動切り替えを有効にする	- 管理モード - 表示モード	選択解除して、管理または表示モードで画像の自動表示をオフにします。
適用時に自動切り替え	- タグ - 重要度 - ラベル - カテゴリ - キーワード	適用または削除されたメタデータのうち、画像の自動表示を起動するメタデータを指定します。
 キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。		

[モード設定オプション]を設定する

モードボタンの外観をコントロールして表示スペースを最大化できます。

モードボタンオプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、[モード設定]をクリックします。
3. モード設定ページで、対応するチェックボックスの選択を外すことで、モードを非表示にできます。

 管理モードは非表示にできません。

4. モードの対応するドロップダウンメニューを使用することで、アイコンとラベルの両方を表示する、ラベルのみ表示する、アイコンのみ表示するように設定できます。
5. [モードボタンの見た目を簡略化する]のボタンをクリックすると、モードボタンを小さくしてスペースを節約できます。
6. **[OK]** をクリックします。

バッチ操作オプションの設定

バッチの名前変更、バッチのサイズ変更、バッチ変換などのバッチ操作で表示されるエラーログを制御できます。

バッチ操作オプションを調整するには：

1. いずれかのモードで、[ツール]、[オプション...]、または **Alt + O**を押します。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[一般]、[バッチ操作]をクリックします。
3. [バッチ操作]ページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

バッチ操作オプション

AI超解像の結果を表示しない AI超解像の完了時に結果が出力されないようにするには、このチェックボックスをオンにします。

一括リネームの結果を表示しない 一括リネームの完了時に結果が出力されないようにするには、このチェックボックスをオンにします。

一括AI超解像 オプションの設定

一括AI超解像工具を使用すれば、複数の画像を一度に強化することができます。

複数の画像を強化するには：

1. 管理モードで、1つまたは複数の画像を選択し、ツール | 一括 | **AI超解像** | **AI超解像...** をクリックするか、または **Shift + S** を押します。
2. 一括AI超解像ダイアログボックスでは、画像を強化する複数の方法から選択できます。パーセンテージ、ピクセルサイズ、印刷サイズ、ロングエッジ、ショートエッジのいずれかを選択します。以下の表の指示に従ってください。
3. **オプション**をクリックして、画像の保存方法を指定します。
4. **強化**をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、強化設定をプリセットとして保存できます。そこから名前を入力し、**OK**を押します。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



キーボードショートカットのカスタマイズ トピックの方向に従うことで、複数の画像の強化処理を高速化するショートカットを割り当てることができます。

サイズ変更 オプション

リサイズ方法	セッティング	説明
パーセント		
	幅	画像の新しい幅を、元の画像に対するパーセンテージで入力します。
	高さ	元の画像に対する割合として、画像の新しい高さを入力してください。
	オリジナルのアスペクト比を維持する	元画像の縦横比を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
ピクセルサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力してください。
	高さ	画像の新しい高さをピクセル単位で入力してください。
	リサイズ	画像の拡大縮小方法を選択します。以下のオプションからいずれかを選択してください。 • 拡大または縮小: すべての画像を、指定した高さと幅にリサイズします。 • 拡大のみ: 指定した高さと幅よりも小さい画像のみをリサイズします。 • 縮小のみ: 指定した高さと幅よりも大きい画像のみをリサイズします。
	オリジナルのアスペクト比を維持する	元画像の縦横比を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
	収まる	指定した幅に基づいて縦横比を維持するかどうかを指定します。異なる組み合わせが画像にどのように影響するかについての詳細は、 ピクセルリサイズのオプションと結果の動作 を参照してください。
プリントサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	単位	インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、ピクセルからお選びください。
	高さ	画像の新しい高さをピクセル単位で入力します。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
	リサイズ	画像の拡大縮小方法を選択します。次のオプションのいずれかを選択します: • 拡大のみ: 指定した高さおよび幅よりも小さい画像のみをリサイズします。 • 削減のみ: 指定された高さと幅よりも大きい画像だけをリサイズします。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定された高さと幅

リサイズ方法	セッティング	説明
		にリサイズします。
	オリジナルのアスペクト比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
	フィット・イン・サイズ	指定した幅に基づいて縦横比を維持するかどうかを指定します。異なる組み合わせが画像にどのように影響するかについての詳細は、 ピクセルリサイズのオプションと結果の動作 を参照してください。
ロングエッジ		
	サイズ	サイズを単位で入力し、ドロップダウンメニューから単位を選択します。そこで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、ピクセルから選択できます。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
ショートエッジ		
	サイズ	サイズを単位で入力し、ドロップダウンメニューから単位を選択します。そこで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、ピクセルから選択できます。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
オプション		
	出力場所	オプションから出力先を選ぶ: ・ ソースフォルダと同じ: 強化されたファイルを、元のフォルダに貼り付けます。 ・ 特定のフォルダ: 出力ファイルの特定のフォルダに移動するには、フォルダアイコンを使用します。 ・ サブフォルダの作成: 出力先を選択した状態で、このチェックボックスをオンにすると、拡張画像用のサブフォルダが作成されます。ボックスに名前を入力します。これは、特定のサイズに複数回一括変更する場合に便利です。強化したファイルを別々のフォルダに保存できます。
	ファイルオプション	既存のファイルを上書き: ファイルを上書きする際のデフォルトのアクションを設定します。 ・ を尋ねる: ファイルを上書きする前に確認を求める。 ・ スキップ: 上書きされるファイルをスキップします。 ・ 名前の変更: 完了: 出力が完了すると、新しいファイルの名前変更ダイアログが表示されます。 ・ 交換: 元のファイルを新しい強化ファイルで置き換えます。 最後に変更された日付を保存: 最後に変更された日付を強化ファイル出力に保存するかどうかを切り替えます。 メタデータを保存: メタデータを強化ファイル出力に保存するかどうか

リサイズ方法	セッティング	説明
		うかを切り替えます。
		データベース情報を保存します：データベース情報を強化ファイル出力に保存するかどうかを切り替えます。

ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する

ACDSee ホームを2回目に開いたとき、ACDSeeをデフォルトの写真ビューアとして設定するかどうかを尋ねるダイアログが表示されます。プロンプトに従ってデフォルトの写真ビューアを変更します。このダイアログが表示されない場合は、以下の手順を実行します。

ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する方法：

1. どのモードであっても、**ツール | オプション...**をクリックします。
2. オプションダイアログで、**一般**の下にある**デフォルトの写真ビューア**を選択します。
3. **デフォルトに設定...**をクリックして、ACDSeeをデフォルトの写真ビューアとして設定します。

管理モードオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダなど、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モードオプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、**[ツール] | [オプション...]**をクリックします。
2. オプションダイアログボックスの**[管理モード]**をクリックします。
3. 管理モードページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]**をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

管理モードオプション

起動時の動作

起動時

起動時に管理モードを開く際の動作を4つの中から選択します:**ACDSee ホームページを開く**、**開始フォルダを開く**、**最後のアクティブなタブを再度開く**、**以前のすべてのタブを再度開く**。

開始フォルダ

新しいタブが開く場所を指定します。**[参照]** ボタンをクリックして、ハードディスク上の開始フォルダを指定します。**[起動時]** オプションで **[開始フォルダを開く]** が選択されている場合、起動時に常に指定した開始フォルダで管理モードが開きます。

表示テーマ

ACDSee で使用する配色を指定します。

終了時に履歴パスをクリアする

ACDSee の終了時に毎回、最近使用したフォルダの一覧をクリアします。

タイトルバーに完全なパスを表示する

ACDSee のタイトルバーに画像の完全なパスを表示します。

タイトルバーにデータベースのファイル名を表示する

ACDSee が現在実行しているデータベース名をタイトルバーに表示します。

フォルダツリー

表示密度

フォルダツリーの表示の凝縮度を設定します。

【+】を使用してフォルダツリーを展開

フォルダツリーにある展開可能な項目の横に【+】マークを表示します。

エラー報告

ACDSee にエラーが発生した際にシステムエラー レポートを表示させたくない場合は、このオプションを選択します。

スキャン保存先

[フォルダの参照] ボタンをクリックして、スキャンした画像の保存先を指定します。

ACDSee ホームページオプションの設定

ACDSee ホームページオプションダイアログの設定を調整して、データベース内での**最近変更されたファイル**および**最近追加されたファイル**の検索方法を制御できます。

ACDSee ホームページオプションにアクセスするには:

1. 任意のモードで、**[ツール] | [オプション...]** をクリックします。
2. **[オプション]** ダイアログボックスで、**[ACDSee ホームページ]** をクリックします。
3. **[ACDSee ホームページオプション]** ページで、以下のオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee ホームページオプション

最近変更された期間:

最近変更されたファイルを表示する期間を選択します。

オプションは次のとおりです:

- 1日
- 3日
- 1週間
- 2週間
- 1ヶ月
- 3ヶ月
- 6ヶ月
- 1年

最近追加された期間:

最近追加されたファイルを表示する期間を選択します。

オプションは次のとおりです:

- 1日
- 3日
- 1週間
- 2週間
- 1ヶ月
- 3ヶ月
- 6ヶ月
- 1年

検索条件:

最近追加されたファイルの検索をどのように計算するか指定します。

オプションは次のとおりです:

- 撮影日: EXIFの「元の撮影日時」を使用します。EXIFの「元の撮影日時」がないファイルの場合は、「Windowsの作成日時」を使用します。
- データベースへの追加日: 「ACDSee インポート日」を使用します。

クイックサーチオプションの設定

クイックサーチオプションを使用することで、検索を細かく絞り込むことができます。

クイックサーチオプションの設定方法:

1. 管理モードをクリックし、ツール | オプション...をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、管理モード | クイックサーチをクリックします。

3. クイックサーチページで、以下に説明するクイックサーチオプションを設定したり変更したりします。
4. **OK**をクリックして、変更を適用してACDSeeに戻ります。

検索フィールド	説明
ファイル名を含める	検索語句で始まるファイル名とフォルダ名を検索します。
ACDSeeのメタデータおよびIPTCフィールドを含める	ACDSee メタデータフィールド(キャプション、作者、ノート、カラーラベルなど)およびIPTCフィールド(タイトル、見出し、説明、人物、キーワード、作成者、都市、ロケーション、州/県、国、指示など)を検索します。
ACDSeeのカテゴリを含める	検索用語と一致するACDSeeカテゴリを検索し、それらのカテゴリに割り当てられているファイルを返します。サブカテゴリは含まれません。
ACDSeeのキーワードを含める	検索用語と一致するACDSeeキーワード(サブキーワードも含む)を検索します。
人を含める	表示するモードで顔検出を使用して名付けられた画像内で検索される人物です。
人を検索	説明
割り当てられた名前	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeは顔検出を使用して名付けられた写真を返します。
提案された名前:	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeはACDSeeによって提案された(あなたによって確認されていない)名前の写真を返します。
割り当てられた名前と提案された名前の両方:	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeは割り当てられた名前と提案された名前の両方を検索結果として返します。
検索結果	説明
フォルダーの内容を返す	検索結果にフォルダーがあるかどうかをチェックし、選択した場合、フォルダーの内容も検索結果に追加します。



検索フィールドを少なくとも1つ選択する必要があります。変更をこれらのオプションに保存するために。

[顔の検出と認識]オプションを設定する

顔検出のオンとオフを切り替えたり、顔検出のやり直しのトリガーを設定したり、コンピューターが休止状態のときにACDSeeインデクサーが顔検出を実行できるようにしたりすることができます。

顔検出オプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[顔検出]をクリックします。
3. [顔検出]のページで、下記の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. **[OK]**をクリックします。

顔検出オプション

顔検出

画像内の顔を自動的に検出します

このオプションを切り替えて、顔検出を有効にします。このオプションを有効にすると、管理モードでの閲覧中に見つかるファイル内で顔検出が実行されます。表示モードでは、顔検出は開いている画像でのみ実行されます。画像内で顔検出が実行されると、検出情報はデータベースに保存されます。したがって、このオプションを無効にしても、既に検出された顔については、顔の概要と名前（名前が付けられている場合）が表示モードで引き続き表示されます。顔に付けた名前を使用して検索することもできます。

PCがアイドル中、ACDSeeインデクサーで顔検出する許可を顔検出に与えましょう。

ACDSeeインデクサーが実行できるよう顔検出を有効にすることができます。ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターが休止状態でACDSeeが実行されていない間に、顔検出プロセスを実行できます。こうすることで、すべてのフォルダを参照しなくて済みます。

閲覧中に、最後に顔検出を実行してから変更された画像に対して顔検出を自動的に再実行します。

画像の閲覧または編集中に最後に顔検出を実行してから変更された画像に対して顔検出を自動的に再実行できるようにするには、このオプションを切り替えます。

顔認識

顔認識を有効にする

このオプションを切り替えると、顔認識が有効になります。このオプションを有効にすると、以前の画像で名前を付けた顔に基づいてACDSeeが個人の認識を試みます。

ACDSeeが同一人物を認識するために必要となる類似した顔二種類を、スライダを使用して設定します。

適度: デフォルトで設定されており、誤った名前を追加しすぎずに、ほとんどの顔に名前を付けるよう最適化されています。

強め: 似ていない顔も同一人物として認識されます。このオプションは、写真コレクションに少数の人物しか映っておらず、各人のポーズ、照明、フィルムの品質が多岐にわたる場合に役立ちます。名前が間違っていることが多くなる恐れがあります。

控えめ: 非常に似ている顔を同一人物として認識します。このオプションは、写真のコレクションに大勢の人物が映っており、特に、近親者など身体的特徴が似通っている人物が映っている場合に役立ちます。名前が間違っていることは少なくなります。手動で名前を付ける必要がより頻繁に生じる可能性があります。



自動ネーミングを有効にするオプションが有効になっている場合、特に顔認識機能が初めて人物を検出した場合には、3つの設定すべてが不正確な名前を付ける結果となる可能性があります。手動で修正できる範囲を超えるほど誤った名前が付けられる場合は、顔認識を無効にして、写真コレクション内の各人物の顔を数枚手動で名前付けします。その後、顔認識を再度有効にして、必要に応じて、ファイルの選択 または図書館全体 で顔認識を再度実行します。

自動ネーミングを有効にする

このオプションを切り替えて、**自動命名**をオンまたはオフにします。

無効: 無効の場合、写真館は顔に自動的に名前を割り当てないので、名前の付け方を完全に制御できます。顔検出は、すでに名前を付けた顔に基づいて候補を提供します。

有効: 有効にすると、写真館は、すでに名前を付けた顔に基づいて、顔に自動的に名前を割り当てます。

すべての顔データを削除

顔の輪郭、名前、顔検出がファイルで実行されたかどうかに関する情報など、顔検出と認識に関連するデータすべてをデータベースから削除します。この操作を実行するには、ACDSeeを再起動する必要があります。

顔認識を再実行

手動で名前を付けていない顔で顔認識を再試行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

ファイル一覧ペイン オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペインのオプションを設定することでユーザーの好みに合わせたカスタマイズが可能です。例えば、アーカイブファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプを強調することができます。サムネイル、ファイル種類のACDSee ホーム表示をカスタマイズしたり、ACDSee ホームでのファイル一覧ペインでのファイルやサムネイルの取り扱い方を調整したりすることもできます。

ファイル一覧ペイン オプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[ファイル一覧]をクリックします。
3. 「ファイル一覧」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル一覧 オプション

ファイル一覧

新規ファイルを自動的に選択する

ファイル一覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。

アーカイブをフォルダでグループ化する

ファイル一覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブファイルをフォルダとして扱います。

埋め込まれたサムネイルを使用する

RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイル一覧ペインに表示されます。

高画質のサムネイルを作成する

このオプションが選択されると、まず RAW ファイルに埋め込まれているサムネイルがファイル一覧ペインに表示され、その後高画質のサムネイルに置き換えられます。

フォルダにサムネイルを表示する

ファイル一覧ペインにあるフォルダアイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。

各フォルダの並べ替え設定を保存する

特定フォルダで使用した並べ替え設定をACDSee ホームで保存する場合は、このオプションを選択します。

<Ctrl> キーがホットトラッキングを有効にします

Ctrl キーを押したままにすると、ホットトラッキングがオンになります。ホットトラッキングとは、**Ctrl** キーを押しながら管理モードで画像にカーソルを合わせると、個々の画像をクリックしなくても、[プレビュー]ペインと[プロパティ]ペインのコンテンツが更新されることを意味します。

アニメーションを使用する

特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループヘッダーがあります。

フィルタの設定

すべてのファイルを表示する

ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。

フィルタ適用の条件

以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。

- 画像ファイルの表示
- フォルダを表示
- メディアファイルの表示
- アーカイブファイルの表示

隠しファイルとフォルダを表示する

通常隠しファイルとして設定されているシステムファイルとその他のファイルを表示します。

THM ファイルを表示する

ファイル一覧にCanon THMファイルを表示します。

XMPファイルを表示する

ファイル一覧にXMPサイドカーファイルを表示します。

画像ファイルのハイライト

画像ファイルをハイライトしない

「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードで画像ファイルをハイライトしません。

画像 ファイルをシングルカラーでハイライトする

「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像 ファイルをシングルカラーでハイライトします。

画像 ファイルをマルチカラーでハイライトする

「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像 ファイルをマルチカラーでハイライトします。

ポップアップ

マウスのカーソルを項目の上に合わせたときにポップアップを表示する

ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際、アニメーションのポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。

以下の設定でポップアップに画像やテキストを含むかどうかを指定することができます。このオプションをオフにすると、以下の設定ではShiftキーを押し続けることでのみポップアップを有効にします。

<Shift> キーでポップアップを有効にする

ファイル一覧で、マウスカーソルをファイル一覧のサムネイル上に合わせた状態でShiftキーを押し続けた場合にのみ、ポップアップが有効になります。Shift キーでファイルを選択しづらくなる場合には、このオプションをオフに設定します。

ポップアップを自動的に隠す

画像上にマウスのカーソルが置かれていても、ポップアップは5秒表示された後、非表示となります。

サムネイルのポップアップを表示する

マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアッププレビューを表示します。

ポップアップに情報を表示

ポップアップにテキスト情報を表示します。[ファイル情報の設定...] ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択することで、表示する情報を選択できます。

ファイル情報の設定

[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれ、ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際に表示される情報を選択できます。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、ACDSee メタデータ、EXIF、ファイル、画像、IPTC、マルチメディアなどの属性も選択できます。

既定の右クリックメニューとして、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示する

ACDSee ホームのコンテキストメニューの代わりに、既定のWindowsエクスプローラのコンテキストメニューを表示します。

サムネイル情報オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、[ファイル一覧]ペイン内で画像のサムネイルと共に表示する情報を変更することができます。これらのオプションは、[ファイル一覧]の[サムネイル情報]で設定されています。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスの [ファイル一覧] から [サムネイル情報] をクリックします。
3. [サムネイル情報] のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイル情報オプション

情報

ファイル名	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
サムネイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
タイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、「タイル」表示モードで表示される情報を選択します。
ホバーしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示する	ホバーしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示します。

オーバーレイアイコン

オーバーレイアイコンを表示するには、[\[ファイル一覧ペインでファイルを参照\]](#)に移動します。

重要度	ACDSee ホームデータベースで、重要度のついたファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイアイコンを表示します。
埋め込み保留中	メタデータ情報が追加されACDSee ホームデータベースに保存されているものの、まだファイルには書き込まれていないファイルのサムネイルに、データベースオーバーレイアイコンを表示します。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。
アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイルフォーマットのオーバーレイアイコンを表示します。
カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイアイコンを表示します。
コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合、サムネイルにコレクションのオーバーレイアイコンが表示されます。
ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイアイコンを表示します。
オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイアイコンを表示します。
除外された項目	ACDSee ホームデータベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに[除外されたファイル]アイコンを表示します。
タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイアイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイアイコンを表示します。
編集済み	編集されたファイルのサムネイルに、編集のオーバーレイアイコンを表示します。
ジオタグ済み	位置情報が付けられたファイルのサムネイルに、マーカのオーバーレイアイコンを表示します。
ラベル	ラベルが付けられたファイルのサムネイルに、カラーラベルのオーバーレイアイコンを表示します。

サムネイルのスタイル オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内に表示された画像のサムネイルの表示方法を変更できます。これらのオプションは、[ファイル一覧]>[サムネイルのスタイル]の下で設定されています。

サムネイルのスタイル オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [サムネイルのスタイル] をクリックします。
3. 「サムネイルのスタイル」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイルのスタイル オプション

サムネイルのフレーム	
ドロップシャドウの表示	サムネイルに3Dのドロップシャドウを追加します。
スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
フォルダのスタイル	
XP スタイル	Microsoft XP for Windowsのスタイルでフォルダを表示します。
3D スタイル	透明度の付いた3Dスタイルでフォルダを表示します。
サムネイルの比率	
カスタム	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、縦向き標準縦横比 3:4を指定します。
横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、横向き標準縦横比 4:3を指定します。
サムネイルの間隔	
スライダ	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	
ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で拡大縮小して表示します。	

詳細表示オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示オプションを変更するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] > [詳細表示] をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

詳細表示オプション

グリッド線を表示	詳細表示モードで各行と列をグリッド線で分けます。
全行を選択	その行の列エントリをクリックすると、その行全体が選択されます。
列の自動幅	各列を内容に合わせて自動でリサイズします。
ソート列をハイライト	列のタイトルをクリックすると、ファイルをソートする列が強調表示されます。
詳細を選択	詳細表示モードでファイルをソートする列を指定します。

プレビューペインオプションを設定する

プレビューペインでは、ACDSee ホーム の画像の表示方法を指定することができます。また、プレビューペインでオーディオやビデオファイルを閲覧するとき、自動再生するように設定することも可能です。

プレビューオプションを設定するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ツール]>[オプション]>[プレビュー...] をクリックします。
 - [管理]モードで、プレビューペイン内の任意の場所を右クリックし、[プレビューオプション]を選択します。
2. 「プレビュー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
3. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

プレビューオプション

ダイレイ	ファイル一覧ペインで画像を選択した後、プレビューペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオクリップのプレビュー	ファイル一覧ペインで選択されたメディアファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオクリップの自動再生	プレビューペインでオーディオまたはビデオクリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタントプレビューを表示します。
画像と情報	次のいずれかを選択します。 • 画像の表示: プレビューペインに、選択した画像のプレビューを表示します。 • 情報の表示: プレビューペインに、選択した画像の情報を表示します。
プレビュー情報の選択	プレビューペインで表示する情報の種類を指定します。詳細については、 [画像のプレビュー] の項を参照してください。

フォルダペインオプションを設定する

イージーセレクトバーの表示 / 非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダペインをカスタマイズすることができます。

フォルダペインをカスタマイズするには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[フォルダ] をクリックします。
3. 「フォルダ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

フォルダペイン オプション

イージーセレクト

イージーセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクトバーをフォルダペインに表示します。
イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクトバーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。

フォルダ表示

フォルダペインにアーカイブを表示する	フォルダペインにアーカイブファイルを一覧表示します。
フォルダペイン内で、ドラッグ & ドロップをする際に確認する	フォルダペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
除外されたフォルダのオーバーレイアイコンを表示する	ACDSee ホームデータベースから除外されたフォルダにオーバーレイアイコンが表示されます。

カタログペインオプションを設定する

カタログペインのオプションを使って、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するかの選択や、イージーセレクトバーの表示 / 非表示などを指定することができます。

カタログペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[カタログ] をクリックします。
3. 「カタログ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックします。

カタログ オプション

カテゴリの削除

カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する

割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。

カテゴリにサブカテゴリが含まれているか確認する

サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。

ファイルの削除

カテゴリからファイルを削除する際に確認する

カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。

イージーセレクト

イージーセレクトを表示する

複数の [カタログ]、[スペシャル アイテム]、[重要度] を選択することができるイージーセレクトバーが、カテゴリペインに表示されます。

イージーセレクトのワンポイントを有効にする

イージーセレクトバーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。

アイコン

カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテム用にアイコンを表示する

カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテムのアイコンが表示されるため、これらの適用されたファイルが識別しやすくなります。

カテゴリ、重要度カラーラベル、特別項目用にアイコンを表示する

カタログ ペインでカテゴリ、重要度、カラーラベルを設定可能にします。

カレンダー ペイン オプションを設定する

ACDSee ホームのカレンダーをカスタマイズすると、各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択したりすることができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [カレンダー] をクリックします。
3. 「カレンダー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カレンダー ペイン オプション

日付の種類

データベースの日付	ACDSee ホームデータベースに保存されている日付に基づいて、カレンダーペインのファイルを並べ替えます。
撮影日	各項目のEXIFの日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
ファイル更新日時	各項目の最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
ファイルの作成日時	各項目がコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。

フィルタ

アドバンス ファイラー 一覧フィルタの適用 (フォルダの除外)	ファイラー 一覧ペインでの現在の フィルタ設定 内容に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
画像とメディア ファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。

週の始まり

カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。

時計の表示形式

12時間	カレンダー ペインで12時間時計を使用します。
24時間	カレンダー ペインで24時間時計を使用します。

CD/DVD管理 オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して フォトディスクを識別する際に優先して適用する方法を設定できます。

Burn Basketや 変更するには以下の手順を実行します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで [CD/DVD管理]をクリックします。
3. 「CD/DVD管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

CD/DVD管理 オプション

フォトディスクのID

ディスクのボリューム ラベルを使用する	ディスクのボリュームラベル別にフォトディスクを識別します。マルチセッションのフォトディスクで作業する場合には、この設定を選択します。
ディスクのシリアル番号を使用する	ディスクのシリアル番号別にフォトディスクを識別します。シングルセッションのフォトディスクで作業する場合、あるいは ACDSeeの以前のバージョンからフォトディスクをインポートまたは変換する場合には、この設定が推奨されます。

プロパティペイン オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、プロパティペインのメタデータタブに表示する情報をカスタマイズすることができます。

プロパティペインにメタデータ タブを追加するには:

1. [管理] モードで、[ツール] から [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [プロパティ ペイン] をクリックします。
3. [プロパティ ペイン] ページから、[タグ、重要度、カラーラベルを表示する] のチェックボックスをオフにします。
4. チェックボックスをオフにして、カテゴリを非表示にします。
5. [メタデータ表示の管理] をクリックして [表示するメタデータの選択] ダイアログボックスを表示します。
6. [+] マークをクリックしてツリーを展開し、希望する項目を選択します。
7. [OK] をクリックします。
8. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。



プロパティペインのメタデータタブにある [メタデータの表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理] を選択することもできます。

ファイル管理 オプションを設定する

ACDSee ホームでファイルやフォルダの名前を変更・削除する方法を指定できます。またACDSee ホームにてデフォルトで削除したファイルをデスクトップのごみ箱に送信するかどうか設定できます。

ファイル管理オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [ファイル管理] をクリックします。
3. 「ファイル管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル管理 オプション

確認

以下のオプションを使用すると、フォルダーまたはファイルの削除時に確認ダイアログを表示できます。

Windows 8以降を使用している場合、Windowsの設定がACDSeeの設定を上書きまたは確認します。このダイアログの設定を有効にするには、ごみ箱のプロパティ設定で有効にする必要があります。

- フォルダの削除を確認する
- ファイルの削除を確認する

重複ファイルの上書き

確認する	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
名前の変更	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムでファイル名を分離する際に使用する文字を[分離文字] フィールドに入力します。
置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。

オリジナルの保存

一括編集ツールの1つを使用して編集が行われる際、オリジナル ファイルを保存します。そのため、編集を行った後に気が変わり、元のファイルに戻したい、という場合に対応することができます。このオプションをオフに設定すると、一括編集ツールを使用する際、オリジナル ファイルが保存されないため、復元不可能となります。ご注意ください。

編集モードでは、このオプションがオフに設定されていても必ずオリジナル ファイルが保存されます。

その他

ファイル名をクリックして変更する	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハードディスクから完全に削除されます。
ファイルをコピーするときに、データベース情報を保持する	ファイルを別の場所にコピーしても、そのファイルのデータベース情報が同時に保存されます。



フォルダの削除、ファイルの削除、読み取り専用ファイルの名前変更、削除の確認につきましては、お使いのオペレーティングシステムの設定をご利用ください。

データベースオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームを設定したり、データベース情報をコントロールしたり、データベース ファイルやサムネール キャッシュの保存先を設定したりすることができます。

データベース オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの[データベース] をクリックします。

3. 「データベース」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

データベース オプション

データベース ファイル

ACDSee ホームデータベースが保存されているハードドライブ上の場所を表示します。

バックアップ アラームの表示

ACDSee ホームデータベースをバックアップするようアラームで自動的に知らせます。**すべての**ドロップダウンリストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。

除外されたフォルダの管理

[除外されたフォルダ]一覧のダイアログボックスを開き、ACDSee ホームデータベースから除外したいフォルダを指定します。

ACDSee メタデータの埋め込み リマインダーを表示する

ACDSee メタデータの埋め込みを知らせるリマインダーが表示されます。**すべての**ドロップダウン リストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。

EXIFの日付にデータベースの日付を設定する

フォルダの内容をカタログ化する際、EXIFの日付がACDSee ホームデータベースへ自動で追加されます。



注意: データベースの日付を変更した場合は、埋め込みが保留中であることを示すアイコンは表示されません。

メタデータ

**カタログ化された
ファイルから
EXIFとIPTCメ
タデータをイン
ポートする**

フォルダの内容をカタログ化する際は常に、EXIFおよびIPTCの情報を自動的にACDSee ホームデータベースにインポートします。

このオプションが選択されない場合、ACDSee ホームはEXIFとIPTC情報をインポートしませんが、データベースの履歴内に格納します。空の履歴を削除するには、データベースの最適化を頻繁に行ってください。

**ファイルヘタグ付
けする時に【埋
め込み保留中】
を設定する**

ファイルがタグ付けされると、データベースのオーバーレイアイコンを表示しますが、メタデータはまだファイルに書き込まれません。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。このオプションが無効の時は、カタログペインのスペシャルアイテムにある【埋め込み保留中】の下にタグ付けした画像は表示されません。

IPTCコンフリクト

**IPTCキーワード
用に分離文字の
コンフリクトダイ
アログを表示する**

分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTCキーワードダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

**IPTCの補充カ
テゴリ用に分離
文字のコンフリ
クトダイアログを
表示する**

分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC補充カテゴリダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

メディアモードのオプションを設定する

メインメニューから【ツール】>【オプション】の順に選択し、【オプション】ダイアログを開き、左側のリストから【メディアモード】を選択します。
【メディアモード】ペインのオプションには、次の2つのフィールドセットが含まれます。

- メディア、そして
- ポップアップ

メディア設定

データベースのオーファン ファイルを表示する	データベースのオーファンファイルを表示できるようにします。
管理モードに切り替えるときに最初に選択したファイルを参照する	管理モードに切り替えるときに最初に選択したファイルを参照する

ポップアップオプション

マウスのカーソルを項目の上に合わせたときにポップアップを表示する	マウスカーソルをホバーしてポップアップをアクティブにできるようにします。
<Shift> キーでポップアップを有効にする	Shift キーを押してポップアップをアクティブにできるようにするには、有効にします。
ポップアップを自動的に隠す	ポップアップを自動的に非表示にします。
サムネイルのポップアップを表示する	ポップアップに元の画像のサムネイル画像を表示できるようにします。
ポップアップに情報を表示	ポップアップに画像関連の情報を表示できるようにします。
情報の設定...	【ポップアップに情報を表示する】チェックボックスが有効になっている場合は、【情報の構成...】ボタンをクリックして、【ポップアップ情報の選択】ダイアログを開きます。使用可能な詳細は、現在表示されている詳細のリストに追加またはリストから削除でき、リスト内で上下に移動することもできます。

表示モードのオプションを設定する

【オプション】ダイアログ ボックスを使用して、表示モードの動作を自由に調整したり、画像を表示する速度を速めたりすることができます。

表示モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、【ツール】>【オプション...】をクリックします。
2. 【オプション】ダイアログ ボックスの【表示モード】をクリックします。
3. 「表示モード」オプションのページで、下記を参考にして表示モードオプションを変更または設定します。
4. 【OK】をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示モードオプション

デコード/キャッシュ

次の画像を前もってデコードする

表示モードで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。

以前の画像をメモリに保存する

表示モードですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。

起動ファイル

一覧の画像を置換する

画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規の表示モードウィンドウで表示しません。

画像を新規ウィンドウで表示する

他のアプリケーションで表示されている画像を、新規の表示モードウィンドウで開きます。

ドロップ ファイル

一覧の画像を置換する

表示モードで表示されている画像の一覧を、他のアプリケーションから表示モードに移動した画像に置き換えます。

一覧に画像を追加する

他のアプリケーションから表示モードに移動した画像を、表示モードで既に表示されている画像の一覧に追加します。

常に手前に表示する

ACDSee ホームウィンドウを、重なったウィンドウ群の常に一番手前に表示します。

フルスクリーンにする

表示モードで、画像をフルスクリーンモードで表示します。(F キーを押してフルスクリーンモードを終了します。)

フルスクリーンでマウスポインタを隠す

フルスクリーンモードで、マウスポインタを非表示にします。

画像プレビュー

画像がデコードされる際、高画質のインスタントプレビューを表示モードに表示します。

ACDSee ホームクイックビューを使う

選択すると、ACDSee ホームが閉じている際のデフォルトの画像ビューアとして、ACDSee ホームクイックビューが設定されます。

100%より拡大した場合にピクセルを表示する

100%を超えて拡大した画像にはリサンプリングは適用されません。このオプションが無効の場合、100%を超えて拡大した場合もリサンプリングを行って画像を滑らかにしますが、画像がぼける場合があります。

常に選択した自動レンズで開く

起動時に、ACDSeeを前回終了する前に選択していた自動レンズで画像を開きます。

削除/移動後に終了する

表示モードの画像を移動 / 削除した後に、自動的に管理モードに戻ります。

フォルダ内のすべての画像を表示する

フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。

画像ファイルの完全なパスを表示する

表示モードのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。

サブサンプル済画像のシャープネス

100%より小さくズームされた画像を、シャープネスを自動的に適用して表示します。

人物モードオプションを設定する

メインメニューから【ツール】>【オプション】の順に選択し、【オプション】ダイアログを開き、左側のリストから[人物モード]を選択します。

人物モードペインのオプションには、次の4つのフィールドセットが含まれます：

- 確認プロンプト
- サムネイルのスタイル
- フォルダペインのスタイル
- 無題のビューのスタイル

確認プロンプトオプション

すべての提案に対し、確認のプロンプトを表示しない	すべての提案を確認するときにプロンプトをオフにできるようにします。
すべての提案を拒否するときにプロンプトを表示しない	すべての提案を拒否するときにプロンプトをオフにできるようにします。
顔を削除するときにプロンプトを表示しない	顔を削除するときにプロンプトをオフにできるようにします。

サムネイルのスタイル オプション

顔のサムネイル	人物の顔が描かれたサムネイルを使用できるようにします。
アセットのサムネイル	アセットの元の寸法でサムネイルを使用できるようにします。

フォルダペインスタイルオプション

一覧	[フォルダ]ペインのデフォルトとしてリストビューを使用できるようにします。
ツリー	[フォルダ]ペインのデフォルトとしてツリービューを使用できるようにします。

名前のないスタイルオプション

未グループ化	名前のないビューの結果を並べ替えるためのデフォルトとして、 グループ化 されていないカテゴリを使用できるようにします。
グループ化	名前のないビューの結果を並べ替えるデフォルトとして、 グループ化された カテゴリを使用できるようにします。
ポップアップ オプション	
マウス カーソルを置くとポップアップがアクティブになります	マウス カーソルをホバーしてポップアップをアクティブにできるようにします。
<Shift> キーでポップアップがアクティブになります	Shift キーを押してポップアップをアクティブにできるようにします。
ポップアップを自動的に非表示にする	ポップアップの自動非表示を有効にします。
ポップアップにサムネイルを表示	元の画像のサムネイル画像をポップアップに表示できるようにします。
ポップアップに情報を表示	ポップアップに画像関連の情報を表示できるようにします。
情報の設定...	ポップアップに情報を表示するチェックボックスが有効になっている場合は、 情報を設定... ボタンをクリックして ポップアップを選択上情報 ダイアログ。利用可能な詳細は、現在表示されている詳細のリストに追加または削除でき、リスト内で上下に移動することもできます。

表示オプションを設定する

オプション ダイアログボックスを使用して、ウィンドウの背景を変更したり、ズームの方法を指定したりすることができます。

表示オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[表示] をクリックします。
3. [表示] オプションのページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示オプション

ズーム オプション

ズームモードの既定値

表示モードで表示される画像用に、[ズームレベル](#)の既定値を指定します。

画像の変更時に、ズーム レベルを既定値にリセットする

表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。

サイズ変更

設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューアに影響するかについての詳細は、[画像を自動的に拡大/縮小する](#)をご覧ください。

パンツール

クリックズームを使う

このオプションが有効の場合、マウスのクリックで、既定の表示サイズと原寸表示を切り替えます。

パンニング速度

低速 - 高速

画像をパンする際の速度を指定します。

背景

既定色

表示および編集モードの背景にデフォルトのACDSeeホーム色を使います。

カスタム色

表示および編集モードの背景に使用する色を指定します。

並列画像

表示および編集モードの背景に並列画像を使用します。[\[参照\]](#)をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。



背景色と並列画像のオプションは、フルスクリーンモードには反映されません。



ACDSee クイックビューの背景色を変更するには、[クイックビューで画像を開き](#)、[\[ツール\]](#)メニューから[\[オプション\]](#)をクリックします。

編集モードオプションを設定する

編集モードでは、オプションダイアログボックスを使ってアイコンを表示できます。

編集ペインでアイコンを表示するには:

1. いずれかのモードで、[\[ツール\] > \[オプション...\]](#)をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、[\[編集モード\]](#)をクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. [\[OK\]](#)をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

編集	フィルタ メニュー ペインのアイコンを表示	編集で、ツールのそばにアイコンを表示します。
	すべての変更を自動保存する	[自動保存]のオンとオフを切り替えます。[自動保存]は、[変更を保存]ダイアログを表示せずに、編集モードで変更を自動的に保存します。
	GPU選択	最適なパフォーマンスを確保するために、編集モードの一部はGPUから実行されます。ACDSee ホームはシステムに最適なGPUを自動的に選択します。このオプション(ACDSee 写真館に判断させる)は、デフォルトで有効になっています。ACDSee 写真館に判断させるが有効になっていると、オプションの横にGPUモデルのテキストが表示され、編集モードがプライマリGPUで実行されているか、ACDSee ホームが検出した別のより優れたGPUで実行されているかが表示されます。ほとんどの場合、ACDSee ホームによって最適と検出・識別されたGPUは、同じもの、つまりプライマリGPUになります。 ・ プライマリを使用: ACDSee ホームが選択されたGPUではなく、プライマリGPUを使用したい場合は、このオプションを有効にします。 ・ ACDSeeに任せる: ACDSeeが検出したより高性能なGPUを使用するには、このオプションを選択します。

ACDSee 365オプションを設定する

[ACDSee 365オプション] ダイアログを使って、一時フォルダの場所、ACDSeeを閉じる際ダウンロードおよびアップロードの操作をどうするか、などのオプションを設定します。

ACDSee 365オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [ACDSee 365] をクリックします。
3. 「ACDSee 365」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee 365オプション

フォルダの場所	
一時フォルダ	[参照] ボタンをクリックして、アップロード/ ダウンロード中に ACDSee ホームが一時的にファイルを保持するフォルダの場所を変更します。
アップロード/ダウンロード	
シャットダウンする際、すべての転送を一時停止する	ACDSeeを閉じる際、転送作業を一時停止します。
起動する際、一時停止されたすべての転送を再開する	ACDSeeを再度起動する際、転送作業を再開します。
同時アップロード数 (1-10 まで)	同時にアップロードするファイル数を選択します。
同時ダウンロード数 (1-10 まで)	同時にダウンロードするファイル数を選択します。
重要度	
重要度 1 を 5 に変換	重要度1を5つ星表示に変換します。
重要度 1 を 1 に変換	重要度1を1つ星表示に変換します。

ACDSee Showroom オプションを設定する

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、スライドの表示間隔、順序、移行、フレームの透明度、サイズ、フレーム スタイルなどを指定することで、自由にカスタマイズできます。

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、以下の手順でカスタマイズします:

1. 以下に挙げる手順いずれかを実行して、ACDSee Showroom を起動します。
 - いずれかのモードで、[ツール] > [作成] > [**ACDSee Showroom**] をクリックします。
 - [スタート] > [プログラム] > [**ACD システム**] > [**ACDSee Showroom**] の順にクリックします。
2. ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[**オプション**] を選択します。
3. 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
4. 現在選択されているオプションを新規 Showroom ウィンドウの既定値として保存するには、[**既定値として設定**] をクリックします。
5. [**OK**] をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroom のオプション

画像 フォルダ

サブ フォルダを含む

スライドショーにサブ フォルダの画像 も含みたい場合には、このオプションを選択します。

隠しファイルはスキップする

[オリジナル] フォルダのように、画像処理を実行する際に作成される隠しフォルダをスキップしたい場合には、このオプションを選択します。

スライド

長さ

各写真の表示時間を短くするにはスライドを左に、長くするにはスライドを右にドラッグします。

順序

ドロップダウンから、[順次] を選択して写真を順番に表示するか、[ランダム] を選択してランダムに表示します。

トランジション

[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には [なし] を、画像を右から画面に登場させ左へと移動させる場合には [スライド] を、次の画像に移る際に現在の画像の透明度を徐々に上げるには [フェード] を選択します。

すべてに適用

変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。

Showroomウィンドウ

透明度

Showroomウィンドウの透明度を減らすにはスライドを左に、透明度を増やすにはスライドを右にドラッグします。

サイズ

[サイズ] ドロップダウンから、Showroomウィンドウのフレームサイズを [スモール]、[ミディアム]、[ラージ] のいずれかから選択します。

フレーム

[フレーム] ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。

常に手前に表示する

Showroomウィンドウをその他すべてのアプリケーションの上に表示するには、[常に手前に表示する] を選択します。

すべてに適用

変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。

起動時に実行する

コンピュータの起動時にACDSee Showroomを自動的に起動するには、[起動時に実行する] を選択します。

ACDSee クイックビュー オプションを設定する

ACDSee クイックビューは何通りかの方法でカスタマイズできます。クイックビューを開いているウィンドウいずれかの上に表示したり、クイックビューをフルスクリーンで表示したりすることもできます。また、クイックビューウィンドウの背景色を変更することも可能です。

ACDSee クイックビュー は以下の手順でカスタマイズします:

1. 画像をダブルクリックします。例えば、Windowsエクスプローラ内 または メールに添付された画像をダブルクリックします。
2. [ツール]>[オプション...]をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSee クイックビュー オプション

ACDSee クイックビュー を使用する

ACDSee クイックビューを選択すると、ACDSee ホーム が閉じている際の既定の画像ビューアとして設定されます。

ガンマ補正

画像を表示する際に、指定されたガンマ補正値を適用します。

アニメーションを無効にする

動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。

常に手前に表示する

重なったウィンドウの手前に常にクイックビュー ウィンドウを表示します。

フルスクリーン

クイックビュー ウィンドウで、画像をフルスクリーン モードで表示します。

マウスポインタを隠す

フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。

ズームモードの既定値

画面に合わせる	クイックビューウィンドウに収まる最大の倍率で画像を拡大して表示します。クイックビューウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
実際のサイズ	画像の実寸サイズで表示します。

背景

既定色	ACDSee ホーム の背景色をクイックビューで使います。
カスタム色	クイックビューウィンドウの背景として使用する色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

メディア オプションを設定する

ACDSeeから起動するオーディオ ファイルおよびビデオ ファイルを処理するアプリケーションを変更できます。

ACDSeeで起動するファイルに使用する既定のメディア プレーヤーは、以下の手順で変更します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[メディア] をクリックします。
3. 音楽ファイルや動画ファイルをお使いのシステムの既定のメディア プレーヤーで開くには、[既定のメディア プレーヤーで音楽、動画ファイルを開く]オプションにチェックを入れます。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSeeインデクサー オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスで、ACDSeeインデクサーの機能をカスタマイズできます。

ACDSee インデクサーは以下の手順でカスタマイズします:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[**ACDSeeインデクサー**]をクリックします。
3. ACDSeeインデクサーのページで、以下の説明に従ってオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSeeインデクサー オプション

コンピュータが次の時間以上アイドルした 場合、フォルダまたは画像を自動でインデッ スする	コンピュータのアイドル中にフォルダまたは画像のインデックスが実行されます。イン デックスが開始されるまでのコンピュータのアイドル時間を、スライダで設定します。
画像ファイルのみをインデックスする	ACDSeeが対応しているファイルタイプすべての選択を解除します。
現在のデータベース	インデックスするデータベースを表示します。
モニタリングするフォルダ	インデックスされるフォルダを表示します。
フォルダの追加...	[フォルダの追加...] ボタンをクリックして、インデックスしたいフォルダをさらに追加しま す。
フォルダの削除	リストでフォルダを選択し、[フォルダの削除] ボタンをクリックすると、インデックスされる フォルダから対象のフォルダを削除できます。
Microsoft OneDriveを含む	OneDriveフォルダのインデックス作成を有効にします。

ACDSee PicaView オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、ACDSee PicaViewの設定を変更したり、PicaViewの有効/無効を切り替えたりできます。

ACDSee PicaView オプションを調整するには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、 **ACDSee PicaView**をクリックします。
3. ACDSee PicaViewページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Picaview オプション

ACDSee Picaviewを有効にする

このチェックボックスをオンまたはオフにすると、ACDSee PicaViewが有効または無効になります。有効にすると、ACDSeeに対応したファイルをハードドライブ内のどこでも右クリックすることで ACDSee PicaViewを表示できます。ファイルや画像および EXIF情報のプレビュー表示、または画像ファイルのプレビューだけ、EXIF情報のプレビュー表示だけ、など選択できます。

画像の表示

画像の表示 チェックボックスをオンにすると、右クリックしたファイルのプレビューが表示されるようになります。

場所

- **画像をメインメニューに追加する:** 右クリックした画像がメインメニューに表示されます。
- **画像をサブメニューに追加する:** 右クリックした画像がサブメニューに表示されます。サブメニューは **ACDSee PicaView**横の矢印をクリックすると表示されます。

サイズ

右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。

オリジナルの表示

[**オリジナルの表示**]を選択すると編集前の画像が右クリック時に表示されます。

EXIF 情報を表示する

[**EXIF情報を表示**] チェックボックスをオン/オフすることで、右クリックした写真のEXIF情報を表示/非表示に設定できます。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定する

ACDSee Mobile Sync設定を変更するには、オプションダイアログボックスを使用します。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[**ACDSee Mobile Sync**]をクリックします。
3. ACDSee Mobile Syncのページで、下記のようにオプションを設定します。
4. [**OK**]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Mobile Syncオプション

ルート フォルダ

[**フォルダを参照**] ボタンをクリックして、送信済みの画像とビデオの保存先を指定します。

サーバー名

送信先サーバー(PCの ACDSee)の名前をカスタマイズするには、フィールドにテキストを入力してください。この名前が、ACDSee Mobile Syncアプリの送信先一覧に表示されます。

フォルダツリーにACDSee Mobile Syncのルート フォルダを表示する

フォルダペインにACDSee Mobile Syncのフォルダを表示します。

インポートオプション

インポートオプション ツールを使用すると、以前のバージョンの ACDSee から設定をシームレスに移行できます 2022。

ユーザーは、モード構成を除いて、オプションパネル内のすべての設定をインポートできます。



以前のバージョンの **ACDSee Photo Studio** がインストールされている場合 (2022), **ACDSee 写真館 2026 ホーム** **Microsoft** ストア用 **ACDSee** プログラムの初回実行時にオプションが自動的にインポートされます。

ツールの使用方法:

オプションは自動的にインポートされますが、オプションを再度インポートする必要がある場合があります。たとえば、新しいバージョンの **ACDSee 写真館 2026 ホーム** をインストールし、その後、以前のバージョンに戻って設定にいくつかの変更を加えた場合です。オプションを手動でインポートすると、ソフトウェアがいつインストールされたかに関係なく、最新の設定を引き継ぐことができます。

1. ツール | オプション...をクリックします
2. ダイアログボックスで、[一般]の下 の[インポートオプション]をクリックします
3. インポート...をクリックします
4. 確認ダイアログで[OK]をクリックします
5. **ACDSee**を再起動するように求められたら、[OK]をクリックします



このマシンで前のバージョンの**ACDSee**が起動されていない場合、オプションは表示されません。



インポートツールは、同じ製品モデル内の古いバージョンからのみインポートします。(e.g. **ACDSee 写真館 2026 ホーム** 古いバージョンの **ACDSee Photo Studio** からのみオプションをインポートできます ホーム.)



インポートツールは常に、見つかった最新の以前のバージョンからインポートします。(例: **ACDSee Photo Studio** の場合 ホーム2022 および **ACDSee フォトスタジオ ホーム2023** 両方がインストールされていますが、**ACDSee Photo Studio** からの設定のみがインストールされています ホーム2023 輸入 されます。)



検索オプションをインポートする場合、クイック検索オプションのみが影響を受けます。

ペインとパネルを自動非表示にする

自動非表示ボタンを使用して、**ACDSee** 内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを移動すると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトルバーに表示されている自動非表示ボタンは、現在の設定を表示します:

水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。

斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定 / 解除するには:

パネルのタイトルバーにある**[自動非表示]** ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

タスクペインを使用する

タスクペインは、**ACDSee**における現在のロケーションや選択範囲に基づき、メニューやツールバーで頻繁に使用するタスクグループを設定し、表示します。タスクペインは通常、管理モードウィンドウの右手に開かれます。

タスクペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、[ペイン] から[タスクペイン]をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中の管理モードの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには 1 つの画像またはメディアファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されます。

また、タスクペイン メニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が[画像の補正と修整]メニューに表示されます。

ツールバーをカスタマイズする

表示するツールバーと、ツールバーの各ボタンやコマンドを指定することで、管理モードと表示モードのツールバーの外観と構成をカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示/非表示にする

管理モードと表示モードでは、特定のツールバーの表示/非表示を選択することができます。

ツールバーを表示/非表示にするには

- 管理モードまたは表示モードで、[表示] > [ツールバー]をクリックし、表示または非表示にするツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次のツールバーをカスタマイズすることができます。

- 管理モード: メイン ツールバーとファイル一覧 ツールバー。
- 表示モード: 画面下のツールバー

これらのツールバーでは、ボタンの追加、削除、並び替えができます。これらのツールバーのボタンについてのテキストラベルやヒントも表示/非表示にすることができます。ツールバーのカスタマイズ オプションはすべて、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスにあります。

[カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示するには

以下のいずれかの操作を行います。

- 管理モードで、[表示] > [ツールバー]をクリックし、[カスタマイズ]を選択します。
- 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル一覧 ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]を選択し、[カスタマイズ]を選択します。
- 表示モードで、画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]を選択し、[カスタマイズ]を選択します。

ボタンを追加または削除するには

管理モード:

メイン ツールバー:

- メイン ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
- [ボタンの追加または削除] > [メイン ツールバー]を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ファイル一覧 ツールバー:

- [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、コマンド タブでコマンド フィールドから項目をツールバーにドラッグすると、ボタンが追加されます。
- ボタンを削除するには、ツールバーから[カスタマイズ]ダイアログ ボックスにドラッグします。

表示モード:

画面下のツールバー:

1. 画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. **[ボタンの追加または削除]** > **[画面下のツールバー]**を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ツールバー ボタンを並び替えるには

[カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、ツールバーの配置したい位置へボタンをドラッグします。

【ツールバー】ボタンの下のラベルを表示/非表示にするには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. **【ツールバー】** タブをクリックします。
3. 管理モード: **[ファイル一覧 ツールバー]**または**[メイン ツールバー]**を選択します。
表示モード: **[画面下のツールバー]**を選択します。
4. **[テキスト ラベルを表示する]**チェックボックスをオンにしてテキスト ラベルを表示させるか、**[テキスト ラベルを表示する]**チェックボックスを解除してテキスト ラベルを非表示にします。
5. **[閉じる]**をクリックします。

ツールバー ボタンのワンポイントを表示/非表示するには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. **[オプション]** タブをクリックします。
3. **[ツールバーにワンポイントを表示する]** を選択してワンポイントを表示するか、**[ツールバーにワンポイントを表示する]** をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、**[ワンポイントにショートカット キーを表示する]** オプションを選択して、ワンポイントにショートカット キーを表示することができます。
4. **[閉じる]**をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. **【ツールバー】** タブでをクリックしてから、**[すべてリセット]** を選択します。
3. **[はい]** をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. **[閉じる]**をクリックします。

ツールバーとペインの位置をカスタマイズする

ほとんどのツールバーおよびペインは、好みに合わせて、非表示、サイズ変更、フロート、移動、固定することができます。管理モードで使用方法をカスタマイズするすべての方法を見るには、[\[管理モードを使用する\]](#)を参照してください。

ペインを非表示にする

管理、表示、編集 モードの右上部にある表示/非表示 ボタンを使用して、スクリーンの左、右、下部にあるペインを表示/非表示 することができます。

左側のパネルの表示/非表示



下部のパネルの表示/非表示



右側のパネルの表示/非表示



表示、編集 モードでペインやツールバーを固定 する

ペインやツールバーを、固定位置または現在のフロート位置から、新しい場所に移動 することができます。

 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを移動するには:

1. 移動したいペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ペインまたはツールバーのタブを新しい場所にドラッグします。
- ペインまたはツールバーのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。
- デュアル モニタをご利用の場合、ペインやツールバーをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

表示、編集 モードでペインやツールバーを固定 する

ペインやツールバーを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを固定するには:

ペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、すべてのペインおよびツールバーはサイズ変更 できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインまたはツールバーの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが両側に矢印が付いた線になるまで待ちます。
2. ペインまたはツールバーの外枠をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインまたはツールバーの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドして、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。



表示、編集モードで、フォルダ内の参照を手早く片付けるために、フィルムストリップを拡大することができます。フィルムストリップのサイズを変更するには、外枠の一部をドラッグしてください。



ACDSee アクションバー、さらに描画および選択ツールバーを移動することができます。

カスタム メニューを作成する

カスタマイズしたコマンドに素早くアクセスできるように、管理モードで新規メニューを作成できます。作成した新規メニューの名前や場所をカスタマイズすることもできます。

新規メニューを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、[表示] > [ツールバー] をクリックし、[カスタマイズ] を選択します。
 - 管理モードで、メインツールバーまたはファイル一覧ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除] 次に [カスタマイズ] を選択します。
- カスタマイズのダイアログボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリリストから [新規メニュー] を選択します。
- コマンドフィールドで [新規メニュー] を選択し、ツールバーの設置したい場所までドラッグします。

新規メニューにコマンドを追加するには:

- カスタマイズのダイアログボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリリストからいずれかのオプションを選択します。
- コマンドフィールドで追加したいコマンドを選択し、ツールバーの新規メニューまでドラッグします。新規メニューがドロップダウンします。メニュー上にコマンドをドロップします。

新規メニューまたはコマンドを削除するには:



新規メニューまたはコマンドを削除するには、カスタマイズダイアログボックスを開く必要があります。

新規メニューまたはコマンドを右クリックして、コンテキストメニューから [削除] を選択します。

新規メニューの名前を変更するには:



新規メニューの名前を変更するには、カスタマイズダイアログボックスを開く必要があります。

- 新規メニューを右クリックして、コンテキストメニューから [ボタン表示...] を選択します。
- ボタン表示ダイアログボックスで、[テキストのみ] を選択し、ボタンテキストフィールドに名前を入力します。
- [OK] を押します。

外部エディタを設定する

ACDSee内から外部の編集アプリケーションで画像を開くには、ACDSee ホームにてACDSee Luxea Video Editorなどのさまざまな画像エディタで動作するように設定し、ACDSee ホームにてデフォルトで使う画像エディタを指定してください。



外部エディターを設定した後でないと、ショートカットキーを割り当てたり、ツールバーのボタンとして使えるようになりません。

ACDSeeで外部エディタを設定するには:

1. 管理モードのメインメニューで、[ツール]>[外部エディタ]>[エディタを設定]の順に選択します。
2. [写真エディタの設定]ダイアログボックスにある[追加]ボタンをクリックします。
3. ハードドライブ上の画像編集アプリケーションのあるフォルダを参照します。
4. 編集アプリケーションの実行可能ファイルを選択します。(例: ACDSee Luxea VideoEditor.exe)
5. [開く]をクリックします。
6. [名前]フィールドにエディタ名を入力し、[OK]をクリックします。

デフォルトの外部エディタへのショートカットを作成するには:

1. メインメニューから[ツール]>[ショートカットのカスタマイズ]を選択します。
2. [ショートカットのカスタマイズ]ダイアログボックスで、[カテゴリ]ドロップダウンメニューから[ツール]を選択します。
3. [コマンド]メニューから[デフォルトの外部エディタ]を選択します。
4. [新しいショートカットキーを入力]フィールドに、ショートカットキーを入力します。
5. [適用]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

デフォルトの外部エディタへの新しいキーボードショートカットが設定されました。

外部エディタへのショートカットを個別に作成するには:

1. メインメニューから[ツール]>[ショートカットのカスタマイズ]を選択します。
2. [ショートカットのカスタマイズ]ダイアログボックスで、[カテゴリ]ドロップダウンメニューから[ツール]を選択します。
3. [コマンド]メニューから、希望する外部エディターを選択します。
4. [新しいショートカットキーを入力]フィールドに、ショートカットキーを入力します。
5. [適用]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタへの新しいキーボードショートカットが設定されました。

管理モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタを追加するには:

1. [エディタ]と[アクション]メニューオプションの右にあるツールバーオプションのドロップダウンの矢印をクリックして、[ボタンの追加または削除]>[カスタマイズ]の順に選択します。
2. [カスタマイズ]ダイアログボックスの[コマンド]タブで、[カテゴリ]リストから[ツール]を選択します。
3. ファイル一覧ツールバーに、該当する外部エディタをクリック&ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ファイル一覧のツールバーに追加されます。

表示モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタのボタンを追加するには:

1. ツールの右側にある[ツールバーオプション]ドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加と削除]>[カスタマイズ]の順に選択します。
2. [カスタマイズ]ダイアログボックスの[コマンド]タブで、[カテゴリ]リストから[ツール]を選択します。
3. [コマンド]リストで、[デフォルトの外部エディタ]を選択し、ツールバーへとクリック&ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ツールバーに追加されます。

画像エディタを管理するには:

1. **管理** モードのメインメニューで、**[ツール]>[外部エディタ]>[エディタを設定]**の順に選択します。
2. **[写真エディタの設定]**ダイアログボックスの**[エディタ]**一覧から、変更したいアプリケーションを選択します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - ・エディタの一覧に表示されている実行ファイルの場所やアプリケーション名を変更するには、**[編集]**をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定し、**[OK]**をクリックします。
 - ・ACDSeeの既定の外部エディタとしてアプリケーションを設定するには、**[既定として設定]**をクリックします。
 - ・アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、**[複数画像のサポート]**チェックボックスをオンまたはオフにします。
 - ・一覧からアプリケーションを削除するには、**[削除]**をクリックします。
4. **[OK]**をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

外部の画像エディタで画像を開くには：

1. **管理** モードまたは**表示** モード内で、外部エディタで開きたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・**[ツール]>[外部エディタ]>[デフォルトの外部エディタ]**の順にクリックするか、エディタの名前を指定します。
 - ・**Ctrl + Alt + X**キーを押して、既定の外部エディタで画像を開きます。

キーボードショートカットをカスタマイズする

頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボードショートカットが設定されています。既定のショートカットを変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンド用にショートカットを作成したりすることが可能です。カスタマイズ ショートカットダイアログボックスで設定可能なオプションはモード依存적であり、ダイアログを開いたときのモードに依存します。

 あるモードでカスタマイズされたキーボードショートカットは、定義されたコマンド名が同じであっても他のモードでは無効です。

 既にコマンドに割り当てられているショートカットを別のコマンドに割り当てると、元のコマンドから適用が解除されます。

キーボード ショートカットをカスタマイズするには

管理、表示、編集モードで、

1. **[ツール] > [ショートカットをカスタマイズ]**をクリックするか、**Ctrl + Shift + Alt + S**を押します。
2. **[カテゴリ]**ドロップダウンメニューから、**[ファイル]**、**[編集]**、**[表示]**などカテゴリを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、**[コマンド]**一覧ボックスに表示されます。
3. **[コマンド]**一覧ボックスから、コマンドを選択します。
 - ・選択されたコマンドにキーボードショートカットが既に設定されている場合、**[現在のキー]**ボックスにその組み合わせが表示されます。
 - ・選択されたコマンドにキーボードショートカットがまだ設定されていない場合、**[現在のキー]**ボックスは空白で表示されます。

既存のキーボードショートカットを削除するには、**[現在のキー]**ボックスからキーボードショートカットを選択し、**[削除]**をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには：

1. **[新しいショートカットキーを入力]**を入力してくださいテキストボックス内をクリックします。
2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。

新規のショートカットキーの入力テキストボックスに、押したキーが表示されます。入力したショートカットに既に割り当てられた機能がある場合、現在の割当フィールドに表示されます。

- 3. **[適用]**をクリックします。
[現行キー] ボックスに新規のキーボードショートカットが表示されます。
- 4. **閉じる**をクリックします。

カスタマイズしたキーボードショートカットをすべて削除して、既定のショートカットに戻すには、**[リセット]** をクリックします。

表示テーマを変更する

ACDSee ホームでは表示テーマを変更してペインやツールバーの背景色を変更できます。

配色を変更するには

- 1. 管理モードで、**[ツール] > [オプション]**をクリックします。
- 2. オプションダイアログボックスの**[管理モード]**をクリックします。
- 3. **配色**ドロップダウンリストからテーマを選択します。
- 4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

JPEGオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG画像の画質、エンコードの方法、カラー サブサンプリングの方法、JPEG画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

JPEGオプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG画像の画質を指定します。
エンコード	• プログレッシブ: プログレッシブエンコードを有効にします。 • ハフマン圧縮の使用: ハフマン圧縮を最適化して圧縮率を増やします。
カラー コンポーネント サンプリング	• 2:1 水平方向: 水平軸に2:1 の割合でカラー チャンネルをサブサンプリングします。 • 2:1 垂直方向: 垂直軸に2:1 の割合でカラー チャンネルをサブサンプリングします。
埋め込みサムネイル	• 既存のサムネイルのみ更新する: 既存の埋め込みサムネイルをすべて更新します。 • 常にサムネイルを追加/更新する: 既存の埋め込みサムネイルが存在する場合は更新を、存在しない場合は埋め込みサムネイルを作成します。 • サムネイルを追加 / 更新しない: 既存の埋め込みサムネイルを一切更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合に選択します。 • DCF互換サムネイルの生成: デジタルカメラ形式(DCF)規格を満たし、デジタルカメラのLCD上でのサムネイル表示に対応したサムネイルを生成します。160 x 120の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。
これらの設定を既定値として保存する	現在のJPEG設定を既定値として保存する場合には、このオプションを選択します。

章 10: ショートカット

管理モードのキーボードショートカット

管理モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。[カレンダー ペイン](#)内でも使用可能なショートカットもあります。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして[印刷...]を選択します。

ショートカット操作	操作
Alt + F4	ACDSee を終了する。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
入力	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
削除します	現在選択されている画像を削除する。
ACDSeeタブの使い方	
Ctrl + T	新規 タブで開く。
Alt + D	現在選択されているタブを重複します。
Ctrl + W	現在選択されているタブを閉じる。
Ctrl + Page Down Ctrl + Tab	現在選択されているタブの右隣のタブを有効にします。
Ctrl + Page Up Ctrl + Shift + Tab	現在選択されているタブの左にある前のタブを有効にします。
管理 モードを使用する	

ショートカット操作	操作
\ (円記号)	画像 ファイルにタグを付 けたり外したりします。

ショートカット操作	操作
` (アクサングラフ)	画 像 オーディオの切 り替 え。

ショートカット操作	操作
Alt + 0-5	選択されている項目にカラーラベルを割り当てる。 Alt + 0 でカラーラベルを削除します。
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする。
Alt + , (コンマ)	プロパティペイン内で最後に使用したタブを開く。
Alt + . (ピリオド)	プロパティペイン内の次のタブを開く。
Alt + Enter	プロパティペインを開く/閉じる。
Alt + G	[インポート] ダイアログ ボックスを開く。
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインに表示するファイルタイプを指定する。
Alt + K	プロパティペインの [メタデータ] タブの IPTC グループのキーワードセクションにカーソルを置く。
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する。
Ctrl + 0	評価をクリア。
Ctrl + 1	評価を1にする。
Ctrl + 2	評価を2にする。
Ctrl + 3	評価を3にする。
Ctrl + 4	評価を4にする。
Ctrl + 5	評価を5にする。
Alt + 0	カラーラベルをクリア。
Alt + 1	赤いカラーラベルを付ける。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを付ける。
Alt + 3	緑のカラーラベルを付ける。
Alt + 4	青いカラーラベルを付ける。
Alt + 5	紫のカラーラベルを付ける。
Alt + Shift + F	ファイル一覧ペインを最大化する。
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する。
Alt + W	ACDSee ホームの壁紙を適用する前に使っていたデスクトップの壁紙設定を復元する。
Alt + X	画像バスケット/ファイルバスケットから、現在表示されている項目を削除する。

ショートカット操作	操作
バックスペース	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する。
Ctrl + 0-5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。 Ctrl + 0 で重要度を削除します。
Ctrl + \ (円記号)	タグ付き画像を選択します。
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する。
Ctrl + B	選択された項目をアクティブな[画像バスケット]に追加する。
Ctrl + E	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + G	ファイル一覧をテキストドキュメントに作成する。
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + K	プロパティペイン内にあるカテゴリタブのキーワードフィールドにカーソルを置く。
Ctrl + N	ファイル一覧ペインに新しいフォルダを作成する。
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する。
Ctrl + P	選択中の画像か、ACDSee ホームの印刷ユーティリティの画像を開く。
Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C Ctrl + Insert	選択された項目をクリップボードにコピーする。
Ctrl + V Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける。
Ctrl + F	[クイック検索バー]にフォーカスが表示されて、検索クエリの入力が可能になる。
F5	管理モードの内容を更新する。
F3	検索ペインを開く。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
F4	コンテンツバーを表示する。
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード。

ショートカット操作	操作
F7	「ファイル一覧」から「フィルム ストリップ」表示モードに切り替える。
F8	「ファイル一覧」から「サムネイル」表示モードに切り替える。
F9	「ファイル一覧」から「タイル」表示モードに切り替える。
F10	「ファイル一覧」から「アイコン」表示モードに切り替える。
F11	「ファイル一覧」から「リスト」表示モードへ切り替える。
F12	「ファイル一覧」から「詳細」表示モードへ切り替える。
Shift + Alt + S	AI超解像ダイアログボックスを開きます。
Shift + Delete	選択された項目をハードディスクから削除する。
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する。
Shift + Tab	管理モードのフォーカスを以前のペインまたは一連のツールに移動する。
タブ	管理モードで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Ctrl + Alt + R	画像の比較ビューアに選択された画像を表示する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップのストレッチ壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + Shift + 1	フォルダペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 2	カタログペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 3	検索ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 4	カレンダーペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像バスケットを表示または非表示にする。
Ctrl + Shift + 6	アクティビティマネージャーを開いたり閉じたりします。
Ctrl + Shift + 7	タスクペインを開いたり閉じたりします。

ショートカット操作	操作
Ctrl + Shift + 9	新しい画像 バスケットを作成 する。
Ctrl + Shift + -	アクティブな画像 バスケットを削除 する。
Ctrl + Shift + A	現行 フォルダ内 にあるすべてのファイルを選択 します。
Ctrl + Shift + B	ステータス バーを表示/非表示 にする。
Ctrl + Shift + C	現在 選択 されている画像 をクリップボードにコピー する。
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除 する。
Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定 のシステム アプリケーション で開 く/ アプリケーションを選択 することのできるダイアログ ボックスを開 く。
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示 とファイル一 覧ペインを切り替 える。
Ctrl + Shift + I	現在 選択 されている項目 以外を選択 する。
Ctrl + Shift + L	ブラウズ検索 パネルを開 く/閉じる。
Ctrl + Shift + M	マップ ペインを開 く/閉じる。
Ctrl + Shift + N	ACDSee の新しいウィンドウを開 く。
Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子 と関連付けられているシステム アプリケーションを使 ってファイルを開 く。
Ctrl + Shift + T	管理 モードの既定 ツールバーを表示/非表示 にする。
Ctrl + Shift + W	選択 された画像 をデスクトップのタイル壁紙 に設定 する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択 された画像 をデスクトップの壁紙 として中央 に設定 する。

表示

Alt + 左矢印	ファイル一 覧ペインで最後に表示 されたフォルダを表示 する。
Alt + 右矢印	ファイル一 覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る。
Ctrl + S	現在 選択 されている画像 を使 ってスライドショーを作成 する。
Ctrl + Shift + P	プレビュー ペインを開 く/閉じる。

一括編集

ショートカット操作	操作
Shift + S	一括AI超解像ダイアログボックスを開きます。
Ctrl + R	一括リサイズダイアログボックスを開きます。
Ctrl + Alt + F	一括ファイル形式変換ダイアログボックスを開きます。
Ctrl + J	一括回転/反転ダイアログボックスを開きます。
Ctrl + Alt + T	一括タイムスタンプ調整ダイアログボックスを開きます。
Ctrl + L	一括露出調整ダイアログボックスを開きます。
モード切り替え	
Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
Ctrl + F3	表示モードで画像を開く。
Ctrl + F5	画像を編集モードで開く。
Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365モードに切り替える。
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える。

管理モードのマウスショートカット

管理モードで、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして[印刷...]を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードで選択した画像を開きます。
右クリック	管理モードのコンテキストメニューを開く。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択します。
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択します。画像グループの周囲に選択ボックスを描けるように、画像やフォルダではなく必ず画面の空白エリアをクリックしてからドラッグします。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択します。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	サムネイルの拡大。
Ctrl + ホイールダウン	サムネイルの縮小。

レンダーペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします：

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わります。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わります。
- 月モードで、週の日表示文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、「**F**」をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで「**AM**」または「**PM**」をクリックして、その日の午前または午後を選択します。
- イベントモードで、**Ctrl** キーをホールドしながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

メディアモードのキーボードショートカット

メディアモードで作業中に次のキーボードショートカットを使うと効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
Alt + F4 Ctrl + W	ACDSee を終了する。
Alt + O	[オプション] ダイアログを開きます。
Ctrl + P	選択した画像を印刷します。
Ctrl + L	選択した画像を左に回転させます。
Ctrl + R	選択した画像を右に回転させます。
F5	更新します。
Ctrl + F	フォルダペインの表示/非表示。
Ctrl + G ALT + 入る	グループを表示または隠します。
スペース, 右, 下	次のイメージをフルスクリーンで表示
バックスペース, 左, 上	前のイメージをフルスクリーンで表示
削除	選択したファイルを削除する

モード切り替え

Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F3	現在選択されている画像を表示モードで開く。
Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える

表示モードのキーボードショートカット

表示モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSee を終了 する。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全 なファイルパスの表示/非表示 を切 り替 え ます。
Enter Esc	前 のモードに切 り替 え る。
Shift + Esc	表示、編集モードで ACDSee を最小化表示 します。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開 きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズ できます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開 く
F1	ヘルプ ファイルを開 きます。

ファイル メニュー

Ctrl + O 挿入	ファイルを開 くダイアログボックスを開 きます。
Shift + F4	現在 の項目 を閉 じる。
Ctrl + Shift + F4	すべての画 像 を閉 じる。
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを開 き、画 像 名 の変更/ファイル フォーマットの変更を する。
Shift + L	ファイル拡張子 と関連付 けられてい るシステム アプリケーシ ョンを使 ってファイルを開 く。
Shift + E	現在 のファイル を既定 のシステム アプリケーシ ョンで開 く/ アプリケーシ ョンを選 択 することのできるダイアログ ボックスを開 く。
Ctrl + P	ACDSee ホームの印刷 ユーティリティで現在 の画 像 を開 きます。
Ctrl + Shift + P	現在選 択 されてい るすべての画 像/現在 のフォルダ内 のすべての画 像 を印刷 する。
Alt + L	Flickr アップローダー ダイアログボックスを開 く。
Alt+U	SmugMug アップローダー ダイアログボックスを開 く。
Alt + Z	Zenfolio アップローダー ダイアログボックスを開 く。

インターフェースをカスタマイズする

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + M	虫めがね ペインを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + プラスキー(+)	虫めがねペインで拡大する。
Ctrl + マイナスキー(-)	虫めがねペインで縮小する。
Ctrl + Shift + S	ナビゲーター ペインを開 / 閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティペインを開 / 閉じるを切り替える。
Alt + ,	プロパティペインで左側のタブに移動する。
Alt + .	プロパティペインで右側のタブに移動する。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報 パレットを開 / 閉じるを切り替える。
T	ツールバーを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + T	
B	ステータス バーを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + B	
Ctrl + Shift + V	ページ表示 パネルを開 / 閉じるを切り替える。
管理する	

ショートカット	操作
Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする。

ショートカット	操作
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする。

ショートカット	操作
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。

ショートカット	操作
Alt + C	フォルダにコピー ダイアログボックスを開く。

ショートカット	操作
Alt + M	フォルダに移動 ダイアログボックスを開く。

ショートカット	操作
削除	選択された画像を削除する。
F2	[ファイル名の変更] ダイアログ ボックスを開く。
Alt + R	
Ctrl + B	選択された画像をアクティブな画像 バスケットに追加する。
Alt + X	アクティブな画像 バスケットから選択された画像を削除する。
Alt + A	ショートカットの追加 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
\ (バックスラッシュ)	画像 ファイルにタグを付けたり外したりします。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワードセクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータ タブを選択する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル状壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として拡大して設定する
Alt + W	ACDSee ホーム の壁紙を適用する前に使っていたデスクトップの壁紙設定を復元する。

ショートカット	操作
表示	
Page Arrow Right Page Down 3 (テンキー) Spaceキー	次の画像を表示します。
Page Arrow Left Page Up 9 (テンキー) Backspace	前の画像を表示します。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
Shift + Z	選択したエリアに拡大する。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
* (テンキーのアスタリスク) Shift + 8	画像を表示領域に合わせて調整する。
Alt + Page Arrow Right	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + \	ズーム固定のオンとオフを切り替え。
L	[パンの固定] の切り替え。
Z	[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを開く。
Page Arrow Right	画像を拡大した時に、右にパンする。
Page Arrow Left	画像を拡大した時に、左にパンする。
Page Down	画像を拡大した時に、下にパンする。
Page Up	画像を拡大した時に、上にパンする。
F	フルスクリーン モードの切り替え。
Ctrl + Page Arrow Right	右ペインを開く/閉じるを切り替える。

ショートカット	操作
Ctrl + Page Arrow Down	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
O	画像の保存されたバージョンを表示する。
E	露出警告のオンとオフを切り替えます。
Shift + F1	ズーム ツールで拡大した後にハンド ツールを有効にする。
Shift + F2	選択 ツールを有効にする。
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する。
Shift + F3	ズーム ツールを有効にする。
Shift + F	フェイスツールをアクティブにします。
Shift + B	顔の輪郭を切り替えます。
Ctrl + N	[顔検出]ペインを開き、名前 フィールドにカーソルを置きます。
Tab	画像および顔検出ペインの名前 フィールド間でカーソルを移動します。
Ctrl + Shift + D	顔検出ペインを切り替えます。
Ctrl + F	顔を再検出します。
F5	表示モードウィンドウを更新し、現在の画像を再ロードする。
Ctrl + 6	Light EQ™ ボタンのオンとオフを切り替える。
Alt + S	1 ～ 2 秒ごとに、自動的に次の画像に進む。
Ctrl + Alt + S	スライドショーを開始する。
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示 / 非表示にする。
Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー/フッターの編集] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで画像上に表示するテキストを編集する。
Alt + Ctrl + S	スライドショーを開始または停止します。
Shift + Page Arrow Down	マルチページ画像の次のページを表示する。
Shift + Page Arrow Up	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + Home	マルチページ画像の最初のページを表示する。
Shift + End	マルチページ画像の最後のページを表示する。
編集	
Ctrl + Shift + Page Arrow Left	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する。

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + Page Arrow Right	現在の画像を時計回りに 90 度回転する。
Alt + E	画像を既定の画像エディタで開く。
Shift + O	編集した画像を元のバージョンに復元する。
Shift + S	変更を確定する。
Ctrl + Alt + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + J	回転/反転の一括変更 ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + R	[名前の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Shift + 1	色深度をモノクロに変更する。
Ctrl + Shift + 2	色深度を 16 色グレースケールに変更する。
Ctrl + Shift + 3	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift + 4	色深度を 16 色に変更する。
Ctrl + Shift + 5	色深度を 256 色に変更する
Ctrl + Shift + 6	色深度を Hi Color に変更する。
Ctrl + Shift + 7	色深度を True Color に変更する。
Ctrl + Shift + 8	画像を 16 ビットのグレースケールに変換する。
Ctrl + Shift + 9	画像を 48 ビットのカラー パレットに変換する。
モード切り替え	
Ctrl + F1	管理 モードに切り替えます。
Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集 モードで開く。
Ctrl + F6	人物 モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボード モードに切り替える

表示モードのマウスショートカット

表示モードで作業中にマウスショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードを閉じて、前のモードに戻る。
右クリック	表示モードのコンテキストメニューを開く。
中央ボタンクリック	フルスクリーンモードの切り替え(3つボタンのマウス)。
ホイールクリック	フルスクリーンモードの切り替え。
ホイールを上げる	前の項目を表示する。
ホイールを下げる	次の項目を表示する。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	画像の倍率を上げます(ズームイン)。
Ctrl + ホイールダウン	画像の倍率を下げて(ズームアウト)。
Shift + ホイールアップ	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + ホイールダウン	マルチページ画像の次のページを表示する。

編集モードのキーボードショートカット

編集モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

編集モードのキーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + Esc	表示、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。

ファイル メニュー

→ Page Down 3 (テンキー)	次の画像を開きます。
← Page Up 9 (テンキー)	前の画像を開く
Ctrl + S	画像を保存します。
Ctrl + Alt + S	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc Enter	前のモードに切り替える。

メニューの編集

Ctrl + Y	やり直します。
Ctrl + Z	元に戻します。
Ctrl + Shift + Z	すべてを元に戻す。
Ctrl + C	コピーする。
Ctrl + V	ペーストする。
Delete	削除する。

ショートカット	操作
管理する	
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワードセクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータタブを選択する。
\ (バックスラッシュ)	写真にタグ付けする。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログボックスを開く
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く
表示	

ショートカット	操作
Ctrl + →	右ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ←	左ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ↓	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
Shift + 8 * (テンキーのアスタリスク)	画像を表示領域に合わせて調整する。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	画像をフルスクリーンで表示します。
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
→	画像を拡大した時に、右にパンする。
←	画像を拡大した時に、左にパンする。
↓	画像を拡大した時に、下にパンする。
↑	画像を拡大した時に、上にパンする。

インターフェースをカスタマイズする

F2	フィルタ メニューを開く/閉じるを切り替える。
F4 Alt + Enter	プロパティペインを開く/閉じるを切り替える。
F5	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
F6	情報 パレットを開く/閉じるを切り替える。
F7 Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
F10	カラー ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F1	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F2	フィルタ ツールバーを開く/閉じるを切り替える。

選択

ショートカット	操作
Alt + A	すべて選択 する。
Alt + D	選択解除 する。
Alt + I	選択範囲を反転 する。
Shift + Alt + S	選択範囲を保存 する。
Shift + Alt + M	管理選択ダイアログ ボックスを開く
フィルタ	
Y	赤目補正 ツールを開く。
Alt + P	修復 ツールを開く。
X	テキスト ツールを開く。
Alt + W	透かしツールを開く。
Alt + B	枠線 ツールを開く。
V	ヴィネット効果 ツールを開く。
Alt + S	特殊効果 パネルを開く。
T	チルトシフト ツールを開く。
Alt + R	回転 ツールを開く。
Alt + F	反転 ツールを開く。
C	トリミングツールを開く。
J	サイズ変更 ツールを開く。
Alt + X	露出 ツールを開く。
L	レベル ツールを開く。
Alt + J	自動レベル ツールを開く。
U	トーンカーブ ツールを開く。
Q	Light EQ™ ツールを開く。
A	ホワイトバランス ツールを開く。
W	モノクロに変換 ツールを開く。
Alt + M	カラー LUT ツールを開く。
Alt + N	シャープ化 ツールを開く。
Alt+U	ぼかしツールを開く。

ショートカット	操作
N	ノイズ除去 ツールを開く。
Alt + C	明瞭度 ツールを開く。
フィルタ内部で機能する	
B	ブラシ コントロールを開く/閉じるを切り替える。
S	フィルタの内部で機能する際のブラシ ストローク表示を切り替える。
G	グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
Spaceキー	フィルタ内部で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。
E	露出 ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。
ツール	
Ctrl + Q	ハンドツールを起動する。
Ctrl + Shift + R	長方形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + E	楕円形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + L	直線 ツールを起動する。
Ctrl + A	矢印 ツールを起動する。
Ctrl + Shift + P	多角形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + B	曲線 ツールを起動する。
B	ブラシツールを起動する。
Ctrl + F	塗りつぶしツールを起動する。
Ctrl + G	グラデーション ツールを起動する。
Ctrl + Shift + I	スポイトツールを起動する。
カラーツールを使用する	
Ctrl + [	前面色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl +]	背景色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + X	前面色と背景色を入れ替える。
選択ツール	

ショートカット	操作
Ctrl + R	長方形選択ツールを起動する。
Ctrl + I	楕円形選択ツールを起動する。
Ctrl + L	投げなわ選択ツールを起動する。
Ctrl + W	自動選択ツールを起動する。
モード切り替え	
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える

編集モードのマウスショートカット

編集モードで次のマウスショートカットを使用して、画像作業の効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
Shift + 左クリック	ペイン内で、グループの自動折りたたみ機能をオフに設定。
Shift + マウスホイール	スライダに大きな調整を行う。
右クリック	任意のスライダを既定値にリセット。
スライダ上でマウスホイール	スライダに細かい調整を行います。スライダ上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンします。
画像上でマウスホイール	ブラシのサイズを変更します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてペン先の幅を調整します。
Shift + マウスホイール	フェザリングを調整します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてフェザリングを調整します。

365 モードのキーボードショートカット

転送モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + A	選択されたフォルダを同期フォルダとして設定する。
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする。
Alt + Enter	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティペインを表示する。
Alt + Num +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順。
Alt + Num -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順。
Alt + O	オプションダイアログを開く。
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする。
Alt + Shift + U	すべてのファイルを同期する。
Ctrl + \	タグの付いているファイルを選択する。
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する。
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する。
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する。
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア。
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転。
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダペインを表示する。
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カタログペインを表示する。
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダーペインを表示する。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像バスケットを表示または非表示にする。
Ctrl + W	ACDSeeを終了する。
削除	ファイルまたはフォルダを削除する。
Enter	現在選択されている画像を[表示]モードで開く。
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更。
F5	表示を更新する。
F6	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルと詳細を表示する。
F7	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのフィルムストリップを表示する。
F8	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルを表示する。
F9	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのタイルを表示する。

ショートカット	操作
F10	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのアイコンを表示する。
F11	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの一覧を表示する。
F12	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの詳細を表示する。
Num +	転送 モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを昇順に並べ替えます。
Num -	転送 モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを降順に並べ替えます。
Shift + Alt + A	365.acdsee.com モードを表示する。
Shift + Alt + C	URL のコピー。
Shift + Alt + T	転送 モードを表示する。

365 モードのマウス ショートカット

転送 モードでは、次のマウス ショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択します。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択します。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択します。

ACDSee PicaView のキーボードショートカット

ACDSee PicaVewでは、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。

ショートカット操作	操作
画像を Shift + 右クリック	• 画像の表示を有効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されません。 • 画像の表示を無効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されます。

章 11: ファイル フォーマット

サポートされ るファイルフォーマットACDSee ホーム

ACDSeeで読み取 ることができるファイル:

ABR	Adobe™ブラシ形式	
ACDC	ACDSee 写真館 ACDCイメージ	
AFPHOTO	Affinity	サムネイルのみ
ANI	Windowsアニメーションカーソル	カーソルアニメーションを表示します
ARW	Sony RAW	
AVIF	AV1 画像 ファイル形式	アニメーションAVIFファイルはサポート対象外です。EXIF のみサポートします。IPTC メタデータは AVIF ファイルには対応していません。
BMP	Windowsビットマップ	WindowsおよびOS/2、2/8/16/24/32bpp、RLEおよび非圧縮
CNV	キャンバス	サムネイルのみ
CR2	Canon RAW CR2	
CR3	Canon RAW CR3	該当するカメラを確認するには、ACDSee Webサイトで サポートされているRAW形式のページ を参照してください。
cRAW	Sony cRAW	
CRW	Canon RAW CRW	
CS1	Sinar RAW	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
CUR	Windowsカーソル	
CVX	キャンバス	サムネイルのみ
DCR	Kodak RAW DCR	
DCX	複数ページPCX	すべてのサブタイプと複数ページをサポート
DNG	デジタルネガ	RAW ファイルのオープンソースアーカイブ形式
EMF	拡張 メタファイル形式	Win32拡張配置可能 メタファイル
ERF	Epson RAW	
FFF	Hasselblad RAW FFF	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
GIF	Graphics Interchange Format	アニメーション化された単一ページ、87aおよび89a
GPR	GoPro RAW	
HDR	Creo RAW	
HEIC/HEIF	High Efficiency Image File Format	HIF ファイルのサポートが含まれます。EXIFのみをサポートします。IPTC メタデータは HEIC ファイルではサポートされていません
ICN	AT&T ICN	

ICO	Windows アイコン	複数の解像度を別々のページとして表示します
JBR	Corelブラシ形式	
JP2	JPEG2000	48ビットサポート
JPC	JPEG2000	48ビットサポート
JPG	JPEG JFIF	JFIFとAdobe CMYK
JXL	JPEG-XL	IPTCメタデータは、XMPを含むJPEG-XLファイルをサポートしています。
MOS	Creo RAW	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
MRW	Konica Minolta RAW	
NEF	Nikon RAW	
ORF	Olympus RAW	
PBR	Corel PaintShop Proブラシ形式	最大3072×2048の解像度(16BASE)
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	すべてのサブタイプをサポート
PEF	Pentax RAW PEF、Samsung RAW	
PCT	Macintosh PICT	
PNG	Portable Network Graphics	すべてのサブタイプをサポート
PSD	Adobe PhotoShopドキュメント	RGB、グレースケール、ダブルトーン、パレット、およびグレースケールのみとして解釈される2レベルのラボカラー
RAF	FujiFilm RAW	
RAW	Pentax RAW、Leica RAW、Contax RAW、Casio RAW、Panasonic RAW	
RWL	Leica RAW	
sRAW	Canon sRAW	
SRW	Samsung SRW	
SVG	スケーラブルベクターグラフィックス	
TGA	Targa TGA	すべてのサブタイプをサポート
TIFF	Tagged Image File Format	Bilevel / RGB / Paletted / CMYK / YCrCb / LOGL / LOGLUV、Uncompressed / PackBits / LZW / ThunderScan / SGILog / CCITT / ZIP / NEXT / New-JPEG(v6.0 JPEGサポートなし) 複数ページドキュメントのサポート Kodak RAW TIFF、Canon RAW TIFF
WBMP	Wireless Bitmap	

WEBP	Google WebP形式	
WMF	Windows メタファイル形式	Win 3.x 配置可能 メタファイル

ACDSeeで書き込むことができるファイル:

ACDC	ACDSee 写真館 ACDCイメージ	ACDSee Pro 9およびACDSee 19ではサポートされていません
AVIF	AV1 画像 ファイル形式	EXIFのみサポート。IPTCメタデータはAVIFファイルには対応していません。
BMP	Windows ビットマップ	Windows 1/8/24 bpp
GIF	Graphics Interchange Format	インターレースされていないGIF 89aのみ
GPR	GoPro RAW	
JP2	JPEG2000	
JPG	JPEG JFIF	
JXL	JPEG-XL	IPTCメタデータは、XMPを含むJPEG-XLファイルをサポートしています。
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	8および24bpp; RLE圧縮
PNG	Portable Network Graphics	1/4/8bpp カラーマップ; 24 bpp RGB
PSD	Adobe PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、ダブルトーン、パレット、およびグレースケールのみとして解釈される2レベルのラボカラー
WBMP	Wireless Bitmap	
WEBP	Google WebP形式	
TGA	Targa TGA	8および24bpp。RLEおよび非圧縮のトップダウンおよびボトムアップ
TIFF	タグイメージファイル 形式	1/8/24ビット/ピクセル、単一ページ。非圧縮、CCITT3、CCITT4、LZW、Deflate(ZIP)、およびJPEG圧縮。調整可能なDPIタグ

アーカイブ読み取りサポート形式:

ARJ	ARJ アーカイブ	ARJ形式
CAB	CABアーカイブ	Microsoft CABファイル形式
GZ	GZアーカイブ	Unix GZIP(GnuZIP)
RAR	RARアーカイブ	RAR形式 (RAR5はサポートされていません)
TAR	TARアーカイブ	Unix TAR形式
TGZ	TGZアーカイブ	GZIPで圧縮されたTAR形式
ZIP	ZIPアーカイブ	StoreとDeflate

アーカイブ書き込みサポート形式:

ZIP	ZIPアーカイブ	Store(無圧縮)とDeflate

ビデオとオーディオの読み取りサポート形式:

AAC	Audio Data Transport Format
ADST	Audio Data Transport Stream
ASF	Active Streaming File – HotMetaL Pro
AVI	AVI動画形式
M4A	MPEG-4
M4V	MPEG-4
MOV	MPEG-4
MP3	MPEG Layer III 圧縮 オーディオ
MP4	MPEG-4
WAV	サウンドファイル
VMA	サウンドファイル
WMV	Windows メタファイル

RAW ファイルについて

RAW ファイルはネガのようなものです。写真撮影時にデジタルカメラのセンサーが収集した全データが入っています。未処理のまま RAW ファイルを表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、RAW ファイルを写真を生成するように処理する必要があります。

ACDSee では、カメラが作成した埋め込みサムネイル画像を使用して RAW ファイルを表示することができます。RAW 画像の処理を行うには、RAW 画像現像ツールを備えたや ACDSee 究極のような写真編集プログラムを使用する必要があります。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することができます。

ファイルの関連付け

ACDSee ホームはさまざまなファイルフォーマットに対応しています。ACDSee ホームを、特定のファイルタイプを開くデフォルトのアプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。ファイルの種類を関連付けると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとして ACDSee ホームを設定することになります。

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4つのフォーマットセクションで、ACDSee ホームと関連付けたいファイル形式(画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマット)のチェックボックスをオンにします。
3. [保存]をクリックします。

ファイルタイプとACDSee の関連付けを解除するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4つのフォーマットセクションで、ACDSee ホームへの関連付けを外したいファイル形式(画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマット)のチェックボックスをオフにします。
3. [保存]をクリックします。

用語集

A

アクション、ACDSee アクション

編集モードで画像を編集するときに実行した手順を記録できます。その後、それらを「ACDSeeアクション」として保存できます。保存したアクションは、他の画像に適用できます。これは、バッチ編集に特に役立ちます。

アルバム

画像の集まり。テーマやイベントごとに管理されていることが多い。ACDSee ではハードドライブの画像が保存されているディレクトリへのショートカットをアルバム内に入れることができます。

エイリアシング

ピクセルが原因で生じた画像の端のギザギザ。低解像度の画像や、拡大された画像で最も頻繁に起こります。[ジャギー](#)を参照してください。

アンチエイリアシング、アンチ・エイリアシング

ぎざぎざの線、または「ジャギー」を軽減するソフトウェア技術。グレーとカラーの色合いを使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。

縦横比

画像の横と縦の比率。たとえば、縦横比 3:1 の画像は、横が縦よりも 3 倍長くなっています。

アジマス

画像のエッジから伸びる影の方向。では ACDSee ホーム 画像にエンボス効果を適用する際に、アジマスをコントロールできます。

B

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしで起動するタスクまたはプログラムのこと。

バレル歪み

バレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

一括編集

サイズ変更、変換、名前変更などの何らかの処理またはツールで、複数の画像またはファイルを調整するために同時に使用できるもの。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のこと。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 65,536 の異なる値を格納することができます。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

ブレンド モード

ツールの効果や選択されたオブジェクトの外観を変更するフィルタ。

明るさ

画像に見られる光の強度。明るさを調整することで、画像の外観を明るくまたは暗くできます。

ブラシ

編集モードで、効果または調整を適用したいピクセルを分離または指定するために使用するツール。描画ツール内のブラシは、画像にカラーで描画するために使用できます。

C

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACDSee のデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

カタログ化

ファイル情報を ACDSee ホーム データベースに追加します。

カテゴリ

カテゴリを指定することによって、画像の並べ替えや管理がより簡単になります。

色収差

レンズによって生じるもので、写真のハイコントラスト領域にフリッジが現れます。

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック（キー）を原色とするカラーモデル。

カラーキャスト

カラーキャストは、画像に影響を与える目に見える色合いです。たとえば、多くのデジタルカメラは、わずかに青いカラーキャストの画像を生成します。ACDSee ホーム 不要なカラーキャストを取り除くツールが含まれています。

カラーチャンネル値

単一カラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つ（赤、緑、青）のチャンネルがあります。カラーを編集する際、RGB の値で調整することができます。

色域

プリンタやモニタなどのデバイスが再現または表示することのできる色の範囲。

色の管理

プリンタで印刷される色がモニタで表示される色と一致するように、コンピュータの設定を調整する処理。

色空間

色空間には、デバイス独立（デバイス・インディペンデント）、デバイス依存（デバイス・ディペンデント）の 2 種類があります。RGB を代表とするデバイス独立（デバイス・インディペンデント）色空間では、すべての可能な色を使って表示されます。デバイス依存（デバイス・ディペンデント）色空間は、特定のデバイスで再現することができます、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。デバイス依存色空間は、モニタ・プリンタ間などの複数デバイス間で色のマッピングを行い、色が忠実に再現されるようにします。

圧縮

オリジナルのデータよりも、サイズの小さい保存用のフォーマットにデータを変換すること。

コンタクトシート

複数の小さい画像をまとめたページのこと、通常縦横に並べられます。

コンテキストメニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。

コントラスト

画像における色と明るさの差の度合い。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変更すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ(.bmp) をJPEG (.jpg) に変換することを指します。

トリミング

画像の不必要な領域を削除すること。

D

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。**ACDSee** データベースは、キャッシュされたサムネイル ファイルと情報 ファイルの 2 つから構成されています。キャッシュされたサムネイル ファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル)を含んでいます。情報 ファイルは、システム上のファイルに関する詳細情報 (説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど)を含んでいます。

データベースの日付

ファイルのプロパティに用いられる、**ACDSee** データベースに保存された日付。

説明

ACDSee ホーム は説明を **descript.ion** という名前の隠しファイルに保存します。ファイル名やキャプションなどの説明は、この **descript.ion** ファイルに含まれます。

ドッキング

別のスクリーン領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペインなどを結合すること。

DPI (ドット/インチ)

画像の解像度を示す単位。例えば、**92 DPI** = 横 **92** ドット x 縦 **92** ドット = **8,464** ドット/スクエアインチ となります。スクエアインチあたりのドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、シャドウまたはハイライトのクリッピングを発生させず、最も暗い影と最も明るいハイライトを同時にキャプチャすることができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。) 画像のトーン範囲を調整すると、モニタあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

E

高度

画像上の仮想光源の高さ。光源の高さと方向が一緒になって **3 D** のエンボス効果を生み出します。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

暗号化

データを保護されたフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

EXIF (エクステンシジャブル イメージ ファイル)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

露出

画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが光に露出された時間の量を指します。

F

顔検出、顔認識

顔検出は、画像内の人物の顔を検出します。顔に名前を割り当てると、**ACDSee** は今後、人物を認識するようになります。画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索することができます。

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

ファイル一覧

ACDSee では、管理モードで現在表示されているファイルの一覧を指します。

ファイルフォーマット

ファイルの情報をエンコードするための方法。各種のファイルには、情報の管理方法を指定する異なったファイル形式があります。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

魚眼歪み

魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

G

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正すると、光のスペクトルの強さが増減します。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

H

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表したグラフ。

色相

画像内に見られる優勢な（主となる）色。

I

画像エディタ

画像を作成したり、編集したりするために使うプログラムのこと。ACDSee ホーム は画像エディタです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSee ホーム は画像ビューアです。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準の方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

J-K

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルの見え方により、線や曲線が生じてギザギザに見えます。

L

レンズのヴァイネット

画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。

可逆圧縮

画像のデータとクオリティのすべてを保持する圧縮の方法。

可逆回転と反転

JPEG 画像の回転方法で、画質が劣化しません。8 または 16 の倍数のサイズの画像を回転する際に最も適しています。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

M

マーキー

画像の選択範囲を示す破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、下にある画像に変化を加えて、あるいは加えることなく、マーキーのサイズを変更したり移動することができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。これは、画像自体またはサイドカーファイルに保存できます。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

単一カラー（白黒）の画像。

N

ノイズ

同色系の範囲内で、様々なピクセルカラーが使用されている場合に生じます。ノイズは、ISO の感度を高く設定したり、スローなシャッタースピードで撮影される場合に発生します。

O

不透明度

画像または選択範囲に効果を適用する場合、どの程度見えるようにするかを決定します。不透明度の値を上げるとはっきりと見えるようになり、値を下げる则ほとんど見えなくなります。

露出オーバー

露出が多すぎると、ハイライト過多になり色あせて見えるようになります。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出しすぎることによって引き起こされます。

P-Q

パンニング

拡大された画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分を表示すること。

PDF

Portable Document Format の頭字語。フリーの Adobe Reader® ソフトウェアを使用することで、どのようなコンピュータでも PDF を見ることができます。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法。色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

フォトアルバム

[アルバム](#)を参照してください。

写真エディタ

[画像エディタ](#)をご覧ください。

ピンクッション（糸巻き）歪み

ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。

ピクセル（または画像要素）

縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のこと。

プラグイン

比較的大きなプログラムに機能を追加するソフトウェアモジュール。

PPI（インチ毎ピクセル）

画像の解像度を示す単位。インチあたりのピクセル数が増えるほど、高画質になります。

プリセット

プリセットには画像補正の設定が入っています。プリセットを作成して使用すると、すべての画像に適用する設定を統一できるようになります。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例えば、RGB カラーモデルでは、赤(R)、緑(G)、青(B) が原色となります。

R

ラスタ画像

長方形のピクセルグリッドで構成された画像。各ピクセルに、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、サイズ変更すると画質に影響を与えます。

ラスタライズ

ベクターレイヤーをピクセルに変換し、解像度を定義します。レイヤーをラスタライズすることは、編集できなくなるために、レイヤーを完成させたと見なすことができます。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索がより簡単になります。

RAW

画像ファイル形式の1つ。**RAW** ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。**RAW** ファイルはカメラによって処理されないため、写真編集プログラムを使用して **RAW** 画像を処理する必要があります。**ACDSee** ホーム。

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

赤目

デジタルカメラのフラッシュが被写体の網膜で反射したときに起きます。被写体の目が実際の色ではなく赤く見えます。

相対カラーメトリック

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色域外の色は単色にマッピングされるので、単色の画像または色が制限された画像に最適です。

レンダリング

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲から別の色の範囲へ、色をマップするために使用される方法。レンダリングには[知覚](#)、[相対カラリメトリ](#)、[彩度](#)、[絶対カラリメトリ](#)の4種類があります。

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch)で測定され、画像の質とクラリティを示します。

RGB

赤(R)、緑(G)、青(B)の3色を原色として使用するカラーモデル。

波打つ乱れ

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

S

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーの色味が強くなります。

彩度（レンダリングの方法）

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

選択

選択範囲ツールを使って定義した画像の領域。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

シャープネス

【シャープ化】ツールは画像をシャープにするために使用します。オリジナル画像はわずかにぼかされます。オリジナルの画像から、ぼかしのついたバージョンの画像が取り除かれるため、エッジがはっきり表示されるようになります。コントラストを増やすことで、エッジをよりシャープにすることが可能です。

シャープネス

画像のシャープネスは、主にデジタルカメラのレンズとセンサで決まります。画像のエッジ間にあるコントラストを増やすことで、シャープネスを加えることが可能です。

ショートカットメニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキストメニューとも言います。

スライドショー

画像を連続して表示すること。のようなスライドショーソフトウェアを使用してACDSee ホーム画像グループをスライドショーとして表示することができます。

ソフトブルーフ

コンピュータのモニタをブルーフデバイスとして使用します。プリンタで実際どのような色で印刷されるかをシミュレーションしてモニタに表示します。

X

タグ付け

カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。クリック1回で写真にタグを付けることができます。同様に、タグ付けされたすべての画像をクリック1回で表示することができます。

サムネイル

フルサイズ画像の縮小版プレビュー。

タイムスタンプ

ファイルに付随する日付と時間。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、動画において、画像や動画のセグメント間に使用される特殊効果のこと。

U

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサー光に露出する時間が足りないとこの現象が起こります。

V

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画像のクオリティと画質に影響はありません。

W

透かし

画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのことで、通常、著作権保護を目的として使用されます。

ホワイトバランス

カラーキャストを削除して、画像に適切な光を与えます。撮影する前にカメラの設定を適切なホワイトバランスに設定するか、撮影後にACDSeeを使用してホワイトバランスを補正します。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

X-Z

XML (拡張可能マークアップ言語)

Webドキュメントに使用される標準言語。

ズーム

ACDSeeでは、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセス。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。